

平成 22 年度

# 県民消費動向調査報告書

平成 23 年 3 月

高知県商工労働部経営支援課



# 目 次

1章. 調査について	1
2章. 調査結果の概要	4
(1) 高知県の商圈構造	4
(2) 消費者行動・消費者意識	4
(3) 買物出向比率から見た買い物先の使い分け（高知市を除く市町村）	7
(4) 商店街について	8
3章. 高知県の商圈構造	11
(1) 商圈区分の考え方と数値基準による県内商圈区分	11
(2) 商圈構造の概要	12
(3) 商圈のイメージ図	14
(4) 買物流出入と地元支持のイメージ図	16
(5) 各商圈の概要	23
4章. 消費者行動・消費者意識	32
(1) 買い物全般について	32
(2) 買い物先の変化	40
(3) 買い物の満足度の変化	42
(4) 買い物で重視するようになった項目	44
(5) 今後増えそうな買い物先	46
(6) あれば利用したい買い物のサービス	48
(7) 家庭でのインターネットの利用について	50
(8) 移動販売について	56
(9) 直販所の利用状況	64
(10) 通信販売による買い物状況	66
(11) 地産地消について	70
(12) 地元の商店街や商業に望むこと	74
5章. 買物出向比率からみた買い物先の使い分け	77
(1) 大型店や商店などの支持の変化	77
(2) 無店舗販売の利用状況	79

<b>6章. 商店街について</b> .....	80
(1) 地元の商店街でのお買い物について .....	80
(2) 商店街の必要性 .....	89
<b>7章. 資料</b> .....	92
(1) 資料の概要と活用方法について .....	92
(2) 主要項目の市町村別集計 .....	96
(3) 各品目別の買い物先（買物出向比率）（高知市以外の市町村） .....	96
(4) 各品目別の買い物先（買物出向比率） （高知市以外の市町村（商店、スーパー・S C、直販所別）） .....	96
(5) 各品目別の買い物先（買物出向比率）（高知市内地区別） .....	96
(6) 各市町村別の買い物先（買物出向比率） .....	96
(7) 無店舗販売（通信販売、移動販売、生協）の利用状況 .....	96
(8) 買い物の地元支持率とその変化 .....	97
(9) 買い物についての自由意見 .....	105
(10) 調査票 .....	252

## 1章 調査について

### 【調査目的】

この調査は、高知県の消費者の買い物行動や消費者意識、インターネットの利用状況などを調査し、商業・商店街の活性化とまちづくりの観点からの商店街・商業集積の形成を図るうえでの、参考資料とするとともに、高知県における商業振興に係る基礎資料を得ることを目的としています。

### 【調査期間】

平成22年9月24日から平成22年12月28日まで

### 【調査方法】

総サンプル数は10,000とし、原則的に県内34市町村に、全県に対する各市町村の人口割合に応じてサンプル数を割り当てています（高知市（旧高知市、旧鏡村、旧土佐山村及び旧春野町）のみ3,250として数を設定）。サンプリング作業は各市町村の選挙人名簿をもとに、旧市町村別に等間隔抽出法によって行い、実際の調査は、調査員によるヒアリングと郵送法を併用して実施しました。

### 【回収票数・回収率】

有効回収票数（全体）＝5,980票

有効回収票率（全体）＝59.8%

旧市町村毎の配布票数、有効回収票数及び回収率は別表に示しています。

### 【回答者傾向】

回答者の年代別、男女別の比率は、県の人口構成（平成21年10月1日現在の高知県の推計人口）と概ね類似しており、今回の調査は県全体の傾向を示しているものといえます。

表 1.1 回答者の年代別、男女別の比率

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	男	女
回答者	7.2	12.4	13.6	18.8	21.7	16.6	9.7	42.7	57.3
県人口	11.7	15.0	13.4	16.5	17.8	14.3	11.4	46.0	54.0

表 1.2 旧市町村別配布票数、有効回収票数、回収率

市町村名		配布票数（サンプル数）	有効回収票数	有効回収率
高知市	旧高知市	3,068	1,718	56.0
	旧鏡村	16	13	81.3
	旧土佐山村	10	5	50.0
	旧春野町	156	85	54.5
室戸市		272	123	45.2
安芸市		314	251	79.9
南国市		747	447	59.8
土佐市		456	258	56.6
須崎市		386	221	57.3
宿毛市		351	207	59.0
土佐清水市		264	183	69.3
十四市万	旧中村市	497	311	62.6
	旧西土佐村	55	36	65.5
香南市	旧夜須町	66	48	72.7
	旧香我美町	92	68	73.9
	旧赤岡町	51	30	58.8
	旧野市町	270	188	69.6
	旧吉川村	31	18	58.1
香美市	旧土佐山田町	326	146	44.8
	旧香北町	83	79	95.2
	旧物部村	42	23	54.8
東洋町		52	27	51.9
奈半利町		59	34	57.6
田野町		48	36	75.0
安田町		51	43	84.3
北川村		23	14	60.9
馬路村		16	13	81.3
芸西村		63	49	77.8
本山町		65	47	72.3
大豊町		85	53	62.4
土佐町		72	51	70.8
大川村		8	4	50.0
いの町	旧伊野町	357	200	56.0
	旧吾北村	49	22	44.9
	旧本川村	10	6	60.0
仁淀川町	旧吾川村	45	33	73.3
	旧池川町	34	14	41.2
	旧仁淀村	36	23	63.9
佐中町土	旧中土佐町	106	39	36.8
	旧大野見村	24	12	50.0
佐川町		223	144	64.6
越知町		108	69	63.9
橋原町		63	29	46.0
日高村		92	44	47.8
津野町	旧葉山村	66	24	36.4
	旧東津野村	41	22	53.7
四万十町	旧窪川町	217	138	63.6
	旧大正町	45	29	64.4
	旧十和村	52	35	67.3
大月町		101	51	50.5
三原村		28	17	60.7
黒潮町	旧大方町	148	97	65.5
	旧佐賀町	60	48	80.0
小計		10,000	5,925	59.3
無回答		—	55	—
合計		10,000	5,980	59.8

注) 1 前回調査との比較のため、合併前市町村区分により集計

## 【調査の活用方法】

### ○県下の消費行動のあらましを知りたいとき

「2章 調査結果の概要」(P4)で、そのあらましを知ることができます。

### ○県下の商圈構造や購買力の流出入構造のあらましを知りたいとき

「3章 高知県の商圈構造」(P11)で、商圈のイメージや流出入構造のあらましを知ることができます。

### ○消費者行動をより詳しく分析したいとき

「4章 消費者行動・消費者意識」(P32)、「5章 買物出向比率からみた買い物先の使い分け」(P77)、「6章 商店街について」(P80)、「資料(2)主要項目の市町村別集計」(P96)から、年代別や、市町村別の詳しいデータを把握することができます。

### ○消費者の意見を知りたいとき

「資料(9)買物についての自由意見」(P105)から、消費者の生の声を市町村別(高知市は地区別)に知ることができます。

### ○消費者がどこでどれだけお買い物をしているかを知りたいとき

「資料(3)～(6)買物出向比率」(P96)で、高知市は品目別・地区別等、高知市を除く市町村については品目別・市町村別等の買物出向比率をそれぞれ知ることができます。

これが今回の調査の中で最も重要なデータであり、それぞれの市町村間等(高知市は居住地区と商業地間等)のお買い物客の流出入の様子や地元支持率を知ることができます。

買物の出向比率の把握にあたっては、地理的特性を考慮して、下表のように県下を大きく高知市と7つの地域に区分して調査しています。

注) 1 買物出向比率は、回答者がどこで買い物をしたかの割合を示すもので、地元支持率は、地元で購入した割合(地元購買率)をいう。

表 1.3 構成市町村(合併前市町村区分)

地域区分	構成市町村
高知市	旧高知市 旧鏡村 旧土佐山村 旧春野町
安芸広域圏	室戸市 安芸市 東洋町 奈半利町 田野町 安田町 北川村 馬路村 芸西村
香美圏域	南国市 旧土佐山田町 旧香北町 旧物部村 旧夜須町 旧香我美町 旧赤岡町 旧野市町 旧吉川村
嶺北地域	本山町 大豊町 土佐町 大川村
高知中央域	土佐市 旧伊野町 旧吾北村 旧本川村
仁淀川流域	日高村 越知町 佐川町 旧吾川村 旧池川町 旧仁淀村
高岡地域	須崎市 梶原町 旧葉山村 旧東津野村 旧中土佐町 旧大野見村 旧窪川町 旧大正町 旧十和村
幡多地域	土佐清水市 旧中中市 旧西土佐村 旧大方町 旧佐賀町 宿毛市 大月町 三原村



## 2章 調査結果の概要

### (1) 高知県の商圈構造

#### ① 高知市への一極集中緩和。土佐商圈の形成 (P12)

- 県内の商圈エリアは、2つのエリア（旧高知市中心と旧中村市・宿毛市中心）からなり、その中で9商圈に区分される。
- これまでは県全体として県外への流出が少なく独立した商圈とみなされていたが、県境付近の一部の町村では愛媛県や徳島県との結びつきが強まり、県外の商圈の影響が強まった。
- 土佐市が地元支持を高めて、新たに土佐商圈を形成した。

### (2) 消費者行動・消費者意識

#### ① 回答者の約35%、80代以上の約45%が日頃の買い物が「不便」と回答 (P32)

- 日頃の買い物が「不便」と感じる人は35.8%、「不便でない」は64.2%。
- 「不便」と感じている人は、80代以上が45.6%と全年代で最も高い。
- 地域によって「不便」と感じている人の割合は異なる（最高：49.3%、最低：23.9%）。

#### ② 買い物に行く交通手段は、「自家用車」が約80%。店選びで重視することは「車で行きやすい」が約40%。70代以上は「徒歩」で買い物に行くが30%超 (P34)

- 買い物に行く交通手段は、「自家用車」79.0%、「自転車」26.0%、「徒歩」25.3%。
- 70代以上は「徒歩」が3割超で、その他の年代より高い。また、80代以上は、「その他」「バス」「タクシー」が、他の年代に比べて高い。
- 高知市では、「自転車」「徒歩」「バイク」を利用する割合が高い。
- 店選びで重視することは、「車で行きやすい」38.7%、「近い」35.2%、「なじみ・行きつけ」34.5%。

#### ③ 大型店の新設などで、回答者の約15%が「地元以外での買い物が増加」 (P40)

- ここ5年間の買い物先は、「変わらない」76.4%、「地元外での買い物が増加」15.4%、「地元での買い物が増加」8.1%。
- 若い年代ほど「地元外での買い物が増加」。「地元外での買い物が増加」した理由

は、20代では「車・バイクの運転を始めたため」、30代以上は「周辺に大型店ができたため」が最も高い。

④ 回答者の約10%で買い物満足度が「高まった」。50代以上、高岡地域、仁淀川流域、安芸広域圏で満足度が低下（P42）

- ここ5年間の買い物の満足度は、「変わらない」が79.9%で、「高まった」(10.4%)は「低くなった」(9.6%)より0.8ポイント上回る。
- 40代以下では「高まった」が「低くなった」を上回るが、50代以上では逆に「低くなった」が上回る。
- 「低くなった」が「高まった」を上回った地域は、安芸広域圏、仁淀川流域、高岡地域。

⑤ 買い物で重視するようになった項目は、「価格」「品質・鮮度」が60%超。女性、60代以上では「健康・安全性」も重視（P44）

- 買い物で重視するようになった項目は、「価格」66.6%、「品質・鮮度」61.6%、「品揃え」36.8%。
- 50代以下は「価格」「品質・鮮度」「品揃え」、60代以上は「品質・鮮度」「価格」「健康・安全性」を重視。
- 「価格」「品質・鮮度」以外では、男性は「品揃え」、女性は「健康・安全性」を重視。

⑥ 今後「大型店」での買い物を増やす見込みが約37%。「直販所」でも買い物が増える模様（P46）

- 今後増えそうな買い物先は、「大型店」36.9%、「直販所」27.1%。
- 30代以下は、「インターネットによる通信販売」が40.0%超、50代から60代では「直販所」が35%程度で、その他の年代よりも高い。

⑦ あれば利用したいサービスは、「宅配サービス」が22%。70代以上、嶺北地域、仁淀川流域では「移動販売」が20%超。70代以上では「買い物代行サービス」「御用聞き」で一定のニーズあり（P48）

- あれば利用したい買い物のサービスは、「特にない」67.3%、「宅配サービス」22.0%、「移動販売」14.6%。
- 50代以下は「宅配サービス」が高く、70代以上は「移動販売」が20%超。70

- 代以上では、「買い物代行サービス」「御用聞き」がその他の年代よりも高い。
- 嶺北地域、仁淀川流域では「移動販売」が20.0%超となる。

**⑧ 回答者の約37%が家庭で「インターネットを利用」。約40%は「インターネットでの買い物を経験」。「ファッション・小物・雑貨」の購入が約60% (P50)**

- 家庭でのインターネットの現在の利用状況は、「利用したいと思わない・分からない」49.5%、「利用している」36.9%、「利用していないが将来は利用したい」13.7%。
- インターネットを利用した買い物経験は、「ない（したいと思わない）」49.0%、「ある」38.4%、「ない（したいと思う）」12.6%。
- 「ある」は、30代以下は70%超となり、年代が上がるにつれて低下。
- インターネットを利用して購入したものは、「ファッション・小物・雑貨」60.9%、「本・音楽・映像」38.7%、「チケット・トラベル」30.5%。

**⑨ 移動販売の巡回は、「来ている」が約25%で、回答者の約10%が移動販売を「利用」。今後、移動販売を「利用する見込み」は約25%。80代以上は約38% (P56)**

- 移動販売の巡回は、「来ていない」53.6%、「来ている」24.7%、「分からない」21.7%。
- 移動販売の利用状況については、「利用している」10.1%、「利用していない」89.9%。「利用している」は、年代が上がるにつれて上昇する傾向があり、70代以上では17.0%。嶺北地域が27.0%と最も高い。
- 移動販売の不満な点は、「品揃え」46.9%、「時間帯」40.6%、「価格」33.9%。
- 今後、移動販売を「利用する見込み」は24.5%。年代が上がるにつれて上昇し、80代以上は37.6%。嶺北地域が41.8%で最も高い。

**⑩ 50代、60代の約75%が直販所を利用。全体では約65%が利用する。40代の約63%は通信販売を利用。全体では50%が利用する。通信販売を利用する人の約80%は「カタログショッピング」を利用 (P64)**

- 回答者の63.7%が「直販所」を利用しており、50代、60代は約75%が利用。女性の割合が高い。
- 回答者の50.1%が「通信販売」を利用しており、特に40代の利用が62.5%で最も高い。
- 利用する通信販売の形態は、「カタログショッピング」78.0%、「テレフォンショッピング」10.9%、「新聞・雑誌の広告」8.1%。
- 「カタログショッピング」は、30代の90.3%をピークに、年代が上がるにつれ

て低下する。「テレフォンショッピング」「新聞・雑誌の広告」は、年代が上がるにつれて上昇する傾向がある。

- 「カタログショッピング」では女性、「テレフォンショッピング」「新聞・雑誌の広告」では男性が高い。

⑪ 回答者の約 80%が地産地消について「言葉も内容も認知」。回答者の約 87%が買い物の際に「高知県産かどうかを意識する」(P70)

- 地産地消について、「言葉も内容も知っている」79.5%、「聞いた（見た）ことはある」12.6%、「知らない」7.9%。
- 「言葉も内容も知っている」は、50代が86.4%と最も高く、全ての地域で7割超となる。
- 買い物の際に高知県産品かどうかを意識しているかは、「意識している」86.8%、「全く意識していない」13.2%。
- 「意識している」では、男性82.9%、女性89.8%と、女性が6.9ポイント高い。また、嶺北地域で、「いつも意識している」が53.0%で、その他の地域に比べて高い。

⑫ 地元の商店街や商業には、「駐車場・駐輪場の整備」「品揃えの充実」「価格を安く」を望む声が高い (P74)

- 地元の商店街や商業に望むことは、「駐車場・駐輪場の整備」33.3%、「品揃えの充実」32.3%、「価格を安く」28.6%。
- 60代以下は「駐車場・駐輪場の整備」、70代では「価格を安く」、80代以上では「特になし」が最も高い。
- 男性では「駐車場・駐輪場の整備」36.4%、女性では「品揃えの充実」33.8%が最も高い。
- 高知市、香美圏域、幡多地域では「駐車場・駐輪場の整備」、安芸広域圏、高岡地域、仁淀川流域、嶺北地域では「品揃えの充実」が最も高い。

(3) 買物出向比率から見た買い物先の使い分け（高知市を除く市町村）

① 最寄品の買い物先は約 87%が「大型店」。「商店」は約 7%。買回品の買い物先は約 66%が「大型店」。買回品では「大型店」の上昇のテンポが緩やかとなる (P77)

- 最寄品（生鮮食品・一般食料品・日用雑貨）の買い物先は、「大型店」が87.1%と上昇が続き、「商店」は7.4%と低下が続く。

- 「直販所」の支持率は3.5%となり、「商店」(7.4%)の約半分に迫る。
- 買回品(紳士服・婦人服・靴・カバン)の購入先は、「大型店」が66.3%と上昇が続くが、前回調査からは1.7ポイントの上昇(64.6%→66.3%)にとどまり、その速度は緩やかとなる。
- 「商店」は28.7%と低下を続けるが、前回からは3.7ポイントの低下(32.4%→28.7%)となり、その速度は緩やかになりつつある。

#### (4) 商店街について

① 回答者の約40%が「週1回以上」地元の商店街へ行っている。交通手段は「自家用車」が約70%。所要時間は「10分以内」が約60%。80代以上では「徒歩」「バス」「タクシー」の利用も高く、所要時間もかかる(P80)

- 地元の商店街に行く回数は、「週1回以上」38.9%、「月1回以上」53.3%。
- 交通手段は、「自家用車」68.8%、「自転車」26.3%、「徒歩」25.4%。
- 70代以上では、「徒歩」が3~4割程度と高く、80代以上では「バス」「タクシー」「その他」が、その他の年代に比べて高い。なお、高知市では、「自転車」「徒歩」などが、その他の地域と比べて高い。
- 所要時間は、「10分以内」が61.7%で、80代以上では44.9%。
- 「10分以内」は、最も高い高知中央域が65.9%、最も低い幡多地域が54.2%と、11.7ポイントの開きがあるなど、地域によってばらつきがある。

② 商店街に行く目的は「食料品の購入」が約70%。「日用品の購入」が約45%、「病院、金融機関、郵便局、役所等」が約35%(P86)

- 商店街に行く目的は、「食料品の購入」70.6%、「日用品の購入」45.2%、「病院、金融機関、郵便局、役所等」35.1%。
- 全ての年代で「食料品の購入」「日用品の購入」「病院、金融機関、郵便局、役所等」となる。なお、その割合は、年代が上がるにつれて上昇する傾向がある。
- 商店街に対する評価は、「商業以外の便利施設がそろっている」、「日々の買い物に便利」、「自動車、自転車等を置くスペースがある」が高い。

③ 回答者の70%は商店街が「必要」と回答。不便さを解消する手段として、57%が「地元商店街の再活性化」を挙げる。70代以上では、「宅配」「安価な買い物バス・タクシーの運行」「買い物代行、買い物サポーター」「移動販売」のニーズが高い(P89)

- 商店街は、「必要」70.1%、「必要ない」29.9%。

- 「必要」は、年代が上がるにつれて上昇する傾向が見られ、ピークは70代で80.4%。
- 不便さを改善・解消するための手段は、「地元商店街の再活性化」57.0%、「新たな小売店舗の誘致」39.6%、「その他」25.1%。
- 70代以上では、「宅配」「安価な買い物バス・タクシーの運行」「買い物代行、買い物サポーター」「移動販売」が、他の年代と比べて高い。

表 2.1 前回調査から今回調査の間に開店した大規模小売店舗（店舗面積 1,000 m<sup>2</sup>以上）

（単位：m<sup>2</sup>）

区分	業態	店舗名	開店	店舗面積
高知市	家電	ケーズデンキ	平成 21 年	4,250
	衣類	ファッションセンターしまむら神田店	平成 21 年	1,117
	家具	二トリ高知店	平成 20 年	5,317
	スーパー	マルナカ高須店	平成 20 年	2,144
	家電	テックランド New 高知本店	平成 20 年	6,988
	スーパー	サンシャイン クラージュ店	平成 20 年	1,633
	家電	ベスト電器朝倉店	平成 20 年	2,199
	スーパー	ヴェスタ桜井	平成 19 年	1,544
土佐市	スーパー	サンシャイン高岡	平成 21 年	1,491
須崎市	薬店	かもめ薬局須崎東店	平成 18 年	1,874
	家電	ヤマダ電機テックランド須崎店	平成 18 年	2,400
宿毛市	薬店	スーパードラッグコスモス宿毛店	平成 19 年	1,701
四万十市	スーパー	マルナカ四万十店	平成 22 年	8,127
	家電	ヤマダ電機テックランド四万十店	平成 19 年	1,650
香美市	スーパー	マルナカ土佐山田店	平成 21 年	1,454
いの町	スーパー	サニーアクシスイの店	平成 18 年	8,110



### 3章 高知県の商圈構造

#### (1) 商圈区分の考え方と数値基準による県内商圈区分

##### ① 商圈区分の考え方について

一般的に「最寄品」とは、食料品など日々の買い物で必需性が高く、近隣での購買が多いものをさし、「買回品」は衣料品など嗜好性が高く、比較購買やブランドなどを求めるため、遠くても商業力の強い市町村まで買い物に行くことが多いものを指している。

買回品の地元購買率や市町村間の流出入を比較することで、市町村の商業力の強弱やつながりを捉えることができる。商圈把握にあたっては、買回品の代表品目である「紳士服」「婦人服」「靴・カバン」の3品目の平均流出入比率をもとに、市町村の特徴を捉え商圈を設定した。

##### ② 数値基準による商圈区分

###### 【県内をふたつのエリアに区分】

旧高知市への流出率を基準として県内を区分すると、「高知エリア」及び「幡多エリア」に区分される。

- 「高知エリア」: 旧高知市への買回品の流出が10%以上の市町村、及び旧高知市。
- 「幡多エリア」: 旧高知市への買回品の流出が10%未満で、旧中村市への流出が旧高知市への流出を上回っている市町村、及び旧中村市

###### 【高知商圈の基準】

旧高知市への流出率が60%以上の市町村を高知商圈に含むこととする。

###### 【圏域の中心的な市町村】

他の市町村から次のいずれかの特徴を持つ市町村を圏域の中心的な市町村とする。

- ・ 一つ以上の市町村から10%以上の流入がある
- ・ 二つ以上の市町村から5%以上の流入がある

この基準によると、次の14の市町が圏域の中心的な位置にあるとみなされる。

宿毛市、旧中村市、旧窪川町、須崎市、越知町、佐川町、旧伊野町、土佐町、旧高知市、南国市、旧土佐山田町、旧野市町、旧赤岡町、安芸市

###### 【独立的な市町村】

一定の地元支持率（地元購買率）がありながら、圏域の中心的な市町村として位置付けられないという、ふたつの特徴を併せ持つ市町村をいう。

- ・ 買回品の地元支持率（地元購買率）が 40%以上
- ・ 圏域の中心的な市町村として位置付けられない（「一つ以上の市町村から 10%以上の流入がある」「二つ以上の市町村から 5%以上の流入がある」のいずれにも該当しない）

この基準によると、土佐市が独立的な位置にあるとみなされる。

## （２） 商圈構造の概要

### ① 商圈構造の概要

まず、県内の商圈エリアは、大きくはふたつのエリアに区分される。

- ・ 旧高知市を中心とする「高知エリア」
- ・ 旧中村市（及び宿毛市）を中心とする「幡多エリア」

さらに、次の 9 商圈に区分される。

安芸商圈、香美商圈、高知商圈（狭義）、土佐商圈、高吾北商圈、須崎商圈、窪川商圈、中村商圈、宿毛商圈

これまでは県全体として県外への流出が少なく独立した商圈とみなされていたが、県境付近の一部の町村では愛媛県や徳島県との結びつきが強まり、県外の商圈に属する市町村が現れた。

- ・ 県東部の東洋町は、徳島県西南部の海部・海南商圈に含まれ、さらに徳島市（徳島商圈）とのつながりも大きく、買い物先は徳島県に依存している。
- ・ 県西部の旧西土佐村では、愛媛県内への流出が 6 割を超え、44.3%は旧宇和島市への流出である。また、旧十和村でも、旧宇和島市への流出が 33.8%、旧広見町への流出が 8.1%となり、旧宇和島市を中心市町村とする宇和島商圈に包含された。
- ・ 旧本川村は、新寒風山トンネルの開通以降、愛媛県旧西条市の影響下にあり、旧本川村の流出 81.8%のうち、36.4%が旧西条市を代表する愛媛県内と考えられ、買回品のお買い物における愛媛県との強いつながりが見られている。

### ② 商圈構造の主な変化

基本的な商圈構造は、5 年前の調査時と比べて、高速交通体系の変化（4 車線化や無料化社会実験）、大規模小売店舗の進出、高齢化の進展などに伴い、次のような変化が見られる。

#### ○ 土佐商圈の形成

これまで狭義の高知圏内市町村であった市町村において、土佐市が地元購買率を高め、独立的市町村の要件を満たして、新たに土佐商圈を形成した。

○ 旧高知市への一極集中の緩和

全県下から旧高知市への買回品の流出は、平成 17 年調査時をピークに低下（H12：39.4%→H17：39.5%→H22：35.8%）に転じた。これは、旧野市町や旧伊野町など高知市のサテライト的な地域へ商業機能の分散化が進んだこと、高齢化の進展によりお買い物を身近で済ませる人々が増えたことによるものと考えられる。

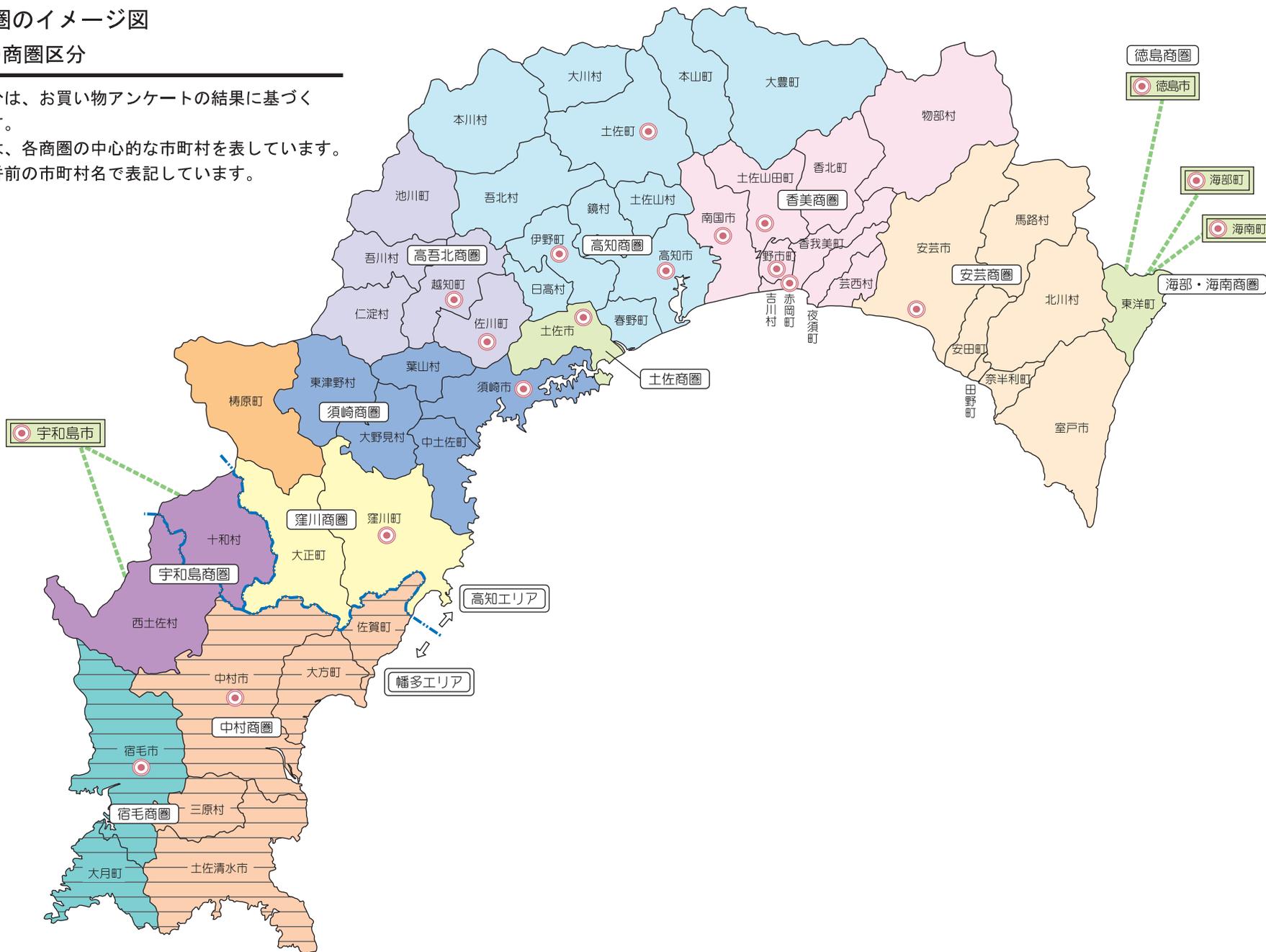
### (3) 商圏のイメージ図

#### 高知県の商圏区分

※商圏区分は、お買い物アンケートの結果に基づく  
ものです。

※  印は、各商圏の中心的な市町村を表しています。

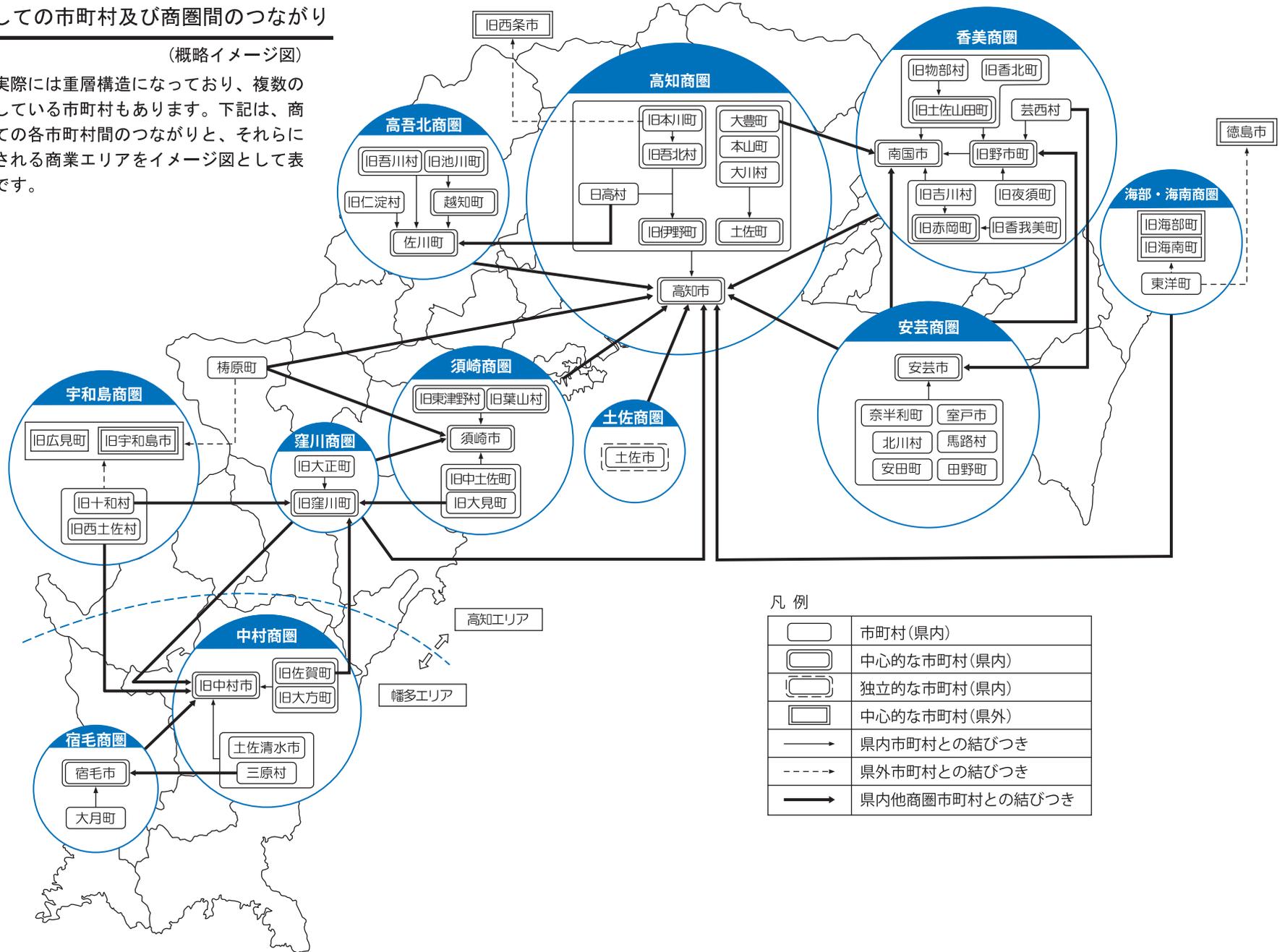
※平成合併前の市町村名で表記しています。



# 商業地としての市町村及び商圈間のつながり

(概略イメージ図)

※商圈は、実際には重層構造になっており、複数の商圈に属している市町村もあります。下記は、商業地としての各市町村間のつながりと、それらにより構成される商業エリアをイメージ図として表したものです。



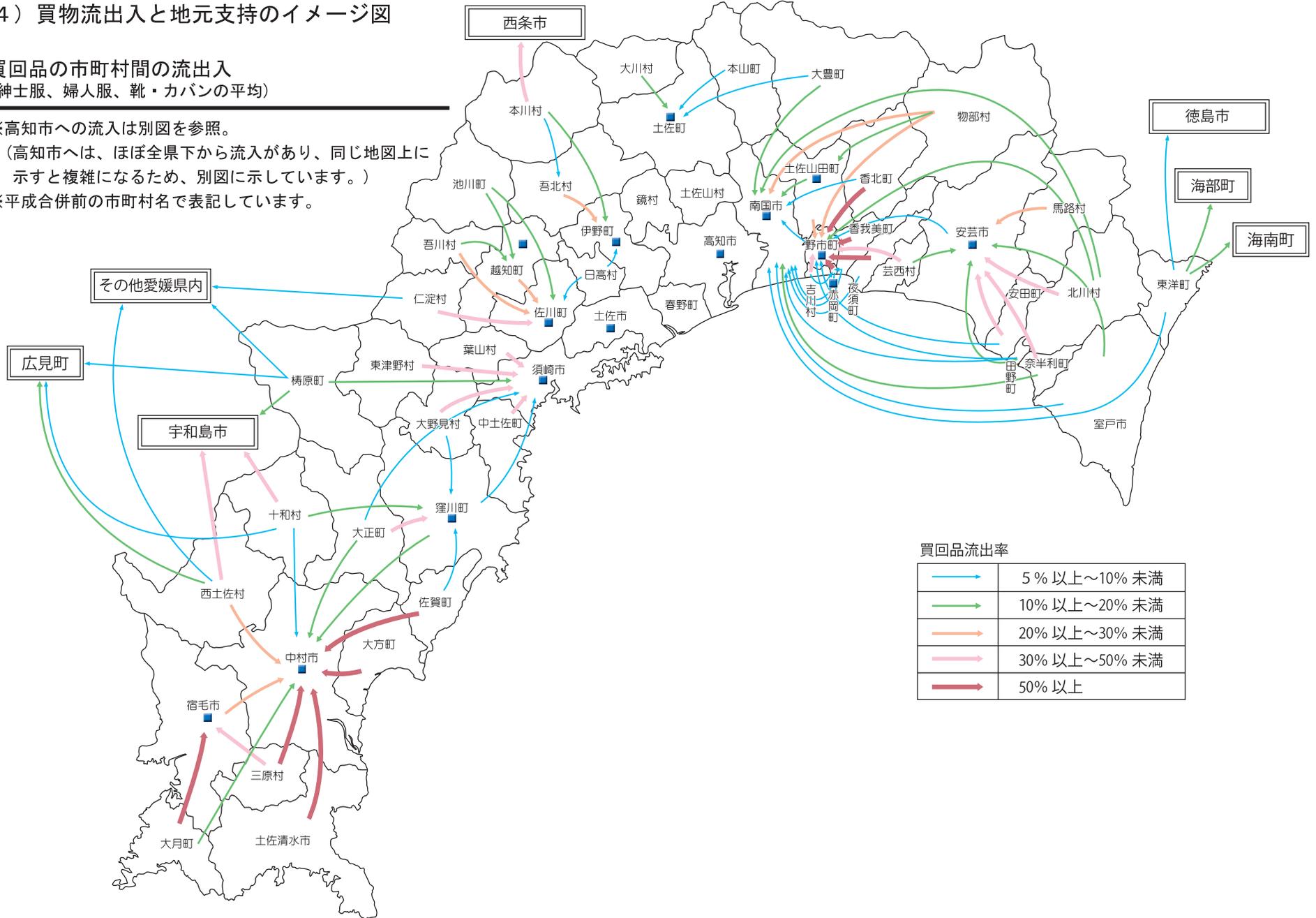
#### (4) 買物流出入と地元支持のイメージ図

##### 買回品の市町村間の流出入 (紳士服、婦人服、靴・カバンの平均)

※高知市への流入は別図を参照。

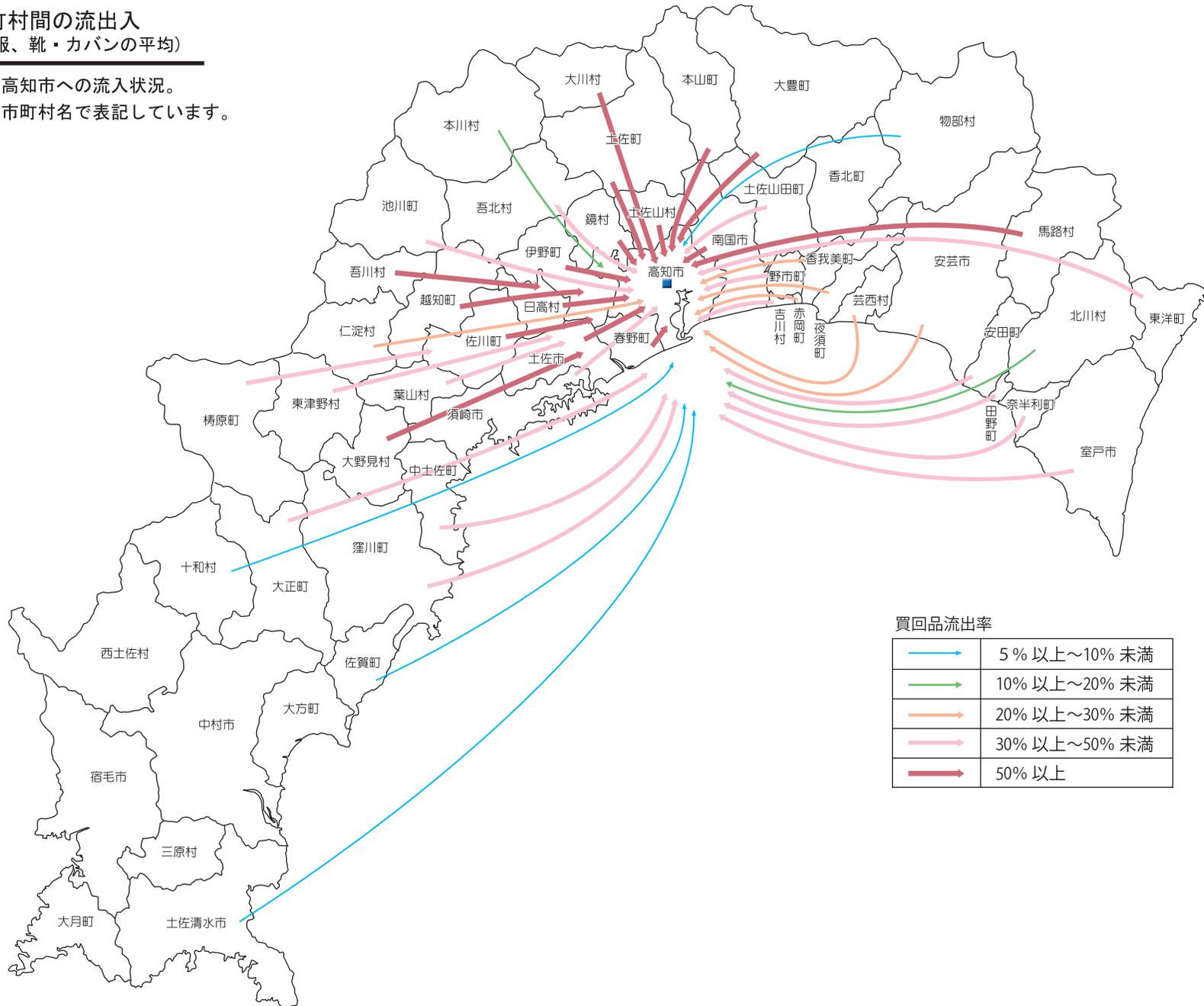
(高知市へは、ほぼ全県下から流入があり、同じ地図上に示すと複雑になるため、別図に示しています。)

※平成合併前の市町村名で表記しています。



**買回品の市町村間の流出入**  
(紳士服、婦人服、靴・カバンの平均)

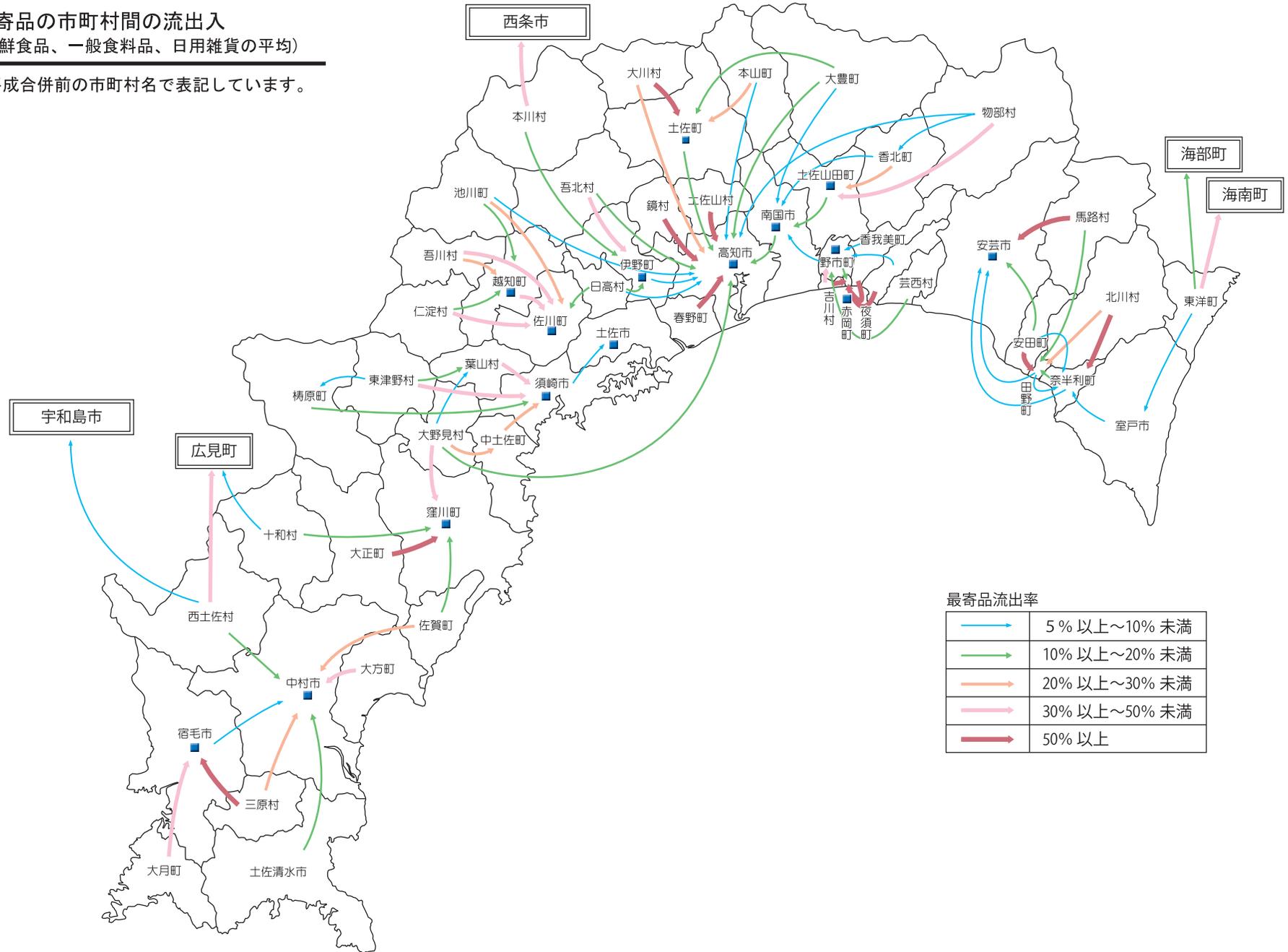
※各市町村から高知市への流入状況。  
※平成合併前の市町村名で表記しています。





**最寄品の市町村間の流出入**  
 (生鮮食品、一般食料品、日用雑貨の平均)

※平成合併前の市町村名で表記しています。



最寄品の高知市内商業地毎の支持率  
 (生鮮食品、一般食料品、日用雑貨の平均)

中心商店街 (帯屋街筋・大丸など)	高知街 北街 南街
菜園場	北街 南街
升形	上街 小高坂
上街	上街 小高坂
宝町・幸町	小高坂
愛宕	江ノ口
新本町・比島	江ノ口
吉田町・一ツ橋	江ノ口 秦
万々	初月 小高坂 旧土佐山村 旭街 上街 北街 旧鏡村
福井・横内	旭街 北街 旧鏡村
旭駅前通り	旭街
旭三丁目 (サティ一付近)	旭街 旧鏡村
曙町・朝倉横町	朝倉
鴨部 (西高校周辺)	鴨田 旧鏡村
土佐道路沿線 (朝倉～鴨部)	朝倉 鴨田 旧鏡村
神田	鴨田
土佐道路沿線 (城山～河野瀬)	旧春野町
棧橋通	南街 潮江 高知街

百石町・竹島町	潮江 高知街 瀬戸・御畳瀬・長浜 旧春野町
知寄町・中宝永町 (電車通り周辺)	下知 南街
一宮	一宮・布師田 北街 下知
薊野	旧土佐山村 江ノ口 秦 一宮・布師田 下知 南街
秦南町 (イオンなど)	秦 旧土佐山村 江ノ口 高知街 初月 小高坂 下知 一宮・布師田
葛島(サニーマート 高須周辺)	高須・介良 大津 下知 五台山・三里 旧鏡村
南国バイパス沿線 (高須～介良)	高須・介良 大津 五台山・三里
大津バイパス周辺	大津 下知
横浜ニュータウン	瀬戸・御畳瀬・長浜 旧春野町 南街
瀬戸	瀬戸・御畳瀬・長浜 旧春野町 南街
長浜	瀬戸・御畳瀬・長浜
仁井田	五台山・三里
南国市	大津 高須・介良
土佐市	旧春野町
旧伊野町	旧鏡村

凡例	支持率
	50%以上～
	30%以上～ 50%未満
	20%以上～ 30%未満
	10%以上～ 20%未満
	5%以上～ 10%未満

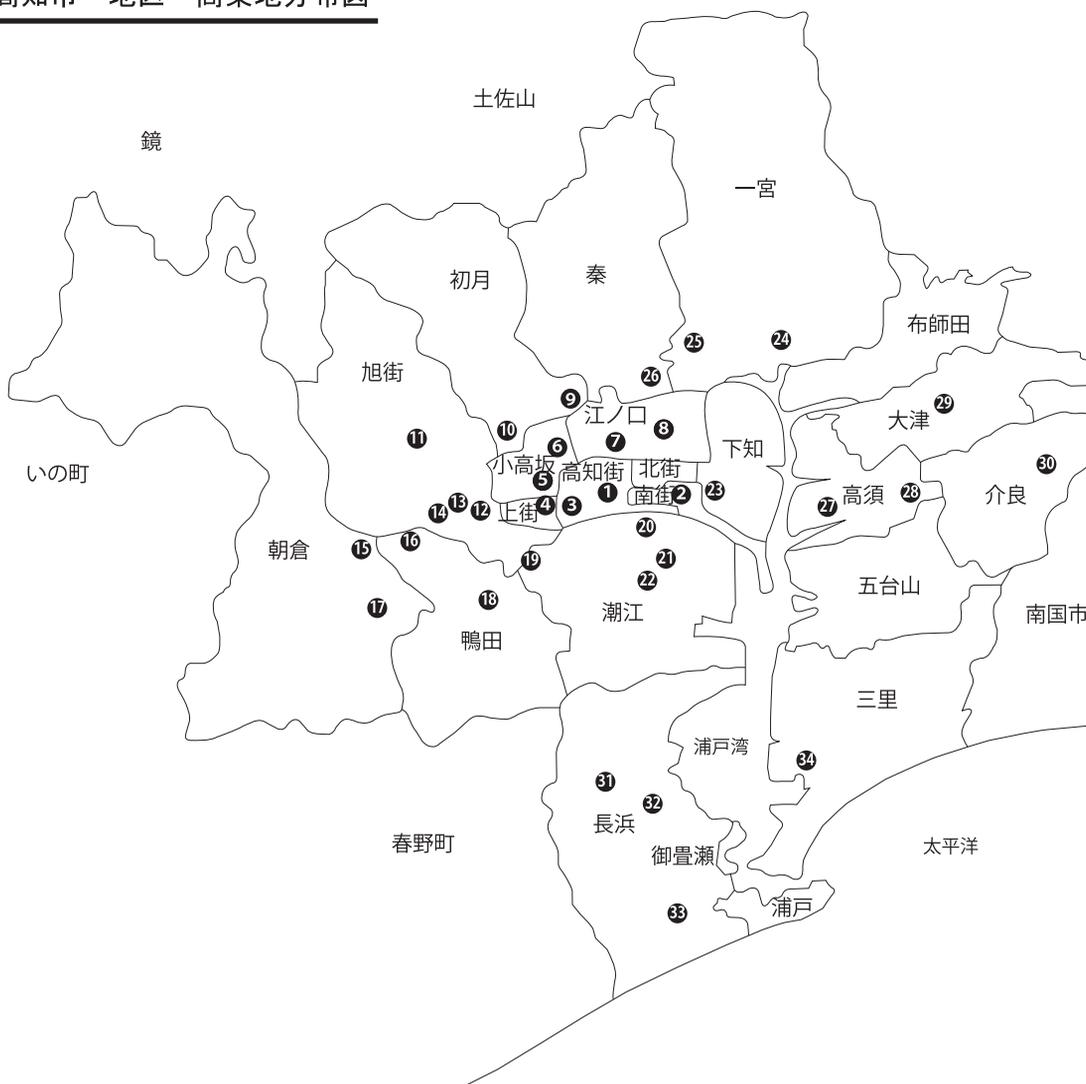
買回品の高知市内商業地毎の支持率  
(紳士服、婦人服、靴・カバンの平均)

中心商店街 (帯屋街筋・大丸など)	上街 高知街 南街 初月 小高坂 江ノ口 北街 下知 潮江 朝倉 秦 五台山・三里 瀬戸・御畳瀬・長浜 大津 旧春野町 旭街 鴨田 一宮・布師田 高須・介良
万々	旧土佐山村 初月
旭三丁目 (サティー付近)	旭街 小高坂 旧鏡村 南街
曙町・朝倉横町	旧鏡村
土佐道路沿線 (朝倉～鴨部)	朝倉 鴨田 旧鏡村 上街 北街 潮江 旧春野町 旭街 小高坂 瀬戸・御畳瀬・長浜
神田	旧土佐山村
土佐道路沿線 (朝倉～鴨部)	上街 旧春野町
一宮	一宮・布師田
薊野	下知 一宮・布師田
秦南町 (イオンなど)	江ノ口 秦 小高坂 高知街 北街 下知 潮江 初月 一宮・布師田 瀬戸・御畳瀬・長浜 大津 旧土佐山村 旭街 上街 南街 鴨田 高須・介良 五台山・三里 旧春野町 朝倉 旧鏡村
南国バイパス沿線 (高須～介良)	高須・介良 大津 五台山・三里 北街

仁井田	五台山・三里
南国市	旧土佐山村 五台山・三里
土佐市	旧春野町
旧伊野町	旧鏡村

凡例	支持率
	50%以上～
	30%以上～ 50%未満
	20%以上～ 30%未満
	10%以上～ 20%未満
	5%以上～ 10%未満

旧高知市 地区・商業地分布図



商業地番号

①	中心商業地(帯屋町筋・大丸など)	⑱	神田
②	菜園場	⑲	土佐道路沿線(城山～河ノ瀬)
③	升形	⑳	梅の辻
④	上町(電車通り周辺)	㉑	棧橋通
⑤	越前町	㉒	百石町・竹島町
⑥	宝町・幸町	㉓	知寄町・中宝永町(電車通り周辺)
⑦	愛宕	㉔	一宮
⑧	新本町・比島	㉕	薊野
⑨	吉田町・一ツ橋町	㉖	秦南町(イオンなど)
⑩	万々	㉗	葛島(サニーマート高須周辺)
⑪	福井・横内	㉘	南国バイパス沿線(高須～介良)
⑫	旭町(電車通り周辺)	㉙	大津バイパス周辺
⑬	旭駅前通り	⑳	介良中野団地
⑭	旭三丁目(サティ付近)	㉑	横浜ニュータウン
⑮	曙町・朝倉横町	㉒	瀬戸
⑯	鴨部(西高校周辺)	㉓	長浜
⑰	土佐道路沿線(朝倉～鴨部)	㉔	仁井田

## (5) 各商圏の概要

### (県内の9商圏)

#### ① 安芸商圏 2市3町2村

注1) 市町村数及び市町村名は、平成の合併前の区分でカウントし、表記している。なお、平成20年1月1日以前に合併した市町村については、市町村名の前に「旧」を付した(以下同様)

注2) 特に説明がない場合は、基本的に平成17年調査結果との比較である(以下同様)

- 中心的市町村：安芸市
- 商圏内市町村：室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村
- 概要

#### 安芸市

安芸商圏の中心的市町村である。商圏内の全ての市町村からの流入があり、その割合は全ての市町村で上昇し、商圏における存在感が高まった。また、香美商圏内の芸西村からも12.4%の流入がある。

地元購買率は、微減傾向(H12:57.4%→H17:55.7%→今回:54.2%)にある。流出は42.7%で、うち29.1%は旧高知市であるが、旧高知市への流出は低下傾向(H12:31.5%→H17:31.8%→今回:29.1%)にある。一方で、旧野市町への流出が9.9%と、この10年で9.2ポイント上昇(H12:0.7%→今回:9.9%)し、その結びつきが強まりつつある。

#### 室戸市

過去の調査では、地元購買率は大幅な低下傾向(H7:68.3%→H12:49.4%→H17:30.8%)にあったが、今回は2.0ポイントの低下(30.8%→28.8%)と下げ止まりの兆しが見られる。流出は、安芸市、旧高知市ともに前回と大きな変化は見られず、それぞれ16%、40%程度で落ち着いている。

#### 奈半利町、田野町、安田町

奈半利町、田野町、安田町の地元購買率は、それぞれ22.6、12.3、13.5ポイント低下し、2.7%、3.3%、5.4%となる。

#### 北川村、馬路村

両村ともに地元購買率は、ゼロである。

北川村からの流出は、旧高知市で12.3ポイント低下(31.5%→19.2%)する一方、安芸市で2.3ポイント(32.3%→34.6%)、旧野市町で3.8ポイント(15.4%→19.2%)、南国市で10.0ポイント(5.4%→15.4%)上昇した。

馬路村からの流出は、安芸市で5.2ポイント(24.4%→29.6%)、旧高知市で9.2ポイント(57.5%→66.7%)上昇した。

#### 芸西村

旧野市町との結びつきを強め、香美商圏へ包含された。

## ② 香美商圏 1市6町3村

- 中心的市町村：旧野市町、南国市、旧土佐山田町、旧赤岡町
- 商圏内市町村：芸西村、旧香北町、旧物部村、旧夜須町、旧香我美町、旧吉川村
- 概要

### 旧野市町

香美商圏の最も中心的市町村。商圏内の全ての市町村から流入があり、その割合は旧物部村を除く全ての市町村で上昇し、商圏における存在感が高まった。また、安芸商圏内からも安芸市、田野町、安田町で5%超、北川村から19.2%の流入がある。

地元購買率は、20.3ポイント低下（74.6%→54.3%）し、その一方で旧高知市への流出が17.7ポイント上昇（18.1%→35.8%）し、旧高知市との結びつきが強まる。

### 南国市

香美商圏の中心的市町村。商圏内の全ての市町村から流入があり、その割合は旧土佐山田町、旧物部村、旧夜須町、旧香我美町、旧赤岡町、旧野市町で上昇した。また、安芸商圏内の室戸市、田野町から5%超、奈半利町、北川村から10%超、県東部の東洋町から5.0%、嶺北商圏内の大豊町からも18.8%の流入がある。

地元購買率は、低下傾向（H7：51.5%→H12：38.9%→H17：36.3%→今回：32.6%）にあり、旧高知市への流出も57%前後（H12：56.9%→H17：57.2%→今回：56.6%）と高い。

### 旧土佐山田町

香美商圏の中心的市町村。旧物部村からの流入が11.4ポイント上昇（7.4%→18.8%）するが、旧香北町からの流入は8.6ポイント低下しゼロとなる。

地元購買率は、低下傾向（H12：26.5%→H17：17.8%→今回：15.0%）にある。

流出は、旧高知市で5.8ポイント低下（49.9%→44.1%）する一方で、旧野市町で6.3ポイント上昇（16.4%→22.7%）し、旧野市町との結びつきが強まりつつある。

### 旧赤岡町

香美商圏の中心的市町村。旧香我美町から5.4ポイント（0.7%→6.1%）、旧吉川村から8.2ポイント（0.0%→8.2%）流入する一方で、地元購買率は11.5ポイント低下（14.2%→2.7%）した。

### 芸西村

前回調査では安芸商圏に位置付けられていたが、旧野市町への流出が14.6ポイント上昇（26.4%→41.0%）し、安芸市への流出12.4%よりも高まったことから、香美商圏を形成する市町村として位置付けた。なお、旧高知市への流出は14.5ポイント低下（42.1%→27.6%）し、旧野市町との結びつきが強い。

### 旧香北町、旧夜須町、旧香我美町、旧吉川村

旧野市町への流出が高く、結びつきが強い。特に旧香北町では、旧野市町への流出が55.7ポイント上昇（17.1%→72.8%）した。また、このうち旧野市町への流出が最も低い旧吉川村でも11.8ポイント上昇し46.9%となる。

### 旧物部村

地元購買率は、前回から 2.0 ポイント上昇し下げ止まる（H12：37.2%→H17：16.8%→今回：18.8%）。流出は、旧高知市で 27.5 ポイント低下（35.8%→8.3%）した一方で、南国市で 10.3 ポイント（12.6%→22.9%）、旧土佐山田町で 11.4 ポイント（7.4%→18.8%）上昇し、両市町との結びつきが強まった。なお、旧野市町への流出は 25%程度（25.3%→25.0%）で安定している。

### ③ 高知商圏 1市5町6村

- 中心的市町村：旧高知市、土佐町、旧伊野町
- 商圏内市町村：旧春野町、旧鏡村、旧土佐山村、本山町、大豊町、大川村、旧吾北村、旧本川村、日高村
- 概要

狭義の高知商圏。基本的には、旧高知市への流出率が 60%以上の市町村を高知商圏に含むこととする。

#### 旧高知市

高知市では、秦南町（イオンなど）での出向率が 5.6 ポイント上昇（26.4%→32.0%）となる一方で、中心商業地（帯屋町筋・大丸など）では 12.7 ポイント低下（36.2%→23.5%）した。

なお、最寄品（生鮮食品、一般食料品、日用雑貨）については、出向先は分散しており、また前回調査に比べ全ての商業地で出向率の変化は 3.6%～▲2.6%以内にある。

#### 土佐町

旧嶺北商圏の中心的市町村。本山町、大豊町から 5%超の流入があり、大川村からは 11.1%の流入がある。

地元購買率は、8.2 ポイント上昇（25.1%→33.3%）し、旧高知市への流出は 7.3 ポイント低下（65.0%→57.7%）した。

#### 旧伊野町

高知商圏の中心的市町村。旧吾北村から 23.3%、旧本川村から 18.2%、日高村から 8.2%の流入がある。また、仁淀川商圏内の越知町、佐川町、旧仁淀村、嶺北商圏内の土佐町からも 5%未満ではあるが流入する。

地元購買率は、上昇傾向（H12:16.4%→H17:17.3%→今回:19.8%）にある。

旧高知市への流出は、若干ではあるが低下傾向（H12:78.5%→H17:76.7%→今回:74.7%）にある。

#### 本山町、大豊町、大川村

本山町では、地元購買率が 10.3 ポイント低下（24.1%→13.8%）する一方で、土佐町への流出が 8.7 ポイント上昇（0.5%→9.2%）した。なお、旧高知市への流出は 1.0 ポイントと微増（65.1%→66.1%）である。

大豊町では、地元購買率が 3.9 ポイント低下（10.8%→6.9%）した。流出は、旧高知市で 14.5 ポイント低下（69.0%→54.5%）した一方で、土佐町で 8.5 ポイント（0.4%→8.9%）、南国市で 11.0 ポイント（7.8%→18.8%）上昇した。

大川村の地元購買率は、ゼロである。流出は、土佐町で 16.8 ポイント低下 (27.9%→11.1%) した一方で、旧高知市で 37.7 ポイント上昇 (51.2%→88.9%) しており、旧高知市との結びつきが極めて強い。

#### 旧吾北村、旧本川村、日高村

旧吾北村の地元購買率は、4.5 ポイント上昇 (8.8%→13.3%) した。流出は、旧伊野町で 17.4 ポイント上昇 (5.9%→23.3%) した一方で、旧高知市で 34.1 ポイント低下 (80.8%→46.7%) し、地元及び旧伊野町との結びつきが強まった。

旧本川村の地元購買率は、17.3 ポイント上昇 (0.9%→18.2%) した。流出 81.8%のうち、その他の地域 36.4%が最も高い値となる。これは旧本川村が県境に近い中山間地域であり、買回品の買い物における旧西条市を代表する愛媛県への流出分と考えられる。高知県内の市町村への流出は、旧高知市では 39.5 ポイント低下 (57.7%→18.2%) した一方で、旧伊野町で 16.4 ポイント上昇 (1.8%→18.2%) し、地元及び旧伊野町との結びつきが強まった。

日高村の地元購買率は、4.2 ポイント上昇 (4.9%→9.1%) した。流出は、旧伊野町で 1.5 ポイント上昇 (6.7%→8.2%) した一方で、旧高知市で 5.5 ポイント低下 (78.2%→72.7%) し、地元及び旧伊野町との結びつきが強まりつつある。

なお、土佐町、大豊町、旧吾北村、旧本川村からの旧高知市への流出は 60%未満であるが、嶺北地域から旧高知市への流出が 60%超であること、旧吾北村、旧本川村が結びつきを強める旧伊野町からは旧高知市へ 75%程度の流出があることから、これら町村は高知商圈を形成する市町村として位置付けた。

#### ④ 土佐商圈 1市

- 独立的市町村：土佐市（商圈内市町村も同じ）
- 概要

前回調査では、狭義の高知商圈に位置付けられていたが、地元購買率が 4.1 ポイント上昇 (35.9%→40.0%) し、独立的市町村の前提条件である 40.0%に達したこと、他市町村から 5%超の流入がないことから、独立的市町村と位置付けた。なお、旧高知市への流出は、前回調査に比べ 4.1 ポイント低下 (59.3%→55.2%) した。

#### ⑤ 高吾北商圈 3町2村

- 中心的市町村：佐川町、越知町
- 商圈内市町村：旧吾川村、旧池川町、旧仁淀村
- 概要

##### 佐川町

高吾北商圈の最も中心的市町村。商圈内の全ての町村から流入があり、その割合は全ての町村で上昇し、商圈における存在感が高まった。また、高知商圈内の日高村からも 7.3%の流入がある。

地元購買率は、低下傾向 (H12:44.2%→H17:41.8%→今回:34.7%) にあり、旧高

知市への流出は上昇の兆し（H12: 52.1%→H17: 51.8%→今回:56.4%）が見られる。

#### 越知町

高吾北商圈の中心的市町村。旧吾川村、旧池川町から 13～16%程度の流入がある。

地元購買率は、急速に低下（H12:47.7%→H17:28.1%→今回:18.3%）する。

流出は、佐川町で 5.6 ポイント上昇（15.0%→20.6%）、旧伊野町で 3.0 ポイント上昇（0.4%→3.4%）した。なお、旧高知市への流出は 50%程度で落ち着きつつある（H12: 39.9%→H17:52.1%→今回:52.0%）。

#### 旧池川町

地元購買率は、低下傾向（H12 : 30.7%→H17:26.1%→今回 : 15.8%）にある。

流出は、旧高知市で平成 17 年をピークに低下（H12:37.1%→H17:47.8%→今回:42.1%）に転じた一方で、越知町で 13.2 ポイント（2.6%→15.8%）、佐川町で 10.6 ポイント（5.2%→15.8%）上昇し、商圈内での結びつきが強まった。

#### 旧吾川村

地元購買率は、6.8 ポイント低下（8.7%→1.9%）した。

流出は、越知町で 7.9 ポイント（5.1%→13.0%）、佐川町で 4.2 ポイント（21.7%→25.9%）上昇し、その結びつきが強まった。なお、旧高知市への流出は 50%程度（H12:51.3%→H17:52.9%→今回:50.0%）で落ち着いている。

#### 旧仁淀村

地元購買率は、20%強（H12:22.5%→H17:21.5%→今回:22.2%）で安定している。

流出は、旧高知市で平成 17 年をピークに低下（H12:29.0%→H17:47.4%→今回:25.0%）に転じた一方で、佐川町は 9.9 ポイント上昇（20.7%→30.6%）しており、佐川町との結びつきが強まった。

### ⑥ 須崎商圈 1市1町3村

- 中心的市町村：須崎市
- 商圈内市町村：旧葉山村、旧東津野村、旧中土佐町、旧大野見村
- 概要

#### 須崎市

須崎商圈の中心的市町村。商圈内の全ての市町村からの流入があるが、その割合は旧東津野村、旧大野見村で上昇し、旧葉山村、旧中土佐町で低下した。また、梶原町からは 18.2%、窪川商圈内の旧窪川町、旧大正町からも 5%超の流入がある。

地元購買率は、平成 17 年迄は急速な低下傾向（H7:83.6%→H12:62.7%→H17:53.7%）にあったが、今回は 0.2 ポイント上昇（53.7%→53.9%）し下げ止まる。一方で、旧高知市への流出は、平成 17 年をピークに低下（H7:10.6%→H12:33.7%→H17:43.4%→今回:40.4%）に転じた。

#### 旧葉山村、旧東津野村

旧葉山村の地元購買率は、4.8%となる。流出は、須崎市で 21.1 ポイント低下（59.2%→38.1%）する一方で、旧高知市で 15.4 ポイント上昇（33.8%→49.2%）

した。

旧東津野村の地元購買率は、3.1ポイント低下しゼロとなる。流出は、須崎市 42.2%、旧高知市 44.4%となる。

#### 旧中土佐町、旧大野見村

旧中土佐町の地元購買率は、前回から 1.5ポイント上昇(H12:28.8%→H17:15.3%→今回:16.8%)し下げ止まる。流出は、須崎市で 4.2ポイント低下(50.7%→46.5%)する一方で、旧高知市で 6.4ポイント上昇(29.2%→35.6%)した。

旧大野見村の地元購買率は、3.3%となる。流出は、旧高知市 56.7%、須崎市 33.3%、旧窪川町で 6.7%となる。

### ⑦ 窪川商圏 2町

- 中心的市町村：旧窪川町
- 商圏内市町村：旧大正町
- 概要

#### 旧窪川町

窪川商圏の中心的市町村。商圏を構成する旧大正町からの流入が 23.5ポイント上昇(10.7%→34.2%)した。また、須崎商圏内の旧大野見村から 6.7%、宇和島商圏内の旧十和村から 13.5%、中村商圏内の旧佐賀町から 5.8%の流入がある。

地元購買率は、今回 18.9ポイント上昇(H12:60.9%→H17:27.7%→今回:46.6%)し、その一方で旧高知市への流出が 19.8ポイント低下(53.9%→34.1%)した。なお、旧中村市への流出は 3.5ポイント上昇(6.6%→10.1%)した。

#### 旧大正町

地元購買率は、低下傾向(H12:19.5%→H17:15.6%→今回:9.2%)にある。流出は、旧高知市で 7.5ポイント(44.3%→36.8%)、旧中村市で 8.4ポイント(18.9%→10.5%)低下した一方で、旧窪川町で 23.5ポイント上昇(10.7%→34.2%)し、旧窪川町との結びつきが強まった。

### ⑧ 中村商圏 2市2町1村

- 中心的市町村：旧中村市
- 商圏内市町村：土佐清水市、旧大方町、旧佐賀町、三原村
- 概要

#### 旧中村市

中村商圏の中心的市町村。商圏内の全ての市町村からの流入があり、その割合は全ての市町村で上昇し、商圏における存在感が高まった。また、窪川商圏内の旧窪川町、旧大正町からは 10%超、宿毛商圏内の宿毛市(28.5%)、大月町(19.5%)、宇和島商圏内の旧西土佐村(27.8%)、旧十和村(6.8%)からも流入がある。

地元購買率は、3.1ポイント上昇(81.7%→84.8%)し、8割半ばを維持する。

#### 土佐清水市

地元購買率は、低下傾向（H7:71.8%→H12:41.0%→H17:31.5%→今回:26.5%）にある。一方で、旧中村市への流出は上昇し、59.1%に達する。

#### 旧大方町、旧佐賀町

旧大方町の地元購買率は、1.2ポイント低下（8.1%→6.9%）する。一方で、旧中村市への流出は4.0ポイント上昇（80.1%→84.1%）し、結びつきが更に強まった。なお、旧高知市への流出は5.1ポイント低下（9.0%→3.9%）した。

旧佐賀町の家元購買率は、1.9ポイント低下（8.5%→6.6%）した。流出は、旧中村市で1.1ポイント（72.5%→73.6%）、旧窪川町で4.5ポイント（1.3%→5.8%）上昇し、その一方で旧高知市では10.7ポイント低下（15.7%→5.0%）した。

#### 三原村

地元購買率は、3.8ポイント低下（6.5%→2.7%）した。流出は、旧中村市で5.5ポイント（54.0%→59.5%）、宿毛市で5.8ポイント（26.6%→32.4%）上昇した。

### ⑨ 宿毛商圏 1市1町

- 中心的市町村：宿毛市
- 商圏内市町村：大月町
- 概要

#### 宿毛市

宿毛商圏の中心的市町村。商圏を形成する大月町からの流入は6.5ポイント上昇（61.0%→67.5%）し、その結びつきが強まった。また、中村商圏内の三原村から32.4%の流入がある。

地元購買率は、低下傾向（H7:89.1%→H12:77.8%→H17:63.5%→今回:59.6%）にあり、その一方で旧中村市への流出は上昇する（H12:11.9%→H17:21.7%→今回:28.5%）。

#### 大月町

地元購買率は、2.8ポイント低下（3.6%→0.8%）した。

流出は、宿毛市で6.5ポイント（61.0%→67.5%）、旧中村市で2.2ポイント（17.3%→19.5%）上昇し、その一方で旧高知市は7.5ポイント低下（11.6%→4.1%）した。

### ⑩ その他明確な商圏に属さない市町村 1町（梶原町）

梶原町の地元購買率は、12.1%となる。流出は、須崎市18.2%、旧高知市33.3%、愛媛県3割超（旧宇和島市18.2%、旧広見町6.1%、その他愛媛県内7.6%）となり、買い物先が分散している。

(県外の3 商圏)

① 海部・海南商圏

- 中心的市町村：旧海部町、旧海南町
- 商圏内市町村：東洋町

② 徳島商圏

- 中心的市町村：徳島市
- 商圏内市町村：東洋町
- 概要

東洋町は、徳島県南西部（旧海部町、旧海南町など）を中心とした生活圏の中に含まれ、買い物行動から見ても、海部・海南商圏に包含（流出率 25.0%）されている。海部・海南商圏は大きくは徳島市を中心とする徳島商圏に包含されており、東洋町から徳島市への流出（8.3%）も見られる。

③ 宇和島商圏

- 中心的市町村：旧宇和島市
- 商圏内市町村：旧十和村、旧西土佐村
- 概要

旧十和村

地元購買率は、5.2 ポイント上昇（15.1%→20.3%）した。

流出は、旧窪川町で 6.3 ポイント（19.8%→13.5%）、旧高知市で 22.1 ポイント（30.2%→8.1%）低下した。一方で旧宇和島は 17.9 ポイント（15.9%→33.8%）、旧広見町は 5.7 ポイント（2.4%→8.1%）上昇しており、愛媛県との結びつきが強まった。

旧西土佐村

地元購買率は、4.8 ポイント低下（6.1%→1.3%）した。

流出は、旧宇和島市は 3.1 ポイント上昇（41.2%→44.3%）し、旧宇和島市、旧広見町、その他愛媛県内を含めた愛媛県への流出は 60.8%に達する。なお、旧中村市への流出も 6.9 ポイント上昇（20.9%→27.8%）し、その結びつきも強い。

表 3.1 (参考) 平成 22 年国勢調査人口速報集計 (総務省統計局)

区 分	人 口	世帯数
高知県	764,596	321,671
高知市	343,416	150,816
室戸市	15,210	6,996
安芸市	19,550	8,112
南国市	49,497	19,381
土佐市	28,698	10,452
須崎市	24,714	9,321
宿毛市	22,614	9,202
土佐清水市	16,024	7,212
四万十市	35,941	14,864
香南市	33,836	12,842
香美市	28,772	12,208
東洋町	2,947	1,461
奈半利町	3,540	1,480
田野町	2,931	1,214
安田町	2,969	1,203
北川村	1,367	598
馬路村	1,014	450
芸西村	4,048	1,490
本山町	4,109	1,760
大豊町	4,720	2,312
土佐町	4,353	1,799
大川村	411	213
いの町	25,072	9,775
仁淀川町	6,502	3,088
中土佐町	7,592	3,119
佐川町	13,958	5,339
越知町	6,374	2,642
禰原町	3,986	1,768
日高村	5,452	2,064
津野町	6,410	2,405
四万十町	18,734	7,755
大月町	5,784	2,573
三原村	1,681	745
黒潮町	12,370	5,012

注)1 平成 22 年国勢調査人口速報集計では、合併前市町村区分のデータが掲載されていないため、ここでは参考として、平成 23 年 2 月現在の市町村区分の人口と世帯数を掲載した。

## 4章 消費者行動・消費者意識

### (1) 買い物全般について

#### ① 日頃の買い物で不便を感じるか (1つ選択)

##### ・ 回答者全体

日頃の買い物で不便を感じるかについては、【不便だ】(「不便だ」+「どちらかといえば不便だ」)が35.8%、【不便でない】(「どちらかといえば不便でない」+「不便でない」)が64.2%で、【不便でない】が28.4ポイント高い。

##### ・ 年代別

【不便だ】は80代以上が45.6%と最も高く、年代が下がるにつれて低下し、60代の30.0%で底となる。その後は、上昇傾向となり、20代で43.3%となる。

##### ・ 性別

性別で明瞭な違いは見られない。

##### ・ 地域別

【不便だ】は、安芸広域圏が49.3%と最も高く、次いで仁淀川流域が47.7%、香美圏域が44.5%と続く。なお、最も高い安芸広域圏は49.3%、最も低い高知市は23.9%と、両者の間には25.4ポイントの違いがあるなど、地域によって明瞭な違いがある。

表 4.1 日頃の買い物で不便を感じるか

(単位:人)

区分		合計	不便だ	不どちらかといえ	不どちらかといえ	不便でない
			だ	ば	ば	い
全 体		5,891	16.6%	19.2%	18.9%	45.3%
年 代 別	20代	425	19.8%	23.5%	17.6%	39.1%
	30代	732	17.2%	19.3%	18.0%	45.5%
	40代	809	15.6%	22.0%	18.7%	43.8%
	50代	1,113	12.1%	19.1%	18.2%	50.5%
	60代	1,279	13.4%	16.6%	19.4%	50.6%
	70代	969	18.7%	19.1%	19.4%	42.8%
	80代以上	553	27.5%	18.1%	21.0%	33.5%
性 別	男	2,491	16.3%	19.3%	20.3%	44.1%
	女	3,336	16.6%	19.2%	17.9%	46.4%
地 域 別	高知市	1,819	10.7%	13.2%	18.3%	57.7%
	高知中央域	483	13.3%	15.3%	16.1%	55.3%
	安芸広域圏	584	22.1%	27.2%	28.6%	22.1%
	香美圏域	1,038	22.9%	21.6%	19.9%	35.5%
	高岡地域	567	16.6%	23.1%	17.1%	43.2%
	仁淀川流域	302	20.2%	27.5%	14.9%	37.4%
	幡多地域	945	16.9%	21.2%	17.1%	44.8%
	嶺北地域	153	23.5%	13.1%	16.3%	47.1%

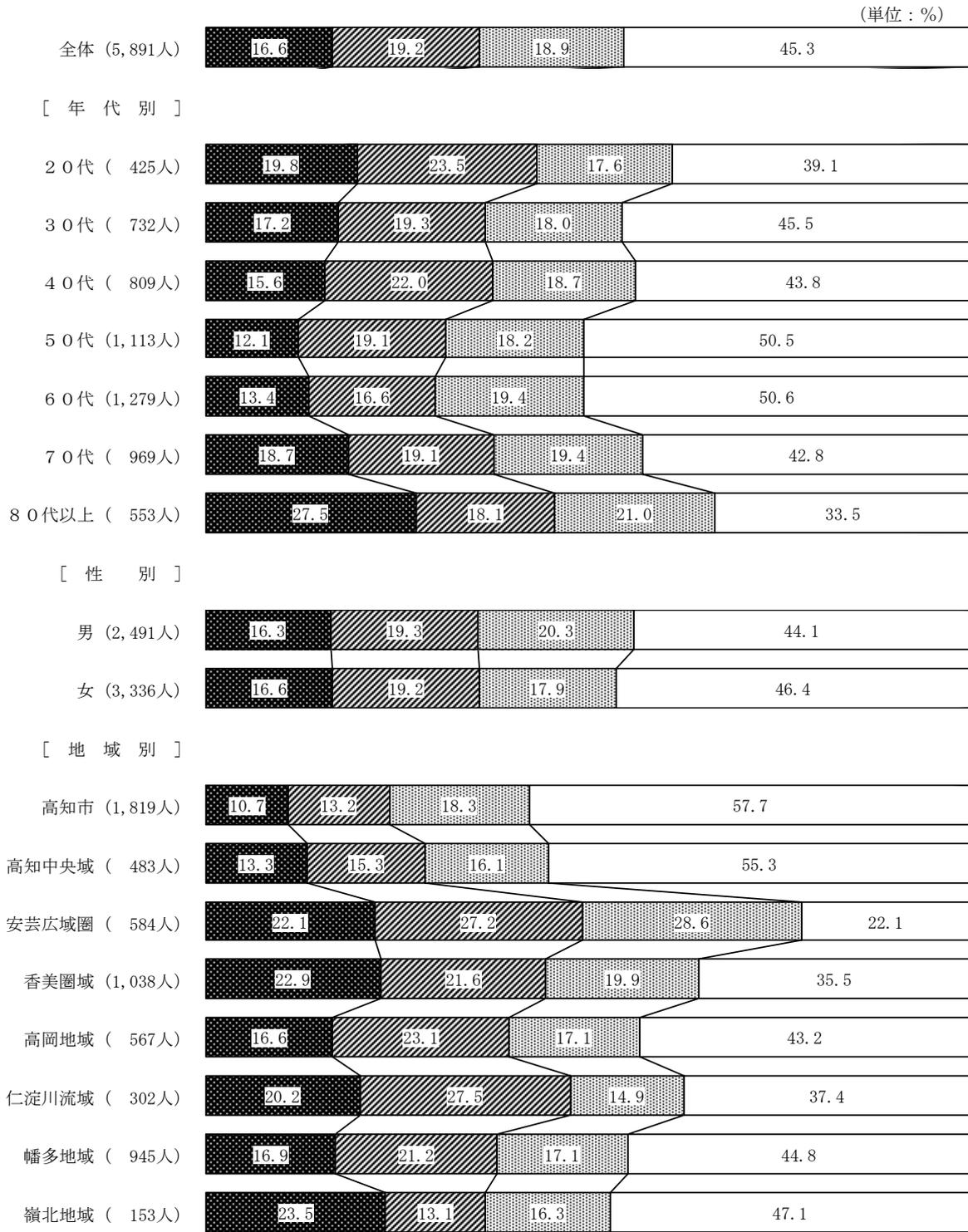


図 4.1 日頃の買い物で不便を感じるか

② どんな交通手段を利用して買い物に行くことが多いか (3つまで選択)

・ 回答者全体

どんな交通手段を利用して買い物に行くことが多いかについては、「自家用車」が79.0%と最も高く、次いで「自転車」が26.0%、「徒歩」が25.3%で続く。

・ 年代別

全ての年代で「自家用車」が最も高いが、30代をピークに年代が上がるにつれて低下する。70代以上では「徒歩」が高い。また、80代以上では、「その他」「バス」「タクシー」が、その他の年代に比べて高い。

・ 性別

男女ともに、「自家用車」が最も高い。なお、男性は女性よりも「自家用車」が、女性は男性よりも「徒歩」が高い。

・ 地域別

全ての地域で「自家用車」が最も高いが、最も高い幡多地域は85.2%、最も低い高知市は73.3%と、11.9ポイントの開きがあるなど、地域によってばらつきがある。

第二位について見ると、高知市、高知中央域、安芸広域圏、香美圏域では「自転車」、高岡地域、仁淀川流域、幡多地域、嶺北地域では「徒歩」となる。

なお、高知市では、その他の地域と比べて「自転車」「徒歩」「バイク」が高い。

表 4.2 どんな交通手段を利用して買い物に行くことが多いか

(単位:人)

区分	合計	自家用車	自転車	徒歩	バイク	バス	その他	タクシー	電車・汽車	
全体	5,897	79.0%	26.0%	25.3%	7.7%	4.3%	2.6%	2.4%	2.0%	
年代別	20代	425	84.9%	30.6%	22.6%	12.2%	2.6%	1.4%	0.9%	4.7%
	30代	735	92.2%	24.6%	22.9%	7.2%	1.0%	0.4%	0.4%	0.7%
	40代	809	91.2%	28.6%	23.0%	4.9%	2.3%	0.7%	0.9%	0.7%
	50代	1,115	86.5%	24.8%	20.7%	8.8%	2.2%	1.2%	0.5%	1.3%
	60代	1,287	78.2%	27.7%	24.8%	9.4%	4.6%	1.6%	1.4%	2.2%
	70代	970	64.6%	26.2%	30.6%	7.3%	7.4%	4.4%	4.6%	3.3%
	80代以上	545	50.8%	18.7%	35.4%	3.7%	10.8%	11.9%	10.8%	2.2%
性別	男	2,496	84.1%	26.0%	23.0%	8.9%	3.0%	2.1%	1.4%	1.4%
	女	3,337	75.5%	26.1%	27.0%	6.8%	5.1%	3.0%	3.2%	2.5%
地域別	高知市	1,822	73.3%	40.3%	38.0%	11.3%	4.9%	1.6%	3.1%	2.8%
	高知中央域	483	78.3%	26.9%	25.5%	7.7%	5.0%	1.2%	2.3%	2.1%
	安芸広域圏	584	77.1%	21.6%	17.8%	7.4%	2.6%	2.7%	1.9%	1.7%
	香美圏域	1,044	83.8%	21.2%	20.1%	7.9%	5.1%	1.3%	2.8%	2.3%
	高岡地域	568	78.2%	18.8%	19.4%	5.6%	2.5%	6.0%	1.8%	1.2%
	仁淀川流域	298	82.2%	16.8%	20.1%	5.0%	5.0%	4.0%	3.4%	1.7%
	幡多地域	946	85.2%	16.2%	16.6%	3.8%	3.7%	3.5%	1.1%	1.1%
	嶺北地域	152	82.9%	7.2%	23.7%	3.3%	3.9%	7.9%	3.9%	0.7%

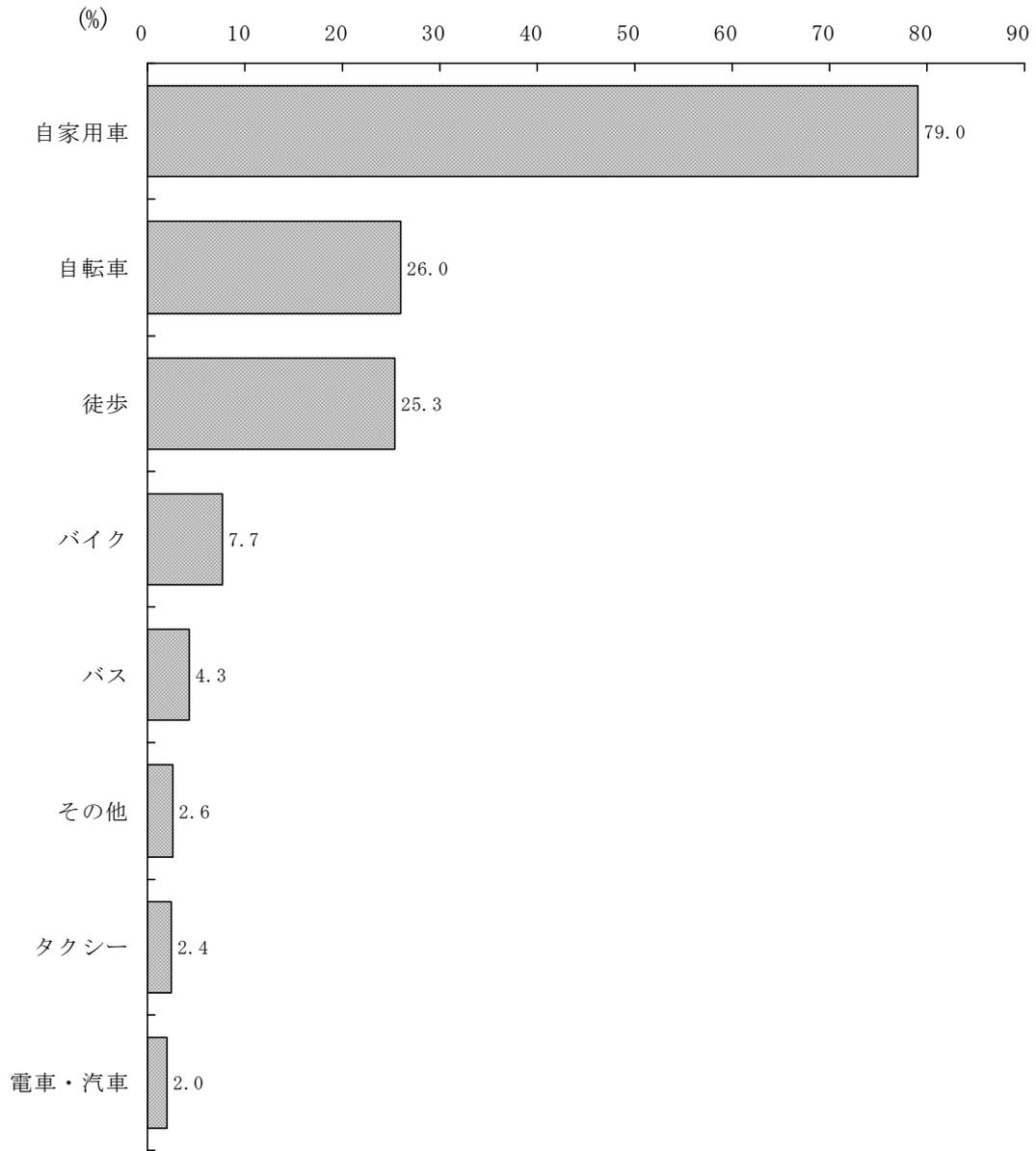


図 4.2 どんな交通手段を利用して買い物に行くことが多いか

・ 高知市

高知市について、どんな交通手段を利用して買い物に行くことが多いかを見ると、「自転車」「徒歩」「バイク」で買い物に行く割合が高く、特に 70 代以上で「徒歩」が高い。また、高知市の 80 代以上では「タクシー」が 17.5% と高い。

表 4.3 どんな交通手段を利用して買い物に行くことが多いか（高知市）

(単位:人)

	計	自家用車	自転車	徒歩	バイク	バス	その他	タクシー	電車・汽車	
高知市全体	1,822	73.3%	40.3%	38.0%	11.3%	4.9%	1.6%	3.1%	2.8%	
高知市	20代	161	75.8%	44.7%	34.2%	14.9%	5.6%	0.0%	1.2%	4.3%
	30代	266	90.2%	43.6%	33.5%	9.0%	1.1%	0.4%	0.8%	1.1%
	40代	283	85.5%	42.0%	34.6%	8.5%	3.2%	0.7%	1.4%	1.1%
	50代	338	77.2%	38.8%	33.7%	13.9%	3.6%	1.5%	0.3%	2.7%
	60代	392	68.9%	43.4%	40.6%	14.5%	5.6%	1.0%	1.8%	3.3%
	70代	252	57.5%	36.1%	43.7%	9.1%	7.5%	3.2%	7.1%	4.0%
	80代以上	126	42.9%	27.8%	53.2%	4.8%	11.9%	7.1%	17.5%	4.8%
	無回答	4	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

③ 買い物の際、どのような点を重視して店を選ぶか (3つまで選択)

・ 回答者全体

買い物の際、どのような点を重視して店を選ぶかは、「車で行きやすい」が38.7%と最も高く、次いで「近い」が35.2%、「なじみ・行きつけ」が34.5%で続く。

・ 年代別

上位三位について見ると、20代は「価格が安い」「車で行きやすい」「品揃えが良い」、30代、40代は「車で行きやすい」「価格が安い」「近い」、50代は「車で行きやすい」「近い」「商品の品質・鮮度が良い」、60代は「車で行きやすい」「なじみ・行きつけ」「近い・商品の品質鮮度が良い」、70代以上では、「なじみ・行きつけ」「近い」「一度で買い物が済む」となり、年代によって重視することが異なる。

・ 性別

男女ともに上位から、「車で行きやすい」「近い」「なじみ・行きつけ」と続く。

・ 地域別

上位三位について見ると、高知市は「近い」「車で行きやすい」「商品の品質・鮮度が良い」、高知中央域、香美圏域は「車で行きやすい」「近い」「なじみ・行きつけ」、安芸広域圏、仁淀川流域は「車で行きやすい」「なじみ・行きつけ」「一度で買い物が済む」、高岡地域、嶺北地域では「なじみ・行きつけ」「車で行きやすい」「近い」、幡多地域では「なじみ・行きつけ」「車で行きやすい」「価格が安い」となり、地域によって重視することが異なる。

表 4.4 どのような点を重視して店を選ぶか

(単位:人)

区 分	合計	車で行きやすい	近い	なじみ・行きつけ	価格が安い	一度で買い物が済む	商品の品質・鮮度が良い	品揃えが良い	ポイントカード・ス	遅くまで営業している	店員の対応の感じが良い	店がきれい・雰囲気	特売・バーゲン	チラシ・ダイレクト	商品のセンス・デザ	その他	
全 体	5,805	38.7%	35.2%	34.5%	29.5%	29.3%	27.1%	21.8%	16.4%	7.2%	7.0%	6.7%	6.1%	4.0%	2.3%	1.2%	
年 代 別	20代	418	34.2%	32.3%	27.0%	47.1%	18.4%	20.6%	33.3%	13.9%	11.5%	9.3%	10.5%	6.2%	1.9%	12.2%	0.5%
	30代	728	40.9%	37.1%	30.2%	38.9%	22.1%	23.9%	23.6%	15.9%	12.0%	7.1%	8.2%	6.7%	4.8%	3.4%	1.0%
	40代	800	43.4%	32.5%	29.4%	36.1%	23.9%	28.3%	27.8%	16.8%	10.4%	9.0%	8.6%	8.1%	4.9%	1.9%	0.8%
	50代	1,107	42.9%	33.0%	30.4%	31.4%	29.3%	32.9%	20.9%	18.4%	8.9%	7.5%	5.4%	6.8%	5.1%	1.6%	0.8%
	60代	1,277	38.8%	34.1%	35.7%	23.9%	33.0%	34.1%	20.1%	19.1%	4.8%	6.6%	6.7%	5.7%	3.3%	1.2%	0.5%
	70代	943	35.6%	38.0%	41.8%	21.6%	36.2%	21.1%	17.4%	16.3%	2.9%	5.7%	5.9%	5.5%	2.9%	0.7%	1.7%
性 別	80代以上	521	27.8%	41.3%	46.6%	16.5%	34.9%	16.1%	15.4%	7.7%	2.5%	4.4%	3.1%	3.1%	4.4%	0.6%	4.4%
	男	2,457	42.9%	35.3%	34.8%	31.9%	27.8%	22.8%	23.6%	11.5%	8.1%	7.5%	6.6%	4.5%	3.2%	1.9%	1.1%
	女	3,285	35.6%	35.1%	34.0%	28.0%	30.6%	30.2%	20.8%	6.6%	6.7%	6.8%	7.4%	4.5%	2.7%	1.3%	
地 域 別	高知市	1,794	36.2%	44.1%	27.0%	32.2%	26.1%	32.6%	21.8%	14.5%	8.6%	8.0%	8.8%	5.9%	4.2%	2.7%	1.1%
	高知中央域	477	37.3%	35.8%	32.9%	27.9%	27.0%	20.5%	20.3%	11.1%	5.2%	6.1%	4.8%	4.8%	4.0%	2.1%	1.5%
	安芸広域圏	576	32.8%	29.0%	32.1%	27.3%	29.7%	17.4%	20.8%	20.7%	8.9%	5.9%	3.3%	6.1%	5.9%	3.3%	1.7%
	香美圏域	1,029	42.7%	33.8%	33.7%	29.0%	31.9%	30.5%	25.5%	19.7%	6.6%	7.3%	7.4%	5.0%	4.2%	2.0%	0.3%
	高岡地域	555	39.6%	31.0%	44.0%	27.9%	30.5%	22.9%	20.5%	14.6%	5.9%	7.2%	7.6%	6.8%	3.4%	3.1%	2.3%
	仁淀川流域	289	43.9%	28.7%	39.8%	22.8%	36.0%	26.0%	20.1%	24.6%	6.2%	6.9%	9.0%	6.9%	5.5%	1.0%	1.4%
	幡多地域	933	38.4%	28.7%	40.5%	31.7%	31.1%	27.2%	20.0%	16.2%	6.9%	6.1%	4.7%	8.4%	2.5%	1.6%	0.8%
嶺北地域	152	55.9%	28.3%	59.9%	20.4%	27.6%	13.2%	25.7%	9.2%	3.3%	5.3%	2.0%	3.9%	0.7%	0.0%	3.9%	

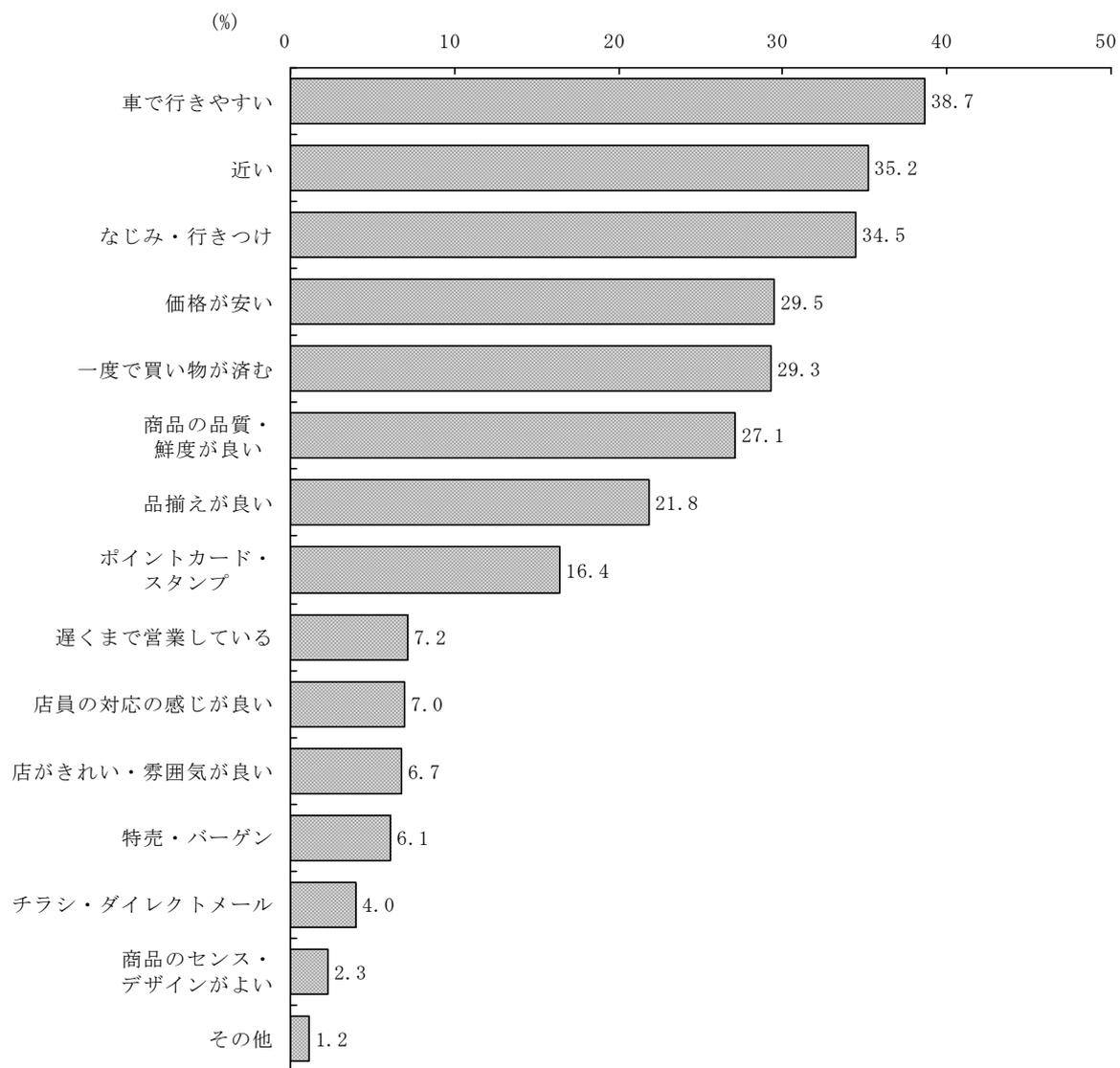


図 4.3 どのような点を重視して店を選ぶか

・ 高知市

高知市について、買い物の際にどのような点を重視して店を選ぶかを見ると、40代以上では「近い」が最も高く、その割合は年代が上がるにつれて上昇し、70代以上では50.8%となる。なお、70代以上では「一度で買い物が済む」を挙げる割合も高い。

表 4.5 どのような点を重視して店を選ぶか（高知市）

(単位:人)

	合計	近い	車で 行きやすい	良 商品 の 品質 ・ 鮮 度 が	価 格 が 安 い	な じ み ・ 行 き つ け	一 度 で 買 い 物 が 済 む	品 揃 え が 良 い	ポ イ ン ト カ ー ド ・ ス	店 が き れ い ・ 券 囲 気	遅 く ま で 営 業 し て い	良 い 店 員 の 対 応 の 感 じ が	特 売 ・ バ ー ゲ ン	メ ー ル シ ・ ダ イ レ ク ト	商 品 の セ ン ス ・ デ ザ	そ の 他
高知市全体	1,794	44.1%	36.2%	32.6%	32.2%	27.0%	26.1%	21.8%	14.5%	8.8%	8.6%	8.0%	5.9%	4.2%	2.7%	1.1%
20代	156	37.8%	30.1%	20.5%	41.7%	30.1%	19.9%	34.6%	10.3%	10.9%	14.1%	8.3%	8.3%	1.9%	13.5%	0.0%
30代	265	41.5%	44.2%	28.3%	38.9%	24.2%	20.4%	25.3%	15.1%	10.6%	12.8%	6.8%	6.8%	4.2%	3.4%	0.8%
40代	281	42.0%	39.9%	34.5%	37.7%	24.6%	20.6%	26.3%	12.5%	10.7%	12.1%	8.2%	6.8%	4.6%	1.1%	0.7%
50代	334	43.4%	42.8%	35.6%	33.8%	24.3%	25.1%	15.6%	16.8%	6.6%	10.5%	7.5%	6.3%	6.0%	2.4%	0.3%
60代	388	43.8%	33.0%	40.5%	26.3%	28.6%	29.4%	20.9%	17.8%	10.1%	5.2%	8.8%	4.6%	2.8%	2.1%	0.5%
70代	246	50.8%	29.3%	28.9%	26.8%	31.3%	32.9%	15.9%	13.0%	6.5%	2.0%	7.7%	4.5%	3.3%	0.0%	3.3%
80代以上	120	50.8%	25.0%	25.8%	19.2%	28.3%	37.5%	19.2%	10.0%	5.0%	3.3%	10.0%	4.2%	7.5%	0.0%	3.3%
無回答	4	75.0%	25.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(2) 買い物先の変化 (1つ選択)

・ 回答者全体

ここ5年位の間の買い物先の変化については、「変わらない」が76.4%と最も高く、次いで「地元外での買い物が増加」が15.4%、「地元での買い物が増加」が8.1%で続く。

・ 年代別

全ての年代で「変わらない」が最も高く、年代が上がるにつれて上昇する。一方で「地元外での買い物が増加」は年代が下がるにつれて上昇する。「地元外での買い物が増加」した理由は、30代以上では「周辺に大型店ができたため」が最も高く、20代では「車・バイクの運転を始めたため」が最も高い。

・ 性別

性別で大きな違いは見られない。

・ 地域別

他地域と比べ、仁淀川流域、高知中央域で「地元での買い物が増加」が高い。

表 4.6 ここ5年位の間の買い物先の変化

(単位:人)

区分	合計	地元での買い物が増加	変わらない	地元外での買い物が増加								
				た(周 ため に大 型店 がで き)	店(周 辺に 魅力 的な 専門 店)	く(地 元商 店の 魅力 がな い)	始(車 ・バ イク の運 転を 始 めた ため)	た(道 路の 整備 が行 われ たため)	変(住 所・ 勤務 地な どが 変わ った ため)	(その 他)		
全 体	5,845	8.1%	76.4%	15.4%	7.3%	1.2%	1.9%	0.8%	0.3%	2.5%	1.7%	
年 代 別	20代	419	9.5%	63.7%	26.7%	6.7%	1.0%	2.1%	7.4%	0.2%	6.9%	2.4%
	30代	730	10.0%	67.5%	22.5%	8.2%	2.5%	2.5%	1.1%	0.1%	5.9%	2.2%
	40代	805	9.8%	70.9%	19.3%	9.6%	1.4%	1.9%	0.2%	0.5%	3.6%	2.1%
	50代	1,109	6.3%	77.6%	16.1%	8.8%	1.4%	1.9%	0.2%	0.5%	1.9%	1.4%
	60代	1,282	7.8%	79.7%	12.5%	6.4%	0.9%	2.2%	0.2%	0.2%	1.0%	1.6%
	70代 80代以上	956 533	8.3% 6.0%	81.4% 87.8%	10.4% 6.2%	6.0% 3.9%	0.4% 0.8%	1.5% 0.8%	0.0% 0.0%	0.1% 0.0%	0.9% 0.0%	1.5% 0.8%
性 別	男	2,472	7.3%	75.8%	16.9%	8.6%	1.3%	2.0%	0.8%	0.4%	2.1%	1.7%
	女	3,311	8.6%	77.0%	14.4%	6.3%	1.1%	1.7%	0.7%	0.2%	2.8%	1.6%
地 域 別	高知市	1,809	8.5%	77.6%	13.9%	4.5%	1.2%	1.9%	0.8%	0.3%	3.6%	1.6%
	高知中央域	477	10.3%	75.5%	14.3%	6.3%	1.3%	1.3%	1.9%	0.2%	1.9%	1.5%
	安芸広域圏	584	4.8%	78.4%	16.8%	7.9%	0.7%	3.1%	0.9%	0.0%	2.1%	2.2%
	香美圏域	1,033	8.7%	75.5%	15.8%	7.5%	1.6%	1.2%	1.1%	0.0%	2.4%	2.0%
	高岡地域	562	6.6%	74.7%	18.7%	11.0%	0.7%	3.2%	0.4%	0.5%	0.7%	2.1%
	仁淀川流域	296	12.8%	69.9%	17.2%	7.1%	1.4%	3.7%	0.7%	0.0%	3.7%	0.7%
	幡多地域 嶺北地域	934 150	7.9% 4.0%	76.4% 83.3%	15.6% 12.7%	10.7% 4.7%	1.0% 1.3%	0.6% 2.0%	0.2% 0.0%	0.4% 0.7%	1.5% 2.7%	1.2% 1.3%

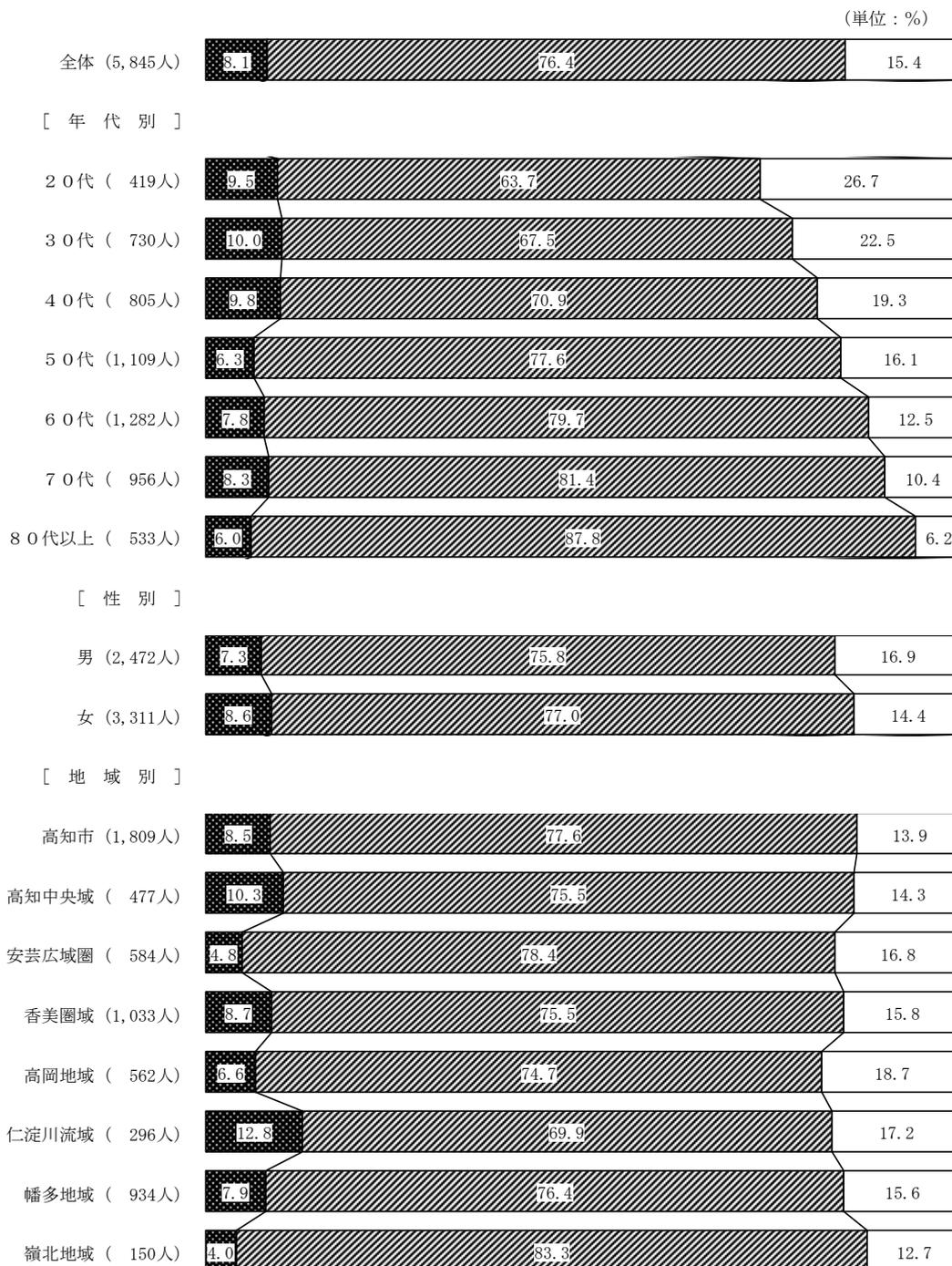
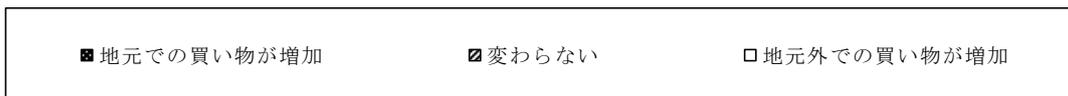


図 4.4 ここ 5 年位の間での買い物先の変化

### (3) 買い物の満足度の変化 (1つ選択)

- ・ 回答者全体

ここ5年位の間の買い物の満足度の変化については、「変わらない」が79.9%と最も高い。「高まった」(10.4%)から「低くなった」(9.6%)を差し引いた値は、「高まった」が0.8ポイント高い。

- ・ 年代別

「高まった」から「低くなった」を差し引いた値は、40代以下はプラスとなり、50代以上ではマイナスとなる。

- ・ 性別

「高まった」から「低くなった」を差し引いた値は、男性が2.5ポイント、女性が▲0.4ポイントとなる。

- ・ 地域別

「高まった」から「低くなった」を差し引いた値は、高い順から高知中央域(5.3ポイント)、香美圏域(2.8ポイント)、高知市、嶺北地域(1.3ポイント)、幡多地域(0.1ポイント)、高岡地域(▲0.5ポイント)、仁淀川流域(▲3.3ポイント)、安芸広域圏(▲3.4ポイント)となる。

表 4.7 ここ5年位の間の買い物の満足度の変化

(単位:人)

区分	合計	高まった	変わらない	低くなった	
全体	5,855	10.4%	79.9%	9.6%	
年代別	20代	422	13.5%	78.7%	7.8%
	30代	732	14.8%	75.7%	9.6%
	40代	805	11.9%	77.4%	10.7%
	50代	1,111	10.5%	78.6%	10.9%
	60代	1,282	8.2%	82.4%	9.4%
	70代	956	8.3%	83.2%	8.6%
	80代以上	536	9.0%	81.9%	9.1%
性別	男	2,475	10.7%	81.1%	8.2%
	女	3,317	10.3%	79.0%	10.7%
地域別	高知市	1,809	11.1%	79.1%	9.8%
	高知中央域	479	13.4%	78.5%	8.1%
	安芸広域圏	584	7.7%	81.2%	11.1%
	香美圏域	1,035	11.5%	79.8%	8.7%
	高岡地域	563	9.6%	80.3%	10.1%
	仁淀川流域	299	7.4%	81.9%	10.7%
	幡多地域	935	9.6%	80.9%	9.5%
嶺北地域	151	10.6%	80.1%	9.3%	

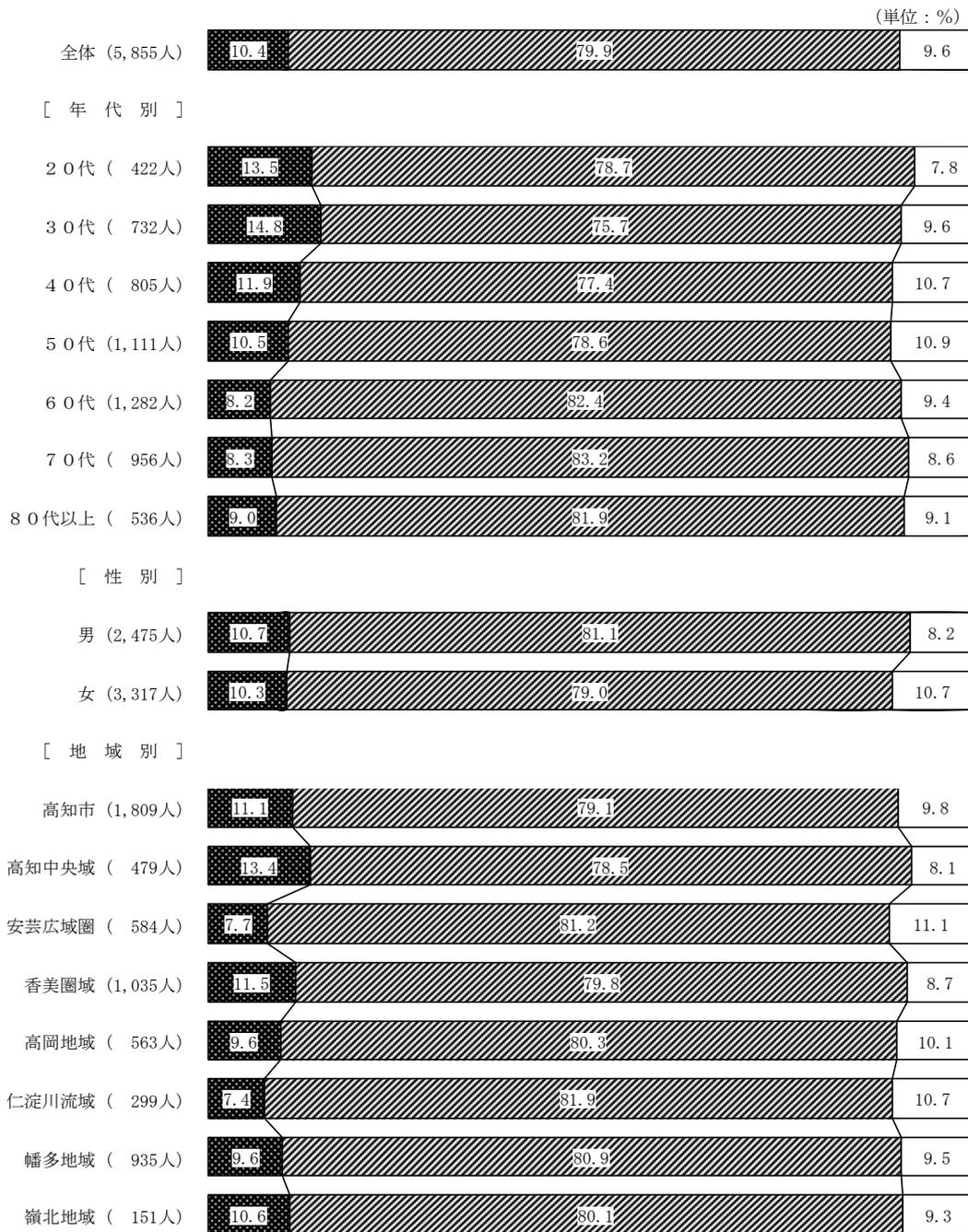
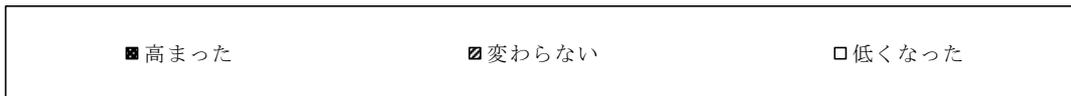


図 4.5 ここ 5 年位の間での買い物の満足度の変化

(4) 買い物で重視するようになった項目 (3つまで選択)

・ 回答者全体

ここ5年位の間に買い物で重視するようになった項目については、「価格」が66.6%と最も高く、次いで「品質・鮮度」が61.6%、「品揃え」が36.8%で続く。

・ 年代別

上位三位について見ると、50代以下は「価格」「品質・鮮度」「品揃え」、60代以上では「品質・鮮度」「価格」「健康・安全性」となる。

・ 性別

男女ともに上位ふたつは、「価格」「品質・鮮度」となるが、第三位について見ると、男性は「品揃え」、女性は「健康・安全性」となる。

・ 地域別

上位三位について見ると、嶺北地域が「価格」「品質・鮮度」「健康・安全性」となるが、その他の地域では「価格」「品質・鮮度」「品揃え」となる。

表 4.8 ここ5年位の間に買い物で重視するようになった項目

(単位:人)

区分	合計	価格	品質・鮮度	品揃え	健康・安全性	店の近さ	店の信用・なじみ	あ 買 い 物 以 外 の 楽 し み が	環 境 ・ エ コ ロ ジ ー	ブ ラ ン ド ・ メ ー カ ー	そ の 他	
全 体	5,664	66.6%	61.6%	36.8%	34.1%	21.6%	16.9%	5.0%	4.3%	2.3%	1.5%	
年 代 別	20代	412	80.8%	49.8%	50.0%	21.8%	17.7%	13.6%	6.6%	4.4%	10.4%	0.7%
	30代	726	76.9%	58.8%	43.7%	27.7%	21.3%	14.3%	5.8%	4.7%	4.5%	1.2%
	40代	795	76.9%	60.9%	42.5%	28.8%	19.0%	15.2%	8.6%	6.0%	3.0%	0.6%
	50代	1,090	70.8%	66.9%	38.7%	36.8%	18.4%	12.9%	3.9%	5.0%	1.4%	1.5%
	60代	1,244	62.5%	67.9%	33.8%	37.7%	23.9%	18.2%	4.7%	4.7%	0.6%	1.0%
	70代	899	54.9%	59.0%	29.3%	40.7%	23.2%	21.9%	3.3%	2.2%	0.7%	2.8%
	80代以上	487	44.4%	53.4%	24.4%	35.1%	26.9%	22.8%	3.5%	1.8%	0.8%	3.3%
性 別	男	2,383	68.4%	57.9%	39.9%	29.2%	21.9%	18.3%	4.4%	3.9%	3.2%	1.4%
	女	3,221	65.5%	64.2%	34.6%	37.8%	21.2%	15.8%	5.6%	4.6%	1.7%	1.7%
地 域 別	高知市	1,774	69.2%	64.8%	36.8%	35.6%	24.5%	15.9%	4.8%	4.4%	2.9%	0.8%
	高知中央域	449	61.2%	54.6%	32.5%	31.2%	17.1%	16.9%	4.2%	5.1%	3.1%	0.7%
	安芸広域圏	564	62.9%	53.4%	35.6%	31.4%	19.7%	10.6%	6.2%	2.7%	3.2%	2.7%
	香美圏域	1,028	69.8%	60.3%	41.5%	36.9%	23.2%	19.3%	4.4%	4.5%	2.5%	0.8%
	高岡地域	517	67.5%	68.3%	38.7%	35.4%	16.2%	17.0%	5.2%	6.6%	1.2%	2.1%
	仁淀川流域	277	69.3%	62.8%	44.0%	33.2%	22.4%	15.5%	8.3%	2.9%	1.4%	1.8%
	幡多地域	915	62.4%	61.7%	32.9%	31.3%	21.7%	20.4%	4.6%	3.6%	1.2%	2.6%
	嶺北地域	140	59.3%	59.3%	26.4%	30.7%	11.4%	17.1%	6.4%	4.3%	1.4%	5.0%

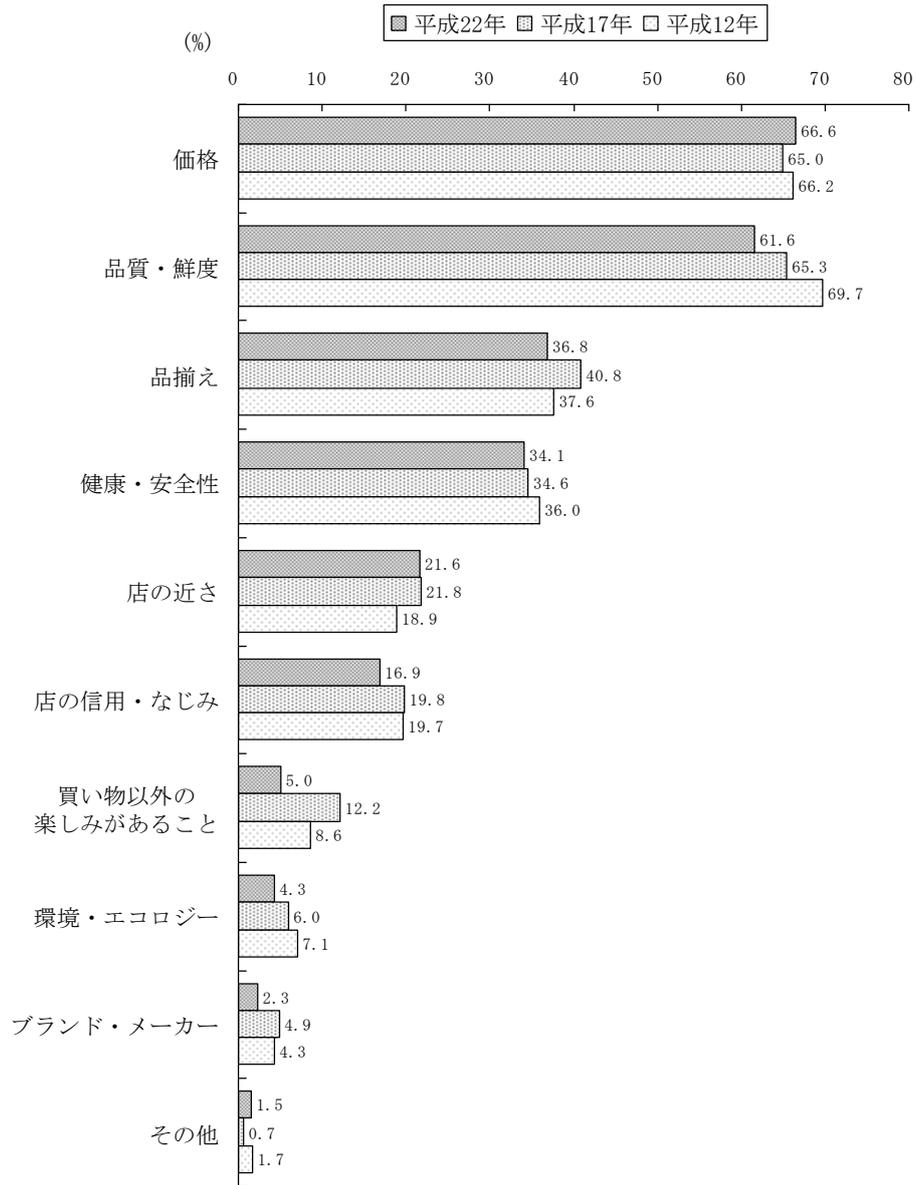


図 4.6 ここ 5 年位の間買い物で重視するようになった項目

(5) 今後増えそうな買い物先 (3つまで選択)

・ 回答者全体

今後増えそうな買い物先については、「ショッピングセンター・スーパーなどの大型店」が36.9%と最も高く、次いで「特になし」が32.9%、「直販所」が27.1%で続く。

・ 年代別

上位三位について見ると、40代以下では、「ショッピングセンター・スーパーなどの大型店」「インターネットによる通信販売」「ディスカウントストア」となる。50代以上では、「特になし」「ショッピングセンター・スーパーなどの大型店」「直販所」となる。

・ 性別

上位三位について見ると、男女ともに、「ショッピングセンター・スーパーなどの大型店」「特になし」「直販所」である。

・ 地域別

上位三位について見ると、高知市では「ショッピングセンター・スーパーなどの大型店」「直販所」「ディスカウントストア」、高知中央域では「特になし」「ショッピングセンター・スーパーなどの大型店」「インターネットによる通信販売」、その他の地域では、「ショッピングセンター・スーパーなどの大型店」「特になし」「直販所」となる。

表 4.9 今後増えそうな買い物先

(単位:人)

区分	合計	ショッピングセンター・スーパーなどの大型店	特になし	直販所 (道の駅、良心市、アンテナショップなど)	ディスカウントストア、ドラッグストアを含む	インターネットによる通信販売	大型の専門店	信販	カタログやテレビなどの通信販売	コンビニエンスストア	地元(地区)の商店	県外に出かけての買い物	移動販売や宅配	その他
全体	5,809	36.9%	32.9%	27.1%	21.9%	19.2%	12.5%	10.3%	10.1%	9.8%	5.4%	4.8%	0.9%	
年代別	20代	417	46.3%	18.7%	12.7%	30.2%	42.0%	19.7%	7.4%	18.9%	3.6%	18.2%	1.0%	0.7%
	30代	730	41.9%	19.5%	21.6%	35.8%	40.8%	15.6%	9.9%	13.3%	4.4%	11.2%	2.3%	0.4%
	40代	805	43.4%	19.6%	27.7%	33.8%	33.2%	14.7%	12.3%	16.3%	6.3%	7.3%	3.9%	0.5%
	50代	1,104	39.9%	27.4%	35.1%	24.7%	20.6%	13.2%	13.4%	11.0%	8.1%	5.0%	2.8%	0.7%
	60代	1,269	35.0%	37.8%	34.1%	17.8%	9.0%	11.3%	11.4%	6.7%	12.2%	2.4%	5.1%	1.3%
	70代	941	33.3%	44.0%	24.8%	9.8%	3.1%	10.2%	7.9%	6.4%	17.1%	0.7%	8.8%	1.0%
性別	80代以上	532	17.7%	62.6%	15.6%	4.1%	1.3%	5.3%	5.8%	2.4%	12.4%	0.4%	8.8%	1.3%
	男	2,468	38.2%	32.4%	22.9%	22.1%	21.6%	16.3%	7.6%	13.5%	9.5%	5.0%	4.0%	0.8%
	女	3,276	35.7%	33.1%	30.3%	22.0%	17.7%	9.6%	12.4%	7.7%	10.0%	5.7%	5.4%	0.9%
地域別	高知市	1,796	39.6%	26.9%	30.2%	27.0%	21.3%	14.9%	9.9%	9.6%	10.4%	7.2%	3.7%	0.7%
	高知中央域	477	30.4%	41.5%	19.3%	19.7%	21.0%	10.3%	9.2%	10.9%	6.3%	4.4%	2.7%	1.3%
	安芸広域圏	581	33.4%	42.0%	22.5%	13.9%	15.1%	11.4%	10.0%	10.7%	8.8%	4.0%	4.0%	1.0%
	香美圏域	1,032	39.5%	29.4%	26.0%	24.6%	23.1%	13.9%	12.4%	11.4%	7.0%	5.5%	6.1%	0.7%
	高岡地域	564	39.7%	35.6%	23.8%	19.9%	16.7%	12.1%	8.0%	10.3%	12.6%	4.3%	5.1%	1.2%
	仁淀川流域	289	40.1%	27.0%	28.0%	21.5%	15.6%	11.8%	15.9%	13.1%	14.2%	3.8%	8.3%	0.7%
	幡多地域	918	33.2%	38.6%	30.6%	17.9%	16.6%	9.2%	8.6%	8.5%	11.4%	4.0%	4.4%	0.8%
嶺北地域	152	26.3%	32.2%	28.3%	14.5%	12.5%	11.2%	15.8%	7.2%	9.2%	5.9%	12.5%	1.3%	

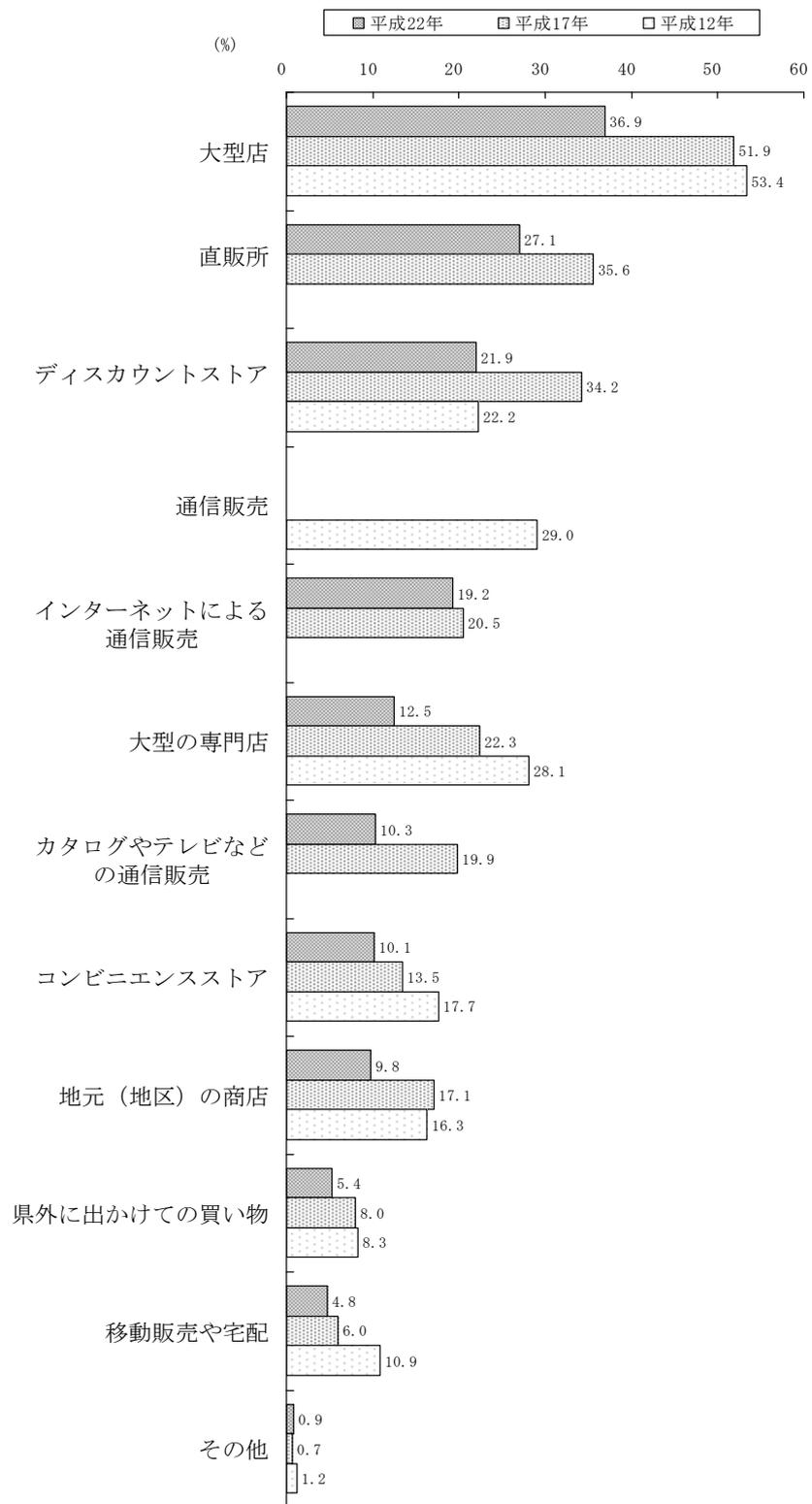


図 4.7 今後増えそうな買い物先

(6) あれば利用したい買い物のサービス (3つまで選択)

・ 回答者全体

あれば利用したい買い物のサービスについては、「特にない」が 67.3%と最も高く、次いで「宅配サービス」が 22.0%、「移動販売」が 14.6%で続く。

・ 年代別

第一位は、全ての年代で「特にない」となる。第二位は、60代以下では「宅配サービス」、70代以上では「移動販売」となる。なお、70代以上では、「買い物代行サービス」「御用聞き」がその他の年代よりも高い。

・ 性別

男女ともに、回答者全体と同じ順位である。

・ 地域別

上位三位について見ると、全ての地域で「特にない」「宅配サービス」「移動販売」となる。なお、嶺北地域、仁淀川流域では「移動販売」が 20%以上となり、その他の地域に比べて高い。

表 4.10 あれば利用したい買い物のサービス

(単位:人)

区分	合計	特にない	宅配サービス (ネットなどで注文して配達)	移動販売 (車で移動して商品を販売)	買い物代行サービス (福社を代行してくれる)	買い物代行サービス (買い物代行サービス)	御用聞き (店の人が注文を聞きに来る)	その他
全体	5,587	67.3%	22.0%	14.6%	6.7%	5.7%	0.9%	
年代別	20代	405	63.0%	30.4%	10.6%	5.9%	4.9%	1.2%
	30代	714	66.2%	26.9%	9.4%	4.5%	4.2%	1.0%
	40代	778	62.7%	30.3%	12.2%	4.4%	4.0%	0.9%
	50代	1,049	68.8%	24.3%	12.2%	4.5%	4.1%	0.6%
	60代	1,202	72.7%	16.9%	13.2%	6.7%	5.9%	0.7%
	70代	905	66.1%	15.4%	23.4%	10.4%	9.2%	1.2%
	80代以上	525	65.9%	15.4%	21.3%	11.8%	7.6%	1.5%
性別	男	2,368	66.5%	23.6%	15.2%	7.1%	6.0%	0.9%
	女	3,159	68.0%	21.0%	14.1%	6.3%	5.3%	1.0%
地域別	高知市	1,742	67.9%	23.5%	12.1%	6.6%	6.3%	0.9%
	高知中央域	467	68.5%	21.2%	11.3%	5.1%	5.6%	0.4%
	安芸広域圏	552	69.4%	17.9%	15.2%	5.4%	6.0%	1.3%
	香美圏域	978	65.7%	24.6%	14.0%	8.4%	5.4%	1.0%
	高岡地域	543	68.1%	20.6%	16.9%	5.7%	4.1%	0.9%
	仁淀川流域	270	63.3%	19.3%	20.0%	10.7%	7.4%	1.5%
	幡多地域	888	67.8%	20.7%	17.5%	5.5%	5.5%	0.8%
	嶺北地域	147	61.2%	22.4%	21.8%	9.5%	4.1%	2.0%

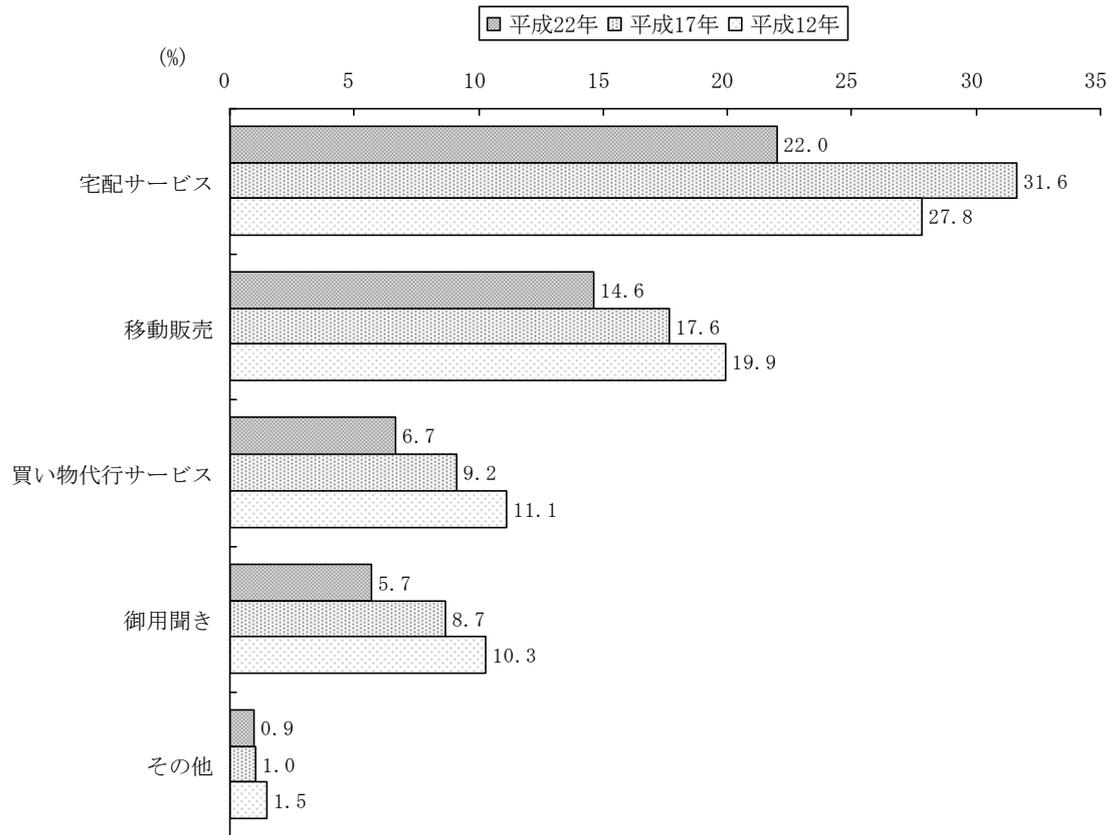


図 4.8 あれば利用したい買い物のサービス

(7) 家庭でのインターネットの利用について

① 現在の利用状況 (1つ選択)

・ 回答者全体

家庭でのインターネットの現在の利用状況については、「利用したいと思わない・分からない」が 49.5%と最も高く、次いで「利用している」が 36.9%、「利用していないが将来は利用したい」が 13.7%で続く。

・ 年代別

「利用している」は、30代の 67.3%をピークに年代が上がるにつれて低下する。なお、50代以下では「利用している」が最も高く、60代以上は「利用したいと思わない・分からない」が最も高い。

・ 性別

男女ともに「利用したいと思わない・分からない」が最も高い。

・ 地域別

高知市では「利用している」が 45.7%最も高く、その他の地域では「利用したいと思わない・分からない」が最も高い。「利用している」について見ると、最も高い高知市が 45.7%、最も低い仁淀川流域が 25.1%と、20.6 ポイントの開きが見られるなど、地域によってインターネットの利用状況が異なる。

表 4.11 家庭でのインターネットの利用状況

(単位:人)

区分		合計	利用している	利用しているが将来は	利用したいと思わない・分からない
全体		5,808	36.9%	13.7%	49.5%
年代別	20代	420	58.6%	24.3%	17.1%
	30代	733	67.3%	16.5%	16.2%
	40代	804	55.3%	18.3%	26.4%
	50代	1,102	43.3%	17.2%	39.6%
	60代	1,264	23.7%	11.5%	64.8%
	70代	935	13.4%	7.3%	79.4%
	80代以上	540	9.8%	3.7%	86.5%
	性別	男	2,466	37.4%	15.7%
女		3,281	36.8%	12.0%	51.2%
地域別	高知市	1,803	45.7%	13.3%	41.0%
	高知中央域	483	38.1%	12.2%	49.7%
	安芸広域圏	579	25.9%	14.5%	59.6%
	香美圏域	1,025	40.3%	14.0%	45.7%
	高岡地域	562	29.0%	10.0%	61.0%
	仁淀川流域	287	25.1%	16.0%	58.9%
	幡多地域	917	31.4%	15.8%	52.8%
	嶺北地域	152	30.9%	13.2%	55.9%

■ 利用している    ▨ 利用していないが将来は利用したい    □ 利用したいと思わない・分からない

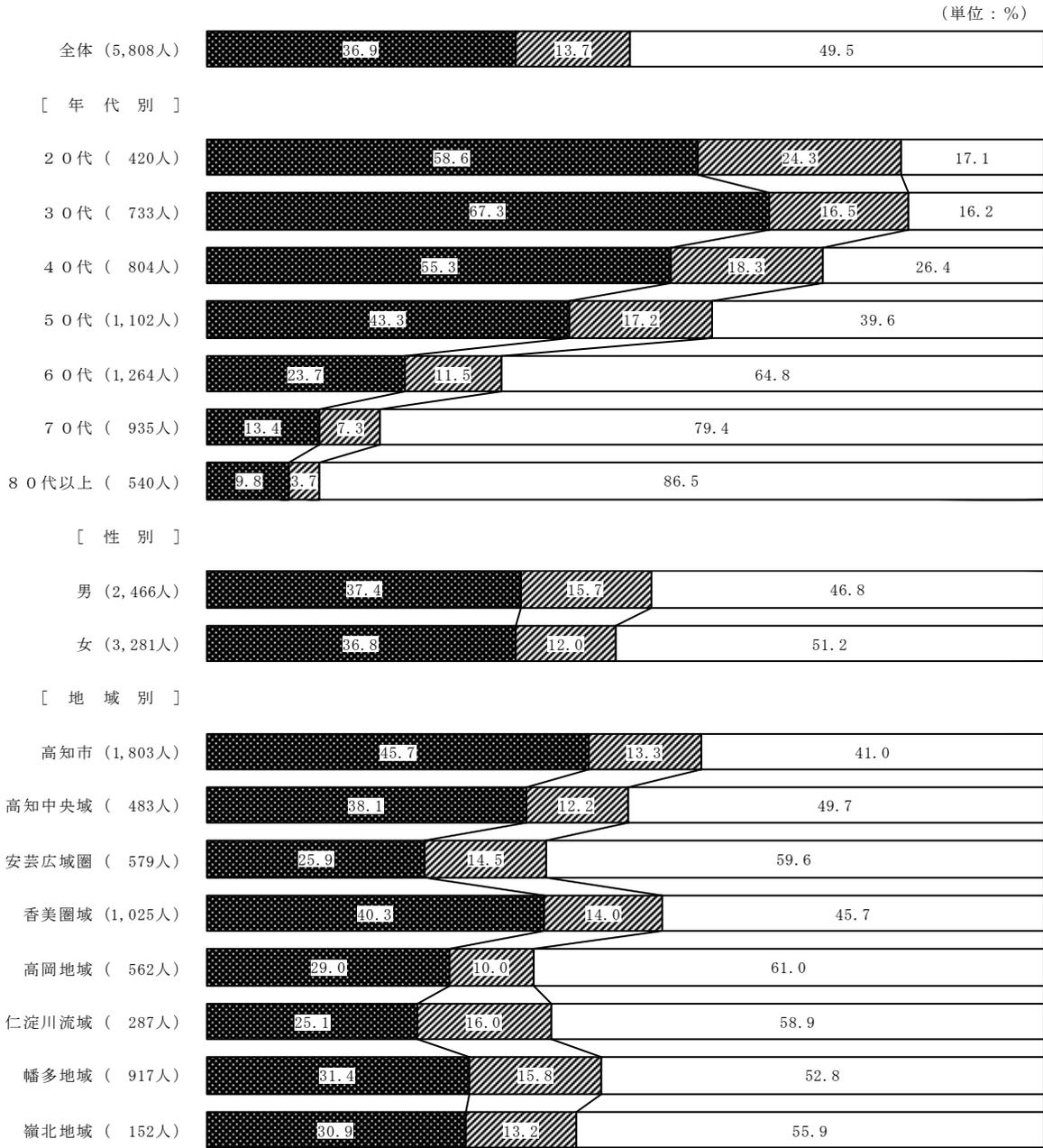


図 4.9 家庭でのインターネットの利用状況

## ② インターネットを利用した買い物経験 (1つ選択)

### ・ 回答者全体

インターネットを利用した買い物経験については、「ない(したいと思わない)」が49.0%と最も高く、次いで「ある」が38.4%、「ない(したいと思う)」が12.6%で続く。

### ・ 年代別

「ある」は、30代以下は70%超となり、年代が上がるにつれて低下する。なお、50代以下では「ある」が最も高く、60代以上では「ない(したいと思う)」が最も高い。

### ・ 性別

男女ともに「ない(したいと思う)」が最も高い。なお、「ある」は、男性(40.4%)が女性(37.3%)よりも3.1ポイント高い。

### ・ 地域別

高知市、高知中央域では「ある」が最も高く、その他の地域では「ない(したいと思う)」が最も高い。「ある」について見ると、最も高い高知中央域が48.7%、最も低い嶺北地域が23.6%と、その開きが25.1ポイントとなるなど、地域によってばらつきがある。

表 4.12 インターネットを利用した買い物経験

(単位:人)

区分	合計	ある	思 な う い ー し た い と	思 な わ い な ー し た い と	
全 体	5,652	38.4%	12.6%	49.0%	
年 代 別	20代	419	71.1%	13.1%	15.8%
	30代	723	72.9%	11.5%	15.6%
	40代	799	58.3%	17.0%	24.7%
	50代	1,084	42.8%	17.4%	39.8%
	60代	1,234	22.9%	12.6%	64.4%
	70代	887	10.8%	8.0%	81.2%
	80代以上	496	6.5%	4.8%	88.7%
性 別	男	2,385	40.4%	13.4%	46.2%
	女	3,203	37.3%	12.1%	50.6%
地 域 別	高知市	1,778	45.4%	12.0%	42.6%
	高知中央域	343	48.7%	14.3%	37.0%
	安芸広域圏	580	27.9%	11.7%	60.3%
	香美圏域	1,027	42.0%	11.5%	46.5%
	高岡地域	564	30.5%	11.0%	58.5%
	仁淀川流域	294	29.6%	17.0%	53.4%
	幡多地域	922	33.6%	14.9%	51.5%
	嶺北地域	144	23.6%	11.1%	65.3%

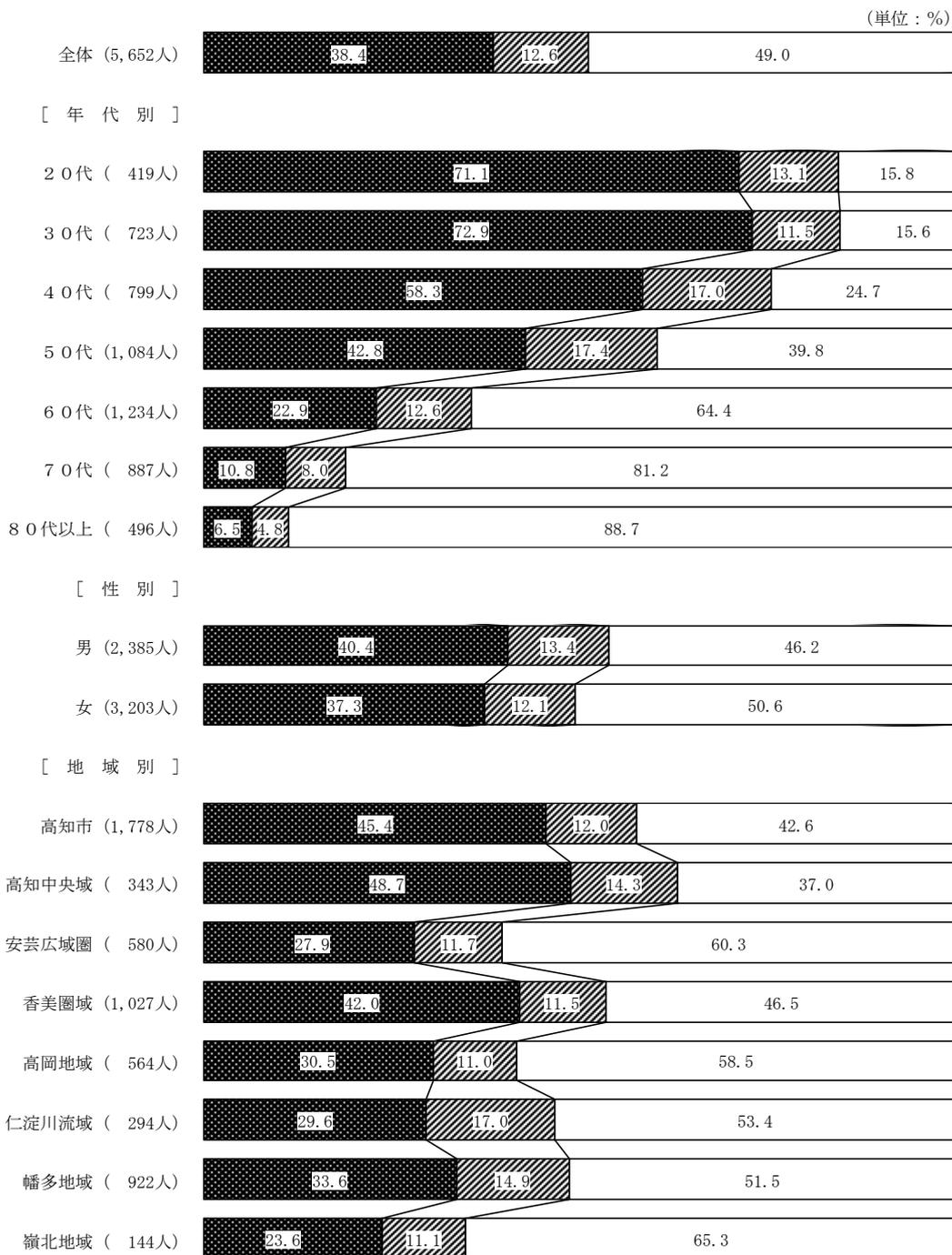
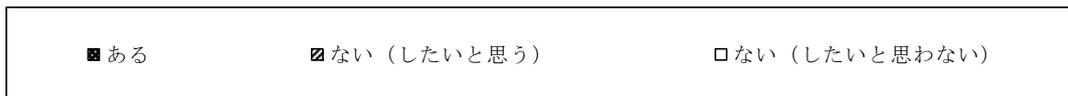


図 4.10 インターネットを利用した買い物経験

③ インターネットを利用して購入したもの【②の副問】 (3つまで選択)

・ 回答者全体

インターネットを利用して購入したものについては、「ファッション・小物・雑貨」が60.9%と最も高く、次いで「本・音楽・映像」が38.7%、「チケット・トラベル」が30.5%で続く。

・ 年代別

全ての年代で、「ファッション・小物・雑貨」が最も高い。第二位について見ると、50代以下では「本・音楽・映像」、60代以上では「飲料・食品」となる。

・ 性別

男女ともに、第二位までは「ファッション・小物・雑貨」「本・音楽・映像」となる。第三位について見るとは、男性が「パソコン・ソフト・家電」、女性が「チケット・トラベル」となる。なお、「ファッション・小物・雑貨」では女性が19.2ポイント高い。

・ 地域別

全ての地域で「ファッション・小物・雑貨」が最も高い。第二位について見ると、安芸広域圏では「飲料・食料」、高岡地域では「パソコン・ソフト・家電」、その他の地域では、「本・音楽・映像」となる。

表 4.13 インターネットを利用して購入したもの

(単位:人)

区 分	合計	ファッション・小物・雑貨	本・音楽・映像	チケット・トラベル	パソコン・ソフト・家電	飲料・食品	各地の特産品	車・アウトドアスポーツ	その他	サービス・金融商品	
全 体	2,778	60.9%	38.7%	30.5%	27.2%	27.0%	16.0%	12.2%	4.5%	1.9%	
年 代 別	20代	348	70.7%	50.3%	28.7%	26.1%	16.7%	4.0%	15.8%	3.4%	1.1%
	30代	595	72.6%	48.9%	28.2%	29.7%	24.2%	7.9%	12.4%	3.4%	1.3%
	40代	584	65.4%	41.4%	35.1%	27.2%	26.2%	14.0%	15.1%	3.8%	2.2%
	50代	628	54.5%	34.7%	33.0%	28.8%	28.3%	20.5%	12.4%	3.7%	1.9%
	60代	419	48.4%	22.2%	29.6%	22.7%	33.4%	26.0%	7.4%	8.1%	2.4%
	70代	154	40.3%	27.9%	22.7%	25.3%	37.7%	33.8%	7.1%	7.1%	3.2%
	80代以上	46	50.0%	30.4%	19.6%	23.9%	37.0%	26.1%	0.0%	6.5%	2.2%
性 別	男	1,241	50.4%	40.7%	25.7%	36.7%	25.1%	16.1%	18.8%	4.7%	2.9%
	女	1,521	69.6%	37.2%	34.6%	19.4%	28.3%	16.1%	6.8%	4.3%	1.1%
地 域 別	高知市	992	62.8%	42.7%	35.3%	24.8%	26.2%	14.1%	10.3%	4.4%	1.6%
	高知中央域	209	64.1%	37.8%	30.6%	29.2%	22.0%	11.5%	11.5%	2.4%	3.3%
	安芸広域圏	224	57.6%	29.5%	22.3%	27.2%	33.5%	21.0%	12.1%	4.9%	1.8%
	香美圏域	535	62.1%	39.8%	34.4%	26.4%	28.4%	15.7%	11.4%	4.7%	3.2%
	高岡地域	222	61.7%	36.0%	23.9%	36.9%	21.2%	13.5%	14.4%	5.4%	0.5%
	仁淀川流域	132	59.8%	33.3%	25.8%	23.5%	30.3%	18.9%	12.1%	6.8%	0.8%
	幡多地域	416	56.7%	35.8%	23.8%	28.6%	27.2%	20.9%	16.1%	4.3%	1.2%
	嶺北地域	48	45.8%	43.8%	29.2%	31.3%	35.4%	16.7%	18.8%	2.1%	4.2%

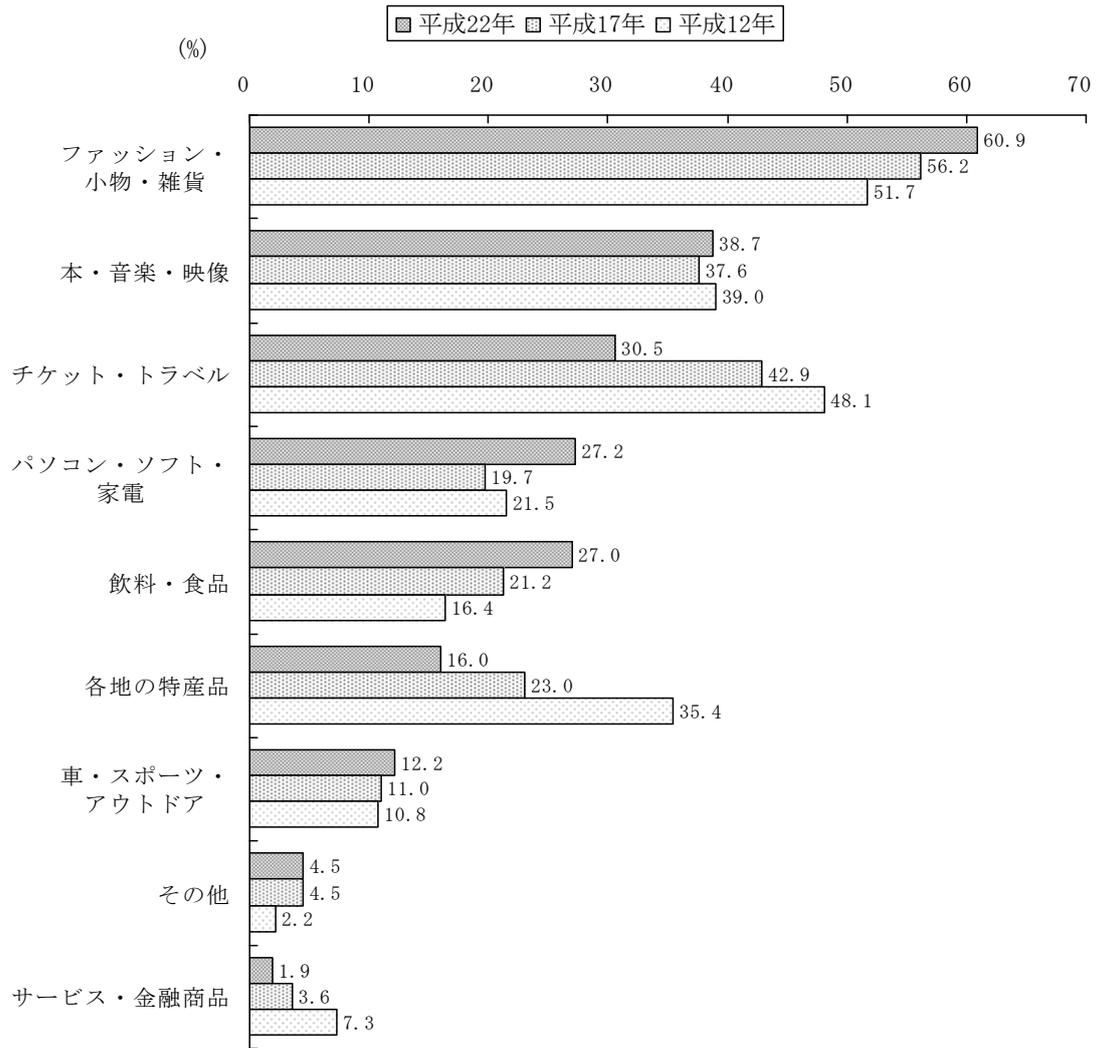


図 4.11 インターネットを利用して購入したもの

(8) 移動販売について

① 居住地への移動販売の巡回状況 (1つ選択)

・ 回答者全体

居住地への移動販売の巡回状況については、「来ていない」が53.6%と最も高く、次いで「来ている」が24.7%、「分からない」が21.7%と続く。

・ 年代別

「分からない」は、年代が上がるにつれて低下する傾向がある。

・ 性別

性別による大きな違いは見られない。

・ 地域別

「来ている」は、最も高い嶺北地域が52.9%、最も低い香美圏域が12.8%で、40.1ポイントの開きがあるなど、地域によってばらつきがある。

表 4.14 居住地への移動販売の巡回状況

(単位:人)

区分		合計	来ている	来ていない	分からない
全体		5,865	24.7%	53.6%	21.7%
年代別	20代	420	19.8%	46.0%	34.3%
	30代	733	23.5%	43.4%	33.2%
	40代	806	23.4%	46.8%	29.8%
	50代	1,107	23.7%	52.6%	23.8%
	60代	1,279	24.8%	58.3%	16.9%
	70代	954	29.1%	59.9%	11.0%
	80代以上	555	26.5%	62.5%	11.0%
性別	男	2,479	25.5%	53.9%	20.6%
	女	3,322	24.0%	53.3%	22.8%
地域別	高知市	1,809	17.4%	54.3%	28.3%
	高知中央域	482	30.5%	51.0%	18.5%
	安芸広域圏	581	21.9%	60.1%	18.1%
	香美圏域	1,035	12.8%	61.7%	25.5%
	高岡地域	566	36.7%	49.3%	14.0%
	仁淀川流域	296	43.6%	42.9%	13.5%
	幡多地域	943	32.8%	49.1%	18.1%
	嶺北地域	153	52.9%	37.3%	9.8%

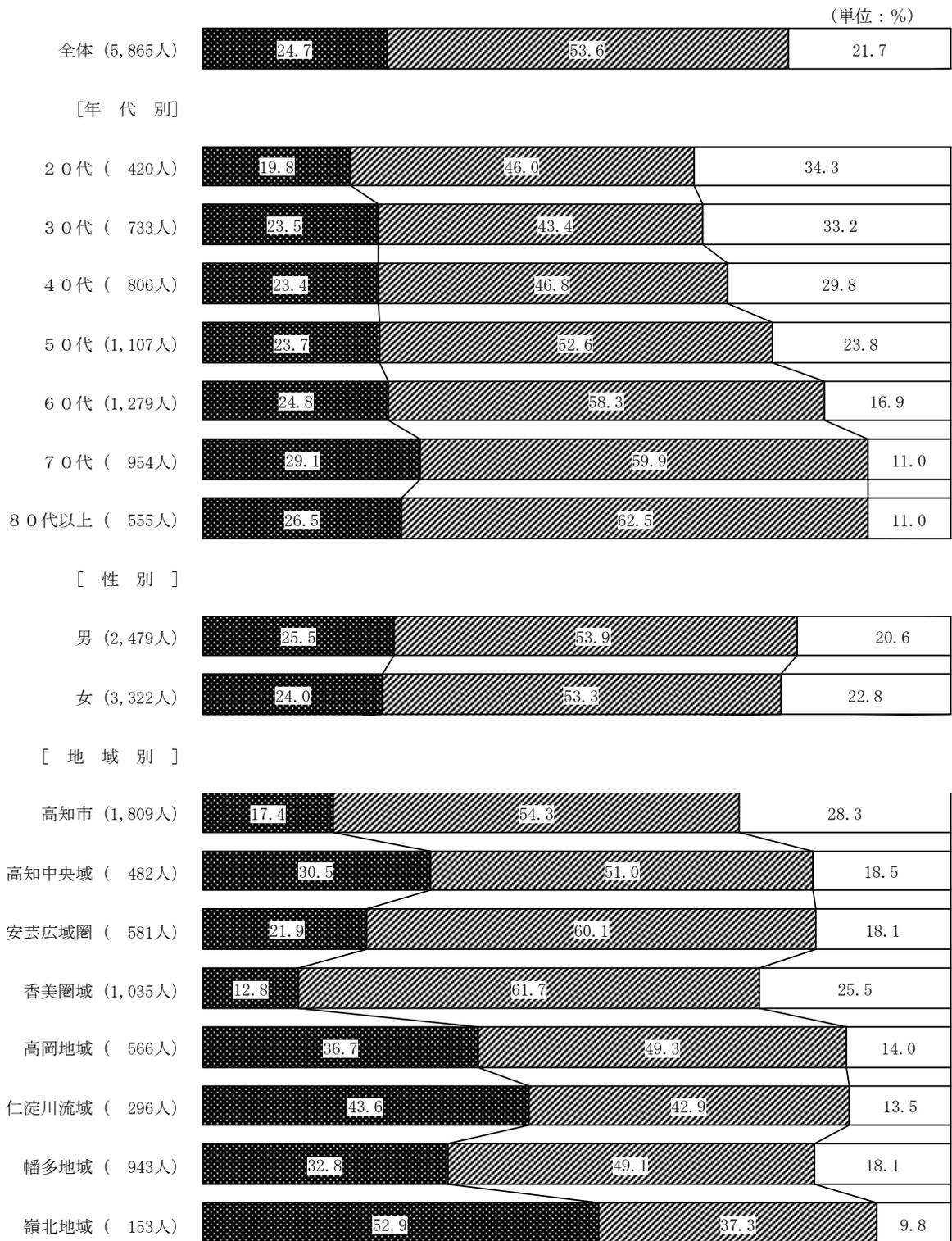
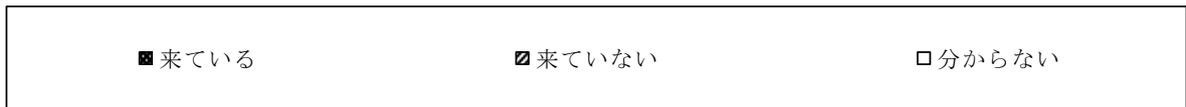


図 4.12 居住地への移動販売の巡回状況

② 移動販売の利用状況 (1つ選択)

・ 回答者全体

移動販売の利用状況については、【利用している】(=「ほぼ毎日利用している(週4回以上)」～「時々利用している(1～2カ月に1回程度利用している)」の計)は10.1%となり、一方で【利用していない】(=「ほとんど利用していない(利用したことはある)」+「利用していない)」が89.9%となる。

・ 年代別

【利用している】は、年代が上がるにつれて上昇する傾向があり、70代以上では17.0%となる。

・ 性別

性別で大きな違いは見られない。

・ 地域別

【利用している】は、嶺北地域が27.0%と最も高く、次いで仁淀川流域が19.6%、高岡地域が17.1%と続く。

表 4.15 移動販売の利用状況

(単位:人)

区分		合計	(ほぼ毎日以上利用している)	週2～3回程度利用している	週1回程度利用している	月に2～3回程度利用している	(時々利用している)1ヶ月に1回程度	(ほとんど利用したことはない)	利用していない
全体		5,355	0.4%	2.1%	3.6%	1.1%	3.0%	8.0%	81.9%
年代別	20代	401	0.0%	0.5%	1.0%	0.2%	2.2%	8.0%	88.0%
	30代	701	0.1%	0.9%	2.7%	0.7%	2.4%	7.8%	85.3%
	40代	759	0.3%	1.1%	2.5%	1.1%	3.8%	9.7%	81.6%
	50代	1,011	0.5%	1.5%	2.6%	1.0%	2.3%	11.3%	80.9%
	60代	1,154	0.2%	1.6%	2.9%	1.0%	3.7%	6.7%	83.9%
	70代	836	1.1%	4.2%	6.3%	1.9%	3.5%	6.2%	76.8%
	80代以上	485	0.2%	6.2%	7.8%	1.0%	1.6%	4.9%	78.1%
性別	男	2,293	0.4%	1.9%	4.0%	1.2%	3.0%	7.2%	82.4%
	女	3,006	0.3%	2.2%	3.2%	1.0%	2.9%	8.6%	81.7%
地域別	高知市	1,676	0.1%	0.7%	1.6%	0.4%	2.3%	5.8%	89.2%
	高知中央域	334	0.0%	3.3%	3.9%	1.2%	5.7%	8.4%	77.5%
	安芸広域圏	550	0.2%	1.8%	4.5%	0.4%	2.2%	6.7%	84.2%
	香美圏域	951	0.2%	1.1%	2.0%	1.3%	1.9%	5.2%	88.4%
	高岡地域	545	0.4%	4.2%	5.5%	2.4%	4.6%	12.3%	70.6%
	仁淀川流域	265	1.1%	5.7%	8.3%	1.5%	3.0%	12.5%	67.9%
	幡多地域	886	1.1%	2.8%	3.5%	1.5%	4.1%	11.7%	75.3%
	嶺北地域	148	0.0%	6.1%	17.6%	2.0%	1.4%	8.8%	64.2%

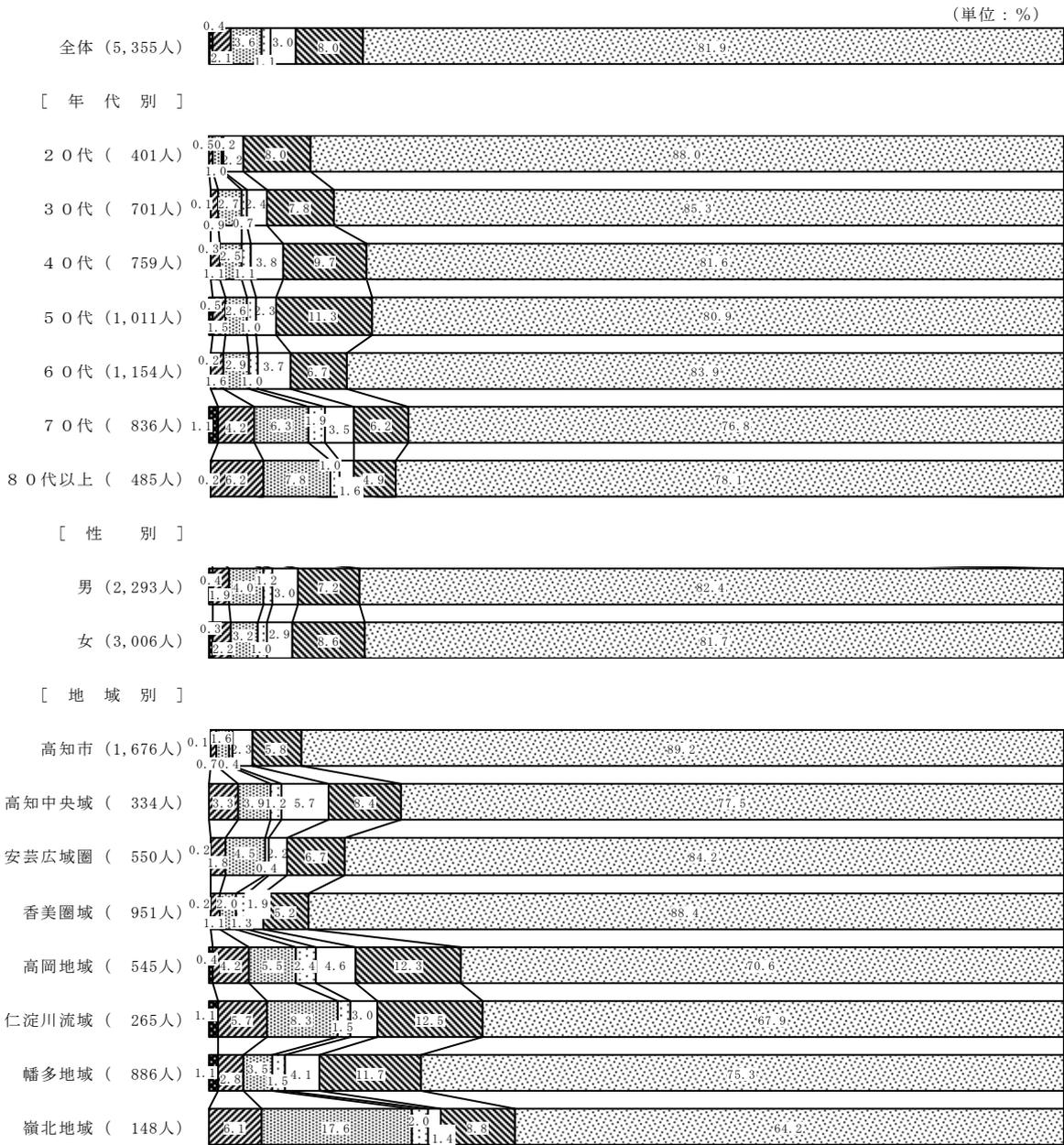


図 4.13 移動販売の利用状況

③ 移動販売の不満な点 (3つまで選択)

・ 回答者全体

移動販売の不満な点については、「品揃え」が46.9%と最も高く、次いで「時間帯」が40.6%、「価格」が33.9%で続く。

・ 年代別

上位二位について見ると、70代以下は「品揃え」「時間帯」となり、80代以上では「品揃え」「価格」となる。なお、80代以上では「その他」が、他の年代と比べて高い。

・ 性別

性別によって大きな違いは見られない。

・ 地域別

上位三位について見ると、全ての地域で「品揃え」「時間帯」「価格」となる。なお、移動販売を【利用している】と答えた人の割合が高い、嶺北地域、仁淀川流域、高岡地域では、「品揃え」「価格」が、他の地域に比べて高い。

表 4.16 移動販売の不満な点

(単位:人)

区 分	合計	品揃え	時間帯	価格	場所・頻度	品質	その他	
全 体	2,344	46.9%	40.6%	33.9%	22.7%	18.5%	14.5%	
年 代 別	20代	213	45.1%	42.3%	26.8%	34.3%	11.7%	11.3%
	30代	363	38.8%	40.8%	36.6%	24.0%	14.0%	13.5%
	40代	414	44.9%	48.1%	37.9%	23.4%	16.7%	9.2%
	50代	519	50.9%	45.7%	31.6%	22.5%	21.0%	11.9%
	60代	411	51.6%	38.4%	38.2%	17.3%	21.7%	17.3%
	70代	281	48.4%	31.7%	29.5%	19.6%	24.6%	21.0%
	80代以上	138	47.1%	21.0%	29.7%	21.7%	15.9%	23.9%
性 別	男	992	45.6%	40.7%	34.9%	23.3%	19.8%	14.6%
	女	1,319	47.6%	40.6%	32.8%	22.4%	17.4%	14.3%
地 域 別	高知市	646	43.8%	46.0%	33.9%	27.9%	18.4%	10.8%
	高知中央域	138	41.3%	48.6%	34.1%	23.9%	11.6%	10.1%
	安芸広域圏	215	41.4%	38.6%	33.0%	18.6%	22.3%	14.9%
	香美圏域	389	46.0%	42.2%	34.4%	26.2%	15.7%	16.7%
	高岡地域	262	56.1%	39.7%	37.8%	15.6%	22.5%	14.5%
	仁淀川流域	145	59.3%	37.2%	42.1%	19.3%	29.0%	6.9%
	幡多地域	499	46.7%	32.9%	28.9%	20.2%	16.0%	21.4%
	嶺北地域	50	52.0%	38.0%	38.0%	14.0%	18.0%	6.0%

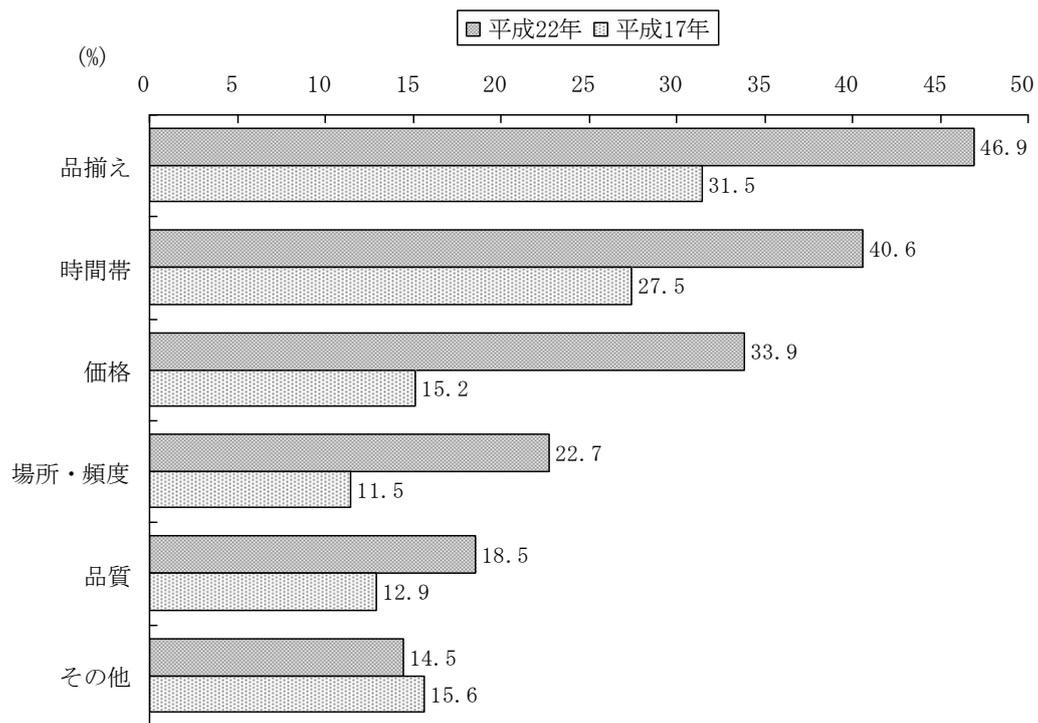


図 4.14 移動販売の不満な点

④ 今後移動販売を利用する見込みはあるか (1つ選択)

・ 回答者全体

今後移動販売を利用する見込みはあるかについては、「はい」24.5%、「いいえ」75.5%となる。

・ 年代別

「はい」は、年代が上がるにつれて上昇し、80代以上では37.6%となる。

・ 性別

性別による大きな違いは見られない。

・ 地域別

「はい」は、嶺北地域が41.8%と最も高く、次いで幡多地域が32.1%、仁淀川流域が30.8%と続く。

表 4.17 今後移動販売を利用する見込み

(単位:人)

区分	合計	はい	いいえ	
全体	5,454	24.5%	75.5%	
年代別	20代	405	12.6%	87.4%
	30代	699	15.7%	84.3%
	40代	755	20.7%	79.3%
	50代	1,039	22.1%	77.9%
	60代	1,176	25.7%	74.3%
	70代	874	34.3%	65.7%
	80代以上	498	37.6%	62.4%
性別	男	2,323	23.6%	76.4%
	女	3,075	25.2%	74.8%
地域別	高知市	1,691	17.4%	82.6%
	高知中央域	418	23.7%	76.3%
	安芸広域圏	550	24.5%	75.5%
	香美圏域	957	22.8%	77.2%
	高岡地域	544	30.0%	70.0%
	仁淀川流域	263	30.8%	69.2%
	幡多地域	885	32.1%	67.9%
嶺北地域	146	41.8%	58.2%	

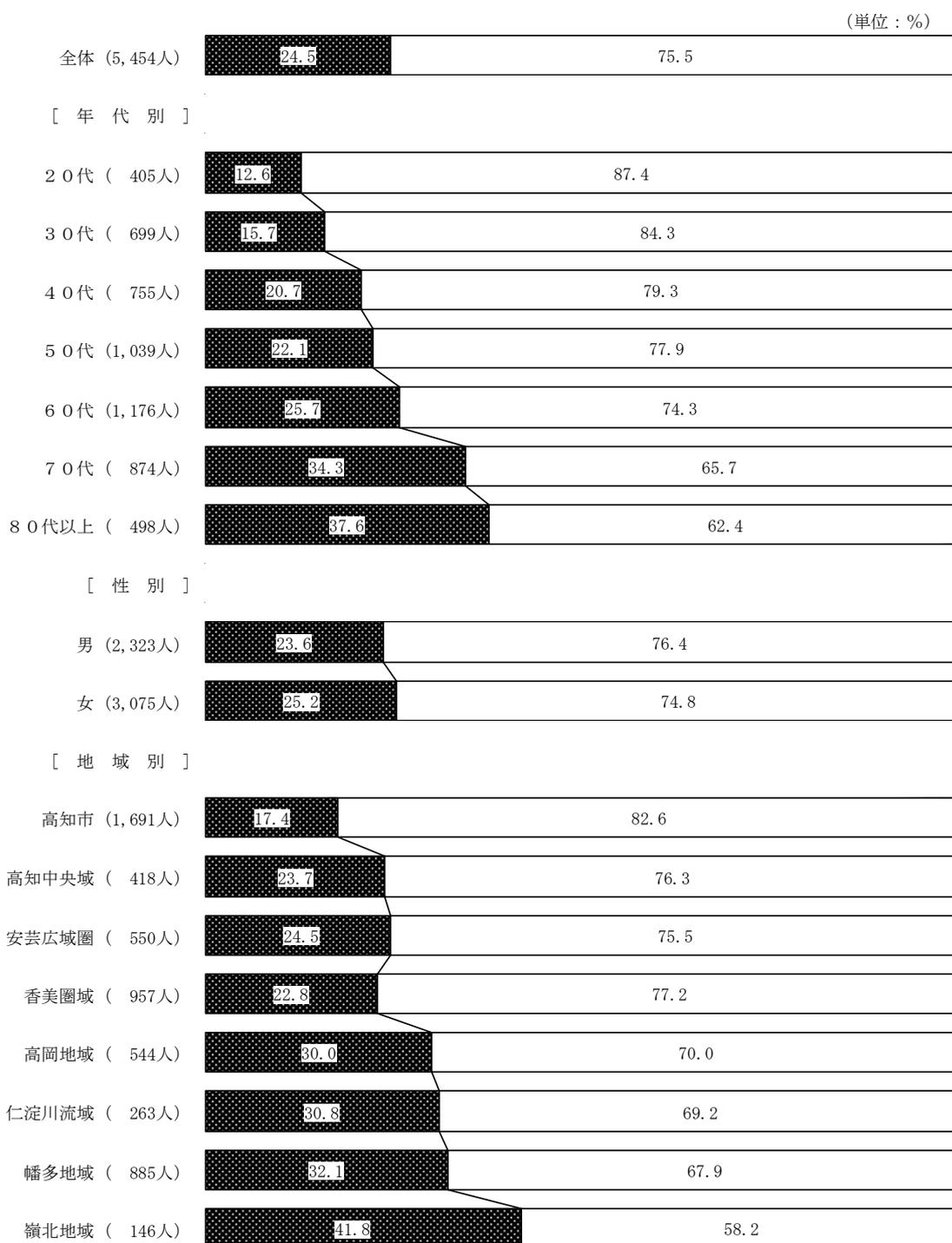


図 4.15 今後移動販売を利用する見込み

(9) 直販所の利用状況 (1つ選択)

・ 回答者全体

直販所の利用状況については、【利用している】(=「ほぼ毎日利用している(週4回以上)」～「時々利用している(1～2カ月に1回程度利用している)」の計)は63.7%となり、一方で【利用しない】(=「ほとんど利用していない(利用したことはある)」+「利用していない)」が36.3%となる。

・ 年代別

【利用している】は、50代、60代で高く、約75%となる。

・ 性別

女性の方が、【利用している】が高い。

・ 地域別

【利用している】は、幡多地域が最も高く76.1%となり、最も低い高知中央域でも57.9%である。

表 4.18 直販所の利用状況

(単位:人)

区分	合計	(ほぼ毎日利用している)	週2～3回程度利用している	週1回程度利用している	月に2～3回程度利用している	時々利用している(月に1回程度)	(ほとんど利用したことはない)	利用していない	
全体	5,787	2.5%	11.2%	14.6%	15.0%	20.4%	16.1%	20.2%	
年代別	20代	421	1.7%	3.3%	6.4%	9.5%	14.3%	25.4%	39.4%
	30代	729	1.1%	7.3%	11.1%	13.7%	22.8%	22.6%	21.4%
	40代	797	1.6%	9.7%	10.8%	15.6%	24.6%	22.5%	15.3%
	50代	1,101	2.3%	11.7%	19.4%	19.3%	21.4%	14.4%	11.5%
	60代	1,276	3.6%	14.9%	17.9%	16.8%	20.5%	11.1%	15.2%
	70代	927	2.8%	13.5%	15.9%	14.0%	19.4%	12.5%	21.9%
	80代以上	527	3.4%	11.0%	11.8%	9.1%	15.6%	11.4%	37.8%
性別	男	2,454	2.4%	9.4%	13.3%	14.3%	19.8%	16.6%	24.2%
	女	3,274	2.5%	12.4%	15.5%	15.7%	21.0%	15.7%	17.2%
地域別	高知市	1,797	2.1%	8.8%	12.4%	13.8%	22.3%	18.7%	21.9%
	高知中央域	479	1.9%	8.8%	9.8%	14.2%	23.2%	17.5%	24.6%
	安芸広域圏	577	3.3%	13.2%	16.3%	13.5%	15.8%	12.3%	25.6%
	香美圏域	1,021	1.4%	8.2%	11.6%	17.6%	21.8%	19.1%	20.3%
	高岡地域	557	4.1%	12.9%	14.9%	14.2%	20.8%	12.9%	20.1%
	仁淀川流域	281	2.1%	7.5%	14.9%	19.6%	22.4%	18.1%	15.3%
	幡多地域	927	3.5%	18.4%	23.0%	15.2%	16.0%	11.1%	12.8%
嶺北地域	148	2.0%	14.2%	18.2%	13.5%	20.3%	11.5%	20.3%	

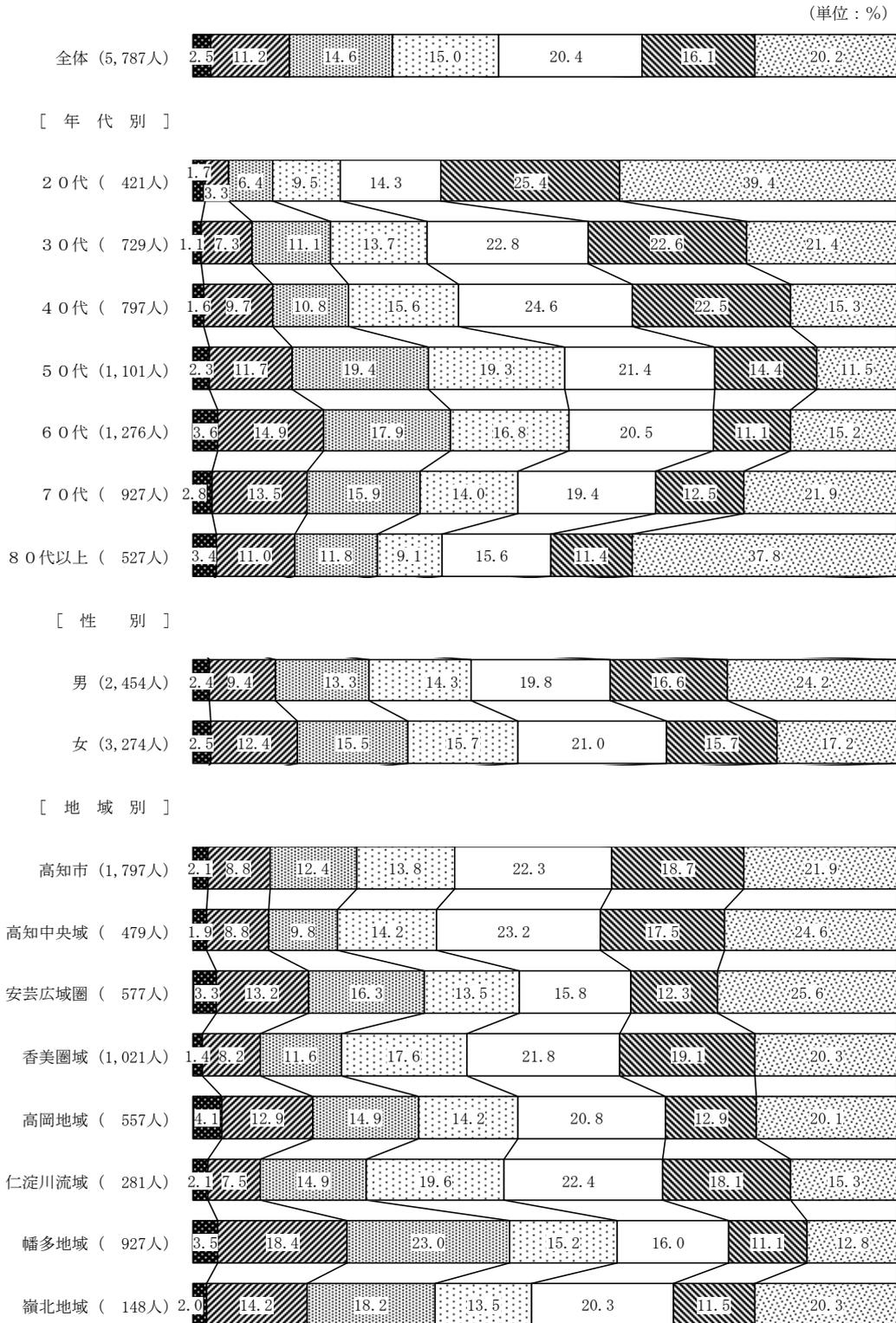
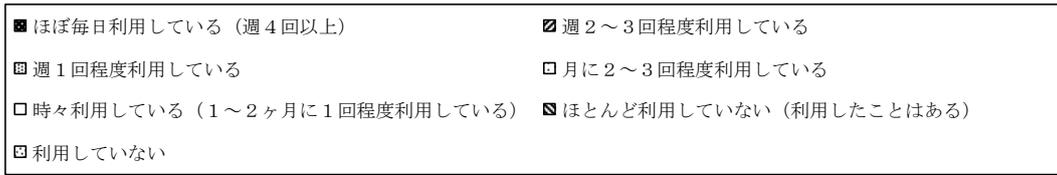


図 4.16 直販所の利用状況

(10) 通信販売による買い物状況

① 通信販売の利用状況 (1つ選択)

・ 回答者全体

通信販売の利用状況については、【利用している】(=「年5回以上利用」～「年1～2回程度利用」の計)は50.1%となり、一方で「利用しない」が49.9%となる。

・ 年代別

【利用している】は、20代の46.8%から年代が上がるにつれて上昇し、40代で62.5%とピークとなり、その後は低下傾向となる。なお、80代以上は29.0%となる。

・ 性別

【利用している】は、男性が42.0%、女性が56.3%で、女性が14.3ポイント高い。

・ 地域別

【利用している】は、地域によって多少ばらつきがあるが、大きな違いは見られない。なお、嶺北地域では、「年5回以上利用」が19.7%と、その他の地域と比べて高い。

表 4.19 通信販売の利用状況

(単位:人)

区分		合計	年5回以上利用	年用3～4回程度	年用1～2回程度	利用しない
全体		5,778	11.1%	10.6%	28.4%	49.9%
年代別	20代	421	9.5%	8.6%	28.7%	53.2%
	30代	730	14.7%	13.4%	28.9%	43.0%
	40代	807	16.7%	12.9%	32.8%	37.5%
	50代	1,099	12.9%	12.6%	32.2%	42.2%
	60代	1,257	9.6%	10.2%	31.1%	49.1%
	70代	919	7.1%	8.4%	21.8%	62.8%
	80代以上	535	5.2%	6.0%	17.8%	71.0%
性別	男	2,441	8.8%	8.4%	24.7%	58.0%
	女	3,278	12.8%	12.3%	31.2%	43.7%
地域別	高知市	1,796	12.1%	10.3%	28.8%	48.8%
	高知中央域	475	10.7%	12.6%	24.0%	52.6%
	安芸広域圏	573	11.5%	11.0%	25.1%	52.4%
	香美圏域	1,021	11.0%	10.6%	30.2%	48.3%
	高岡地域	559	8.2%	8.8%	29.3%	53.7%
	仁淀川流域	284	6.7%	12.3%	32.0%	48.9%
	幡多地域	923	10.7%	10.2%	29.3%	49.8%
	嶺北地域	147	19.7%	14.3%	21.1%	44.9%

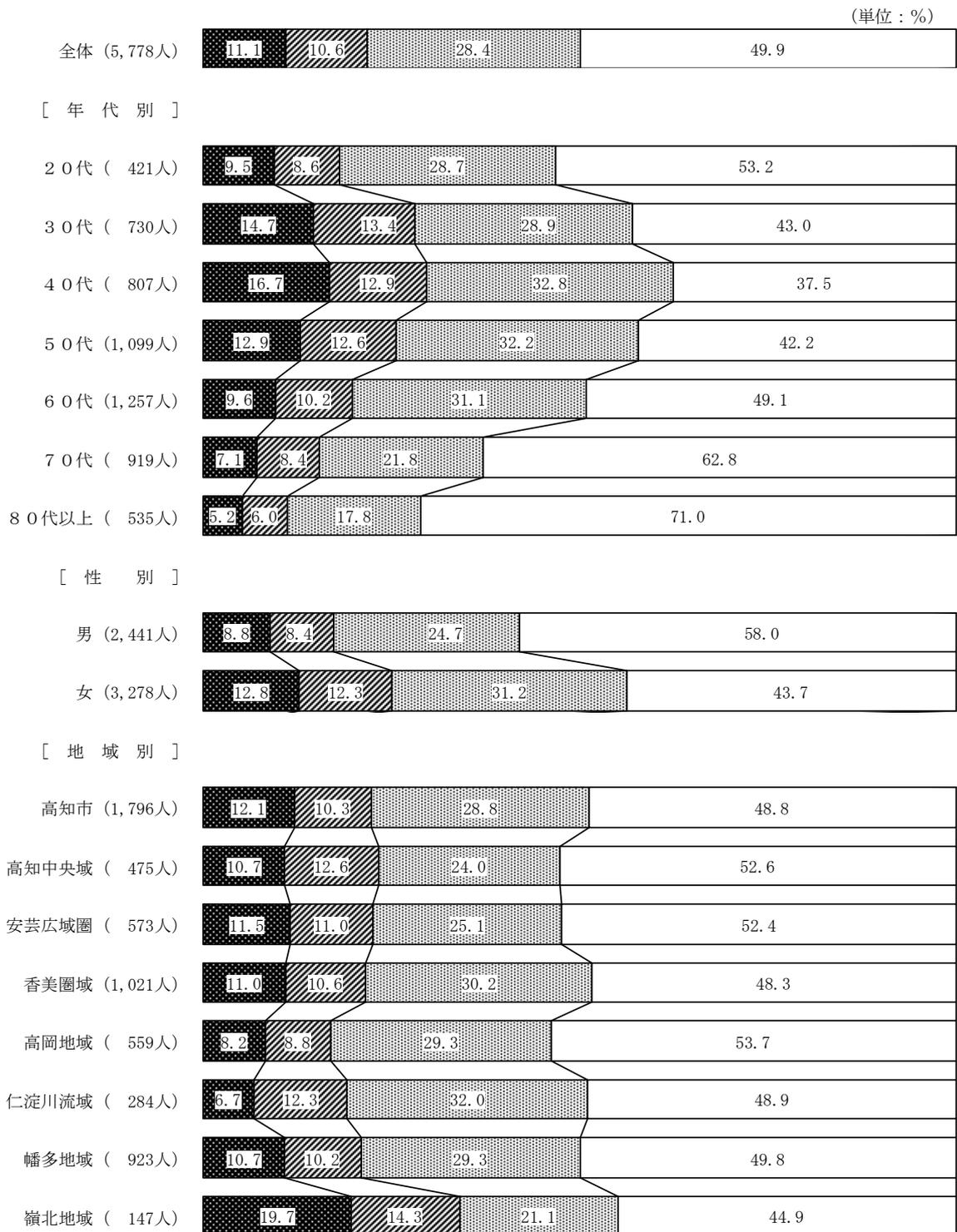


図 4.17 通信販売の利用状況

② 利用する通信販売の形態【①の副問】 (1つ選択)

・ 回答者全体

利用する通信販売の形態については、「カタログショッピング」が78.0%と最も高く、次いで「テレフォンショッピング」が10.9%、「新聞・雑誌の広告」が8.1%となる。

・ 年代別

「カタログショッピング」は、30代の90.3%をピークに、年代が上がるにつれて低下する。一方で、「テレフォンショッピング」「新聞・雑誌の広告」は、年代が上がるにつれて上昇する傾向がある。

・ 性別

「カタログショッピング」では女性が、「テレフォンショッピング」「新聞・雑誌の広告」では男性が高い。

・ 地域別

幡多地域では、「カタログショッピング」が、嶺北地域では「テレフォンショッピング」が、仁淀川流域では「新聞・雑誌の広告」が、その他の地域と比べて高い。

表 4.20 利用する通信販売の形態

(単位:人)

区分	合計	シ カ タ ロ グ シ ョ ッ ピ ン グ	シ テ レ フ ォ ン シ ョ ッ ピ ン グ	広 告 新 聞 ・ 雑 誌 の	そ の 他	
全 体	2,748	78.0%	10.9%	8.1%	3.1%	
年 代 別	20代	191	82.7%	4.7%	6.3%	6.3%
	30代	402	90.3%	3.7%	3.5%	2.5%
	40代	485	83.5%	8.2%	6.2%	2.1%
	50代	590	77.1%	12.2%	8.6%	2.0%
	60代	606	71.5%	14.4%	10.6%	3.6%
	70代	324	71.0%	16.0%	9.9%	3.1%
	80代以上	146	66.4%	15.1%	13.0%	5.5%
性 別	男	969	71.6%	13.0%	12.1%	3.3%
	女	1,759	81.6%	9.6%	5.9%	3.0%
地 域 別	高知市	869	78.9%	10.1%	7.5%	3.5%
	高知中央域	212	78.3%	10.4%	8.5%	2.8%
	安芸広域圏	259	76.8%	12.4%	7.3%	3.5%
	香美圏域	503	75.3%	12.5%	8.7%	3.4%
	高岡地域	247	76.9%	12.1%	9.7%	1.2%
	仁淀川流域	136	72.8%	9.6%	13.2%	4.4%
	幡多地域	445	82.5%	8.5%	6.5%	2.5%
	嶺北地域	77	74.0%	16.9%	6.5%	2.6%

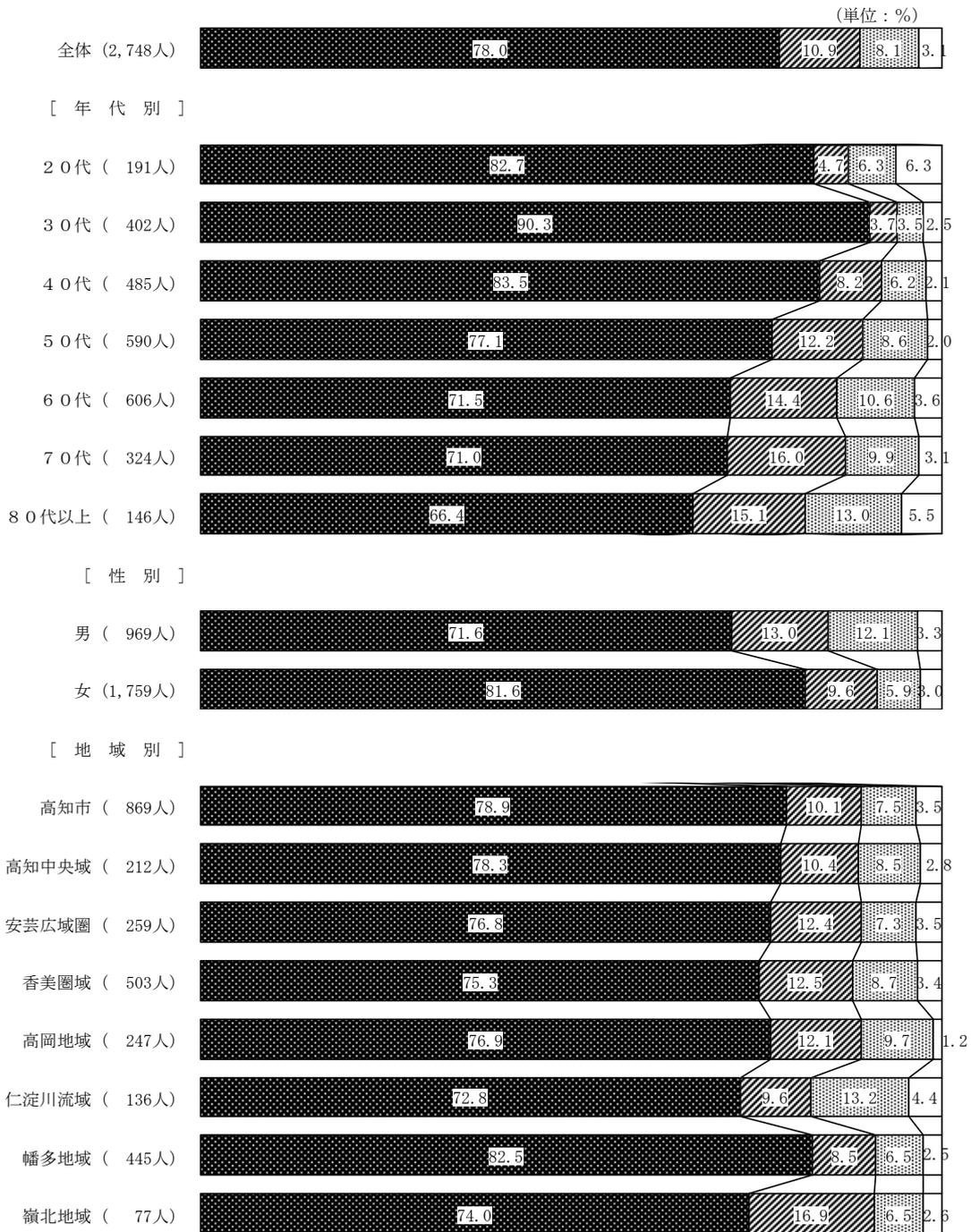
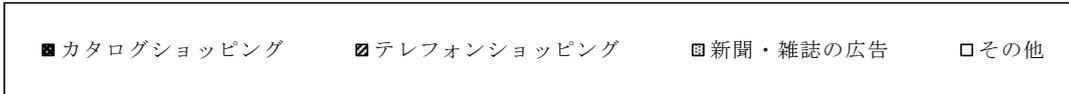


図 4.18 利用する通信販売の形態

(11) 地産地消について

① 「地産地消」の認知度 (1つ選択)

・ 回答者全体

地産地消の認知度については、「言葉も内容も知っている」が79.5%と最も高く、次いで「聞いた(見た)ことはある」が12.6%、「知らない」が7.9%となる。

・ 年代別

「言葉も内容も知っている」は、20代の77.1%から年代が上がるにつれて上昇し、50代の86.4%をピークに、その後は低下傾向となる。なお、80代以上は56.6%となる。

・ 性別

性別によって大きな違いは見られない。

・ 地域別

「言葉も内容も知っている」は、高知市が83.7%と最も高く、最も低い安芸広域圏でも71.0%となり、全ての地域で7割超となる。

表 4.21 地産地消の認知度

(単位:人)

区分	合計	言葉も内容も知っている	聞いた(見た)はある	知らない	
全体	5,740	79.5%	12.6%	7.9%	
年代別	20代	415	77.1%	15.2%	7.7%
	30代	712	83.1%	11.5%	5.3%
	40代	796	85.4%	11.1%	3.5%
	50代	1,082	86.4%	9.5%	4.1%
	60代	1,242	83.2%	11.5%	5.3%
	70代	929	73.4%	15.4%	11.2%
	80代以上	553	56.6%	18.1%	25.3%
性別	男	2,423	80.5%	12.6%	6.9%
	女	3,256	78.9%	12.5%	8.6%
地域別	高知市	1,780	83.7%	11.5%	4.8%
	高知中央域	466	73.4%	15.5%	11.2%
	安芸広域圏	573	71.0%	14.0%	15.0%
	香美圏域	1,015	83.1%	11.3%	5.6%
	高岡地域	547	79.2%	12.8%	8.0%
	仁淀川流域	313	76.0%	15.7%	8.3%
	幡多地域	895	78.1%	12.7%	9.2%
嶺北地域	151	72.2%	13.2%	14.6%	

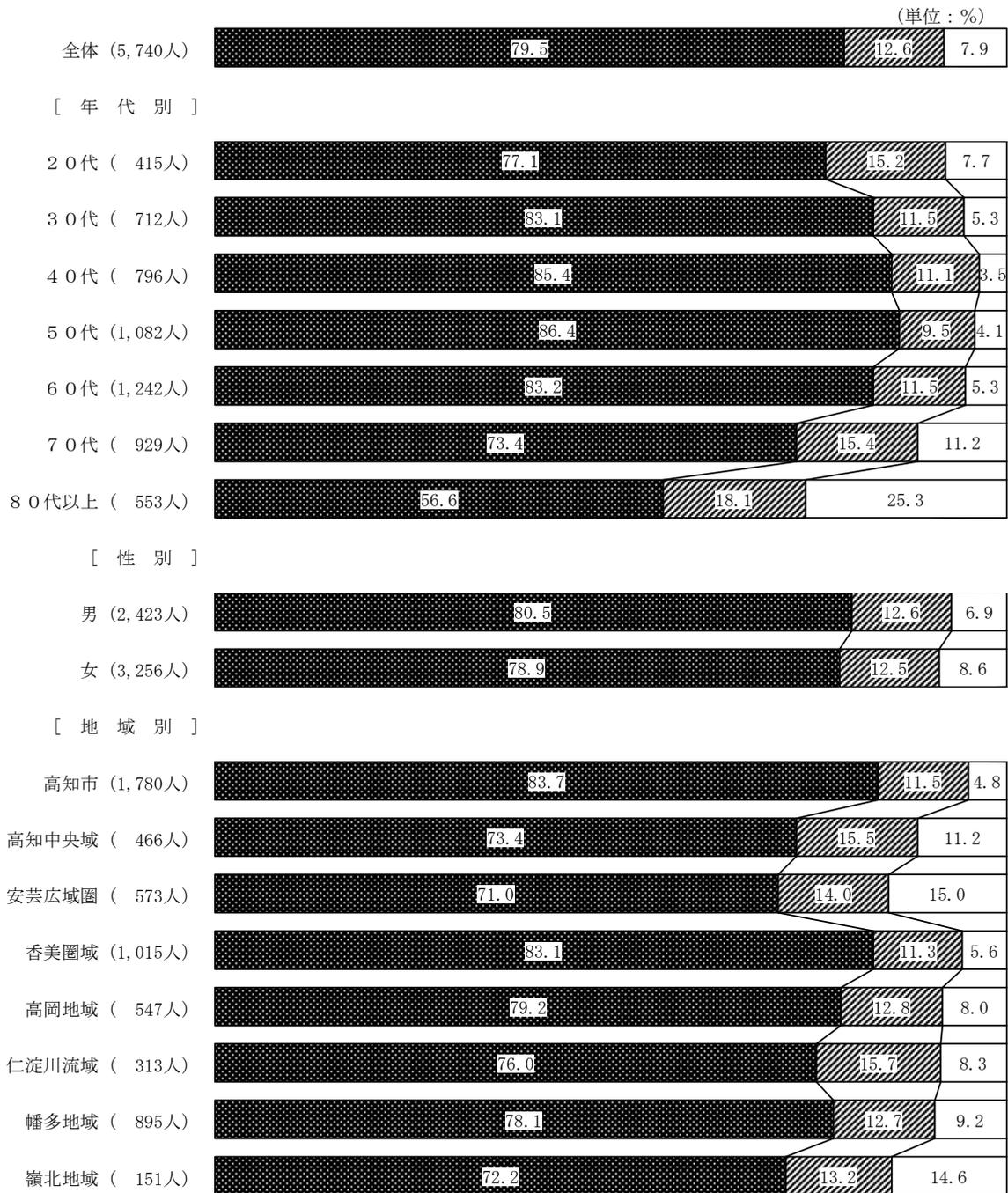
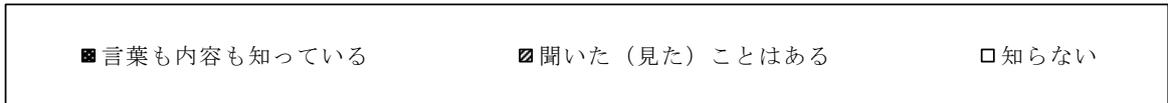


図 4.19 地産地消の認知度

② 買い物の際に高知県産品かどうかを意識しているか (1つ選択)

・ 回答者全体

買い物の際に高知県産品かどうかを意識しているかについては、【意識している】(=「いつも意識している」+「時々意識している」)は、86.8%となり、「全く意識していない」が13.2%となる。

・ 年代別

「いつも意識している」は、20代の17.3%から年代が上がるにつれて上昇する傾向があり、70代で55.6%とピークとなる。

・ 性別

【意識している】では、男性が82.9%、女性が89.8%と、女性が6.9ポイント高い。

・ 地域別

嶺北地域で、「いつも意識している」が53.0%と、その他の地域に比べて高い。

表 4.22 買い物の際に高知県産品かどうかを意識しているか

(単位:人)

区分	合計	いつも意識している	時々意識している	全く意識していない	
全体	5,700	42.0%	44.8%	13.2%	
年代別	20代	411	17.3%	58.2%	24.6%
	30代	712	25.1%	57.4%	17.4%
	40代	795	32.1%	55.1%	12.8%
	50代	1,081	40.7%	49.7%	9.6%
	60代	1,238	53.4%	36.3%	10.3%
	70代	918	55.6%	33.8%	10.7%
	80代以上	535	51.2%	31.8%	17.0%
性別	男	2,407	35.4%	47.5%	17.1%
	女	3,237	47.0%	42.8%	10.2%
地域別	高知市	1,772	41.9%	47.5%	10.7%
	高知中央域	464	42.5%	43.3%	14.2%
	安芸広域圏	569	43.9%	36.7%	19.3%
	香美圏域	1,011	40.9%	48.8%	10.4%
	高岡地域	547	41.0%	43.5%	15.5%
	仁淀川流域	298	40.6%	48.0%	11.4%
	幡多地域	888	41.4%	43.0%	15.5%
	嶺北地域	151	53.0%	31.8%	15.2%

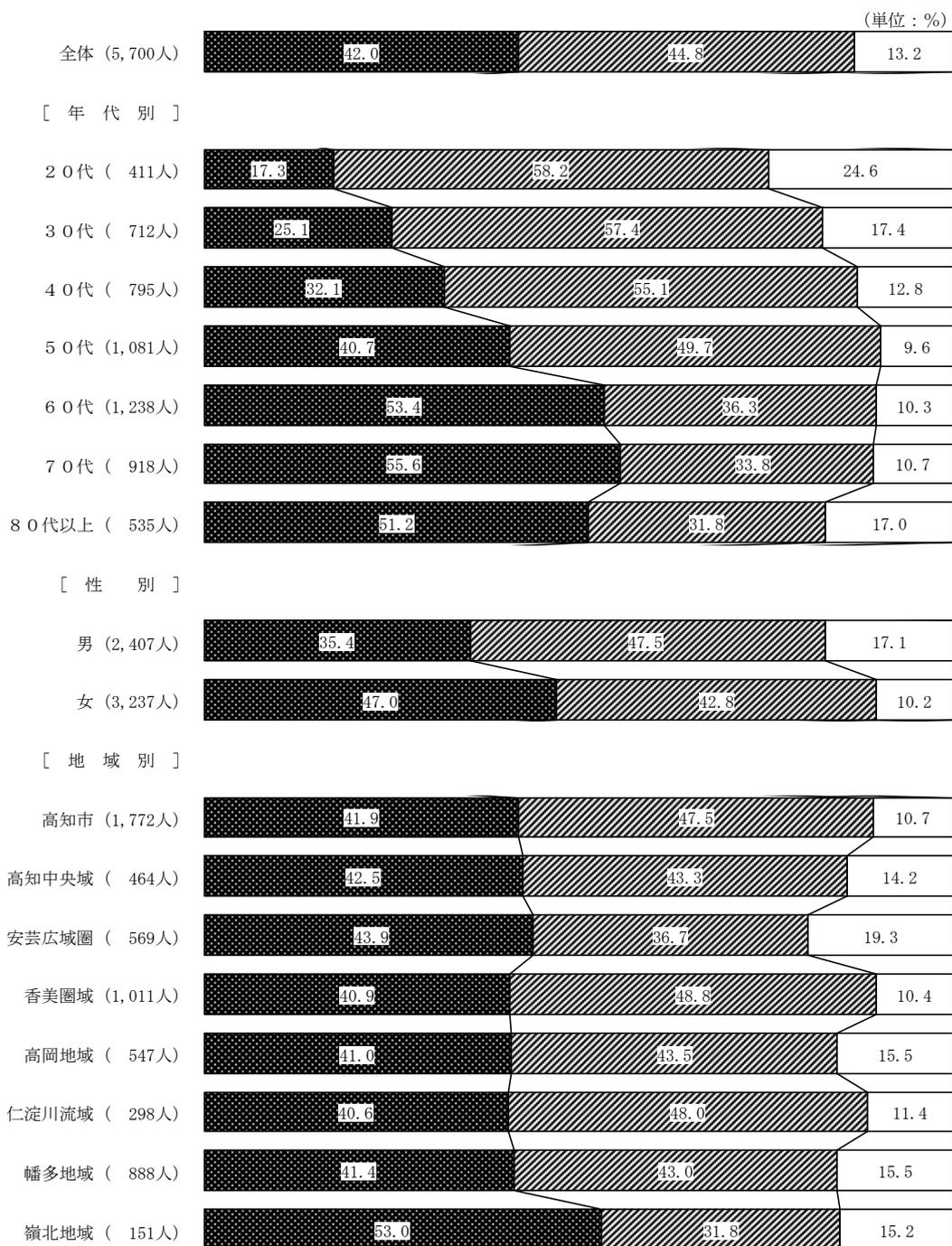
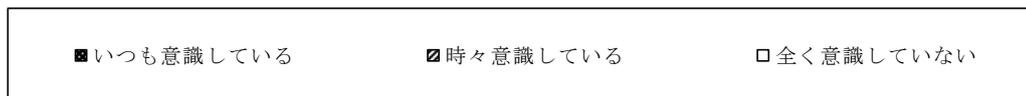


図 4.20 買い物の際に高知県産品かどうかを意識しているか

(12) 地元の商店街や商業に望むこと (3つまで選択)

・ 回答者全体

地元の商店街や商業に望むことについては、「駐車場・駐輪場の整備」が33.3%と最も高く、次いで「品揃えの充実」が32.3%、「価格を安く」が28.6%と続く。

・ 年代別

上位三位について見ると、20代、30代、50代は「駐車場・駐輪場の整備」「品揃えの充実」「魅力ある個店の導入」、40代、60代が「駐車場・駐輪場の整備」「品揃えの充実」「価格を安く」、70代以上では「価格を安く」「特になし」「品揃えの充実」となる。

・ 性別

男性では「駐車場・駐輪場の整備」が36.4%、女性では「品揃えの充実」が33.8%と最も高い。なお、上位三位について見ると、男女ともに、「駐車場・駐輪場の整備」「品揃えの充実」「価格を安く」となる。

・ 地域別

高知市、香美圏域、幡多地域では「駐車場・駐輪場の整備」が最も高く、特に香美圏域では45.3%と全ての地域の中で最も高い。安芸広域圏、高岡地域、仁淀川流域、嶺北地域では「品揃えの充実」が最も高く、特に嶺北地域が45.3%と全ての地域の中で最も高い。なお、高知中央域では「特になし」が29.1%で最も高い。

表 4.23 地元の商店街や商業に望むこと

(単位:人)

区 分	合計	駐車場・駐輪場の整備	品揃えの充実	価格を安く	魅力ある個店の導入	入りやすくなる雰囲気作り	商店街の大規模な再開発	個店の努力	大型店をつくる	営業時間の延長と定休日	接客の改善	商店街の環境整備(街路灯等の)	アーケード、コンクリート	コンビニエンスストア	その他	商店街の移転
全 体	5,570	33.3%	32.3%	28.6%	24.9%	20.9%	13.0%	12.9%	11.1%	8.7%	6.5%	6.0%	3.5%	1.8%	1.0%	
年 代 別	20代	405	34.3%	34.1%	29.4%	30.1%	19.0%	20.0%	10.4%	22.0%	10.9%	5.4%	10.6%	7.4%	2.0%	0.7%
	30代	699	43.3%	35.1%	27.0%	31.8%	18.5%	17.3%	10.6%	15.9%	10.6%	6.4%	8.7%	5.4%	1.9%	1.0%
	40代	779	40.8%	35.2%	28.5%	28.2%	19.1%	16.3%	15.5%	13.1%	11.6%	8.2%	6.2%	4.2%	1.7%	1.7%
	50代	1,065	37.1%	34.8%	26.7%	28.4%	23.5%	15.5%	14.0%	10.9%	9.6%	5.7%	6.8%	3.2%	1.4%	1.4%
	60代	1,207	33.2%	32.5%	29.0%	24.6%	24.2%	10.2%	14.8%	8.9%	8.1%	7.1%	5.6%	2.5%	1.7%	1.1%
	70代	887	23.4%	28.9%	32.4%	18.0%	21.0%	8.3%	10.9%	8.1%	6.5%	7.2%	3.0%	2.3%	1.8%	0.3%
80代以上	519	17.1%	23.9%	27.0%	12.5%	15.2%	6.2%	10.4%	2.9%	3.9%	3.7%	2.5%	1.9%	3.3%	0.8%	
性 別	男	2,352	36.4%	30.2%	28.3%	24.4%	18.3%	13.4%	14.9%	11.2%	9.7%	6.2%	6.5%	4.1%	2.1%	1.2%
	女	3,166	31.0%	33.8%	28.7%	25.5%	22.9%	12.9%	11.3%	11.0%	8.1%	6.8%	5.6%	3.1%	1.7%	0.9%
地 域 別	高 知 市	1,720	39.2%	30.6%	25.3%	27.2%	23.5%	13.8%	12.4%	10.3%	9.1%	9.5%	7.3%	2.6%	1.5%	0.8%
	高知中央域	457	24.5%	26.3%	17.1%	23.0%	15.8%	9.8%	13.3%	8.5%	5.5%	3.3%	8.3%	1.8%	3.7%	1.1%
	安芸広域圏	564	15.1%	34.8%	29.8%	22.3%	16.1%	12.2%	14.5%	15.1%	9.8%	4.6%	2.1%	6.0%	1.2%	1.1%
	香美圏域	983	45.3%	31.7%	30.5%	29.5%	19.9%	18.9%	12.9%	9.4%	8.7%	5.2%	8.4%	2.6%	1.3%	1.2%
	高岡地域	540	26.9%	38.1%	36.1%	22.8%	21.9%	12.4%	16.5%	13.3%	10.6%	6.3%	4.4%	5.7%	1.7%	0.9%
	仁淀川流域	281	24.2%	34.9%	32.0%	22.8%	19.2%	9.3%	15.7%	11.0%	9.6%	3.6%	4.3%	7.1%	2.8%	0.4%
	幡多地域	877	35.3%	31.4%	30.8%	22.6%	25.0%	10.1%	9.8%	11.6%	8.3%	6.4%	4.1%	2.9%	1.9%	1.7%
嶺北地域	148	10.1%	45.3%	39.2%	10.8%	6.1%	2.7%	10.8%	11.5%	4.7%	3.4%	1.4%	4.7%	4.7%	0.7%	

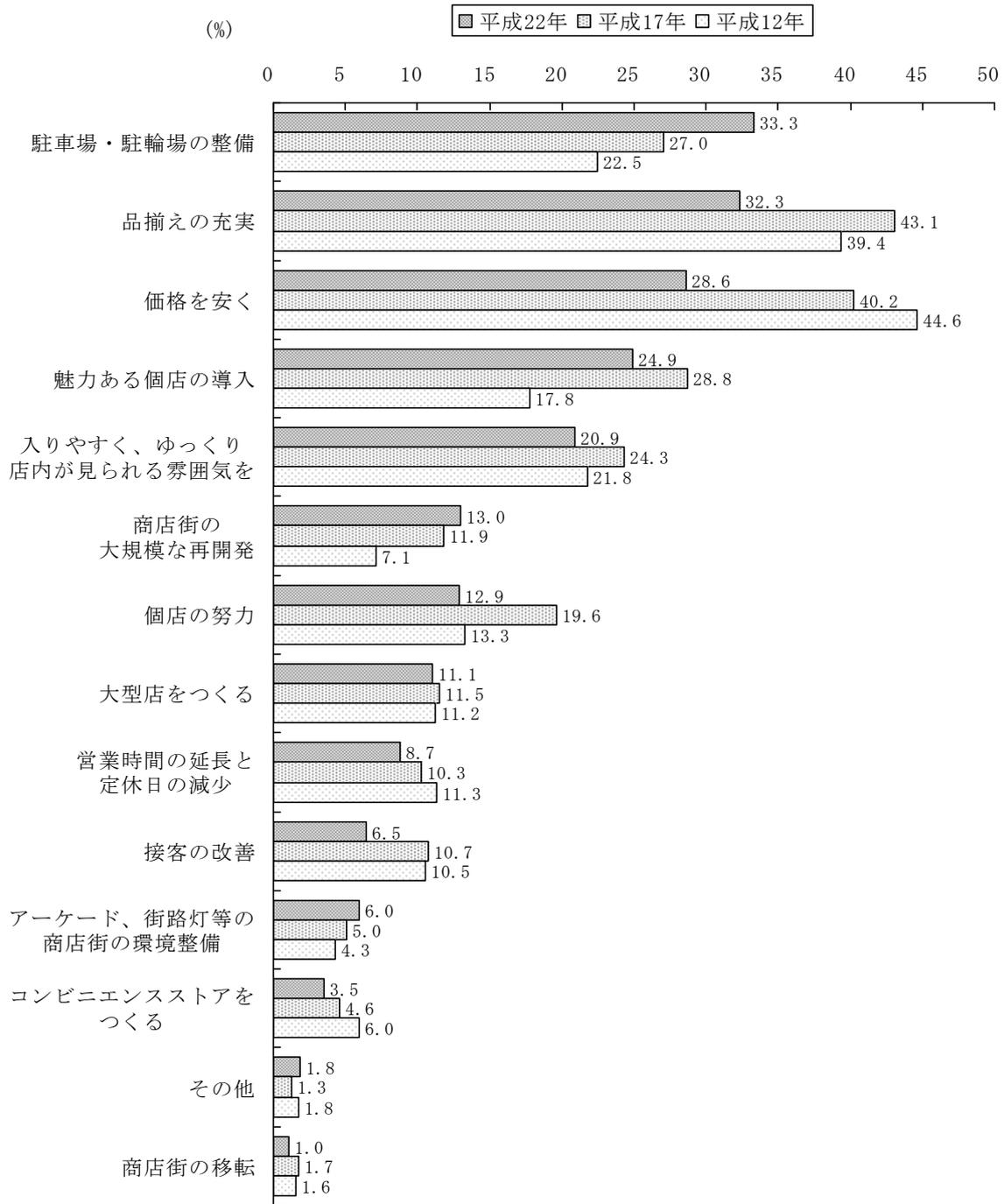


図 4.21 地元の商店街や商業に望むこと

・ 高知市

高知市について、地元の商店街や商業に望むことを見ると、70代以上では「品揃えの充実」「価格を安く」が比較的高い。

表 4.24 地元の商店街や商業に望むこと（高知市）

(単位:人)

	合計	駐車場・駐輪場の整備	品揃えの充実	価格を安く	魅力ある個店の導入	入りやすさ、ゆっくりに見られる雰囲気	特になし	商店街の大規模な再開発	個店の努力	大型店をつくる	営業時間の延長と定休日の減少	接客の改善	アーケード、街路灯等の環境整備	コンビニエンスストアをつくる	その他	商店街の移転	
高知市	高知市全体	1,720	39.2%	30.6%	25.3%	27.2%	23.5%	14.9%	13.8%	12.4%	10.3%	9.1%	9.5%	7.3%	2.6%	1.5%	0.8%
	20代	148	40.5%	34.5%	28.4%	30.4%	24.3%	8.8%	20.3%	8.1%	21.6%	8.1%	6.1%	11.5%	2.7%	0.0%	2.0%
	30代	252	50.4%	28.6%	22.6%	34.5%	19.8%	8.7%	14.7%	11.1%	10.7%	14.7%	10.3%	9.5%	4.8%	1.6%	0.4%
	40代	276	47.1%	29.0%	22.8%	27.2%	23.9%	8.0%	12.7%	15.9%	13.8%	10.5%	11.2%	10.5%	2.5%	1.1%	0.7%
	50代	323	39.3%	31.6%	23.2%	28.5%	25.1%	12.7%	14.9%	14.6%	9.0%	9.9%	7.1%	8.4%	2.8%	1.9%	0.9%
	60代	374	36.6%	32.9%	27.3%	25.4%	25.7%	19.0%	11.2%	14.7%	7.5%	6.7%	10.2%	5.3%	2.4%	1.1%	0.5%
	70代	228	28.5%	28.9%	27.2%	22.8%	22.8%	21.9%	14.0%	7.9%	8.8%	6.1%	11.8%	2.2%	0.9%	1.8%	0.9%
	80代以上	116	23.3%	27.6%	29.3%	18.1%	19.8%	31.0%	12.1%	7.8%	3.4%	6.0%	8.6%	2.6%	1.7%	3.4%	0.0%
無回答	3	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## 5章 買物出向比率からみた買い物先の使い分け

(高知市を除く市町村)

### (1) 大型店や商店などの支持の変化

最寄品と買回品の買い物先（SC、商店、直販所、無店舗販売、その他）の支持率をもとに、SC（以下「大型店」という）や商店などの支持率の変化を取りまとめた。

ここで、最寄品の買い物先の支持率として、「生鮮食品」「一般食料品」「日用雑貨・台所用品等」の買い物先の支持率の平均値を、買回品の買い物先の支持率として、「紳士服」「婦人服」「靴・カバン」の買い物先の支持率の平均値を、それぞれ用いて変化を見ている。

#### ① 最寄品

「大型店」が 87.1%と上昇傾向が続く一方で、「商店」は 7.4%と低下傾向が続く。なお、今回調査では選択肢に「直販所」を加えているが、「直販所」の支持率は 3.5%となり、「商店」(7.4%) の約半分に迫る。

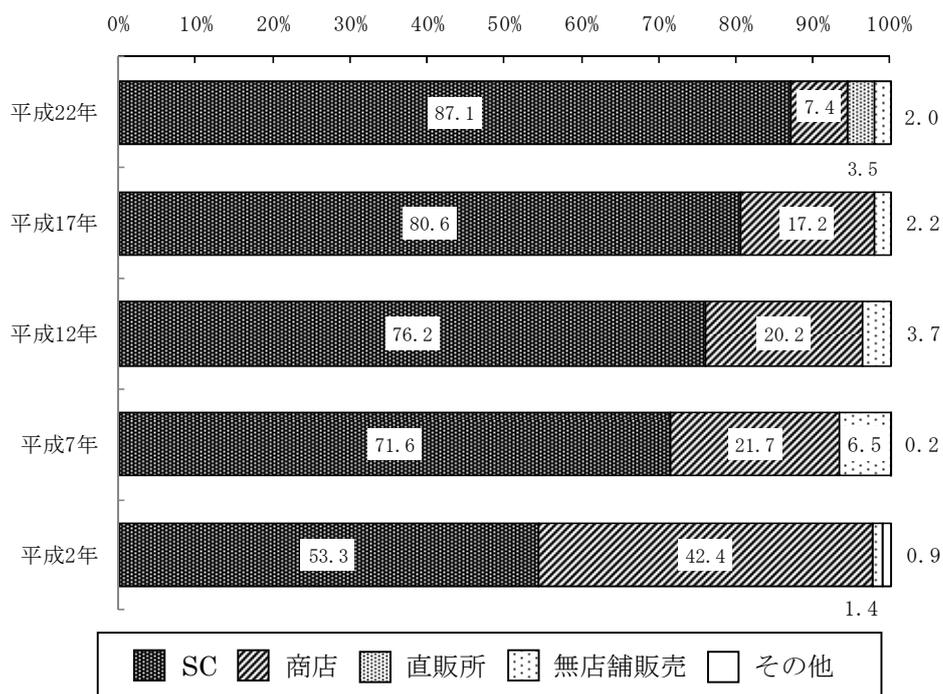


図 5.1 最寄品の買い物先の変化

注) 1 平成 22 年の SC は「スーパー」と「ショッピングセンターなど大型店」を足した数値としている

注) 2 平成 22 年より、選択肢に「直販所」の項目が増えたため、項目を加えて作成した

注) 3 平成 12 年以降は、選択肢に「その他」が省かれている

## ② 買回品

「大型店」が 66.3%と依然上昇を続けるが、前回からは 1.7 ポイント上昇（64.6%→66.3%）にとどまり、その速度は緩やかとなる。

「商店」は 28.7%と依然低下を続けるが、前回から 3.7 ポイント低下（32.4%→28.7%）となり、その速度は緩やかになりつつある。

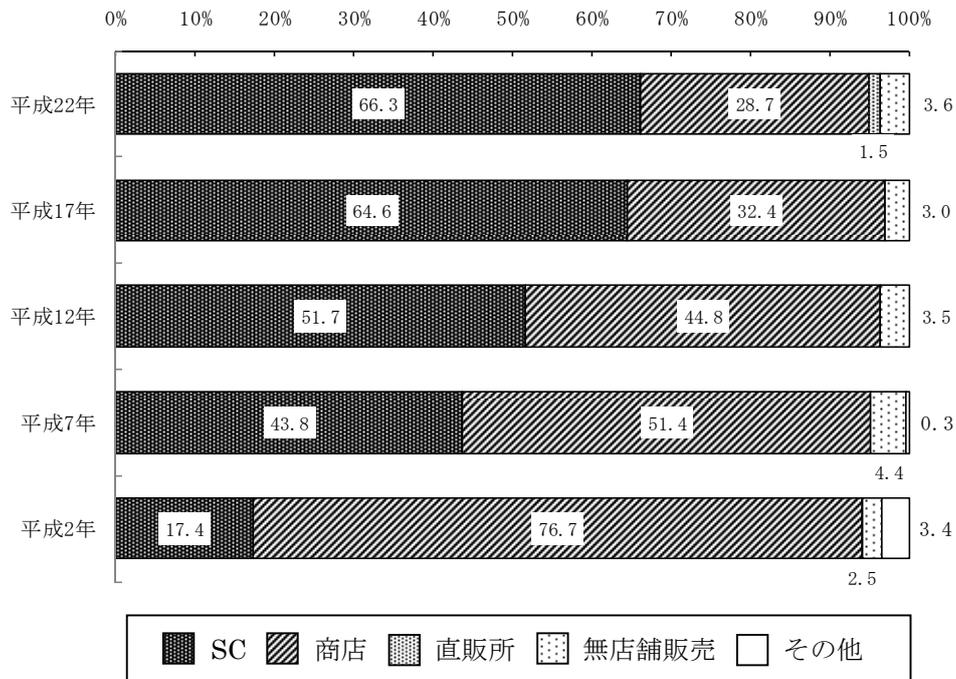


図 5.2 買回品の買い物先の変化

注) 1 平成 22 年の SC は「スーパー」と「ショッピングセンターなど大型店」を足した数値としている

注) 2 平成 22 年より、選択肢に「直販所」の項目が増えたため、項目を加えて作成した

注) 3 平成 12 年以降は、選択肢に「その他」が省かれている

## (2) 無店舗販売の利用状況

ここでは、無店舗販売（通信販売、移動販売、生協）の利用状況について、支持率が高い上位三品目について見ている。

### ① 通信販売

「婦人服」が4.8%と最も高く、次いで「アクセサリ・服飾品」が4.5%、「シャツ・下着類」が3.8%で続く。

「婦人服」は、年代別では40代が8.2%で最も高く、性別では女性（5.4%）が男性（3.4%）より高く、地域別では嶺北地域が6.3%で最も高い。

「アクセサリ・服飾品」は、年代別では30代が7.3%で最も高く、性別では女性（4.7%）が男性（4.3%）より高く、地域別では幡多地域が7.9%で最も高い。

「シャツ・下着類」は、年代別では30代が8.1%で最も高く、性別では女性（5.2%）が男性（1.9%）より高く、地域別では嶺北地域が5.5%で最も高い。

### ② 移動販売

「医薬品・化粧品」が0.8%と最も高く、次いで「生鮮食品（肉・魚・青果等）」が0.6%、「時計・カメラ・メガネ」が0.4%で続く。

「医薬品・化粧品」は、年代別では80代以上が3.4%で最も高く、性別では女性（0.7%）と男性（0.8%）でほぼ同等で、地域別では嶺北地域が14.8%で最も高い。

「生鮮食品（肉・魚・青果等）」は、年代別では80代以上が3.0%で最も高く、性別では女性（0.8%）が男性（0.4%）より高く、地域別では嶺北地域が3.8%で最も高い。

「時計・カメラ・メガネ」は、年代別では80代以上が2.5%で最も高く、性別では女性（0.5%）が男性（0.3%）より高く、地域別では幡多地域が1.8%で最も高い。

### ③ 生協

「生鮮食品（肉・魚・青果等）」が1.3%と最も高く、次いで「シャツ・下着類」が0.9%、「医薬品・化粧品」が0.8%で続く。

「生鮮食品（肉・魚・青果等）」は、年代別では40代が1.9%で最も高く、性別では女性（1.6%）が男性（0.9%）より高く、地域別では高岡地域が1.8%で最も高い。

「シャツ・下着類」は、年代別では50代が1.4%で最も高く、性別では女性（1.4%）が男性（0.3%）より高く、地域別では安芸広域圏が1.5%で最も高い。

「医薬品・化粧品」は、年代別では70代が1.2%で最も高く、性別では女性（1.2%）が男性（0.3%）より高く、地域別では高知中央域が1.6%で最も高い。

## 6章 商店街について

### (1) 地元の商店街でのお買い物について

#### ① 地元の商店街に行く回数 (1つ選択)

##### ・ 回答者全体

地元の商店街に行く回数については、【週1回以上】(=「毎日」～「週1回」の計)が38.9%、【月1回以上】(=「毎日」～「月1回」の計)が53.3%となる。

##### ・ 年代別

【週1回以上】について見ると、20代の22.9%から年代が上がるにつれて上昇し、60代の45.9%をピークに、その後は低下傾向となる。なお、80代以上は37.3%となる。

##### ・ 性別

性別では大きな違いは見られない。

##### ・ 地域別

【週1回以上】について見ると、最も高い高岡地域が52.8%、最も低い香美圏域が26.1%で、26.7ポイントの開きがあるなど、地域によってばらつきがある。

表 6.1 地元の商店街に行く回数

(単位:人)

区分	合計	毎日	週2、3回	週1回	月2、3回	月1回	年に数回	全く行かない	
全体	5,789	11.4%	18.3%	9.2%	8.4%	6.0%	16.2%	30.5%	
年代別	20代	419	4.5%	10.0%	8.4%	8.1%	7.4%	22.0%	39.6%
	30代	724	6.2%	12.2%	7.5%	7.2%	5.4%	20.7%	40.9%
	40代	796	9.7%	15.3%	9.2%	7.0%	7.8%	20.2%	30.8%
	50代	1,100	13.1%	21.3%	9.5%	8.7%	6.6%	18.3%	22.5%
	60代	1,265	14.5%	22.5%	8.9%	9.6%	5.8%	14.1%	24.7%
	70代	941	13.5%	21.0%	10.8%	9.1%	4.8%	11.5%	29.2%
	80代以上	533	11.4%	16.5%	9.4%	7.3%	5.1%	9.2%	41.1%
性別	男	2,443	11.3%	18.9%	9.3%	8.5%	5.3%	15.9%	30.9%
	女	3,284	11.4%	17.7%	9.1%	8.2%	6.7%	16.7%	30.2%
地域別	高知市	1,773	15.6%	19.5%	9.0%	7.1%	5.9%	13.9%	29.1%
	高知中央域	473	11.8%	16.9%	7.4%	9.7%	7.2%	19.9%	27.1%
	安芸広域圏	580	6.6%	15.9%	10.3%	10.0%	9.1%	17.6%	30.5%
	香美圏域	1,024	6.7%	12.6%	6.8%	8.0%	4.7%	19.1%	42.0%
	高岡地域	561	14.8%	26.9%	11.1%	11.6%	3.9%	10.5%	21.2%
	仁淀川流域	296	12.8%	26.4%	13.2%	10.1%	8.4%	17.6%	11.5%
	幡多地域	935	9.1%	17.0%	9.8%	7.3%	6.0%	18.4%	32.4%
	嶺北地域	147	9.5%	16.3%	10.2%	6.8%	5.4%	12.9%	38.8%

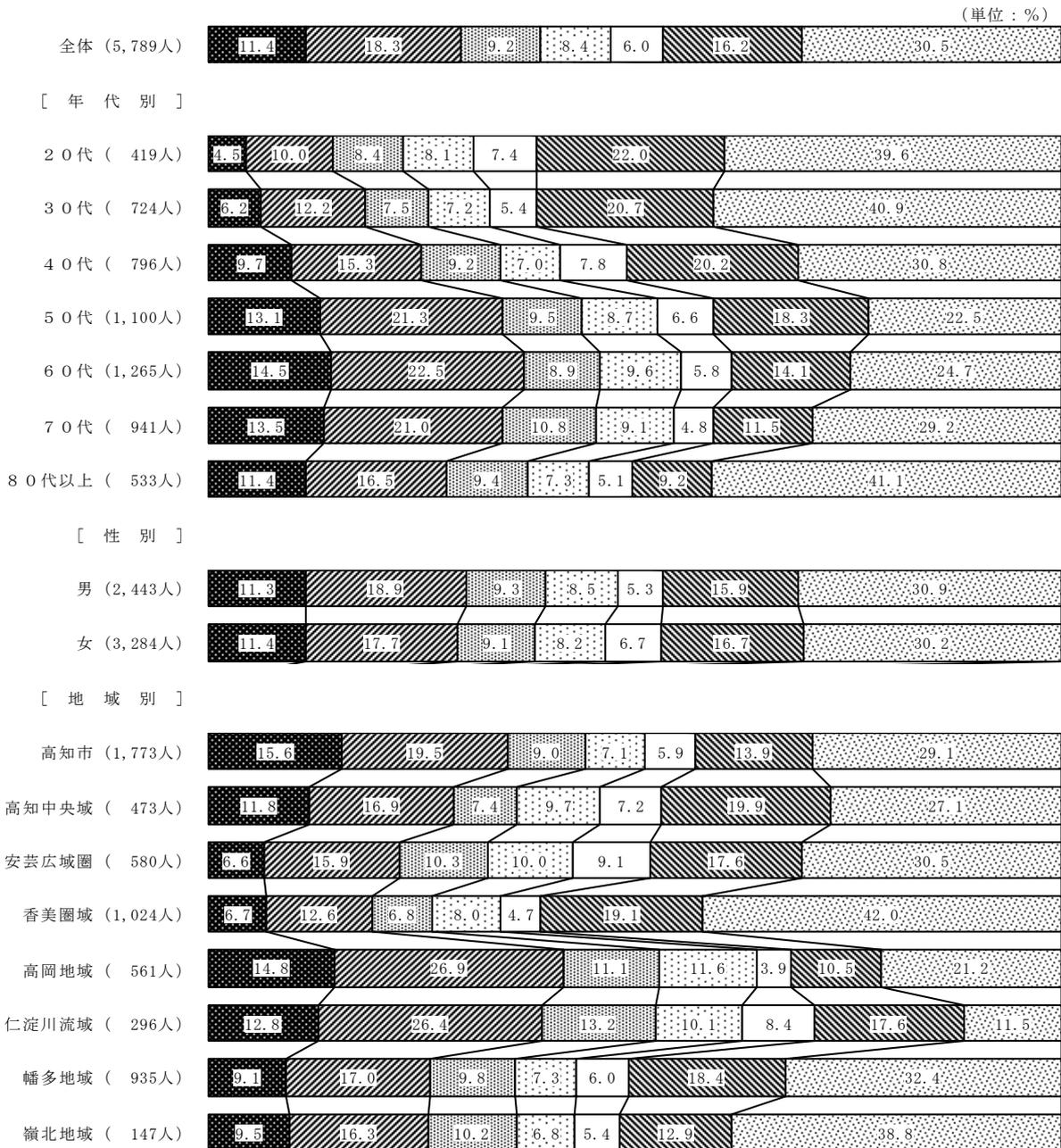


図 6.1 地元の商店街に行く回数

② 交通手段【①の副問】 (3つまで選択)

・ 回答者全体

交通手段については、「自家用車」が68.8%と最も高く、次いで「自転車」が26.3%、「徒歩」が25.4%と続く。

・ 年代別

全ての年代で「自家用車」が最も高いが、70代以上は他の年代と比べて低い。70代以上では「徒歩」を選ぶ割合が高く、80代以上では「バス」「タクシー」「その他」が、その他の年代に比べて高い。

・ 性別

男女ともに「自家用車」が最も高くなるが、男性が73.3%、女性が65.6%で、男性が7.7ポイント高い。

・ 地域別

全ての地域で「自家用車」が最も高くなるが、最も高い嶺北地域が80.5%、最も低い高知市が55.5%と25.0ポイントの開きがある。なお、高知市では、「自転車」「徒歩」が、その他の地域と比べて高い。

表 6.2 商店街に行くための交通手段

(単位:人)

区 分	合 計	自家用車	自転車	徒歩	バイク	バス	電車・ 汽 車	タク シー	そ の 他	
全 体	3,945	68.8%	26.3%	25.4%	7.4%	4.3%	2.4%	1.8%	1.6%	
年 代 別	20代	252	69.4%	34.1%	26.2%	11.1%	2.8%	6.3%	0.0%	2.0%
	30代	423	75.7%	26.7%	21.7%	6.9%	1.2%	1.4%	0.5%	0.5%
	40代	545	76.1%	28.4%	23.5%	5.3%	2.2%	2.4%	0.0%	0.7%
	50代	838	77.0%	23.0%	19.6%	7.4%	2.5%	1.4%	1.1%	0.7%
	60代	927	69.3%	27.2%	25.7%	8.5%	4.6%	1.6%	1.0%	0.8%
	70代	644	58.7%	27.0%	29.7%	7.6%	8.1%	4.0%	3.1%	3.1%
	80代以上	308	42.9%	21.1%	39.6%	4.5%	10.1%	2.6%	10.1%	6.2%
性 別	男	1,653	73.3%	26.4%	24.1%	9.0%	3.6%	1.8%	0.7%	1.3%
	女	2,249	65.6%	26.4%	26.4%	6.1%	4.8%	2.9%	2.6%	1.8%
地 域 別	高知市	1,235	55.5%	40.4%	35.1%	9.9%	6.6%	5.2%	2.0%	1.0%
	高知中央域	339	68.7%	25.4%	24.8%	8.0%	3.2%	2.1%	1.2%	0.6%
	安芸広域圏	398	71.4%	24.9%	18.6%	8.8%	4.0%	2.3%	1.5%	1.3%
	香美圏域	579	76.0%	21.9%	22.8%	8.5%	4.1%	1.0%	2.4%	2.1%
	高岡地域	435	78.9%	16.6%	19.1%	4.8%	1.6%	0.9%	0.9%	2.1%
	仁淀川流域	255	73.3%	16.5%	24.7%	4.7%	3.5%	0.8%	3.1%	3.9%
	幡多地域	617	76.5%	17.2%	17.8%	3.2%	3.2%	0.6%	1.1%	1.9%
	嶺北地域	87	80.5%	8.0%	27.6%	4.6%	2.3%	0.0%	4.6%	1.1%

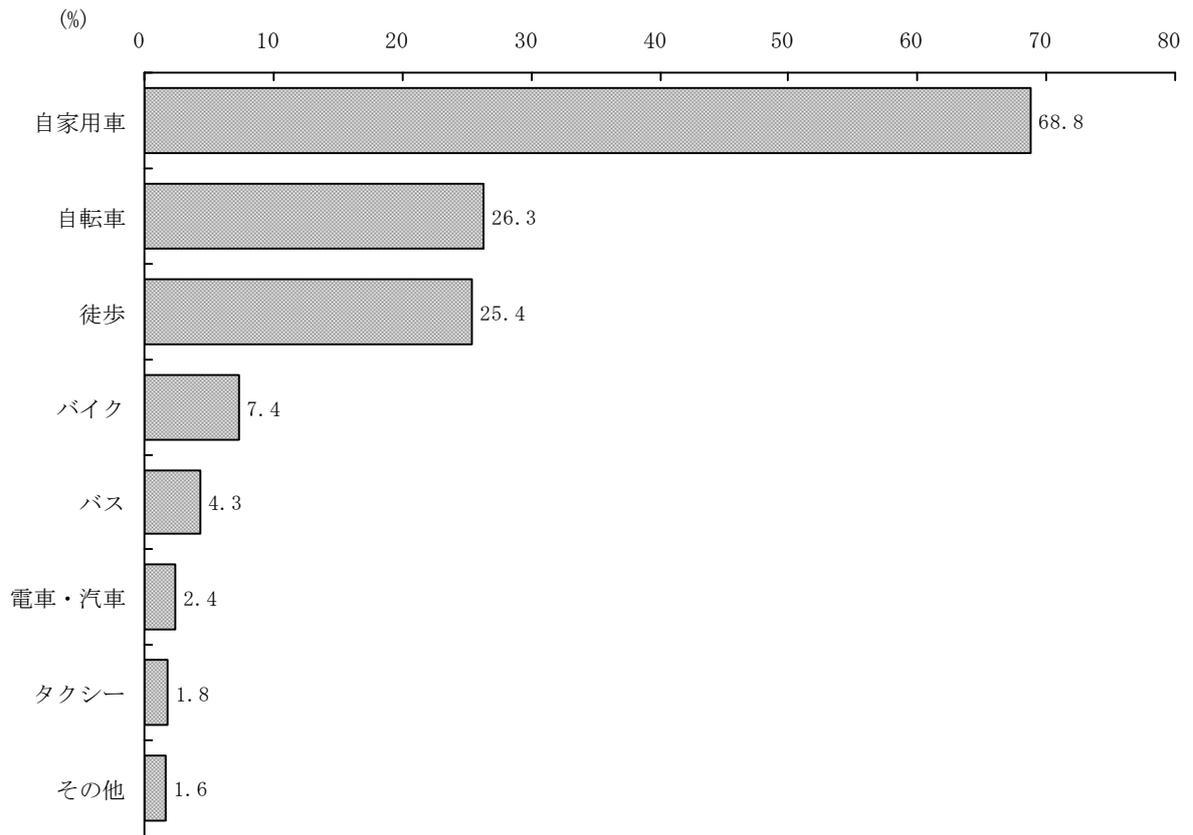


図 6.2 商店街に行くための交通手段

### ③ 所要時間

#### ・ 回答者全体

所要時間については、【10分以内】（＝「5分以内」＋「10分以内」）が61.7%となり、10分より時間が掛ると答えた人は38.3%である。

#### ・ 年代別

【10分以内】について見ると、20代の56.5%から、年代が上がるにつれて上昇し、40代の69.9%をピークに、その後は低下傾向となり、80代以上では44.9%となる。

なお、80代以上の27.3%が、15分よりも時間をかけて商店街に行っている。

#### ・ 性別

【10分以内】について見ると、男性が63.3%、女性が60.7%で、男性の方が2.6ポイント高い。

#### ・ 地域別

【10分以内】について見ると、最も高い高知中央域が65.9%、最も低い幡多地域が54.2%と、11.7ポイントの開きがあるなど、地域によってばらつきがある。

表 6.3 商店街までの所要時間

(単位:人)

区分	合計	5分以内	10分以内	15分以内	30分以内	1時間以内	1時間超	
全体	4,619	28.8%	32.9%	21.6%	14.7%	1.7%	0.3%	
年代別	20代	334	26.0%	30.5%	23.1%	19.2%	0.9%	0.3%
	30代	542	29.5%	34.5%	22.3%	12.4%	1.1%	0.2%
	40代	656	36.4%	33.5%	16.8%	11.9%	1.1%	0.3%
	50代	906	31.7%	35.8%	20.6%	10.9%	1.0%	0.0%
	60代	1,033	28.9%	32.8%	22.3%	13.7%	2.0%	0.2%
	70代	732	24.2%	32.1%	22.0%	18.3%	2.7%	0.7%
	80代以上	407	18.9%	26.0%	27.8%	23.3%	3.2%	0.7%
性別	男	1,950	30.6%	32.7%	20.9%	13.6%	1.8%	0.4%
	女	2,617	27.6%	33.1%	22.0%	15.6%	1.5%	0.2%
地域別	高知市	1,400	30.1%	33.6%	19.9%	15.4%	1.1%	0.0%
	高知中央域	437	27.0%	38.9%	24.3%	8.2%	1.1%	0.5%
	安芸広域圏	343	32.9%	32.7%	21.3%	9.6%	1.5%	2.0%
	香美圏域	874	26.2%	34.2%	21.7%	15.3%	2.2%	0.3%
	高岡地域	456	31.6%	29.8%	21.9%	13.4%	3.3%	0.0%
	仁淀川流域	232	31.0%	31.9%	22.4%	11.6%	2.2%	0.9%
	幡多地域	753	24.7%	29.5%	23.9%	20.3%	1.6%	0.0%
	嶺北地域	124	36.3%	27.4%	16.9%	16.1%	2.4%	0.8%

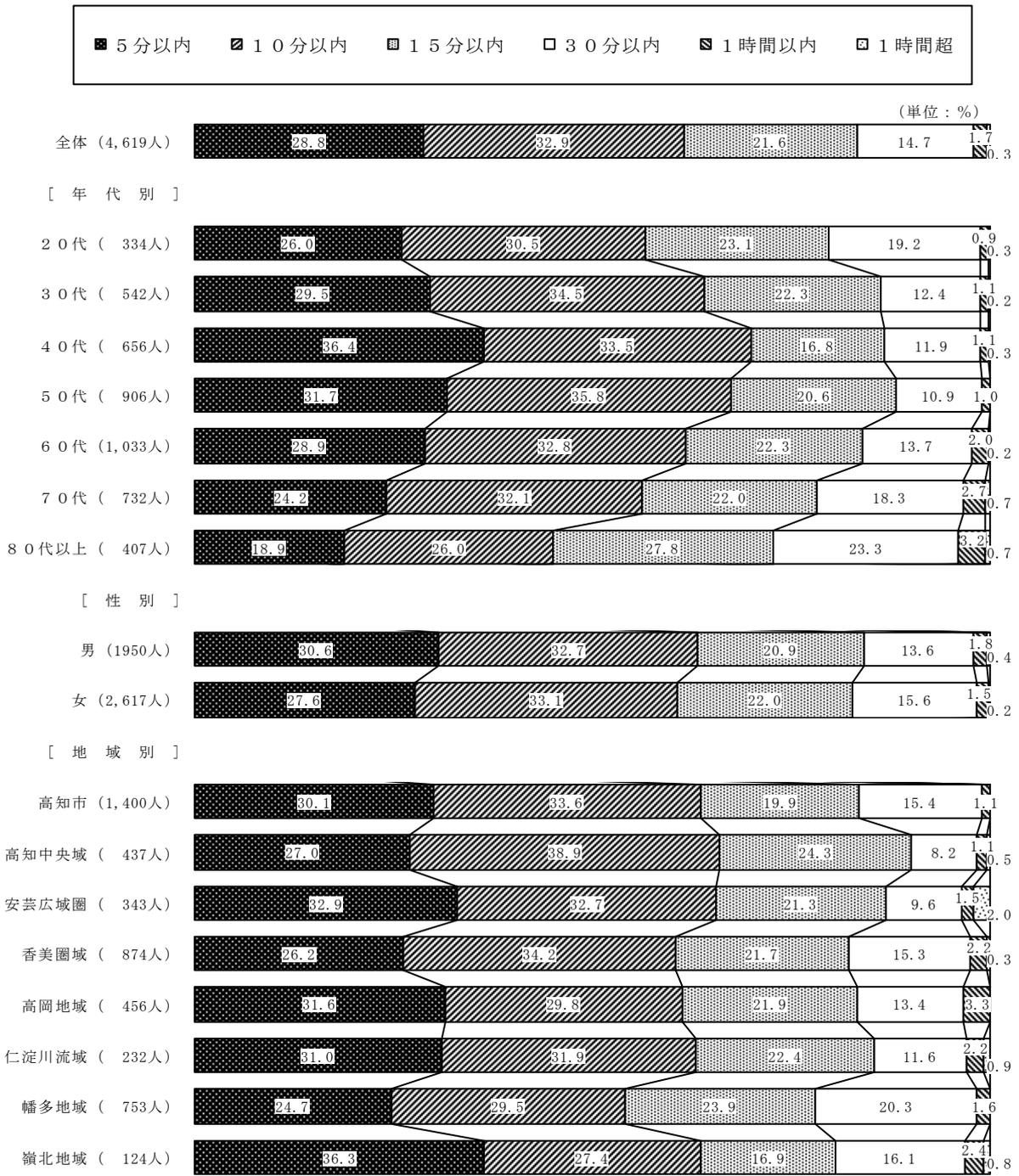


図 6.3 商店街までの所要時間

④ 商店街に行く目的 (3つまで選択)

・ 回答者全体

商店街に行く目的については、「食料品の購入」が70.6%と最も高く、次いで「日用品の購入」が45.2%、「病院、金融機関、郵便局、役所等」が35.1%と続く。

・ 年代別

上位三位について見ると、全ての年代で「食料品の購入」「日用品の購入」「病院、金融機関、郵便局、役所等」となる。なお、その割合は年代が上がるにつれて上昇する傾向がある。

・ 性別

上位三位について見ると、男女ともに「食料品の購入」「日用品の購入」「病院、金融機関、郵便局、役所等」となる。

・ 地域別

全ての地域で「食料品の購入」が最も高い。なお、第二位について見ると、仁淀川流域、香美圏域が「病院、金融機関、郵便局、役所等」となり、その他の地域では「日用品の購入」となる。

表 6.4 商店街に行く目的

(単位:人)

区分	合計	食料品の購入	日用品の購入	病院、金融機関、郵便局、役所等	衣料品の回り品の購入	その他の商品の購入	理美容、クリーニング	食事・喫茶	祭りやイベント	娯楽(パチンコ、カラオケなど)	その他	趣味の教室や会合など	
全体	3,925	70.6%	45.2%	35.1%	17.6%	16.8%	14.7%	12.2%	7.6%	2.5%	1.7%	1.5%	
年代別	20代	248	54.4%	36.7%	28.2%	16.1%	14.9%	15.3%	20.2%	16.9%	5.6%	2.8%	1.2%
	30代	420	62.1%	33.1%	25.5%	15.5%	16.9%	10.5%	13.8%	15.0%	4.3%	3.6%	0.2%
	40代	547	67.6%	40.4%	37.1%	13.3%	15.5%	16.3%	11.3%	10.8%	2.9%	0.7%	0.7%
	50代	834	71.6%	46.4%	34.2%	18.1%	16.5%	17.9%	12.5%	6.1%	2.6%	1.7%	1.1%
	60代	923	71.3%	47.2%	36.8%	19.4%	17.2%	14.1%	13.9%	6.0%	2.1%	1.1%	2.1%
	70代	641	77.2%	53.2%	39.0%	19.0%	18.7%	14.0%	9.0%	3.7%	1.1%	1.9%	2.5%
	80代以上	305	81.0%	51.5%	39.0%	19.7%	14.8%	12.1%	5.6%	1.0%	0.3%	1.6%	2.3%
性別	男	1,640	71.4%	48.2%	32.9%	16.6%	17.8%	14.0%	11.6%	7.3%	4.3%	1.8%	1.4%
	女	2,244	69.8%	43.0%	36.7%	18.3%	16.0%	15.0%	12.6%	7.9%	1.1%	1.6%	1.6%
地域別	高知市	1,235	75.1%	48.7%	25.0%	21.5%	17.8%	11.0%	12.9%	8.8%	2.6%	2.3%	1.3%
	高知中央域	337	63.8%	39.5%	38.9%	17.8%	15.1%	18.1%	10.7%	6.2%	3.3%	1.2%	3.3%
	安芸広域圏	394	67.3%	41.6%	36.5%	11.7%	18.3%	13.7%	8.1%	2.3%	2.3%	0.8%	0.8%
	香美圏域	569	56.2%	43.8%	47.1%	14.2%	15.5%	18.8%	11.4%	13.2%	2.6%	1.8%	1.2%
	高岡地域	430	79.8%	54.7%	39.8%	16.5%	14.4%	13.5%	10.0%	3.0%	1.6%	1.9%	1.9%
	仁淀川流域	253	73.9%	43.5%	54.9%	15.4%	20.2%	24.9%	11.1%	2.0%	3.2%	1.2%	1.6%
	幡多地域	618	70.9%	38.5%	29.1%	19.6%	15.5%	14.4%	17.6%	10.4%	2.3%	1.8%	1.3%
	嶺北地域	89	83.1%	50.6%	38.2%	9.0%	22.5%	10.1%	5.6%	1.1%	1.1%	0.0%	2.2%

## ⑤ 商店街に対する評価

### ・ 回答者全体

商店街に対する評価については、「そう思う」から「そう思わない」を差し引いた値について見ると、「病院、金融機関、郵便局、役所など、商業以外の利便施設がそろっている」が 30.6 ポイントで最も高く、次いで「食料品、家庭用品など日々の買い物に便利」が 27.2 ポイント、「店から近くに十分な駐車場、駐輪場があり、自動車、自転車等を置くスペースがある」が 10.4 ポイントと続く。

### ・ 年代別

「そう思う」が「そう思わない」を上回る項目数は、年代が上がるにつれて多くなる傾向があり、70 代以上では 15 項目中 11 項目となる。

### ・ 性別

男女ともに、「そう思う」が「そう思わない」を上回るもののうち上位三位は、「病院、金融機関、郵便局、役所など、商業以外の利便施設がそろっている」「食料品、家庭用品など日々の買い物に便利」「店から近くに十分な駐車場、駐輪場があり、自動車、自転車等を置くスペースがある」となる。

### ・ 地域別

「そう思う」が「そう思わない」を上回る項目数は、最も多い高知市が 15 項目中 10 項目、最も少ない安芸広域圏、香美圏域で 3 項目と、地域によって評価にばらつきがある。

表 6.5 商店街に対する評価

区 分	(参考) そう思うーそう思わない															
	るの局④ 利便施設 がそろつて 以外便	①食料品、 家庭用品 など	⑤自動車 から近 く十分 な駐	⑩親し みのも てる店 や店	⑦ポイント カード や割引	②衣料品、 靴等の 身の回	⑨店員の 接客態 度も豊 富	⑭トイレ、 ベンチ、 買い	③小売業 以外の 業種が そ	⑪消費者 も十分 に情報 が情	⑫消費者 に力づく で店づく 映	⑤人々が 集う場所 や機会	⑧年何 度か大 売りの 福引し	⑥街並 みの雰 囲気が 良い	⑬営業 時間が 長い一 夜で	
全 体	30.6	27.2	10.4	8.1	6.1	-1.7	-2.1	-5.4	-5.8	-9.1	-12.8	-13.0	-13.3	-17.5	-23.6	
年 代 別	20代	18.1	13.5	-3.7	4.5	-6.1	-3.7	-4.9	-8.2	-5.7	-18.1	-16.0	-5.3	-17.3	-2.9	-41.1
	30代	18.0	2.9	-5.6	3.4	-9.8	-21.1	-6.2	-21.8	-19.0	-23.4	-16.2	-21.0	-17.0	-13.1	-37.6
	40代	19.5	20.5	2.4	4.4	-5.7	-14.5	-7.2	-12.6	-15.7	-19.4	-15.0	-16.4	-16.4	-18.7	-34.0
	50代	28.4	26.1	4.9	-2.6	-0.6	-2.1	-12.5	-10.6	-9.1	-17.4	-20.2	-22.1	-17.4	-25.4	-28.8
	60代	35.1	34.5	15.2	7.1	15.8	1.2	-3.6	-0.5	-2.3	-4.4	-10.4	-14.3	-11.7	-23.9	-18.9
	70代	44.4	40.9	29.3	23.1	22.4	15.2	13.2	10.1	7.5	9.4	-1.7	0.9	-5.0	-10.3	-3.2
80代以上	46.2	40.3	25.7	30.8	21.6	13.4	22.0	5.1	6.7	14.8	-8.3	3.2	-7.4	-6.4	-5.6	
性 別	男	29.6	30.6	8.8	7.1	2.0	0.6	-4.4	-7.7	-3.0	-9.7	-16.0	-15.7	-14.2	-19.5	-24.5
	女	31.6	24.6	11.7	8.8	9.0	-3.3	-0.3	-3.7	-8.0	-8.5	-10.5	-10.9	-12.6	-15.7	-23.2
地 域 別	高知市	34.4	43.2	23.8	4.9	12.0	17.1	3.7	17.8	13.6	-4.3	-4.6	-9.8	-4.7	1.4	
	高知中央域	40.2	18.0	-0.3	19.2	17.0	2.8	8.7	-10.2	0.3	-10.3	-9.7	-9.1	-5.0	-22.0	-30.4
	安芸広域圏	8.8	-2.2	5.0	5.5	-2.8	-26.1	-10.6	-29.8	-32.1	-18.9	-22.5	-34.7	-28.9	-27.2	-42.2
	香美圏域	31.0	16.8	-5.2	0.0	-17.4	1.3	-14.8	-22.5	-3.1	-24.4	-26.0	-15.0	-30.9	-29.0	-38.4
	高岡地域	32.1	35.9	13.2	6.8	18.2	-3.7	-3.0	-5.9	-5.0	0.7	-11.3	-2.5	-8.4	-21.0	-31.6
	仁淀川流域	41.3	36.7	11.8	10.3	11.5	-14.4	0.0	-9.8	-15.6	-9.9	-15.7	-14.2	-9.3	-24.2	-33.8
	幡多地域	25.6	16.4	-0.5	15.4	2.8	-19.4	-4.3	-18.2	-30.7	-6.4	-13.1	-14.2	-17.1	-18.5	-36.5
嶺北地域	32.1	33.8	46.7	24.3	17.1	-34.6	5.3	1.3	-16.9	4.1	-14.7	-6.6	2.6	-26.3	-23.1	

## (2) 商店街の必要性

### ① 商店街の必要性 (1つ選択)

#### ・ 回答者全体

商店街の必要性については、【必要】(=「必要」+「どちらかといえば必要」)が70.1%、【必要ない】(=「どちらかといえば必要ない」+「必要ない」)が29.9%となる。

#### ・ 年代別

【必要】は、年代が上がるにつれて上昇する傾向が見られ、70代で80.4%とピークとなる。

#### ・ 性別

性別による大きな違いは見られない。

#### ・ 地域別

【必要】が最も高い仁淀川流域で86.4%、最も低い地域は香美圏域で56.8%であり、その開きは29.6ポイントとなるなど、地域によってばらつきがある。

表 6.6 商店街の必要性

(単位:人)

区分	合計	必要	必 ど ち ら か と い え ば	必 ど ち ら か と い え ば	必 要 な い	
全 体	5,684	39.5%	30.6%	19.7%	10.2%	
年 代 別	20代	414	25.8%	37.9%	25.1%	11.1%
	30代	704	20.9%	33.7%	33.8%	11.6%
	40代	789	26.4%	36.5%	27.1%	10.0%
	50代	1,075	36.7%	34.1%	19.7%	9.5%
	60代	1,237	45.7%	29.4%	15.5%	9.4%
	70代	914	58.1%	22.3%	10.6%	9.0%
	80代以上	541	53.6%	22.2%	10.7%	13.5%
性 別	男	2,399	39.6%	31.1%	18.8%	10.6%
	女	3,229	39.4%	30.2%	20.5%	9.9%
地 域 別	高知市	1,774	43.9%	31.7%	16.5%	7.9%
	高知中央域	466	35.6%	32.0%	21.0%	11.4%
	安芸広域圏	569	34.6%	35.5%	18.8%	11.1%
	香美圏域	999	26.8%	30.0%	28.2%	14.9%
	高岡地域	544	50.4%	26.8%	15.1%	7.7%
	仁淀川流域	294	55.1%	31.3%	9.2%	4.4%
	幡多地域	888	35.6%	29.1%	23.1%	12.3%
	嶺北地域	150	56.0%	20.7%	15.3%	8.0%

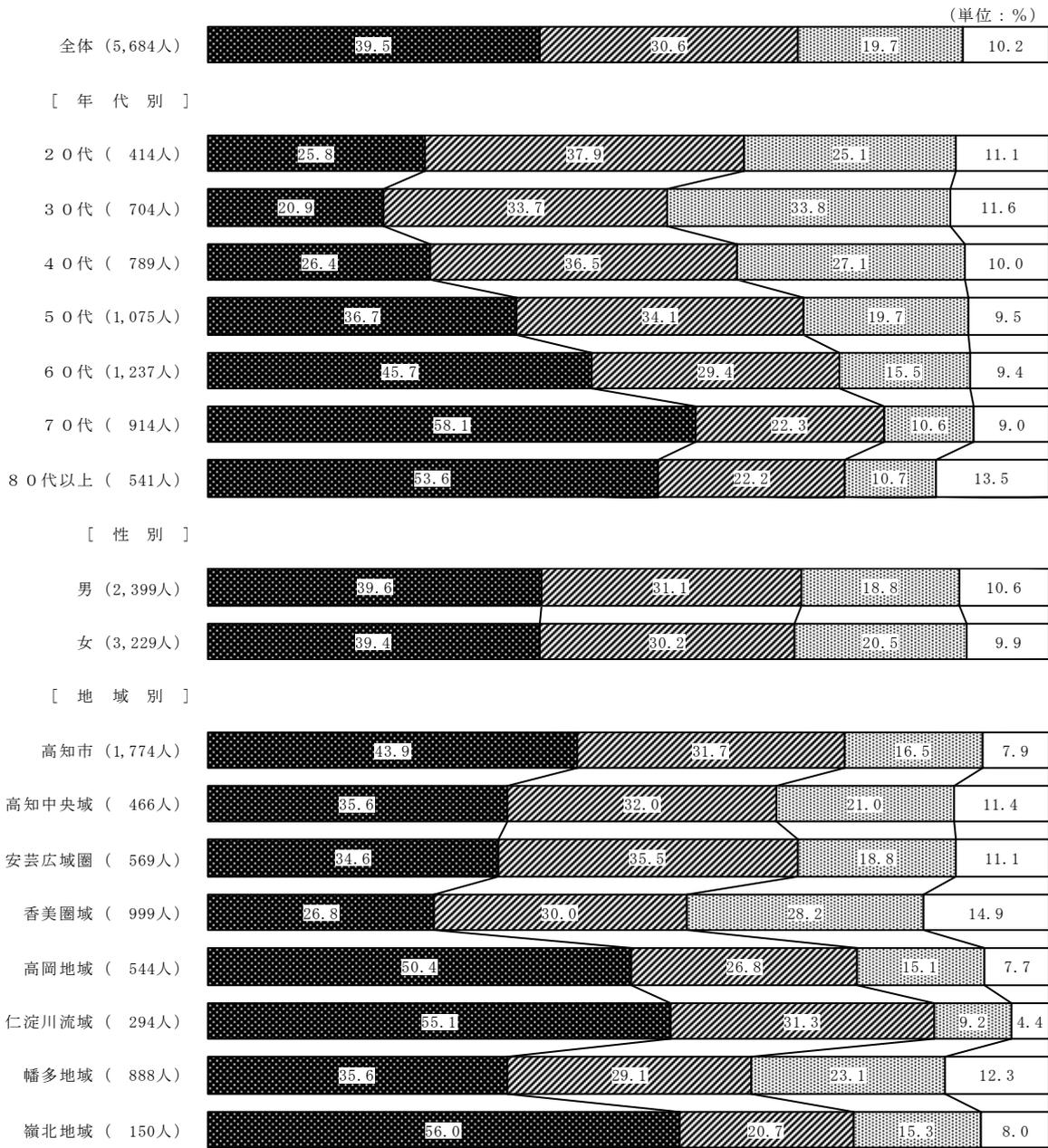
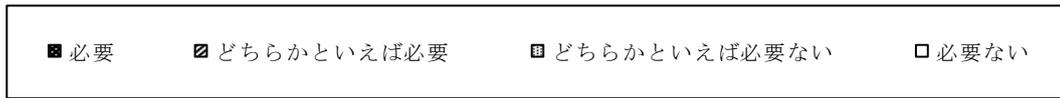


図 6.4 商店街の必要性

② 不便さを改善・解消するための手段 (2つ選択)

・ 回答者全体

不便さを改善・解消するための手段については、「地元商店街の再活性化」が57.0%で最も高く、次いで「新たな小売店舗の誘致」が39.6%、「その他」が25.1%で続く。

・ 年代別

全ての年代で「地元商店街の再活性化」が最も高い。なお、70代以上では、「宅配」「安価な買い物バス・タクシーの運行」「買い物代行、買い物サポーター」「移動販売」が、他の年代と比べて高い。

・ 性別

上位三位について見ると、男女ともに、「地元商店街の再活性化」「新たな小売店舗の誘致」「その他」となる。

・ 地域別

全ての地域で「地元商店街の再活性化」が最も高いが、最も高い仁淀川地域は75.0%、最も低い高知市は44.0%と31.0ポイントの開きがあるなど、地域によってばらつきがある。なお、上位三位について見ると、全ての地域で「地元商店街の再活性化」「新たな小売店舗の誘致」「その他」となる。

表 6.7 不便さを改善・解消するための手段

(単位:人)

区 分	合 計	再 地 活 元 性 商 化 店 街 の	誘 新 致 た な 小 売 店 舗 の	そ の 他	宅 配	安 価 な 買 い 物 バ ス ・ タ ク シ ー の 運 行	買 い 物 代 行 、 買 い 物 サ ポ ー タ ー	移 動 販 売
全 体	1,356	57.0%	39.6%	25.1%	10.8%	7.9%	6.2%	4.6%
年 代 別	20代	138	59.4%	49.3%	19.6%	11.6%	6.5%	3.6%
	30代	282	63.5%	48.6%	23.0%	10.3%	6.7%	2.1%
	40代	260	63.5%	42.7%	25.8%	7.3%	6.5%	1.9%
	50代	250	58.4%	41.2%	22.8%	9.6%	2.8%	4.4%
	60代	231	55.0%	31.2%	29.9%	11.7%	5.6%	6.9%
	70代	110	40.0%	22.7%	27.3%	13.6%	12.7%	8.2%
	80代以上	83	33.7%	25.3%	31.3%	19.3%	13.3%	13.3%
性 別	男	558	52.9%	42.1%	23.7%	11.5%	7.9%	4.1%
	女	790	60.3%	38.0%	25.8%	10.3%	5.1%	5.1%
地 域 別	高知市	334	44.0%	37.7%	30.2%	14.4%	9.0%	3.6%
	高知中央域	124	59.7%	34.7%	28.2%	11.3%	2.4%	8.9%
	安芸広域圏	143	62.2%	51.7%	15.4%	11.9%	7.7%	6.3%
	香美圏域	366	59.8%	38.3%	24.6%	10.9%	7.1%	4.1%
	高岡地域	96	60.4%	35.4%	18.8%	9.4%	3.1%	6.3%
	仁淀川流域	28	75.0%	32.1%	17.9%	14.3%	7.1%	10.7%
	幡多地域	248	63.3%	41.9%	27.0%	4.8%	3.6%	2.0%
嶺北地域	17	47.1%	41.2%	17.6%	11.8%	0.0%	11.8%	

## 7章 資料

### (1) 資料の概要と活用方法について

#### ① 資料の概要

資料の概要については以下のとおりです。

このうち、【項目番号(2)～(7)】については、高知県経営支援課ホームページからエクセルファイルをダウンロードすることが出来ます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/150401/>

#### 【主要項目の市町村別集計：項目番号(2)】

アンケート主要項目の、県下旧53市町村(平成合併前)別の集計です。

旧市町村ごとの特徴などを把握することができます。

注)一部の町村については回答者数が少ないので、ご利用の際にはご注意ください。

以下同様です。

#### 【各品目別の買い物先(買物出向比率)：項目番号(3)～(5)】

品目別の市町村及び高知市の地区別買い物先です。

品目ごとにそれぞれの市町村の買い物先を把握することができます。

(※この資料により、各市町村の消費者が、どこでどのくらいの割合で買い物をしているかを知ることができ、商圈の把握ができる重要なデータです。この資料の見方と活用については、次項の「②品目別買い物先の資料の活用方法について」で解説しています。)

注)「買物出向比率」とは、この調査の回答者がどこで買い物をしたかを比率で表したものです。

#### 【各市町村別の買い物先(買物出向比率)：項目番号(6)】

市町村ごとに整理した、それぞれの市町村居住者の品目別の買い物先です。

市町村ごとに、市町村居住者の買い物先の様子を一覧することができます。

#### 【無店舗販売(通信販売、移動販売、生協)の利用状況：項目番号(7)】

品目毎に通信販売、移動販売、生協で購入した状況を前回調査と比較して、年代別、性別、地域別に一覧できるように整理しています。

なお、本年度の市町村ごとデータは項目番号(3)や(5)などで知ることができます。

#### 【買い物の地元支持率とその変化：項目番号(8)】

買回品を中心とした、買い物の地元支持率とその変化です。

地元支持率の様子を、圏域や市町村ごとに知ることができます。

注)「地元支持率」とは、買物出向先のうち居住する市町村で買い物した割合をさします。「地元購買率」という表現をしている場合もあります。

**【買い物についての自由意見：項目番号（9）】**

市町村ごと（高知市は地区ごと）の、買い物についての自由意見です。  
このアンケートに記入された消費者の買い物に対する 1,656 の生の声を知ることができます。

**【参考（調査表）：項目番号（10）】**

今回の調査で配布した調査票の例です。  
高知市民（旧高知市、旧鏡村、旧土佐山村、旧春野町）を対象とした調査票と、高知市以外の代表として安芸広域圏の住民を対象とした調査票を収録しています。

**② 品目別の買い物先の資料の活用方法について**

このデータをどのように見るかについては、以下に示しています。

**【〇〇町の人（生鮮食品）をどこで買い物しているか】**

肉（生鮮食品）

	地元 購買率	流出率	無店舗 販売率	計	△△市	…	通信 販売	移動 販売	生協
〇〇町	60.0 ①	30.0 ②	10.0 ③		23.0 ④	…	5.0 ⑤	2.0 ⑥	3.0 ⑦

肉（生鮮食品）

区分	計	△△市			…	通信 販売	移動 販売	生協
		商店	ス ー パ ー + S C	直 販 所				
〇〇町		3.0 ⑧	17.0 ⑨	3.0 ⑩	…			

〇〇町の人（生鮮食品）の買い物の様子は次のとおりです。

- ① 60.0%が地元（〇〇町内）で買い物をする。
- ② 30.0%が他の市町村で買い物をする。
- ③ 10.0%が無店舗販売を利用して買い物をする。
- ④ △△市で 23.0%買い物をする。
- ⑤～⑦ 無店舗販売（通信販売、移動販売、生協）で 5.0%、2.0%、3.0%の買い物をする。

さらに、詳しくは次のような所で買い物をしていることがわかります。

⑧～⑩ ④△△市での買い物先の内訳として、商店やスーパー・SC、直販所で 3.0%、17.0%、3.0%買い物をする。  
 なお、計は、〇〇町の回答者数を示しています。

**【どの市町村から〇〇町へ肉（生鮮食品）を買いに来ているか】**

肉（生鮮食品）

	地元 購買率	流出率	無店舗 販売率	計	〇〇町	…	通信 販売	移動 販売	生協
〇〇町					60.0①				
△△市					35.0②	…			
□□村					12.0③				

- ①〇〇町の人 60.0%が〇〇町で
  - ②△△市の人 35.0%が〇〇町で
  - ③□□村の人 12.0%が〇〇町で
- それぞれ肉（生鮮食品）の買い物をしていることがわかります。

**【データ活用方法（市町村間の購買額の流出入の見方）】**

商業統計が「売る側」である卸・小売業等の商業者を対象にした調査であるのに対して、この調査は「買う側」である消費者のお買い物行動を対象にしたものであり、消費者の消費動向を知ることができます。

アンケートの調査の結果による「買物出向比率」を活用することで地域商業の数値的な把握が可能となり、地域の商業活性化計画を策定する際に、地域の買い物の現状を把握する資料として活用することができます。

活用方法としては、以下のようになります。

**先ず、市町村毎の潜在購買力（消費需要額）を計算します。**

お買い物アンケート以外に使用する資料は以下のとおりです。

- ・家計調査年報（総務庁、毎年）・・・家計消費の品目毎の支出額を調査
- ・住民基本台帳（各市町村役場、毎月）・・・各月現在の人口、世帯数（推計人口（総務省、毎年）・・・同上）

これらの資料をもとに以下の計算式によって、地域の潜在購買力として地域全体の購買力や、品目ごとの購買力を算出することができます。

$$\boxed{1 \text{ 世帯あたり家計消費支出} \times \text{世帯数} \times \text{世帯修正値} = \text{潜在購買力}}$$

（注）世帯修正値＝当該市町村の世帯当り人口÷家計調査年報の世帯当りの人口

**地域における買い物金額（購買額）を算出します。**

上記で算出した潜在購買力と「買物出向比率」を利用して、地域の買い物金額（購買総額）を算出することができます。

$$\boxed{\text{潜在購買力} \times \text{買物出向比率 (地元購買率)} = \text{地域の購買総額}}$$

これによって、地域においてどれだけの金額の買い物が発生しているかを知ることができ、かつ、地元での購買額や他地域への流出額を推定することができます。

(算出例)

例、〇〇町の肉（生鮮食品）の潜在購買力が 200,000 千円の場合  
 地元での買い物（購買額）と流出の状況は次のようになります。

肉（生鮮食品）

	地元 購買率	流出率	無店舗 販売率	計	△△市	…	通信 販売	移動 販売	生協
〇〇町	60.0 ①	30.0 ②	10.0 ③		23.0 ④	…	5.0 ⑤	2.0 ⑥	3.0 ⑦

〇〇町の人肉（生鮮食品）を次のように買っているものと推定されます。

- ① 200,000 千円 × 60.0% = 120,000 千円は地元で買い物
- ② 200,000 千円 × 30.0% = 60,000 千円は他の市町村へ流出
- ③ 200,000 千円 × 10.0% = 20,000 千円は無店舗販売を利用  
 (以下④～⑦も同様)

一方、〇〇町への流入は次のようになります。

肉（生鮮食品）

	地元 購買率	流出率	無店舗 販売率	計	〇〇町	…	通信 販売	移動 販売	生協
〇〇町					60.0				
△△市					35.0①	…			
□□村					12.0②				

潜在購買力を次のように仮定します。

△△市 400,000 千円 □□村 100,000 千円

購買力の流入は次のようになっていると推測されます。

- ① △△市から〇〇町へ 140,000 千円 (400,000 千円 × 35.0%)
- ② □□村から〇〇町へ 12,000 千円 (100,000 千円 × 12.0%)

それぞれの購買額が流出していることがわかります。

(※実際の小売販売額には、家庭以外の事業所の購入や、観光客の購入も含まれています。このため、ここで解説した潜在購買力と、流出入からみた購買額とは差異が生じることがあります。)

(2) 【主要項目の市町村別集計】

(3) 【各品目別の買い物先（買物出向比率）】

- ・高知市以外の市町村

(4) 【各品目別の買い物先（買物出向比率）】

- ・高知市以外の市町村（商店、スーパー・SC、直販所別）

(5) 【各品目別の買い物先（買物出向比率）】

- ・高知市内地区別

(6) 【各市町村別の買い物先（買物出向比率）】

(7) 【無店舗販売（通信販売、移動販売、生協）の利用状況】

注) 上記(2)～(7)については、高知県経営支援課ホームページからエクセルファイルをダウンロードすることが出来ます。

(<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/150401/>)



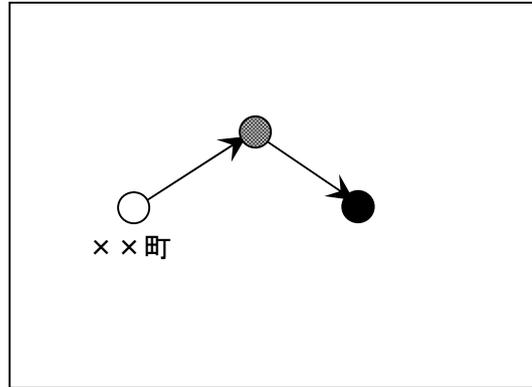


②買い物の地元支持率の変化グラフ

圏域ごとに最寄品と買回品の地元支持率の変化をグラフ化しています。

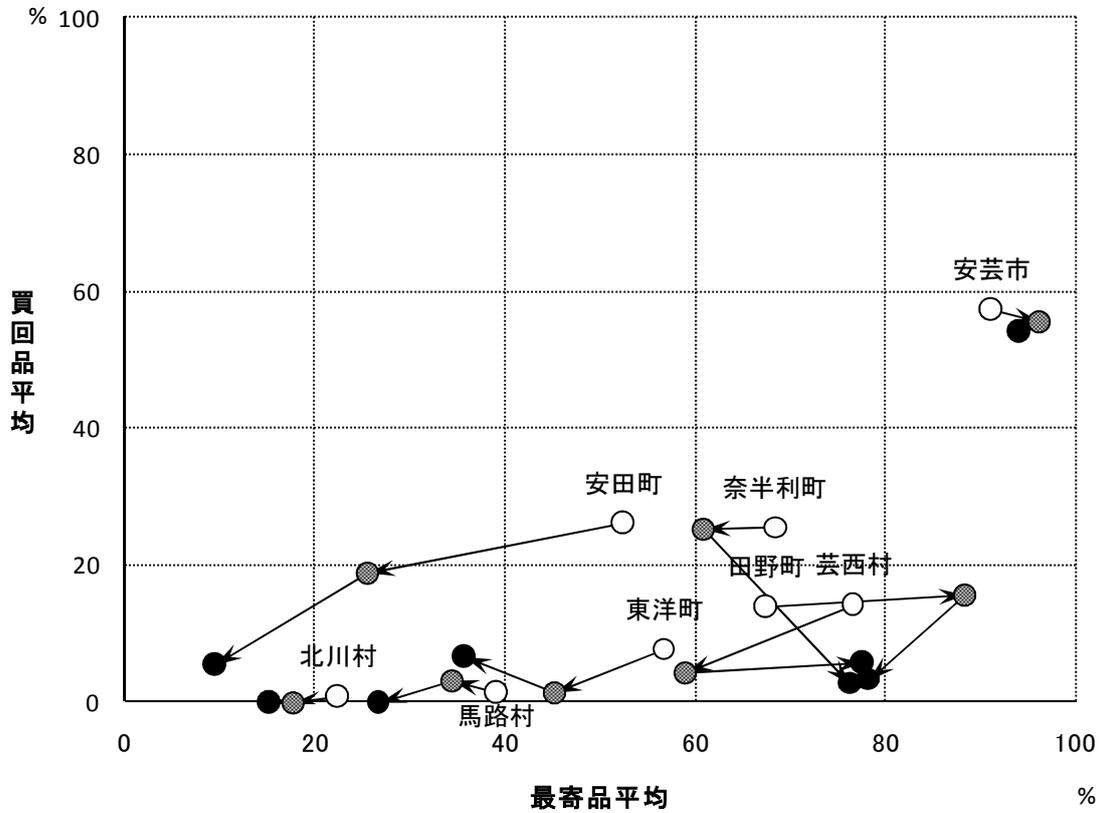
●の部分で、今回調査での××町の地元支持率を示しています。

(例)



安芸広域圏 (平成 12~22 年)

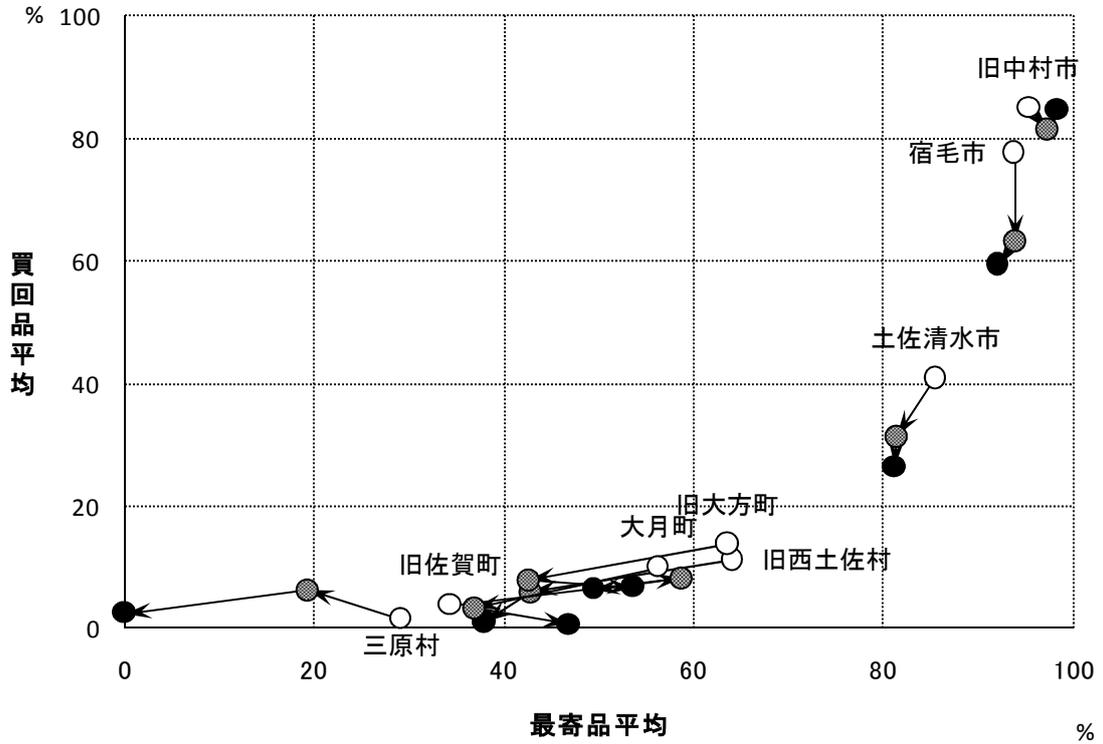
【○:平成 12 年 ●:平成 17 年 ●:平成 22 年】





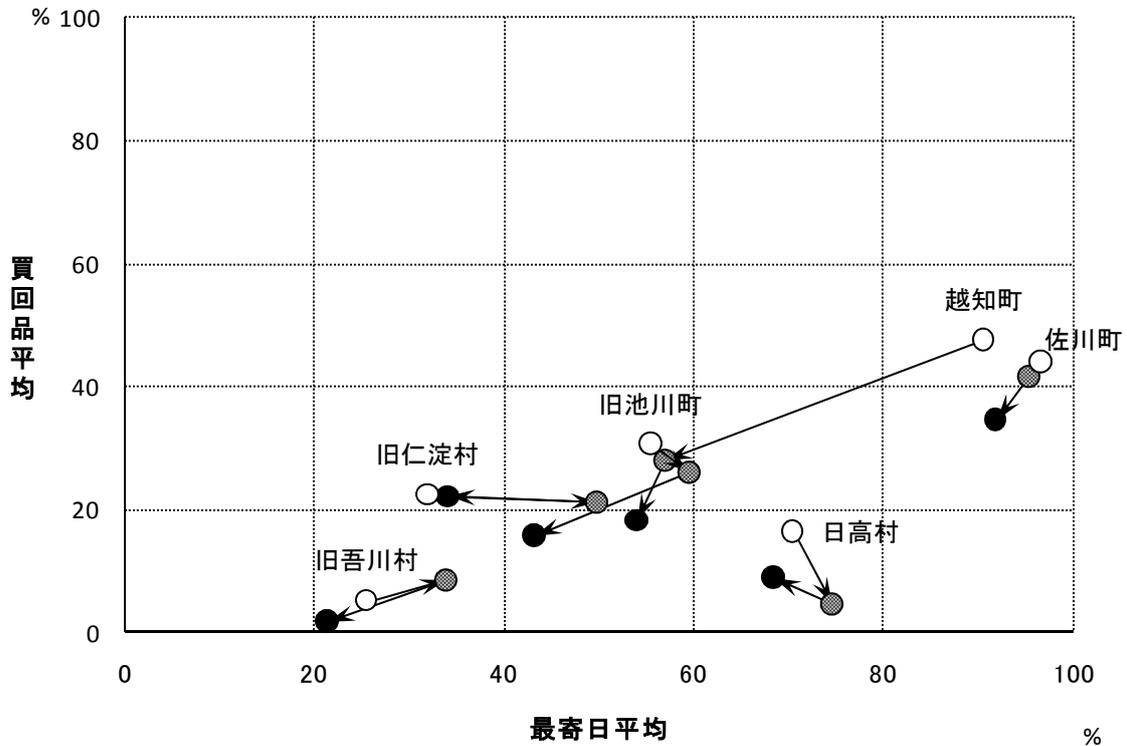
幡多地域 (平成12~22年)

【○:平成12年 ●:平成17年 ●:平成22年】



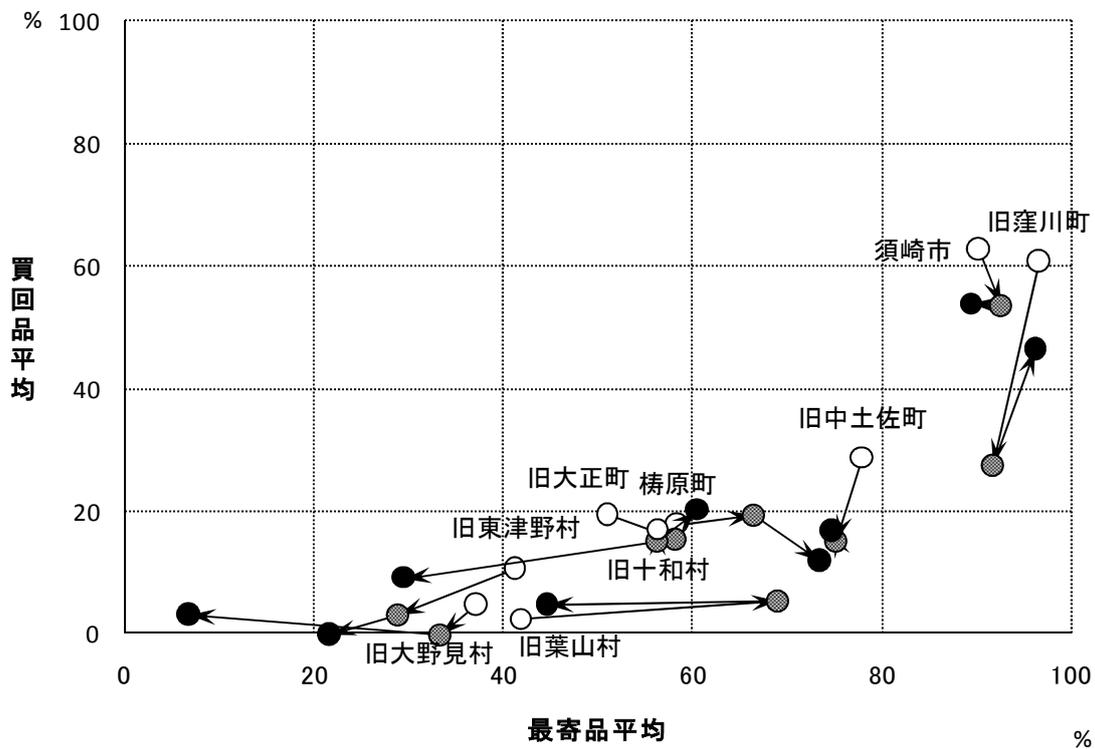
仁淀川流域 (平成12~22年)

【○:平成12年 ●:平成17年 ●:平成22年】



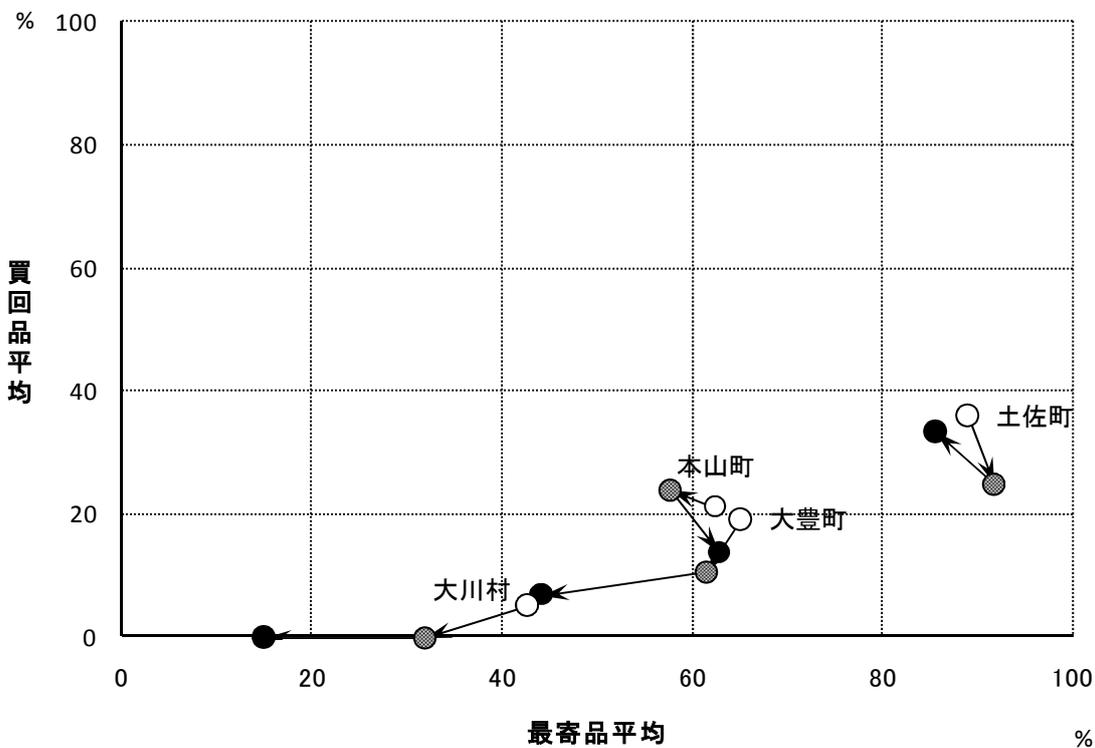
高岡地域 (平成 12~22 年)

【○: 平成 12 年 ●: 平成 17 年 ●: 平成 22 年】



嶺北地域 (平成 12~22 年)

【○: 平成 12 年 ●: 平成 17 年 ●: 平成 22 年】



### ③地元支持率（地元購買率）の変化

#### ■地元購買率の変化（最寄品、買回品）

（単位：％）

区分	最寄品					買回品					
	平成 2年	平成 7年	平成 12年	平成 17年	平成 22年	平成 2年	平成 7年	平成 12年	平成 17年	平成 22年	
室戸市	96.1	84.2	88.6	87.7	83.7	59.6	68.3	49.4	30.8	28.8	
安芸市	94.8	89.4	91.1	96.1	94.0	66.9	69.6	57.4	55.7	54.2	
南国市	86.6	81.9	85.3	89.1	81.7	33.7	51.5	38.9	36.3	32.6	
土佐市	95.6	89.1	94.2	95.4	93.7	49.4	62.5	37.9	35.9	40.0	
須崎市	95.6	90.2	90.2	92.5	89.4	79.4	83.6	62.7	53.7	53.9	
宿毛市	97.7	96.2	93.7	93.8	92.0	87.3	89.1	77.8	63.5	59.6	
土佐清水市	94.2	92.5	85.4	81.3	81.1	64.2	71.8	41.0	31.5	26.5	
十四市万	旧中村市	98.1	92.4	95.2	97.1	98.2	95.0	88.3	85.1	81.7	84.8
	旧西土佐村	74.0	81.3	64.0	42.7	37.9	15.7	27.4	11.4	6.1	1.3
香南市	旧夜須町	80.2	46.7	44.3	33.5	28.1	18.8	25.0	9.4	2.2	1.9
	旧香我美町	31.4	55.8	28.1	21.7	20.0	3.2	13.2	0.0	0.7	1.2
	旧赤岡町	95.0	71.9	77.9	83.1	90.0	35.4	33.1	19.3	14.2	2.7
	旧野市町	82.8	75.7	75.6	87.0	71.2	30.6	33.0	25.7	74.6	54.3
	旧吉川村	5.0	10.0	2.0	0.0	2.3	0.0	7.2	0.0	0.0	0.0
香美市	旧土佐山田町	92.4	85.8	85.2	79.8	85.2	46.2	39.1	26.5	17.8	15.0
	旧香北町	84.6	65.2	45.0	39.1	64.6	20.5	15.9	11.9	9.0	16.7
	旧物部村	83.2	70.6	63.7	30.8	37.1	37.1	34.8	37.2	16.8	18.8
東洋町	79.4	59.7	56.7	45.2	35.7	16.7	11.6	7.7	1.5	6.7	
奈半利町	9.3	87.0	68.4	60.8	76.3	40.6	43.3	25.5	25.3	2.7	
田野町	94.1	82.9	67.4	88.2	78.2	27.7	53.5	13.9	15.6	3.3	
安田町	87.6	64.9	52.4	25.5	9.5	37.5	27.6	26.1	18.9	5.4	
北川村	60.9	30.5	22.4	17.7	15.2	14.9	7.6	0.9	0.0	0.0	
馬路村	81.1	59.3	39.0	34.3	26.7	8.9	9.5	1.5	3.1	0.0	
芸西村	82.7	86.8	76.6	59.0	77.5	10.4	42.4	14.3	4.3	5.7	
本山町	66.4	93.1	62.4	57.7	62.8	18.0	54.0	21.2	24.1	13.8	
大豊町	81.6	67.3	65.1	61.4	44.1	29.2	22.2	19.2	10.8	6.9	
土佐町	96.4	89.7	88.9	91.7	85.5	42.2	89.2	35.9	25.1	33.3	
大川村	52.8	29.4	42.7	31.9	15.0	11.4	6.5	5.1	0.0	0.0	
いの町	旧伊野町	90.5	89.6	81.4	80.9	83.1	30.6	41.5	16.4	17.3	19.8
	旧吾北村	75.5	66.0	34.7	35.5	38.5	26.6	40.3	16.0	8.8	13.3
	旧本川村	43.3	32.7	26.2	19.5	41.4	3.2	1.3	1.7	0.9	18.2
仁淀川町	旧吾川村	73.0	51.5	25.5	33.8	21.3	17.4	29.9	5.3	8.7	1.9
	旧池川町	82.7	66.4	55.4	59.4	43.1	40.1	28.1	30.7	26.1	15.8
	旧仁淀村	86.1	78.0	31.9	49.7	34.1	40.5	52.6	22.5	21.5	22.2
佐中町土	旧中土佐町	97.1	89.7	77.8	75.0	74.7	34.5	57.8	28.8	15.3	16.8
	旧大野見村	74.6	63.9	37.1	33.3	6.8	12.5	28.0	4.8	0.0	3.3
佐川町	87.3	85.3	96.5	95.3	91.8	38.4	43.1	44.2	41.8	34.7	
越知町	97.2	94.6	90.5	57.0	54.0	59.2	87.0	47.7	28.1	18.3	
梶原町	92.6	73.8	58.3	66.3	73.4	32.6	34.4	18.0	19.5	12.1	
日高村	67.1	75.8	70.4	74.6	68.3	15.9	19.4	16.5	4.9	9.1	
津野町	旧葉山村	64.6	52.8	41.9	68.9	44.6	10.8	9.7	2.4	5.4	4.8
	旧東津野村	88.5	50.5	41.2	28.8	21.6	18.1	15.1	10.8	3.1	0.0
四万十町	旧窪川町	96.1	90.3	96.5	91.6	96.2	58.5	65.7	60.9	27.7	46.6
	旧大正町	93.9	88.5	51.0	58.1	29.5	32.7	44.4	19.5	15.6	9.2
	旧十和村	86.7	84.7	56.3	56.2	60.5	11.7	25.8	17.1	15.1	20.3
大月町	77.6	56.8	56.2	36.7	46.8	14.8	25.9	10.2	3.6	0.8	
三原村	68.6	60.3	29.1	19.3	0.0	12.1	19.5	1.7	6.5	2.7	
黒潮町	旧大方町	89.3	85.8	63.5	42.5	53.6	30.7	49.1	13.9	8.1	6.9
	旧佐賀町	78.8	69.8	34.3	58.6	49.4	31.5	19.2	4.0	8.5	6.6
春野町	59.7	51.9	35.3	35.5	-	12.4	23.8	3.7	8.8	-	

■地元購買率の変化（中間品、飲食店・レストラン・喫茶店等）

単位：％

区分	中間品					飲食店・レストラン・喫茶店等					
	平成 2年	平成 7年	平成 12年	平成 17年	平成 22年	平成 2年	平成 7年	平成 12年	平成 17年	平成 22年	
室戸市	86.3	81.5	77.8	65.5	57.5	88.1	78.9	71.6	65.2	52.2	
安芸市	91.5	86.5	82.2	77.3	84.8	89.9	82.6	70.9	72.0	61.8	
南国市	73.1	76.0	73.2	74.1	63.6	71.9	78.0	61.8	61.6	45.7	
土佐市	84.2	83.2	79.9	76.6	75.4	80.5	70.0	56.6	54.4	42.7	
須崎市	90.7	90.2	84.0	82.7	79.9	80.9	93.0	77.2	74.3	69.1	
宿毛市	92.8	94.7	91.7	89.3	85.2	95.8	93.2	94.4	88.2	82.4	
土佐清水市	87.2	89.1	71.5	56.7	57.5	91.2	87.0	66.2	65.0	47.8	
十四 市万	旧中村市	96.2	91.5	92.6	91.8	94.8	98.2	94.4	93.8	95.9	97.2
	旧西土佐村	40.4	50.8	32.7	18.2	9.8	35.2	34.0	11.1	10.2	22.2
	旧夜須町	58.6	40.6	26.9	23.0	13.7	45.8	29.4	8.2	12.5	13.9
香 南 市	旧香我美町	10.0	18.4	3.9	6.5	5.6	10.3	16.4	7.4	14.0	3.7
	旧赤岡町	71.1	59.4	38.7	46.1	35.8	39.0	31.9	4.2	11.3	17.4
	旧野市町	76.5	68.7	60.9	87.5	77.1	75.0	61.8	50.5	72.7	46.6
	旧吉川村	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0	4.9	5.7	3.6	0.0	0.0
香 美 市	旧土佐山田町	81.9	76.8	67.7	60.8	68.6	69.6	47.7	28.8	38.4	28.8
	旧香北町	46.9	38.0	27.5	26.0	53.8	72.1	58.3	26.3	27.1	0.0
	旧物部村	59.8	50.8	50.3	19.0	29.0	48.8	37.3	35.3	3.3	0.0
東洋町	71.0	56.3	31.2	24.5	17.9	42.3	27.1	16.7	55.6	11.8	
奈半利町	82.2	76.5	57.8	52.5	25.3	62.8	60.4	60.5	55.2	32.1	
田野町	75.8	71.0	52.0	37.2	41.3	47.7	62.8	26.7	44.7	27.6	
安田町	69.8	47.1	40.9	28.3	11.0	44.5	23.5	15.6	24.3	18.8	
北川村	18.4	7.7	3.5	0.0	0.0	34.8	34.7	8.8	6.4	0.0	
馬路村	26.2	23.2	8.4	7.2	8.6	41.3	14.2	6.3	7.3	0.0	
芸西村	43.4	63.7	35.9	20.3	24.2	31.2	52.4	27.9	25.5	7.7	
本山町	52.4	84.5	55.0	35.0	35.8	64.9	63.2	56.6	54.4	24.2	
大豊町	61.7	36.3	37.4	27.0	11.2	56.8	28.7	23.6	13.0	11.5	
土佐町	82.6	92.4	71.2	55.1	50.4	73.6	96.0	51.4	46.2	44.4	
大川村	13.4	10.8	14.4	7.0	0.0	37.3	13.8	3.3	0.0	0.0	
い の 町	旧伊野町	72.4	78.6	52.9	59.6	58.7	78.4	59.7	37.9	42.3	34.0
	旧吾北村	45.6	49.3	19.3	9.2	16.7	53.9	51.2	28.8	19.2	11.1
	旧本川村	9.0	5.7	4.5	5.1	7.1	17.2	6.7	6.1	12.8	50.0
仁 淀 川 町	旧吾川村	46.7	46.4	17.9	20.8	8.1	34.6	30.0	6.3	9.1	0.0
	旧池川町	70.7	49.4	53.0	43.5	30.8	74.9	36.0	52.4	33.3	16.7
	旧仁淀村	65.8	68.9	26.8	30.8	31.1	39.6	40.6	11.1	9.1	0.0
佐 中 町 土	旧中土佐町	70.9	77.3	56.5	44.3	49.0	86.6	73.2	56.4	48.9	37.5
	旧大野見村	27.8	35.8	14.3	0.0	2.9	66.8	31.6	9.0	0.0	0.0
佐川町	76.8	77.9	82.0	80.6	79.4	72.4	58.6	83.5	66.3	48.1	
越知町	78.7	90.8	65.9	36.0	24.2	86.9	81.1	60.7	53.3	36.4	
橋原町	65.6	57.9	34.5	38.0	36.4	72.9	50.0	34.2	45.0	22.2	
日高村	45.7	52.1	58.2	43.2	33.1	63.4	67.7	70.0	63.6	38.9	
津 野 町	旧葉山村	21.5	17.0	9.7	10.4	10.5	53.9	30.8	26.3	37.0	37.5
	旧東津野村	54.0	37.3	23.6	9.0	16.0	55.1	21.4	10.7	11.6	0.0
四 万 十 町	旧窪川町	86.4	83.8	87.0	63.3	84.4	96.2	91.9	86.7	74.6	80.5
	旧大正町	75.1	71.2	31.5	27.4	20.0	88.5	83.4	34.0	46.2	24.0
	旧十和村	44.5	45.1	24.0	23.7	26.3	67.5	36.6	35.0	26.7	20.8
大月町	33.6	40.3	45.3	10.8	6.6	49.2	48.7	16.3	19.4	14.3	
三原村	31.8	41.8	12.9	5.6	5.6	50.7	36.6	5.2	6.4	10.0	
黒 潮 町	旧大方町	62.1	68.8	33.0	20.9	15.2	68.6	63.8	25.7	31.0	16.5
	旧佐賀町	45.8	40.3	11.9	17.7	14.1	67.2	45.9	25.3	45.5	30.6
春野町	26.7	35.4	14.3	10.2	-	37.4	41.6	28.9	25.8	-	

■ (参考) 買回品の無店舗販売での購買率の変化

区分	①平成 2年 (%)	②平成 7年 (%)	③平成 12年 (%)	④平成 17年 (%)	⑤平成 22年 (%)	②-①	③-②	④-③	⑤-④	⑤-①	
室戸市	2.3	3.3	3.6	4.9	3.2	1.0	0.3	1.3	-1.7	0.9	
安芸市	1.7	5.1	6.6	3.8	3.1	3.4	1.5	-2.8	-0.7	1.4	
南国市	0.9	3.7	2.5	1.7	2.5	2.8	-1.2	-0.8	0.8	1.6	
土佐市	2.2	2.6	3.2	2.8	3.3	0.4	0.6	-0.4	0.5	1.1	
須崎市	1.4	4.2	2.8	2.3	2.1	2.8	-1.4	-0.5	-0.2	0.7	
宿毛市	1.5	2.0	3.7	2.3	4.0	0.5	1.7	-1.4	1.7	2.5	
土佐清水市	4.8	6.4	4.1	3.2	6.4	1.6	-2.3	-0.9	3.2	1.6	
十四市万	旧中村市	1.8	3.4	1.2	2.9	5.1	1.6	-2.2	1.7	2.2	3.3
	旧西土佐村	6.1	7.9	3.0	4.7	5.1	1.8	-4.9	1.7	0.4	-1.0
香南市	旧夜須町	0.0	10.3	8.4	5.0	3.7	10.3	-1.9	-3.4	-1.3	3.7
	旧香我美町	2.3	4.8	2.8	3.4	7.3	2.5	-2.0	0.6	3.9	5.0
	旧赤岡町	2.0	3.3	2.6	3.1	2.7	1.3	-0.7	0.5	-0.4	0.7
	旧野市町	1.9	5.5	4.4	1.7	1.8	3.6	-1.1	-2.7	0.1	-0.1
香美市	旧吉川村	2.3	3.6	3.7	0.0	0.0	1.3	0.1	-3.7	0.0	-2.3
	旧土佐山田町	2.9	3.4	3.6	4.7	2.6	0.5	0.2	1.1	-2.1	-0.3
	旧香北町	8.5	5.7	5.5	10.2	0.0	-2.8	-0.2	4.7	-10.2	-8.5
旧物部村	2.9	2.3	2.0	2.1	6.3	-0.6	-0.3	0.1	4.2	3.4	
東洋町	7.3	13.5	4.5	3.6	3.3	6.2	-9.0	-0.9	-0.3	-4.0	
奈半利町	2.5	6.0	1.6	11.6	0.0	3.5	-4.4	10.0	-11.6	-2.5	
田野町	3.2	4.4	6.0	5.7	5.4	1.2	1.6	-0.3	-0.3	2.2	
安田町	3.8	4.8	4.7	2.4	1.8	1.0	-0.1	-2.3	-0.6	-2.0	
北川村	5.6	10.0	4.4	2.3	7.7	4.4	-5.6	-2.1	5.4	2.1	
馬路村	12.5	11.8	8.6	7.1	0.0	-0.7	-3.2	-1.5	-7.1	-12.5	
芸西村	1.7	4.8	4.5	7.9	7.6	3.1	-0.3	3.4	-0.3	5.9	
本山町	4.0	4.9	5.6	7.1	7.3	0.9	0.7	1.5	0.2	3.3	
大豊町	2.9	9.0	2.9	10.3	4.0	6.1	-6.1	7.4	-6.3	1.1	
土佐町	3.2	4.5	4.1	4.6	4.1	1.3	-0.4	0.5	-0.5	0.9	
大川村	3.6	5.3	6.2	4.7	0.0	1.7	0.9	-1.5	-4.7	-3.6	
いの町	旧伊野町	2.5	4.4	3.0	2.3	3.5	1.9	-1.4	-0.7	1.2	1.0
	旧吾北村	4.5	5.3	1.8	2.4	6.7	0.8	-3.5	0.6	4.3	2.2
	旧本川村	8.0	11.6	7.3	1.8	0.0	3.6	-4.3	-5.5	-1.8	-8.0
仁淀川町	旧吾川村	2.2	3.1	15.8	10.9	1.9	0.9	12.7	-4.9	-9.0	-0.3
	旧池川町	2.5	6.4	2.3	11.3	10.5	3.9	-4.1	9.0	-0.8	8.0
	旧仁淀村	1.3	8.2	4.6	5.9	5.6	6.9	-3.6	1.3	-0.3	4.3
佐中町土	旧中土佐町	4.0	0.4	2.8	3.1	1.0	-3.6	2.4	0.3	-2.1	-3.0
	旧大野見村	6.1	5.2	3.6	0.0	0.0	-0.9	-1.6	-3.6	0.0	-6.1
佐川町	1.4	7.1	1.2	3.3	2.5	5.7	-5.9	2.1	-0.8	1.1	
越知町	1.2	2.9	1.1	2.2	2.3	1.7	-1.8	1.1	0.1	1.1	
禰原町	6.6	6.8	3.0	1.7	4.5	0.2	-3.8	-1.3	2.8	-2.1	
日高村	1.4	3.0	1.2	2.2	1.8	1.6	-1.8	1.0	-0.4	0.4	
津野町	旧葉山村	2.5	1.3	0.5	0.0	7.9	-1.2	-0.8	-0.5	7.9	5.4
	旧東津野村	4.8	5.3	2.1	6.2	2.2	0.5	-3.2	4.1	-4.0	-2.6
四万十町	旧窪川町	2.6	6.2	2.2	5.1	2.7	3.6	-4.0	2.9	-2.4	0.1
	旧大正町	1.7	9.1	3.8	6.6	2.6	7.4	-5.3	2.8	-4.0	0.9
	旧十和村	9.3	10.2	3.0	3.2	5.4	0.9	-7.2	0.2	2.2	-3.9
大月町	4.8	4.9	2.5	3.6	4.9	0.1	-2.4	1.1	1.3	0.1	
三原村	2.2	5.2	4.9	5.8	5.4	3.0	-0.3	0.9	-0.4	3.2	
黒潮町	旧大方町	2.2	4.6	1.9	2.1	3.4	2.4	-2.7	0.2	1.3	1.2
	旧佐賀町	3.2	1.8	5.4	1.3	2.5	-1.4	3.6	-4.1	1.2	-0.7
春野町	1.4	2.1	0.9	1.6	-	0.7	-1.2	0.7	-	-	

## (9) 買い物についての自由意見

### ① 自由意見の傾向

全体として自由意見を見てみると、「駐車場の整備」や「品揃えの充実」、「品質・鮮度・安全性の向上」といった提案や、「価格が高い」、「近くに店がない」といった不満が多く挙げられている。

また、市部、町部、村部でも傾向に違いがあり、最も多い意見は、

「近くに店がない：村部」→「品揃えの充実：町部」→「駐車場の整備：市部」

となっており、都市部になるほど、より上位の買い物欲求の充足が求められている。

(自由意見に記載されていた買い物に対する要望や不満：上位5項目)

全体	市部	町部	村部
①駐車場の整備	①駐車場の整備	①品揃えの充実	①近くに店がない
②品揃えの充実	②品揃えの充実	②品質・鮮度・安全性の向上	②品揃えの充実
③品質・鮮度・安全性の向上	③品質・鮮度・安全性の向上	③駐車場の整備	③価格が高い
④価格が高い	③価格が高い	④近くに店がない	④交通が不便
⑤近くに店がない	⑤接客態度の改善	⑤価格が高い	③品質・鮮度・安全性の向上

市部：「駐車場の整備」や「接客態度の改善」という意見がみられ、一定の買い物選択肢はあるものの、快適で便利な買い物のための改善が求められている。

町部：5年前、10年前の調査と同じく「品揃え」に対する要望が最も多い。

村部：「近くに店がない」や「交通が不便」という不満がみられ、買い物に行きたくても行きづらい環境となってきた様子が見えてくる。

## ② 自由意見の抜粋（商業に関する今後の取り組みの参考）

自由意見では、「駐車場の整備」や「品揃えの充実」、「価格が高い」などの不満や改善要望が多くあるが、その他に商店や地域商業に対する提案も多くみられている。

ここでは、商業に関する今後の取り組みの参考となる特徴的なものを中心に抜粋する。

### 【商店に関する意見】

#### （経営姿勢）

- ・ 顔の見える接客販売が商店街にとって大事。あいさつの少ない店が多い。
- ・ 大型店の体制を見ならい、整備、商品の改善に努めるべきである。
- ・ 店全体のサービス、あいさつ等が買物する者に安心感と潤いをもたらし、楽しみになる。
- ・ 売ってあげています、という意識の改善。

#### （基本的事項）

- ・ 働いている人のニーズに合う時間帯での営業。
- ・ 個人店等は値札が付いていない商品があるので、わざわざ聞かなければいけないのが面倒。
- ・ 賞味期限が過ぎている商品を時々見かける。品質管理の徹底を願いたい。

#### （特徴化・PR）

- ・ 陳列方法の工夫などをしていけば、良い観光スポットになるのではないか。
- ・ イベントを開催し、大人も子供も楽しめるような場所をつくったら人が集まるのでは。
- ・ “5円高くても品揃えが豊富”とか“どこよりも新鮮”といった工夫や商品の開発などを努力してほしい。

#### （接客・コミュニケーション）

- ・ 店員さんに何か訪ねると無愛想。知識もあまり持っておらず、分からなかったとき「次までに調べておきます」というような態度もない。
- ・ 商店街の情報を提供してもらえば、もっと買物に行くと思います。
- ・ 店内に客がいるのに店員や店主が見える場所にいない。声をかけてから顔を出すようでは買う気持ちが損なわれる。

#### （取扱商品）

- ・ 専門店でありながら流行を把握していない。
- ・ 店の取り扱う商品に係る確たる知識を持ち、客に対する良心的な助言をして欲しい。
- ・ 高齢者向けの包装の工夫や、商品についての説明が必要と思う。
- ・ 品揃えの充実した商店があればうれしい。

(環境・リサイクルへの配慮)

- ・梱包にエコを考えてほしい。梱包は紙を使用し簡単にすべき。
- ・一人暮らしの方が多くなっているので野菜類は小分けにして売った方がいいと思う。
- ・エコバッグ持参者へのポイントなどがある商店が増えてほしい。レジ袋有料化も賛成。

## 【商店街・商業集積などに関する意見】

(商店街などへの交通アクセス)

- ・商店街の駐車場料金のサービスを広げて欲しい。サービスを行っていない店舗や、購入代金 2,000 円以上という条件があるので利用しにくい。
- ・商店街の不便さを解消するには、駐車場、駐輪場の整備が必要。
- ・中心商店街までの電車無料券をくれるサービスをしてほしい。
- ・高齢者の方たちを送迎してくれるスーパー、大型ショッピングセンター等が増えたらいいと思う。
- ・スーパーや大型店は、品揃えは良いが交通手段がない。

(商店街・商業集積の取り組み)

- ・商店街やスーパーに、子供といっしょに行って楽しめる公園を整備してほしい。
- ・空店舗を利用して駐輪場をつくってほしい。道路上に置くと通行の邪魔になる。
- ・小さい子供連れの人向けの遊び場がある商店街、高齢の方向けの朝早い店、共働き世帯向けの夜遅くまで営業する店等、ニーズにあわせた商店街ブースを。
- ・自転車のアーケード内通行や駐輪が目立つので、改善してほしい。
- ・青果や食料品などは、直販所の規模を拡大し、商店街の中心に据えるといいと思う。
- ・商店街の道に木を植えるなどして、路上オープンカフェのようにオシャレじゃないと若い人は行かないと思います。
- ・地元商店がテナントとして営業する大型商業施設を作れば大型店に対抗できるのでは。

## 【宅配、移動販売、御用聞きなどに関する意見】

(宅配)

- ・生協のように宅配をしてくれるお店が増えたらいいと思う。そのためには、生活に困らない程度の品揃えが必要。
- ・注文したものを宅配してくれる所が多くなれば幸いと思っている。
- ・スーパー等で買った品物を届けてくれるサービスや移動販売がほしい。
- ・安価でしかも品質のよい商品の宅配を利用できることを希望します。
- ・利用するしないに関わらず、チラシ広告等をまめに入れて欲しい。
- ・インターネットは使用が難しいので、カタログなどによる宅配サービスが増えると助かると思います。
- ・高齢者のために、朝昼晩の食事宅配サービスがあればいい。
- ・家庭的なお弁当や惣菜などの宅配サービスもあれば良いと思います。

(移動販売)

- ・ 月 2 回程度でも品揃えの良い移動販売が来てくれると助かる。
- ・ 地域にスーパーがなくなったら、高齢者のために移動販売が必要になってくると思います。
- ・ 自分で買いに行くことができれば自分が欲しい物が買えるので、公民館まで販売に来てほしい。
- ・ 直販所などから移動販売車が出るといいかもしれない。

(御用聞き)

- ・ 電話一本で買物の注文を受けて配達してくれる所があるといいと思う。(高齢者、身体障害者、育児中、病気時など)
- ・ 高齢者向けに作業服やくつ、下着等何でも自宅に御用聞きに来てもらえれば有難い。

【安芸広域の地区別自由意見】

■室戸市（25件）

20代	女	商店街の活性化を望む。営業時間を長くしてコンビニのようになればもっと行くようになると思う。
30代	男	大型店やスーパーは価格が安く品揃えもよい。小規模な店は価格が高く品揃えも乏しい。
30代	女	今後生鮮食品は地元で買うことが多くなると思う。高知市内まで往復4時間かかるので、インターネットでの買物を活用し、時間を有効に利用できるようにしたい。
40代	男	専門店、交通機関等地域格差の改善。魅力ある個店の導入。
40代	男	個人商店は営業時間が短い。
40代	女	地元産品を買える店がもっとあればいいと思う。
40代	女	品揃えの良い店が少なすぎる。
40代	女	安心して買物ができ駐車場があれば、少々遠くても足が向く。
50代	男	車で30分かけて室戸市内に買物に行くよりは、奈半利町、田野町、安芸市のほうが色々買物できるので、いつもその方面で買物をしている。地元で商店街があれば地元で買物したいと思う。
50代	女	地元の商店街、商工会等の努力が足りないと思う。
50代	女	他県に比べ高知県全体の品物の価格が高すぎる。付加価値をつけて高く売ることばかりを考えているが、現在の国民全体の生活レベルとの間にずれがあると思う。
60代	男	意欲を持って営業している店が少ない。
60代	男	商店街の空店舗等を無くすために、家賃等の補助を考えてはどうかと思う。
60代	男	安くて新鮮で安全な品物をそろえる店があればいいと思う。
60代	男	商店街に住んでいるが、生鮮食品を売る店が地元にないので、スーパーに買いに行かなければならず不便。小売店は専門化し、効率上安価な品物を置けずスーパーに負ける。高齢化と若者の減少で消費者も減り、購買力も落ちた。それに伴い直販所が増え、生産者から消費者へ、文字どおり直接販売になりつつある。この様な状況では生鮮食品の業者も成り立っていかない。人口が減少し、品物は生産過剰となっているなか、スーパーは乱立し、消費者は値段が安くなるのを待つようになった。品物もどんどん安く売られるようになり、小売店は競争に負け商品売ることができない。
60代	男	①遊んでいる土地を有効活用する。 ②地産地消の拡大。

■室戸市（続き）

60代	男	大型量販店の進出によって商店街は衰退の一途をたどりつつある。
60代	女	ジオパークに力を入れるより、もっと他に全体的な事を考え、いろんな意味で活性化して欲しい。
60代	女	車を利用しなければ何もできない周辺状況。現在は車を運転できるので困っていないが、これから先車に乗れなくなったときのことを考えると不安でいっぱいである。東部には総合病院がないので、はやく病院も整備してほしい。人口減少により寂れていく一方の室戸市。都会に住んでいる子供が帰りたくても仕事がないので帰ることができない。何かよい方法はないものかと考える日々である。
60代	女	県都にくらべ、接客の教育がなされていない。品揃えが悪い。
70代	男	政治を変え、県全体の商業の活性化を促して欲しい。
70代	男	地元の観光資源を活かし、商業の発展に繋げていければいいと思う。
70代	女	魚などは新鮮だが、その他品物は価格が高い。ガソリン代を払っても遠くの大型店に行ったほうが、安くて品揃えも充実している。近くの商店街は全く魅力がない。
70代	女	品揃えが不十分。特に書籍、紳士服、婦人服などの専門店がない。
80代以上	女	散歩がてら買物に行く。あとは家族が買物に行ってくれるので不自由はない。

■安芸市（65件）

20代	男	高知県全体が寂れていると思う。男性物のファッションショップが少ないため、服を買う店がない。やはり買物は県外に行こうと思ってしまう。
20代	女	①商店街が駅から遠く、アクセスが悪いので利用できない。 ②集客のため各商店の努力が必要。 ③駅周辺の再開発が必要。
20代	女	子供が遊べる施設などを増やして下さい。若者がゆっくりできるような所も増やしてほしいです。
20代	女	①安芸市には服店やゲームセンター、カラオケ、映画館、飲食店など、若者向の店がない。お金をかけずに遊べる所もあればいいと思う。 ②安芸ドームの公園の見直しが必要。
20代	女	大型店が入ってもすぐ無くなってしまう。安芸市は他地域に比べ発展が遅れていると思います。

■安芸市（続き）

20代	女	安芸市には、服や雑貨の店、ファーストフード店など若年層が集まる場所がなく、若者の市街流出が続いている。しかし、安芸市は若年層の流出を阻止する取組をしておらず、非常に残念。地元に残れるような取組が必要ではないでしょうか。
30代	男	①スーパーの閉店時間が早すぎる。仕事が終わった時間には閉まっているので買物ができない。その時間はコンビニ等値段の高い店しか営業していないので、夜11時か12時頃まで営業している店がほしい。 ②若者が集まるゲームセンターなどの施設が近くにない。町が寂れていきそうな気がする。
30代	男	地場産品をPRし、ブランド力をつければ良いと思う。
30代	女	食品や衣料品を充実させて欲しい。流行の物を増やして欲しい。
30代	女	大型店がないので大型店を造って欲しい。
30代	女	ショッピングセンター等大型店は、全ての買物がその1ヶ所ですむので便利。人が多いので疲れることはあるが、何軒も巡って買物することを考えると、遠方でも大型店に行く。安芸市では夜間営業している店が少なく、仕事帰りに寄ることも困難である。
30代	女	商店が少なくチラシ等があまり手に入らない。欲しい物が安芸市内の店舗にないことが多く、県中部まで買いに行かなければならないので不便である。 飲食店も少ない。
40代	男	買物については特に不便さを感じないですが、病院、特に総合病院の医師不足や施設の充実においては、安芸市東部は駄目だと思います。
40代	男	県西部の発展には力を入れているが、東部には力を入れていると思いません。
40代	男	大型店等の規制が緩和され商店街が寂れている。適切な基準を定めて大型店を誘致してほしい。
40代	男	安芸市内の店へ行くのに20～30分位かかるので、その不便さを解消できる策を考えて欲しい。
40代	女	信頼できて安心、買物をする人以外のたまり場にならない、年齢に関係なくみんな楽しく買物できる、そんなお店が並んでほしい。
40代	女	安芸市以東には衣料品店や専門店が少ない。日用品や食料品は地元にある程度揃っているが、それ以外の大きな買物は香南市や高知市内に行っている。複合店、専門店があればいいと思います。
40代	女	地場産の直販所をもっと増やして欲しい。
40代	女	地元に関係の店舗をもっと増やして欲しい。

■ 安芸市（続き）

50代	男	食品で最も重要なのは、価格ではなく安全性である。その認識を高める取組を応援したい。
50代	男	もっと地元を優先してほしい。商店街等の空き店舗に地元の者が出店できるようにしてほしい。
50代	男	安芸市はこれから人口が減少していくので、若い人達の雇用の場を用意してほしい。店がどんどん少なくなっていく。
50代	女	大型店に押されて小さな店は困難な状況になっていますが、いざという時にはやはり個人の店だと思う。買物も安芸市内では揃わないので、野市や高知市まで行かなければならず、不便になりつつある。人口も少なくなり、通販などに押されてなかなか大変だと思いますが、安芸市で生活に必要なものが全て買える程度になってほしい。
50代	女	必要な物はスーパー、ショッピングセンターで購入できるため、商店街での買物の必要性を感じない。また、大型店の方が安価である。
50代	女	安芸には特徴のある特産物がないので、安芸にしか無いような商品を開発してアピールしてほしい。
50代	女	個々の店の魅力がない。品揃えが少ない。イベントを開催し、大人も子供も楽しめるような場所をつくったら人が集まるのでは。
50代	女	安くてよい物を買いたいので、地産地消の運動をもっと広げてほしい。
50代	女	安芸にはファーストフード店が無いので導入してほしい。
50代	女	良心市は安芸市にもスーパーの中にも有りますが、スーパーと同じ価値で売らずに、量を多く、より安価で販売してほしいです。
50代	女	近くにもっとお店（大型店）があれば良い。
50代	女	自分は車で買物に行けるので不便はしてないですが、これから高齢になっていくと、歩いて行ける商店が必要だと思っています。
50代	女	消費者のニーズにもっと答えられるように、努力してお店作りをしてほしい。
50代	女	地元産品を県内店舗で販売してない。地元でも販売してほしい。
50代	女	安芸市がもう少し発展するように願う。地元には商店があれば買物に行きたい。
60代	男	安芸市から発信できる産業、産品、情報をもっとふやしてほしい。
60代	男	地元商業全体的に接客が悪い。
60代	男	商店街に大型店等の分店を出すようにしてほしい。
60代	男	商店街にもっと店舗を入れてほしい。
60代	男	安芸の商店街は人通りが少ない。魅力ある店舗を増やしてほしい。

■安芸市（続き）

60代	男	大型店の進出で、地元の小さな商店は競争に勝てない。企業の誘致をもっと積極的に行い、街の活性化を進めてほしい。
60代	男	便利さを優先し、個人店（商店街）にはなかなか行かない。以前近くに大型店があったが、無くなって不便になった。
60代	男	もう少し近くにスーパー等の店がほしい。
60代	女	もう少し地域の景気が良くなってほしい。県内産品の価格が少し上がったように思います。値下げしてほしいと思います。
60代	女	高齢の方が多く、地域の活性化が進んでいない。
60代	女	電話を利用して、物が届くような流通経路を作って欲しい。近頃配達サービスが少なくなった。
60代	女	東部(安芸)地区は以前大型スーパーが数店あったが、今は2店のみ。台所を預かる主婦は日々食材に悩まされているが、いつも同じような食材を選ばざるを得ない。少し変わった食材を求めて南国、野市方面に足を伸ばすこともある。東部にまた以前のように色々な大型店が来て競争してほしいと思う。安芸の個人店は品揃えも悪く、接客も馴れ合い的。もっと入ってみたいと思える店を作してほしい。
60代	女	安芸市の商業にもっと力を入れてほしい。将来子供が残れるような商業を目指して欲しい。
60代	女	近くにコンビニエンスストアが欲しい。
60代	女	もっと安くて新しい物を提供してほしい。
70代	男	今は生協を利用している。また、安芸市内のショッピングセンターなどに車で買物に出かけているが、これから高齢になって車も運転できなくなったときは、地元のお店で買物するしかなくなる。宅配や移動販売、御用聞きなどあれば助かると思うが、将来は生協の宅配サービスの利用が多くなると思う。
70代	男	地元でできるだけ大型店を造らないでほしい。
70代	男	地元商店街の再活性化を願います。大型店は買物には便利だが、地方経済は冷え込む。
70代	女	一部の店舗でサービスが悪くなった。
70代	女	個人商店が少なくなり町が閑散としているので、活気のある街作りをして欲しい。
70代	女	安芸市には大型店が無いので、特に必要な物は高知市内へ買いに行く。大型店があればいいと思う。
70代	女	足腰が悪いので、現在は家族が代わりに買物に行ってくれる。不自由はないが買物の楽しみもない。

■安芸市（続き）

70代	女	商店街はもっと頑張ってもらいたい。魅力のある商店街にしてほしい。
80代以上	男	価格の安い品を増やしてほしい。
80代以上	男	衣食住に魅力のある商店街づくりをしてほしい。
80代以上	男	スーパーやショッピングセンターを利用すれば一度に買物ができるので、商店街へ出向くことがあまりない。
80代以上	男	行政はもっと責任を持って物事に当たって欲しい。産地偽装問題についてももっと厳しく対応して欲しい。
80代以上	男	高知市の中央公園等で地産品の市を行っているが、安芸市でもそのような催しを行ってほしい。
80代以上	男	地元の魚屋さんには品揃えが多く、新鮮で安いという強いイメージを持っている。地元の文具屋さんのアイテムはすごい。家族の友人、知人の店にも時々行く。でも生活用品は全てスーパー。
80代以上	女	品揃えをもっと良くして欲しい。

■東洋町（9件）

50代	女	人口の少ない地域に商品を届ける業者が減少している。地元の品揃えが悪いため、客足はどんどん地元外へ離れていく。
50代	女	町内で一度に買物が済むように商店が増えれば嬉しい。（クリーニング店、靴・カバン、家具・インテリア、電器製品など）
50代	女	何もかもがマンネリ化して、地元商店、商工会に元気がない。色々なアイデアを出しあい、勉強していかなければならない。
60代	男	人口の減少に伴い買物をする人もいなくなり、店も閉じられ町全体が寂れる一方で希望が持てない。人が住める町にしてほしい。
60代	女	日々の食料品程度なら地元のスーパーで間に合うが、医療や医薬品などは車で20～30分かけて買物に行かなければならない。高齢者の多い地域では皆近くの店舗に行くしかない。地元で直販所ができて以来、野菜や魚など色々買うことができるので多少便利になった。
60代	女	高齢になり車に乗れなくなると地元の店が頼りになる。
70代	男	東洋町民は、年間3億円ほどの買物を東洋町内でしている状態である。東洋町内に大型スーパーができれば便利になる。
70代	女	品揃えの良い店が1軒でもあればいいと思う。
80代以上	男	地元で品揃えのある店がないので、海陽町まで買物に行かなければならない。地元で大型店があればいいと思う。

■奈半利町（5件）

20代	女	奈半利町には本屋がありません。幼少から育ってきて思うことは、美意識を育てる施設やお店が少なく、代わりにパチンコ店や飲み屋が多く子供ながらに不満でした。高知は味気ない気がします。美観地区など雰囲気作りにもっと力を入れてほしいと思います。
40代	男	小さなイベントを数多く催す。
40代	女	地産地消を心がけていきたい。観光客が沢山来てくれる町になることを望んでいます。B級グルメや御当地グルメなど多くの商品開発が必要ではないでしょうか。
50代	男	地元商業は大型店におされている。地元商店を複合店として大型店舗にまとめてはどうか。
60代	男	奈半利町に安価な衣料品店があればいいと思う。

■田野町（5件）

20代	女	スーパーに「冬時間」（営業時間が1時間早く終わる）というのは必要ないと思う。買物に季節は無関係だと思うので。そのことをのぞけば、近隣の市町村に比べると住みやすい環境だと思う。
40代	女	自宅は国道より少し山の方なので、何か買い忘れたとき再度買いに行くのに不便です。そんなとき家の近くに店があればいいのにと思います。靴や衣料品などを販売する店も近くにありません。病院も、眼科、耳鼻科、小児科など、地元があればわざわざ安芸までいかなくても済みます。
50代	男	中芸地区も商店街がシャッター街になっている。これ以上営業をやめる店をふやさないでほしい。各店個々の店の特徴を出し、人が集まり店と客が交流できる店づくりをしてほしい。
70代	女	スーパーに直販店ができたので良くなった。
70代	女	高齢になると出かけるのが大変。近い所で買物ができるといいです。

■安田町（6件）

20代	女	全国チェーンのお店などを出店してほしい。高知県で便利な買物ができる場所は高知市のショッピングモールしかないなので、新しい大型店の出店があればいいと思う。
20代	女	近くに安くて品揃えの良い店がほしい。直販所も沢山できてほしい。

■ 安田町（続き）

20代	女	地元で野菜などの直販所ができて便利になった。
40代	女	安田町には必要なお店が全くありません。車の運転ができない高齢者はとても大変だと思います。ハイヤーを使って田野町にまで買物に行く高齢者をよく見かけます。小さなスーパーでもいいので、高齢者の方が気軽に買物できる場所があればと思います。
40代	女	魅力ある商品、地元でしか得ることのできないものがたくさんある。それをもっともっとPRしていくことが大切だと思う。しかしその手段を個人商店主の方は知らないと思うので、行政がそのノウハウを教え、手伝っていくことも必要だと思う。
60代	男	生活が大変不便。地元でスーパーがほしい。

■北川村（2件）

20代	女	歩いて気軽に買物に行ける所が欲しい。広い駐車場も作って欲しい。
60代	女	現在はまだ自家用車で買物に行けますが、これから先車に乗れなくなったときは困ると思います。バス路線が廃止されるという話もあり不安です。

■馬路村（2件）

40代	男	地元には商店街と言えるほど店がありません。ほとんどの買物は車で1時間以上かけて町へ行かなければならず不便です。
40代	未回答	地元の商店はスーパーと比べると価格が高いため、どうしても品揃えが多く価格も安いスーパーでまとめ買いすることが多い。地元の商店が完全になると困るが、価格と品揃えの面から地元外で買うことが多い。

■芸西村（20件）

20代	女	スーパーマーケットが1店しかないので、もっと店がほしい。
30代	男	大型のドラッグストアがないので、あれば良いと思う。
30代	男	近くに店がないので、車に乗れなくなったとき、歩けなくなったときの買物が心配。

■ 芸西村（続き）

40代	男	「地産地消」をもっとアピールして欲しい。高知県は他県と比べて活気がない。最近では県外資本の大型スーパーが多いが、高知県のスーパーを多く利用したい。芸西村にはスーパーが1店しかないのので、食料品以外の物を買うときは野市まで行かなくてはいけない。安芸市にもスーパーがあるが、種類が少なく高い。高知市の大型店まで行くと一日かがりになるので、もう少し近くに品揃えの良いスーパーがあればいい。
40代	男	地元にはスーパーマーケットが1店しかない。値段も少し高いと思う。
50代	男	地元では住宅が増加していますが、自治体のサービスが目に見えません。自治体と商店が一体となっていないため、商店が減少し買物に不便です。そのため買物は別の町のショッピングセンターに行くことが多いです。もっと自治体の努力を望みます。
50代	男	大型店があれば助かります。何でも揃うのが理想です。
50代	男	スーパーがもう1店あれば、価格や品揃えが比べられる。地元の商店に昔のように元気が戻るよう願う。
60代	男	店舗の近くに駐車場をもっと増やしてほしい。特に個人商店。
60代	女	地元にはスーパーが2店以上あれば、買物も活気付くと思います。
60代	女	芸西村にもっと色々なお店が増えて欲しい。
60代	女	新鮮な物を安く買えるようにしてほしい。品揃えの充実。
60代	女	個人店等は値札が付いていない商品があるので、わざわざ聞かなければいけないのがめんどろ。接客、サービスの向上に努めて欲しい。
60代	女	安全で新鮮な物をもっと置いてほしい。
70代	男	買物難民が増えてきたので、その対策をして欲しい。
70代	男	スーパーマーケットが1店あるが、品揃えが悪いので少し遠くまで買物に行くことが多い。
70代	女	これからはそれぞれの地域で、小さくても魅力のある商店街作りに努力する必要があると思います。地元でも直販所がよく利用されていますが、今の状態に甘んずることなくさらに利用者に喜ばれる直販所にしてほしいと思います。
70代	女	地産品をもっと活用してほしい。
80代	男	スーパーマーケットがもう2、3店舗欲しい。
80代	女	店が少なくなっているので不便である。今のところ車に乗せて貰って買物に行っているが、先が不安だ。

【香美圏域の地区別自由意見】

■南国市（110件）

20代	男	<p>地元で専門店が少ないので増やしてほしい。営業時間が短い（閉店時間が早い）大型量販店はもう必要ない。</p> <p>大型量販店のため地元経済が縮小する、資本が県外に流れるため、利益が地域に還元されにくく、専門性の高い個人商店が潰れる。</p> <p>場当たりの且つ対処療法的な景気刺激策ばかりでなく長期的な視野を持った経済対策をしてください。</p>
20代	男	<p>高知県はどこに行くにも車が必要なので、まず無料で使いやすい駐車場の確保などを希望します。特に子供がいる場合は、近くて不便な場所よりも遠くても便利な店へ行くことが多いです。</p> <p>1つの地域に何件もスーパーがかたまっている市町村が多いです。競争も分かりますが、車で行きやすい店があれば一番多く利用します。最近は新聞や固定電話のない家庭が多いですが、テレビはあると思うので、テレビCMでたくさんの情報を流してもらった方が助かります。広告やチラシなどをもらってもじっくり読む時間がなく、資源の無駄にもなるため、個人的な意見としてはCM化を望みます。広告は店に常備して頂けると、必要な際に取っていきます。</p>
20代	男	<p>もっと商店街が活性化してくれると、買物に行くのも楽しくなると思います。</p>
20代	男	<p>全国では寂れた商店街を復興させたという話をよく聞く。そのようなケースをモデルにして活性化を図っていただきたいと思う。</p> <p>県においてははりまや交差点の百貨店跡地にパチンコ店建設を許可してしまうなど、明るい話題がない。水木しげるロードの様なモノは作れないのか。人気のカラクリ時計を増やすことはできないのか。B級グルメには参加しないのか。今の大河ドラマの龍馬伝のブームをこれからも続けようとするのは無理がある。真剣にこれからの県政を考えた挙句、龍馬ありきの事しか案が出ないなら高知県も終わり。もっと住んでいて楽しい町(県)にして下さい。</p>
20代	男	<p>地元の商店、また高知市帯屋町をみていて思うが、ほとんどの店が時代に即した商品を全く売っていない。県外資本やごく一部の店のみはその時々ニーズに敏感に反応していると思う。限界はあると思うが、それぞれの店が努力して価格や品揃えの面で旧態依然の状況を変えて欲しい。</p>
20代	女	<p>個人経営のお店の情報（内容や行きかたなど）がわかる雑誌を発行してほしい。</p>

■南国市（続き）

20代	女	小さな小売店も大型店も「売ってやってる」という態度で、「買って頂く」という気が感じられない。消費者の立場で商売をするとういと思ひます。
20代	女	商店街に若者向の店があれば、もう少し行くのではないかと思ひう。
20代	女	子供用品をもう少し充実させて欲しいです。
20代	女	現在の所不自由なく過ごせているので満足しています。商業面では、高知独自の特性、地形や風を生かした特産品の販売戦略に力をそそぐといいのではないかと思ひます。特に他県に対する流通面で考えていただけると助かります。九州出身なのですが、スーパーで柚子を見かけるのは高知及び近隣県のみです。
20代	女	最近、商店街に行く機会がほとんどなくなりました。久しぶりに行くとい今まであったお店がなくなつてしまひ、年々活気がなくなつていように感じます。無料駐車場や人気店などを出店すれば昔のように活気ある商店街になると思ひます。
20代	女	商店街に行きたくなるよう努力してほしい。
20代	女	最近帯屋町アーケードにも私たちが買物する店が少なくなり、郊外の大型ショッピングモールが主な買物先になってきています。駐車場の料金もいらなひし、ファッション系の店が充実しているのでよく利用します。 高知県には若者が行くような店があまりなく、代わりにパチンコ店が多いので、学生がパチンコ店を利用する機会が増えるのではないかと思ひます。 県外へ行くのはお金がかかりますが、県内にない服があつたり安い飲食店があつたりなど、お金を貯めて県外へ買物に行くこともあります。昔からあるものが嫌といわけではないですが、もう少し大型のショッピングモールが増えてくれればと思ひています。
30代	男	高知市（帯屋町周辺）に、20～30代の人ができるような服飾の店舗がもっとたくさんあればいいのにと思ひます。
30代	男	青果や食料品などは、直販所の規模を拡大し商店街の中心に据えるといいと思ひう。
30代	男	車で買物に出れば、15分以内で必要最小限の物は手に入るので不便さは感じません。車に乗らない人は少し不便かもしれませんが。スーパーに地元のを置いてくれているので、手に入りやすくとても利用しやすいです。買物には便利な環境ですが、服など近くで買える場所が少ないので、少し遠出したりインターネットを利用して買っています。近くにそういう店ができてくれたらいいなと思ひます。

■南国市（続き）

30代	男	<p>①高知駅での県産品販売促進を。すでに構内でも売っているが、加工品の試食、日本酒や緑茶、紅茶、果実のジュース類を試飲させるなどの工夫がない。また、加工品売場の一角には県内市町村の観光ブックを置いて生産地の情報を合わせて知ってもらいたい。</p> <p>②商店街をコーディネート、プロデュースできる人材を育成する仕組みを地元商工会内につくる。イベントやセール、プレミアム商品券など、新しいアイデアを形にできる若い力を育ててほしい。</p> <p>③商店街に駐車場を。何が不自由かと言えば、車が止められないこと。すでに空店舗になっているところなどを活用して無料駐車スペースを作ってほしい。そのため補助金を行政に出してほしい。</p>
30代	男	<p>色々と考えていることがありますが、まず役所が土日休みなのがそもそも不便です。私たち現役世代は土日しか行動できませんので、役所が休日をずらしてくれると大変ありがたいです。平日道路を車で通ると、あまりの交通量に驚くことがあります。この高知県で、定年なり主婦なりで無為徒食と言うと語弊がありますが、職に就かない方の人数は大変な割合だと思います。地域を活性化したいのであれば、そういった方々にターゲットを絞るべきではないかと常に思います。現役世代が消費の中心であった時代は終わっています。未来の子ども達でもありません。高齢者をターゲットに戦略をねっていけば、高知県も少しは景気が良くなるのではないのでしょうか。私たちは県外に行ったり、アマゾンで電化製品やCD、本を買うのが主になっています。インターネットというのは、地域格差をゼロにしてくれる手段です。地域格差がゼロになったのですから、商業においてはもはや発展は望みません。住みやすい、田舎の高知県で十分です。県外の人でも高知県が他県の郊外のような風景になれば魅力を感じず、観光に来なくなると思います。今よりもっとすたれて、寂れたら良いと思います。大型店も去り、地域で協力しなければいけなくなってはじめて地場のつながりがとり戻せるのではないのでしょうか。店がほとんど存在しない沖ノ島にあれだけ観光客が来るのはなぜか考えてみると、やはり逆転の考え方がこれからの高知の生きる道だと思います。</p>
30代	男	<p>高知にディスカウントショップがあれば誠に嬉しく思います。営業時間や定休日がない、年中無休の店があれば嬉しいです。以前はありましたが、最近無くなり非常に寂しく感じています。高知は近年非常に観光ブームになっております。県外の観光客のことも考え、県民や市民のことを考え、今後のことも考えて、年中無休のディスカウントショップがあれば非常にいいと思われれます。</p>

■南国市（続き）

30代	女	以前は地元の商店街に全く興味がありませんでしたが、子供が生まれてから、イベント等がある時は行きたいと思うようになりました。しかし駐車場が近くにないので不便です。普段は開いているお店も少なく、車もたくさん通っていて危険なので行くことはありません。最近スーパー内に地元農家の方たちの野菜売り場が充実しているのでよく利用します。野菜だけでなく色々な地元の商品（特に食べ物）が揃うお店があれば行ってみたいです。
30代	女	道路の整備をしてほしい。子供たちが遊べる公園などを増やしてほしい。子供たちが安全に過ごせる環境づくりを望みます。
30代	女	高齢者が今後ますます増え、車を運転して買物に行けない人が増えると思うので、生協のように宅配をしてくれるお店が増えたらいいと思う。そのためには、生活に困らない程度の品揃えが必要。
30代	女	販売店にて、地元の新鮮な野菜や果物、魚など品揃えが豊富であれば是非利用したい。今でもそういう店はあるが、ちょっと遠方すぎる。
30代	女	確かに1つの場所にいろんな店舗があるのは便利ですが、そこで必要なものが全部そろえば他の場所に行くことが無いので、地元の商店の活性化には繋がらないと思います。実際私も、よほど欲しい物、高価な物などの買物以外はほとんど同じ場所で済ますことが多いです。
30代	女	若い世代からファミリー層まで楽しめる複合施設には無料駐車場が絶対必要。
30代	女	買物に便利な場所なので、これからもできるだけ近くのスーパー等を利用したい。
40代	男	高齢化が進んでおります。高齢者用の品が探しやすい、選びやすい店づくりを望んでいます。
40代	男	経営者の高齢化とともに、商店街の高齢化が進んでいる感じがする。地産地消を担う地元出身の若者をいかに残すかも課題ではないか。
40代	男	便利なのは大型スーパーです。しかし商店街ならではの良さというのも絶対にあると思います。歩く楽しさ、お店の方との会話など。特に、テイクアウトの食べ物などがあるといいと思います。
40代	男	いつも地元の商業のことを考え、なるべく地元で買物しようとしていますが、魅力ある店やイベント開催など情報発信が足りないような気がします。少々値段が高くても地域経済発展や雇用の確保、生業としての商店を応援したいですので、接客や日頃の対応はとても重視したいです。スーパーで買物する時も県内企業を最優先します。

■南国市（続き）

40代	女	近所の商店街が、昔に比べると昼間もひっそりとしています。店が開いているのか閉まっているのか分からないような状態です。商店街は全く活気もなく車が通るだけの道になっています。活気を取り戻すためにどうすればいいのか、みんなで協力し話し合っていく必要があると思います。
40代	女	後免町商店街やトラック市等の努力は評価するが、若い世代にも来てもらえる努力が必要では。 アンパンマンのモニュメントは置いてあるだけ。米子の水木しげるロード等を参考にして、土産を売るとか、アンパンマンのミニミュージアムを作るとか、県を訪れた観光客らしき人が、アンパンマンシリーズのモニュメントの前で途方にくれている姿を何度か見ました。土電の電車とJR奈半利線のアクセスがあるごめん駅にアンパンマンのモニュメント。材料はあるのに活かさきれていないと思います。
40代	女	新鮮な野菜を購入できるように、JA直販所とコンビニがコラボレーションすれば車で行けるのでうれしいかもしれません。
40代	女	地元商店街は、シャッターが閉まっている店が多い、道が狭く車で行きにくい、駐車場が少ないなどの理由から、あまり利用していません。普段の買物は近くのスーパーやコンビニ、ドラッグストアなどで済ませ、少し高価な買物の時は、高知の大型ショッピングモールへ出掛けている状態です。もっと地元商店街に魅力ある店が多くなれば行きたいですが、個人店が多いので難しいとも思います。やはり一度で色々なものが揃い、車も止めやすく家族みんなで楽しめるような店が一番だと感じます。
40代	女	県全体の商業は、大型ショッピングセンターに人が偏っていると思う。街の商店街も人が集まってくるイベントをすれば良いと思う。
40代	女	転居してきて1年になりますが、近所の商店街の宣伝や広告を見たことがありません。だから近所の商店街の場所すら知りません。高知市中心部の商店街へは行きましたが、活気がない気がしました。
40代	女	地元の商店街はしまっている店が多い。空き店舗を趣味や教室ができるような場所にして、人の動きを良くした方がいいと思う。そうすれば帰りに店へ寄る機会が増えるかも。 高校や大学があるのに、若者が気軽に立ち寄る店がない、かといって年輩の方が寄る店もない。なんとかならないものではないでしょうか。 スーパーに関しては品揃えも良くないので、購入意欲は低下します。
40代	女	南国市十市にスーパーやコンビニをもっと増やして欲しい。あと交通の便が悪い。

■南国市（続き）

40代	女	若者が集まってくるような明るい店が増えたらいいと思う。高知県産の食べ物はおいしいので、もっとアピールして県外に知ってもらおう。
40代	女	平日は仕事をしているので19時以降の買物になります。日曜日に出向くと閉店のお店が多く、ニーズに合っていないと思います。せっかくの土曜日にも早くにシャッターが閉まっています。そういった部分が基本的に合いません。
40代	女	駐車場をもっと多くしてほしい。価格を安くしてほしい。
40代	女	地元でディスカウントスーパーが出店してほしい。
40代	女	ごめんの商店街は沿線の交通量が多く、危険なので行かなくなりました。商店街の道に木を植えるなどして、路上オープンカフェのようにオシャレじゃないと若い人は行かないと思います。センスのいいコーディネートに依頼して人が集まる商店街にして下さい。
40代	女	利便性、品揃え、価格、全てにおいて県外資本の大型店やインターネット販売が勝っています。県内でお金が回るようにするには、柔軟な発想で「行きたくなる」「そこで財布を開きたくなる」「そこでゆっくりしたくなる」環境作りが必要かと思っています。
40代	女	車がないと、買物に行くのにとっても不便な状況。子供や高齢者でも徒歩で買物にいける環境になることを望む。
50代	男	良心市でも品揃えが多い時期と少ない時期があり、不便な時がある。最近土佐茶のCMを見ますが、高知県の特産を県民があまり知らないのでは。県外にうって出るのも良いのではないのでしょうか。地産地消、地産外商、両立させたいものです。
50代	男	収入低下による消費の低迷が問題。
50代	男	①地産地消の意識を高める運動をする。 ②地元商店街の後継者の育成。
50代	男	私が今住んでいる所は近くに商店が無く、車で10～20分かけて出掛けなければ何も買えません。 移動販売も最近は見かけません。
50代	男	①個性のある店づくりをしてほしい。 ②駐車場を拡大してほしい。
50代	男	商店街という形でなくとも、よい商店がたとえ1店舗でもあれば買物に行く。家の近くには商店街はないが、よい商店はある。
50代	男	自分が年を取って車に乗れなくなった時に利用できるような買物サービスがあれば安心。
50代	女	南国市で、生鮮食品の市場のようなところがあればいいと思う。

■南国市（続き）

50代	女	後免町商店街がありますが、店はほとんど休店や閉店状態。開いていても品揃えが少なく、大型スーパーなどに対応できそうにもない。活性化はなかなか難しいと思います。
50代	女	地元にもっと活気があった方がいいと思う。特に商店街。
50代	女	ここ長い年月をかけ、商店街が寂れているのはしかたないのかなと思います。私自身、便利な大型店で買物することが多い毎日です。子供の頃の商店街のにぎやかさ、年末のくじ引きで大きな鍋を当てて母が喜んだことをなつかしく思い出します。あの頃のようなにぎやかで楽しい商店街、どこにいったのでしょうか。大人も子どもも、外から来られた方も楽しんで買物ができ、一息できる笑顔のある場所を、と考えたら思いはどんどん大きくふくらみます。「ごめんに行ったらおもしろい」そんな地元になってほしいですね。 いつも地産地消に心がけています。また、他県にも目を向けています。
50代	女	地産地消の取組はすごく気に入っています。南国市でも何か考え、みんなを引きつける商店を作ったらいいと思います。四万十市のように再々考え、魅力のある街にすべきです。このままでは本当に寂れていくばかりだと思います。 高知市の帯屋町にも寂しさを感じます。駐車場が少なく料金もかかるというのは厳しいですね。 もう少し日本製品、日本の職人の技術を大切にすべきでは。その地その物を生かした商品を考えてもいいのでは。
50代	女	近くに店が無いので大変不便。高齢になり車の運転ができなくなったら、タクシーを利用しなければならず困っている。注文したものを宅配してくれる所が多くなれば幸いと思っている。
50代	女	特に大規模な商店街にしなくても、それぞれの店が自信を持ち、活気のある商いをする事、閉めている店については憩いの場にしたり、パーキングにしたり。気軽に立ち寄れる環境になればと思います。
50代	女	スーパーやコンビニなどはとても便利。反面商店は営業努力が足りない。多分努力しているとは思いますがそう見えない。協力して地元を活性化させようという気持ちがあるのだろうか。 個人商店が好きですが不便です。
50代	女	駐車場の有無や車の出入りのしやすさを重視する。どんなに行きたい店でも車で行けないところは遠慮する。高齢になった場合は、生協など食品以外もある宅配が必要になる。
50代	女	高齢者が多いので、買物や病院に行くのが大変。

■南国市（続き）

50代	女	新鮮であることが大事。
50代	女	商店街に駐車場がないのが問題。
50代	女	品揃えと鮮度に最も重点を置いています。少々価格が高くても、安全で心配のない信頼のおける品々を購入できることが希望です。ただ、根本的には店のほうの接客態度や応対の良さが、「購入して良かった」「この店に来て良かった」という満足感を与えてくれるので、気持ちの良い接客の工夫が今後大切だと思います。
50代	女	一人ひとりが県の品を買うことが県全体の発展に繋がりますので、県は常にリーダーシップをとってください。
50代	女	県では今地産地消とPRしているが、食糧事務所の人に、もち米など売るときにはその品種を表示してくれるよう相談すると、「奨励品種」でないと駄目だと言われた。消費者たちにも品種を選ぶ権利があるのではないか。
50代	女	自宅は交通の便の悪い所であり、自家用車が無いと毎日の生活は送れません。この先車に乗れない年齢になると心配です。この辺りは移動販売もなく、近くの商店では買える物も限られてしまいます。
60代	男	県都における商店街の活性化を図る以前に、張本人達である商店街の事業主の自主性並びに協働の姿勢が見えづらい。県と市は一緒になって取り組んでいる姿勢が窺える。商店街は衰退化の原因を行政のせいにするわりに、一部の者の活力だけで後は人任せ。行政任せのエゴイズムの固まりのように思えてならない。戦後焼け野原からの復興時のように、周囲と力を合わせて底力を発揮しない限り、市民、県民の賛同と協力を得ることは難しいと思う。
60代	男	朝早くから夜遅くまで、いつでも買物に行ける店がいい。
60代	男	土佐ジロー、窪川牛だけが地産ではない。その他の種類でも良いものがあります。商品価値を見直して欲しい。
60代	男	地元商店は店舗が空洞化していて買物に時間がかかるので大型スーパーに行くようになった。駐車場から商店まで距離がある。
60代	男	今後高齢になり車に乗れなくなったとき、近くに雑貨店のような店があれば便利。
60代	男	現在は自家用車などで買物に出掛けているが、10年後、20年後に運転ができなくなると、生活用品が地元で入手できる店や移動販売が必要になってくる。 自分たちが、品揃え、品質、価格などの利便性で大型ショッピングセンターなどを利用する。そのせいで地元が寂れている。

■南国市（続き）

60代	男	地元活性化には、地域の若者が生き生きと過ごせる環境と、それを育む地域ならでは教育力が必要ではないか。高齢者の力を借り、皆で育て、楽しく有意義な生活を送れる方策を施行する力を望む。地域の教育力が高まればその地域の活性化、元気ある社会につながり、ひいては地産地消が小さな子供から高齢者まで同じ目線で実施されるようになると思う。
60代	男	駐車場と道の整備が必要。
60代	男	中国産より県内産を望む。
60代	男	商店街もスーパーのように、カートを使用して買物ができるようにしてほしい。
60代	男	近くには道の駅がありますが、すぐ近くにコンビニエンスストアやスーパーが無いので不便です。今は車で買物に行く事ができますが、先の事を考えると近くにスーパー等がほしいです。
60代	女	県産品を手に入れる方法、新製品情報など、情報を分かりやすくすると思う。欲しくてもどこに行ってもいいのやら。新しく良いものを早く知りたい。
60代	女	少々高くても地元の食品を食べたいと思います。
60代	女	岡豊高校、高知医大周辺に大型スーパーができれば有難いです。
60代	女	後免町商店街へ行こうと思うことはまずありません。特に期待できる事や商品などないし、それに店の人たちの接客がよくありません。とにかく暗いイメージばかりです。高齢者でも少し遠い他の町へ行きます。今は車があればどこへでも移動できるので、客足が遠ざからないように努力して、明るい街並みにしてほしいと思います。
60代	女	パチンコ店が多すぎる。
60代	女	今、地産地消が見直されています。消費者の意識も変わりつつあります。個人商店の方も客のニーズに合わせた商品や品揃えが必要ではないでしょうか。待っている時代は終わったと思います。経営者の意識改革が必要ではないでしょうか。お客の目線に合わせての商売をお願いしたいです。
60代	女	大きなスーパーや複合型大型店などが地方へ進出してくる際、国や県、市町村などは、人口や周囲の商店街のことを考え進出許可をすべきだと思ってしまう。大きな者が生き残り小さい物が無くなり、とても嫌な世の中だなと感じる今日この頃です。買物かごを持って軒を並べる店々を買物していく、そんな時代を懐かしく思います。

■南国市（続き）

60代	女	シャッターの下りている店の隣で買物をするのは複雑な気分です。今の商店街を1つにまとめて複合店をつくり、駐車場を整備する。心からの会話がある接客を心がけ、また来たいと思える複合施設にしてはどうでしょうか。スーパーとは一味違う形態の店ができることを願っています。
60代	女	高齢の方がいつまでも店を守らず、早めに若い人に譲って、若い人が時代に合った仕事をすれば活性化が望めると思います。世代交代を早く希望します。
60代	女	宮崎県のように生産者の先頭に立って高知県産品を売り込んでもらいたい。
60代	女	高知県を元気にするには県の力が必要なので、知恵を絞って頑張ってもらいたい。
60代	女	地元は若い人の活気が感じられない。高齢者ばかりで出掛けても楽しくない。必要最小限の買物以外しようと思わない。気晴らしを兼ねて買物や飲食を楽しむ、そんな雰囲気の街ができたらいと思う。
60代	女	私は6年以上帯屋町に行ったことがありません。駐車場に車を駐車して歩いて出掛けるのが面倒です。車で行けて何でも揃っている大型ショッピングモールへ行ってしまう。
60代	女	洋服などサイズが豊富で、高齢になってもセンスの良いものがほしい。食料品は安くて新鮮な物がほしい。人の心に響く商品でないと売れないと思う。
70代	男	小売店を誘致し、若者が行ってみたくなるような街にしないとだめ。
70代	男	国産品を買う。食料品は地産地消。
70代	男	現在はまだ自動車を運転できるので不便ではないが、高齢になると自分では行けなくなるので家族に頼むしかない。今は歩いて5分くらいの場所にコンビニがあるが、最近は競争が激しくいつ閉店してもおかしくないのが心配である。南国市は都市計画法による調整区域が大部分を占め、大型店の出店が難しいと聞きます。旧野市町の郊外の新しい大型複合店などは街並みと共に整備され羨ましい限りです。南国市は何をしているのか。今の時代開発指向ばかりもおかしいとは思いますが、東道路の沿線などはある程度規制を緩和して民間に任す方法もあるのではないのでしょうか。
70代	女	車社会なので、新しい店ができて広い駐車場は絶対必要。
70代	女	野菜はほとんど家庭菜園で作っています。近くにスーパーがあるので元気である限り独りでも満足です。

■南国市（続き）

70代	女	いつまでも車に乗ることはできません。巡回してくれる買物バスやタクシーがあると助かります。
70代	女	徒歩で行ける距離に旧後免町商店街があるので、再開発されれば週2、3回は買物に行きたいと思う。
70代	女	①県産の野菜がもう少し安ければいいと思う。 ②家の近くにお店（雑貨店）があれば便利だと思う。
70代	女	家と勤務先がはなれているので、通勤途中にある大型店スーパー等を利用し、地元商店の利用は少なくなる。仕事をやめたあとは、商店街に近い所で生活していれば何とかできるだろうが、田舎では車がなければ生活が大変。個人の店もなくなり、商店街へ行っても品がそろわないことが多い。スーパーや大型店は、品揃えは良いが交通手段がない。移動スーパーも価格が高い。買物バス（グルリンバス）等の利用も考えたりするが、それも利用者数などの問題がある。 高齢になった時のことを考えると、田舎では生活しにくくなる。
70代	女	地産地消で地域を元気あるものに、地域振興を常に思っていますが、今の公共交通機関の状況では高齢者は気軽に地元の商店を利用できません。今まで出かけるときは自家用車でしたが、高齢者なので自主的に運転をやめました。交通手段を失ったことで、地元の商店街へ出かけられなくなりました。利用できるのはバス路線のある所だけなので、買物場所は限られます。 地元で元気な商店街を作るためには、こういったことへの配慮もしてほしいと思います。
70代	女	10年後、この周辺は限界集落に近い状態になると思います。個人商店はなくなり大型店だけになり、高齢者は買物に困ると思います。
70代	女	便利を求めても地元で商業環境が整っていなければどうしようもない。県としても考えてもらい、便利な買物ができる環境を望む。
80代以上	男	外国産品を入れないようにしてほしい。
80代以上	男	食料品の消費税値上げは絶対反対です。
80代以上	男	高齢なので、公共の乗物をずっと継続してほしい。
80代以上	女	地元はパチンコ店ばかり。住民の憩いの場を作ってもらいたい。
80代以上	男	行政も事業者も商店も、昔からの自己保身、自分本位の思想が根底にあり、住民やお客様のためのサービス精神の欠如が目立ってきた。

■旧土佐山田町（46件）

20代	男	複合店を増やしてほしい。地元商業にあまり魅力がない。
20代	男	土佐山田町自体に学生相手に商売をしようという気が全くみられません。ファーストフード店やCDレンタルショップなどの娯楽施設が野市や南国まで行かないとありません。コインランドリーやドラッグストアの新規出店はこれ以上必要ないので、より商売をする気がある店を誘致していけば、もっと盛り上がるのではないのでしょうか。
20代	女	①営業時間を長くしてほしい。 ②大きな遊園地や水族館ができてほしい。
30代	男	街に活気が無い。若者の住みやすい街づくりをして欲しい。
30代	男	商店街の再開発に無関心の市政に不満。県全体では人の流れが大型商店へ向かってほしい。帯屋町アーケードが閑散としている。はりまや交差点の百貨店跡地など、市中央の開発がされなければ県全体の発展はないのではないかと思う。
30代	女	①個性のある商店街が望ましい。 ②今ある店は年齢の高い方の好むものしか揃えていないので、行っても買う物がない。 ③食品は地産地消に徹底すればいいと思う。 ④昭和の匂いがある商店をもっと大事にしてほしい。 ⑤駐車場の整備が必要。
30代	女	商店街はシャッターが目立ち、買物できる店がない。基本的に駐車場が少ないので、車を運転する人はスーパーしか行かないと思います。
30代	女	旧土佐山田町には夜遅くまで開いているレストランなどが無い。安価で行きやすいファミリーレストランなどがあればいいと思う。仕事で夜遅くなることもあるので、夕食の用意をするのが大変な時は外食することがある。そんなときに外食できる所がないので、市内まで出かけなくてはならず、時間的に不便です。 時々旧土佐山田町の商店街を車で通過するのですが、もっと明るい商店街にしないと客もあまり来なくなる。
30代	女	大型の直販所を中心にした商店街づくりなど。大規模なイメージチェンジをしてほしい。
40代	男	地元商店が努力しているのは良くわかるが、あまりにも閑散としていてシャッターが閉まっている所が多い。もっと商売意欲の高い人が、小さくても活気ある商店街を作り直したらいいと思う。
50代	男	地元産業活性化のために地元の店を利用したいが、地元の商店街はゴーストタウンのよう。購買意欲がわからない。 高額な商品は、野市、南国市、高知市に買いに行く。

■旧土佐山田町（続き）

50代	男	自家用車を利用して便利な大型店に出かけるが、高齢者になった時のことを考えると不安である。便利だけを追いかけ、不便な所には人がいなくなってしまう。
50代	男	商店街を何とか活性化してもらいたい。消費者側が消費の仕方（昔のように、量買い、びんを持って行ってしょうゆをいれてもらう etc）を変える必要があると思います。店主もプロ意識を持って商品を扱えば、商店でいいものを安心して買うことができます。
50代	男	商店街の活性化は、どこから手をつけてよいか解らない状況にある。一因は（行政を含め）状況の分析ができてないことである。どのようにすれば人が追随するか。地の利を生かした作戦、もうける仕組みや連携がないことも問題。原資をつくり出すことも大切。後継者の育成も課題。
50代	男	地元の商店街の活性化を望みます。このままでは大型スーパーなどに押され、消えていくような気がします。地元を大切にし、地元で買物をしたいと思う。
50代	女	ファミリーレストランが近くにない。家族も外食に行きたがらない。経済的理由もあるのでほとんど外食はしません。
50代	女	せまい道を人、自転車、自動車が行きかうので危険。駐車場と歩道の整備、車の乗入れを規制する。または小規模でもいいのでアーケードがあればいいと思う。
50代	女	スーパーやドラッグストアなどは多いですが、レンタルショップ、フードショップがないので、そういう店があればいいと思います。
50代	女	駐車場が充実すれば活性化する。
50代	女	商店街は閉店時間が早く、欲しい物が1度にそろわない。駐車場も少なく不便である。生鮮食料品のお店が少ない。毎日食する物なので、美味しい物を売ればお客さんも来るのでは。
50代	女	地元の商店で買物をしなければいけないと思いますが、仕事が終る時間にはすでにシャッターが閉まっているので、夜間もやっている大型ショッピングセンターに行き、ついでに色々なものを買ってしまう。つい地元の商店街から足が遠のいてしまう。酒類なども少しでも安い物を求める。衣料に関してはサイズが豊富な通販で求める。
50代	女	商店街の情報を提供してもらえば、もっと買物に行くと思います。
60代	男	今は車に乗れるので不便を感じないが、将来的には徒歩で全ての物が買える商店街作りが必要。

■旧土佐山田町（続き）

60代	男	商店街は商品ごとに違う店に行かなければならず、買いたい店に車を止められない。スーパーやショッピングセンターは一度に何でも揃うので便利。
60代	男	地産地消大賛成です。近くのスーパーにも地元の物が少しならんでいますが、南国市に行くのとたくさんありますので、時間があれば南国までいきます。特に野菜は安くて新鮮なので、他の所で買おうとは思いません。野菜、青果類の訳あり商品も販売してほしいと思います。
60代	男	いくら車社会が発達していても近くで買物できることが一番の利便さです。それも車ではなく歩いて行ける商店で、新鮮なものを購入できるのが理想です。そのためにも地元の商店街の活性化を願っていますが、後継者不足、価格競争ほか、難しい問題ばかりです。
60代	女	日常生活に必要な食料品、日用雑貨、医薬品は地元のスーパーや薬局で購入していますが、洋服類、眼鏡、時計、アクセサリ、靴、バッグ等々は高知の百貨店や専門店で購入するというのが数十年来のライフスタイルです。最近ちょっとした衣類、日用雑貨品、食料品等は通販を利用したりもしています。
60代	女	勤務先が南国市なので南国市のスーパーで買物する。地元のスーパーより品質、鮮度が良い。店が綺麗で買物がしやすく品揃えも良い。商店街よりも、大型ショッピングセンターやスーパーなどのほうが価格が安いので、商店での買物はほとんどしない。
60代	女	タクシーでスーパーに買物に来ている方をよく見かけます。不便な方も多いようです。
60代	女	空き店舗が多くなり、商店街に活気が無くなり、やはり大型店に足がむいてしまいます。
60代	女	地元のお店には魅力がない。 ≪例≫売物が古く、パッケージが破れたまま置いてある。経営者が高齢で話が通じない。店全体が暗い。客の出入りがまったくくない。外から見ても営業しているのかどうか、見分けがつきにくい。ほしい商品がない。結局後日車で南国市の大型店に行きました。
60代	女	空店舗、シャッター店、あるいは取り壊して駐車場になっている場所を多く見かけ、寂しく思います。地元はJRで高知に行くのに便利で、高知に行って買物することが多くなります。私は少しでも多く地元の店を利用しなければと思い、なるだけ地元の店で買うよう心がけています。店員さんとも親しくなって会話ができ、楽しくなります。

■旧土佐山田町（続き）

60代	女	商店街に後継者がいないせいか、多くの個人商店が閉店され寂しく思う。どうしても品揃えの良い大型スーパーに行ってしまうが、商店街がアイデアを出し合い、活気のある町にしてほしいと願う。
60代	女	経営者の高齢化など、むずかしい問題も多いでしょうが、私にとってはやはり昔の商店街が良かったです。歩いて考えながら買った、野菜や魚、肉。家族のことを思い料理を考えたりしたものでした。大型のスーパーは、買物時間を省けますが、必要ないものまで買ってしまいます。
60代	女	“くろしおくん”をゆるキャラとして全国に押し出し、活性化を計る。
60代	女	商店に活気がなく商品が新しくない。何年も前の品が並んでいる。店が暗い。駐車場がない。
70代	男	「地産外商」努力が、尾崎県知事によってようやく始まった感じです。優れた一次産品があるのに、今まで県外勢力に押されていたと思う。
70代	男	若者は交通手段に困ることなく必要なものを購入できますが、高齢者は自宅近くで買物ができれば助かると思います。地元商店街も店が少なくなっていますが、魅力的な店が集中してできれば活性化につながると思います。そのためには店自体の努力はもちろん必要ですが、それを後押しするシステムも必要と思います。
70代	男	個人商店は閉店時間が早すぎる。
70代	男	無料の駐車場が必要。
70代	女	旧商店街がシャッター通りになって残念。若い者はどうしても大型店に足が向くらしい。商工会がもっと活動することが望まれる。
70代	女	旧土佐山田町には、スーパー、ショッピングセンター、ドラッグストアなど、狭い町内に9店余りありとても便利。その大型ショッピングセンターにも農家からの品物が豊富に揃っている。日曜市も開かれ大変嬉しい。しかしその反面、今まで商店が軒をつらね賑わっていた長い商店街がすっかり寂れてしまい、店が閉じられているのは非常に寂しい。そんな様子を見ると色々と考えさせられる。 自転車屋、本屋、文房具店などの専門店が以前通り営業しており、それらの店に入って買物をするとホッとする。なごやかに、嬉しくおしゃべりできる。自分の心も生き生きしてくる。
70代	女	食料品が売っている小売店が近くにあれば便利だと思う。
80代以上	男	①どんな商品でも良い商品を、品質に責任を持って販売する。 ②年に数回還元セールを実施し、地元の人々の利用を高める。 ③土佐山田チンドン大会を商店街で実施してはどうですか？アンケートで案を募集したらどうでしょうか。

■旧土佐山田町（続き）

80代以上	男	①個人店と大型店、形態は別として、商品を購入する場合に品揃えが乏しいのは問題外、購入する意欲もなくなる。特に家電製品等耐久消費財。衣料品（紳士服、スポーツシャツ、ズボン等）、食料品（鮮魚、野菜等）も品数が多いことが重要。 ②接客も大事だけど、品質が最も大事。表面的なサービス、安かろう悪かろうでは駄目だと思う。
80代以上	女	町内に個人商店が1軒あります。欲しい物が毎日あるわけではないですが、時々人に頼んで買物をしてきてもらいます。タクシーで行けば3,000円ほどかかりますので、気軽には行けません。

■旧香北町（1件）

50代	女	地元は品揃えが少なく、新製品の入荷が遅い。
-----	---	-----------------------

■旧物部村（10件）

40代	男	職場が近くにあるので、買物はもっぱら地元であることが多いですが、休日や通院等で旧土佐山田町や高知市内に出向いた際について買物を済ませることもあります。山間部には働き口が少なく外部への通勤者が相当数いるので、帰宅時間等の都合上地元外で買物を済ませて帰ってくる方が多いのではないかと思います。 そして近年の安値競争の激化により、大型店で買う傾向が高まり、小規模店舗は大変苦しい経営をしいられています。しかしながら、私も含め消費者は今後安いというだけで判断せず、徐々に安全性や本物指向に変化してくると思います。やはり最後は人と人とのつながりが重要です。地元商店の方々も今は我慢して頑張ってもらいたいと思います。
50代	女	地元の商店街ももっと価格が安く品数が多ければ、少しは利用すると思います。
60代	女	値段が高い、品数が少ない、鮮度が良くない、接客態度も良くない。地元には商店は必要ですが、遠くても郊外へ買物に行くようになる。
60代	女	土佐茶がペットボトルで販売されているが、会合には大手メーカーの茶が出てくる。「日本一のゆず」を、県内外食産業でもっと利用してほしい。ゆず酢をテーブルにおいてPRし、店内販売するなど。県民ももっと意識して県産品を買ってほしい。

■旧物部村（続き）

60代	女	<p>東京のデパートと高知のデパートの接客術の違いを感じました。高知のデパートで店員さんに声をかけても、店員同士が私語に夢中で不愉快な思いをしたことが何回かありました。東京のデパートでは店員さんに声をかければ親切に案内してくれました。</p> <p>私が高知出身というと東京に住んでいる方は、龍馬やカツオのたたき、日本酒のうまさ、以前に知り合った高知出身者の明るさ、等々好感を持って下さっているのがよく感じられました。高知の特産品は他県に決して引けを取らないと思います。しかし接客のときの“おらん家自慢”が長すぎて、お客様の言葉を聞き入れるゆとりがないのではないのでしょうか。お客様（消費者）が高知の特産品を褒めて下さる時には口を閉じ、耳を傾けることが大事だと思います。</p>
70代	女	<p>人口減少により街にシャッターが下り、寂しい所になりました。今は本町通りを自分一人が歩いているような状態です。昔は町全体が碁盤の目状になっていてとても良い町でした。</p>
70代	女	<p>高齢化社会になり人口も減少してきていますので、いろいろと生活が難しくなると思います。移動販売をよろこんでいる近所の方も多そうですね。（特に食品類）</p>
80代以上	女	<p>遅くまで営業しているコンビニなどが必要。また、高齢者の家に品物を届けてくれるサービスもこれから必要になっていくと思います。</p>
80代以上	女	<p>地元を利用したいと思いますが、品揃えや価格、サービス等があまりよくないので、病院に行ったついでなどに地元外で買物をします。</p>
80代以上	未回答	<p>月2回程度でも品揃えの良い移動販売が来てくれると助かる。</p>

■旧夜須町（13件）

20代	男	<p>地元にもっと企業が参入できるような環境作りをして欲しい。</p>
30代	女	<p>地元到店舗が少ない。24時間営業している店が無い。</p>
40代	男	<p>安全で新鮮な食品や製品などを置いてある店が近くにあればいいと思う。</p>
40代	女	<p>シャッターが閉まった店が多くなってきたのがとても残念です。子供たちが安心しておやつを買える店、昔ながらのお年寄りが店番しているお菓子屋さんがあると、人との触れ合いや安全性もあると思います。昔のようなアットホームな町になってほしいです。</p>
50代	女	<p>近くに商店街がないので、歩いて行ける距離に店を作ってほしい。</p>
50代	女	<p>規格外の野菜などを市場で普通に売られるようにしたらいいと思う。</p>

■旧夜須町（続き）

60代	男	スーパーマーケットなどにもっと地元産品を置いたほうがいい。
60代	女	地元で大規模な商店（スーパーマーケット）があれば良いと思う。
60代	女	新鮮なものを供給してほしい。
70代	男	旧町内に中、小型スーパーがあれば高齢者でも町内で買物ができ便利だと思う。
70代	男	便利な店がないので、地元にもう少し店舗が増えれば良いと思う。
80代以上	女	①地元でもっと商業的なイベントを開催してほしい。 ②良心市のような買物場所がほしい。 ③他では買えないような、特色のある特産物を扱うようにしてほしい。 ④健康、安全性を重視。
80代以上	女	買物はほとんどボランティアの人やヘルパーさんに頼んでいるので気を使う。近くの店まで歩いて1時間位かかるので不便です。

■旧香我美町（15件）

40代	男	企業を誘致することで雇用と人口の増加につながり、商業が活性化すると思う。
40代	女	旧野市町の商店街は県外の大型スーパーに押されて、昔からの個人商店が減っているように思う。野市町は人口が増えているので、商店街の活性化を図り、たくさんの人たちが利用したくなるような商店街になれば良いと思う。
40代	女	安くて安全なものを提供する店が増えるといい。近くに店が無い。
40代	女	お店にオリジナリティや魅力があれば商店街にも行きたいと思うけど、昔から変化がなく活気もなくなって寂しいです。 買物は便利で品揃えの良いスーパーやショッピングセンターに行きます。個人のお店は大型店にない自由な発想で勝負できると思います。最近地元の商店街で様々な個性的なイベント（冬の夏祭りや三宝山でのマーケットなど）をしています。もっとこのような楽しい企画をして、商店街の魅力を知ってもらえたらいいですね。期待しています。 時計や自転車の修理などは、いつも商店街にお店があるおかげで助かっています。これからも続けて欲しいです。
50代	男	①店とその近辺の改革。 ②地元の有名店などを1カ所に集めてはどうか。

■旧香我美町（続き）

50代	女	直販所などに関してはJ Aの協力が無い。J Aの協力があれば、農家、顧客とも良い方向に向くと思う。
60代	男	安全、安心な品物を提供してくれる店が増えてほしい。
60代	女	昔のような個店、八百屋さん、魚屋さん、肉屋さんが無くなっている ので、単品の買物でもスーパーへ行かなければならない。余分なもの も買うはめになることが多く無駄になる。
60代	女	地元の商店街はほとんどの店が閉まっているので、あまり行かない。 個店が努力し、県や地元の支援がないと商店街は無くなってしまおう と思う。
60代	女	地元商店街は駐車場の整備が絶対必要です。
60代	女	旧野市町みどりの商店街は、本来歩道であるはずの場所に駐車してい る車が多いです。駐車場の整備が必要です。
60代	女	昔と比べると便利な社会にはなったと思います。大型店が田舎にも増 えて商業も様変わりしてしまいました。昔の商店街が壊れてしまい、 寂しさ、やるせなさもあります。
60代	女	地元にもっと魅力のある店があるといいと思う。
70代	男	商店街で必要なものが全て揃うように、商店街の活性化を望みます。
80代以上	男	去年から車に乗らなくなったので買物は家族に頼んでいるが、やはり 不便である。 地元の商店街、商業の発展を望みます。

■旧赤岡町（13件）

20代	男	近くに大型スーパー(24時間営業)がほしい。
40代	女	賞味期限を全ての食品に表示してほしい。記載されていない物があ る。
50代	女	近くに店が無く不便。せめてコンビニでもあればと思う。
50代	女	近くで買物ができるように、店舗の存続に努力して欲しい。
60代	男	特売品をもっと増やして欲しい。
60代	男	地元は少し値段が高いので、もっと店舗が増え値段が下がるといい。
60代	女	商店街のお店には何だか入りにくいです。薄暗い店もあり素通りして しまいます。ショッピングセンターのようにスーッと入っていけるよ うなお店ばかりだったらいいと思います。

■旧赤岡町（続き）

60代	女	自宅から一番近い商店まで徒歩で30分ほどかかります。今は自分の力で買物にでかけられますが、高齢になると今までできていた事ができなくなります。近くに店がないというのは不安です。
70代	男	近くに品揃えの豊富な店舗を増やしてほしい。
70代	女	現在は自転車で買物に行っているが、近くに店がないので不便だ。大きい物は人に頼んで買ってきて貰うが、やはり気を使う。
80代以上	男	地元には店舗が少ないので増やして欲しい。
80代以上	女	買物はほとんど家の者が行きますが、たまに自転車で買物に行くと、近くに店がないので不便です。
80代以上	女	現在の住いは少し山手にあり、高齢のため買物はかなり不便です。もう少し交通手段が充実することを望む。

■旧野市町（61件）

20代	男	できることなら、商店街がイキイキしていた時代に今の街を近づけたい。笑いがたえない街づくりを望む。
20代	男	駐車場がない。道が狭すぎる。
20代	男	高齢者でも気軽に買物ができるように環境整備してほしい。例えばスーパーまでの距離が遠いので、歩いて行けるように検討してほしいです。
20代	女	生活必需品は地域で購入しますが、装飾品などはやはり大型店の品揃えがよく引かれます。地元の商店街も利用したいのですが、営業時間が短いので仕事をしている人には使えません。駐車スペースもないので不便です。
30代	男	ここでしか買えない魅力ある商品の開発が必要。
30代	男	どこかに車を置いてゆっくり商品を見られる、魅力のある店があれば行きたい。観光名所のように、その商店街にしかない商品があれば休みの日にゆっくり見に行きたい。
30代	男	大型店舗が増えすぎている。人口の割に店舗が増えすぎ。
30代	女	高知県は良心市が充実していて、地元の野菜を安く購入できるのがいいと思う。反面、良心市に並ぶ商品には商品の情報が表示されていないので、本当に食の安全を考えるなら作った方の名前なども表示すると良いと思う。そうすれば質の悪い物が入っていた場合参考になる。県外に比べると収入が少ないので、安く安全に購入できる食品を望みます。

■旧野市町（続き）

30代	女	地元のスーパーが無くなり、高齢者や車に乗れない人が困っているので、コンビニか何かがあればいいと思っています。
30代	女	基本的に高知県は品揃えが少なく価格も高い。県外から来た者にとっては非常に生活に不便な土地。必要最低限のものしか購入はせず、全ての趣向の品は県外で購入している。レジャー施設も少なく、商業の活性化を切に望むが期待できない。
30代	女	ベビーカーで買物ができるほどの店の広さが欲しい。 赤ちゃん、子供服などを取扱う専門店が増えてほしい。
30代	女	買物はたいてい大型スーパーを利用することが多い。しかし何でも価格が安いとは限らないので、商店街を活性化するためには安売りをすると良いのでは。もしくは、1つの商店街だけで全ての買物が済ませられれば客足も増えるのでは。子供連れだと時間に余裕がないので、子供連れで楽しくあそべる施設がたくさんあるとうれしい。価格は無料か格安で、室内と外どちらでも遊べるところ。 商店街は利用しないけど、なくなると寂しい気もする。
30代	女	帯屋町周辺に無料の駐車場を整えてほしいです。
30代	女	無料駐車場がある商店が増えるといい。
30代	女	若者から高齢者まで、行くだけで元気になれるような高知県らしい商店街があればいいと思います。
40代	男	ショッピングセンター等、大型店の進出を望む。野市町はインテリア、雑貨の品揃えの豊富な店がなく、不満に感じることもある。
40代	男	消費者が安く地元のものが買えるのは良いことですが、安いということは利益も少なく、生産者や販売者は大変苦勞をされると思います。皆がある程度の値段を受け入れられる時代にならないものかと思っています。皆が家で商売ができる、子供と一緒に店をやれる時代には戻れないでしょうか。
40代	男	地元の青果が買いやすくなればいいと思う。
40代	男	郊外に大型ショッピングモールが進出したことで、旧商店街の活気は失われ寂しく思う。行政との連携を含め、もっとしっかりした対策を立てて実行しない限り、商店街に未来はないのでは。
40代	男	B級グルメが流行りなので、野市町も開発に取り組んでは。
40代	女	子供連れでも歩きやすく、買物しやすいという点を最も重視しています。将来高齢になり交通手段がなくなっても近くで買物ができるので、野市町は便利な所だと思います。
40代	女	農家や忙しい母親が増えているので、出前（ラーメン、とんかつ、寿司など）のできるお店がたくさんあれば便利だと思います。

■旧野市町（続き）

40代	女	利用しやすい駐車場がある近くの店で買物をしたい。遠くまで行くのは、好みの服が無かったりサイズが無かったり、やむを得ずの場合が多いです。1カ所で商品が揃っていればその分車での移動が少なく済むので、遠くにも行くことがあります。
40代	女	仕事をしているので買物に十分な時間を使うことができず、1店舗で買物を済ませることができる大型スーパーを利用します。一週間分まとめ買いすることが多いので、商店街に行くことはほとんどないです。しかし地元の商店が次々店を閉めていく現状には心が痛みます。近所の遅くまで営業していたスーパーも店を閉めたため、買い忘れたものや急に欲しいものがある時などとても不便です。近所に住む高齢者の方も困っています。個人商店の経営がどうにか成り立たないものでしょうか。
40代	女	①スーパーなどで買物したときや、たくさん買物した時など、無料で配達してくれるといいと思います。 ②地元の商店は店内に入りやすく、何を売っている店なのか分かりにくい。もっと宣伝が必要。 ③香南市にも大型ショッピングモールができれば、わざわざ市外に行かなくて済む。 ④どこの店もそうですが、店員の服装、髪、言葉遣いなど悪いと思います。
40代	女	旧国道沿いに商店街があるが、駐車スペースがないのでつい大型スーパーで買物をすませてしまう。もっと地元の商店が活性化したらいいと思うものの、品揃えのよさで大型店を利用してしまう。
40代	女	地産地消がもっと広がれば消費者も新鮮なものが購入できると思うし、安心して商品を手にすることができると思う。
40代	女	大型ショッピングセンターには無料駐車場がありますが、高知市中心部の商店街はほとんどが有料、地元の商店街は路上駐車しなければならず大変不便。どうしても大型店を利用してしまいます。この問題解消は郊外でなければ難しいと思います。これから田舎は更に寂れていくでしょう。高知市中心地にもほとんど利用したい商店がありません。駐車料金が気になり他の商店を見て回ろうと思えないのです。他のお店の情報は分かりませんが、購入しやすい雰囲気、入りやすくゆっくり店内が見える大型ショッピングセンターが理想だと思います。アーケードも都市部の駅ビルのようなオープンな雰囲気と、取り扱う商品を工夫して若い方にも利用してもらえる店を増やすことが必要だと思います。

■旧野市町（続き）

40代	女	商店の個々の努力では無理があると思います。定休日や駐車場の問題など、地域全体で考えないと難しい。今は車で買物に行っていますが、年齢が高くなっていけばどうでしょう。なかなか妙案が浮かびませんが、商店街の危機感を感じ取れます。
40代	女	商店街は道が狭いところが多く、駐車場や駐輪場が遠くて不便だったりする。そういう点を改善してほしいです。
40代	女	大型ショッピングモールが1~2店増えれば便利になると思う。
50代	男	県産品を買おうと思うが、欲しいものが欲しい時にないのが実態。スーパー等に出品している“生産者の顔が見える野菜”などはよく利用している。
50代	男	国の規制撤廃が早急すぎる。例えば大店法、24時間営業のコンビニなど。大型店舗ができ、コンビニが24時間営業することによって、商店街はいつそう寂れていき、商店街の存続は困難。スーパーなどはお客が入らなくなればすぐに撤退できるし、コンビニも営業で赤字になれば閉店する。しかし地元の商店街は何年もの間耐えて商売をしている。このような状況下では買物難民が出てくるのは仕方ない。人々が暮らしていけるような社会作りをしてほしい。子供が困ったときに商店街の方が助けてくれたこともあった。防犯にも役立つ。
50代	男	地元の商店街がもっと活気づいて欲しい。そのためには子供から大人まで興味もてるイベントなどを行ってほしい。
50代	男	商店街に活気がない。大型店に押され閉店している店が多い。時代の流れで仕方がないかもしれない。個々での開発には無理があるだろう。
50代	女	商店街は必要だと思うが、駐車場などの環境面で入りにくさを感じている。地元の活性化、推進と言っても、私達は車生活をしているので、利便性の方が優先してしまう。大型店の方が利用しやすい。商店街は残してほしいし、どうにかしなければと思うが厳しい現状を感じる。
50代	女	①野菜は新鮮さが一番であるが、農薬のことを考えると流通経路がしっかりしており、きちんと検査をしているスーパー等が安全であると考えている。その点、地場産の直販所などは不安に思うこともあります。肉や魚の加工品も防腐剤を使用しているものがほとんどなので、必ず裏の表示や製造年月日を確認しています。 ②個人商店の勢いが弱いように思います。香南市の特色を活かした街づくりをして、観光も含め県外から人が訪れるような場所があればいいのでは。例えばひろめ市場のような場所。

■旧野市町（続き）

50代	女	団地にスーパーが無くなり、高齢者の方は大変困っています。車に乗る人は不自由ではないですが、やはりすぐに買物ができ、歩いて行けるスーパーを作ってほしい。
50代	女	①自家用車で買物に行くのですが、徒歩で行けて、飲料、食品だけでも買える店があればよい。 ②もう少し直販所の品揃えが良くなれば便利。
50代	女	地元や高知市の商店街が寂れていくのはさみしい。県外の大型店に押されないように、県が地元の商店を守ってほしい。私達は地元で取れたものを食べたい。それが一番おいしく、安全で価格も手ごろ。
50代	女	高知市に大型ショッピングモールができてから、帯屋町など以前賑わっていた商店街が寂れてしまいとても寂しく思います。時々行くのですが短時間で帰るようになりました。もう少し活性化できるといいのですが。 地元はショッピングセンターやスーパーができ、とても便利になりました。一方で商店街は少し寂しくなっています。
50代	女	地産地消で安全な物を安く、安心して買える店などがあれば、必ずそこに行って買物します。輸入した物に頼るのでなく、地元生産者の方も、それを買って食べる私たちも、両方が潤うようになればいいと思います。
50代	女	①近年増えている、スーパー等の一角を利用して産直品（直販所のような品揃えと価格）を販売しているコーナーがあります。大変利用しやすく、他の食材の買物のついでに買えるのでうれしいです。 ②大量でなければ流通しないのではなく、少量でも店に並び、購入できるようにすればいいと思います。新しくて美味しい野菜や魚は高知の自慢だと思います。安く買えたら言うことなしです。
50代	女	地元スーパーがあつたが無くなってしまった。そのため、買物には車で片道10分くらいかかる所まで行かなければならない。特に高齢者の方たちは、ひとりで買物に行けなくて困っている。以前は歩いて買物にいけていたのに、高齢になると気軽に買物に行くこともできず、新鮮な食品を頻繁に購入できなくなっているのが現状です。
50代	女	あるスーパーの駐車場で月に3回くらい車に傷をつけられました。それからはそのスーパーに行っていません。駐車場にはガードマンを配備し、夜は明るく街灯を付けてほしいです。
50代	女	スーパーが1店舗しかないなので、もう少し店舗を増やして欲しい。

■旧野市町（続き）

50代	女	<p>地元の旧商店街もシャッターを閉めた所が多く、寂しくなっている。駐車スペースがないのと、近くに大型店ができたのが原因と思われる。自宅から一番近くにあったスーパーも、閉店して一年以上になる。高齢者の方は「歩いて行ける所だったのに」と、大変残念がっている。買物は週に2回くらい、息子に車で連れて行ってもらったり、行ける時は自分で行ったりしている。大きな物は生協の宅配が利用できるのので助かっている。自分が車に乗れなくなったときを思うと、移動販売が便利かなと思うこともある。</p> <p>外国や遠い県外からでなく、高知でとれたものを使う機会をこれから増やそうと思っている。</p>
50代	女	<p>①広い駐車場が必要。 ②その店にしかないオリジナル商品の開発。 ③高知市内での買物は、地下駐車場の料金がもったいないので、駐車料金のかからない郊外の大型店に行きます。 ④若いうちは大型店で買物がいいけれど、高齢になると歩いての買物が億劫になる。近くの店で買物するようになるので、その時は高齢者向けの商品ばかりを扱わずに、魅力ある品揃えをしていて欲しい。 ⑤地元の商店街は雨が降れば濡れるし夏は暑く冬は寒い。その点ショッピングセンターは建物の中に入れば快適でゆっくり買物ができる。</p>
50代	未回答	車に乗れなくなったときには様々なサービスが必要になる。
60代	男	食品には消費税がかからないようなシステムにできないでしょうか。
60代	男	コンビニで商品を買ってお腹をこわし、店員に抗議したが対応がない。賞味期限が過ぎている商品を時々見かける。品質の徹底を願いたい。
70代	男	<p>ほとんどの市町村に大型量販店やスーパーがあり、地元商店は価格競争や販促に勝てず苦勞している。</p> <p>大型店は県外資本が多く、生鮮品の品揃えは多いがマンネリ化していて、昔から地元で食されている季節の地野菜や地魚等がない。農家や漁師の協力を得て、大型スーパーにない品揃えをする委託販売も検討すべきである。また、良心市のような売り場を設けるなど対面販売の強さを発揮し、食材のレシピや食し方について宣伝していく。そのためには駐車場の整備が必要。</p> <p>県外メーカーは本社の都合でいつでも撤退することがあるので、県内メーカー、地元商店に頑張ってもらいたい。</p> <p>地元の野菜や魚を使った郷土料理を若い人に伝え、食文化を継承してもらいたい。</p>

■旧野市町（続き）

70代	男	商店街に駐車場が必要。
70代	男	魅力ある個店の確立。
70代	男	高齢になると、自身ではほとんど買物に出かけない。車を運転できない人も多いので、交通手段を見直してほしい。
70代	女	今までは大型店で買物が多かったが、これからは商店街も気にかけて行ってみようと思っています。
70代	女	徒歩でいけるスーパーマーケットがなく不便である。高齢者にとって買物が困難になってきた。商店街は寂れて魅力がどんどん失われてしまっている。イベントなど努力しているが、その時だけの盛り上がりで終わっているのではないか。
70代	女	バスの便数が少なくタクシー代が高いので困っています。
70代	女	車や自転車を使わない高齢者が徒歩20分以内で行ける距離に、一般食料品、日用雑貨が揃っている店があれば、運動も兼ねて楽しく買物ができ、健康にも良いと思います。
80代以上	男	商工会の体質が問題。思いつきでイベントなどを行っている。
80代以上	女	ヘルパーが月3回ほど買物に行ってくれるので安心である。ヘルパーが助けてくれる便利な社会にしてほしい。

■旧吉川村（7件）

20代	女	旧吉川村は合併前から店がなく不便さを感じていました。自動車の運転免許を取得し不便さはあまり感じなくなりましたが、免許がない方や高齢者にとっては不便だと思います。また合併後、近所に駄菓子屋がなく児童が町外へ出ざるを得ない状況で、大変危険だと思います。
30代	女	インターネットの時代ではあるが、やはり自分の目で確かめ、感じ、商品を購入、食するという意識は大切だと思う。 1つの市に様々なお店が入った“町”のような物があればいいと思う。
40代	女	①活気がありません。個人店主の高齢化ももちろん、商品の品揃えもマンネリ化しています。今必要とされている物の研究も必要です。他県の商店街の見学や交流を通じて学習することも考えるべきだと思います。 ②若い世代や資金のない人でも気軽に店を出せるように空店舗の活用を週単位、月単位で試みてはどうでしょうか。その中でコンセプトを決め運営法を探っていく方法もあるのではないのでしょうか。

■旧吉川村（続き）

50代	男	高知県全体の商業が低迷し、働く場所が不足し、若者を中心に人口が県外へ流出し、人と物が県内に入ってこない状況が続いている。人、物が集まる魅力的な県づくりを望む。
50代	男	はりまや交差点の百貨店跡地がパチンコ店になってしまうのが大変嫌です。私達の年代の者が行って満足できる百貨店は、現在高知県に1つしかない。その百貨店もなくなってしまうという噂が出ていますが、それだけはやめてもらいたいです。帯屋町が以前のような活気にあふれたアーケードになることを願って止みません。
50代	男	車で10～15分で野市や赤岡へ行けるが、急に必要なものがある場合すぐに間に合わせることができない。近くにコンビニがあれば解消できる。
70代	女	現在は車で買物に行っております。車を運転できなくなったらどうしようかと不安です。近くに何か購入できる店がほしいと思います。

【高知中央域の地区別自由意見】

■土佐市（65件）

20代	男	<p>①若者が遊べる場所、集える施設がほしい。</p> <p>②若者が起業できる制度があれば良い。</p>
20代	男	<p>地元商業としては、もっと新しい物を取り入れるべきだと思います。少し前に地元にてできたファーストフード店はすごく良いと思います。土佐市では値段が安く、早くから遅くまでやっているファーストフード店がないので、「食」をとっても土佐市は劣っていると思います。ですから新しいジャンルというのはたくさんあると思います。土佐市はパチンコ店が多すぎるので減らすべきだと思います。それとは別に少ないお金で遊べるゲームセンター（コインゲームやユーフォーキャッチャーなど）があってもいいと思います。パチンコとゲームは違いますが、似た所はあると思うのでいいと思います。</p>
20代	男	<p>①駐車場を整備して客が来やすいようにすればよい。</p> <p>②商品のアピールが足りない。</p>
20代	女	<p>①帯屋町などで、買物時における駐車場の無料化（もしくは安価）をしてほしい。何も買わなかったときに駐車場代がいるというのは非経済的であり、自然と足が向かなくなる。県の中心地が寂れるのは結果的にマイナス要素が大きいのでは。</p> <p>②歩道の整備、確保、管理をしてほしい。車道は必要ないほど至る所で新設されている一方、歩道は全くなかったり、あっても狭かったり、ひどい時には草が伸びて通れなかったりする。少子化対策を考えるなら、子供達が自分たちで通行でき、安心して通ることのできる道を作ることが非常に重要だと思います。また、「環境問題」が取り沙汰されているこの時代、自転車や歩行者が安心して通れる道を作ること自体が、自家用車使用をおさえ、エコに繋がるのでは。どうせお金を使うのならきちんと役立つ使い方をすれば、お金を使わなくても県民生活の経済的苦しさは緩和できるのではないのでしょうか。</p> <p>③道の案内表示をもっと丁寧に、県外の人にも分かりやすくしてほしい。「お遍路さん」の来高は本県にとっても観光客を呼ぶ上で非常に重要な役割を果たしていると思います。お寺からお寺への曲がり角には案内板があるのに、その先で曲がらなくてはいけない所には案内がなく、道で迷っている方をよく見かけます。外に向けてのアピールだけでなく、来てくれた人への心遣いも大切な観光、経済対策ではないのでしょうか。</p>

■ 土佐市（続き）

20代	女	食の安全など、消費者の意識は近年変化していると思う。安ければよいというのではなく、安全性、健康面に重きを置く人も増えていると思う。直販所の利用者は老若男女幅広く、価格や信用性も満足いくもので、そういったスタイルの店はニーズが高いと思う。「地産地消」することで流通コストも削減され、安くいい物を手に入れることができる。地元愛もあるので利用する人も多いと思う。 大型店も便利で良いが、商店街が惣菜や野菜、オーガニックなど、現代風の“昔ながら”を活かした買物エリアになれば是非利用したいと思う。
20代	女	小さい子どもがいるので宅配があれば便利。
20代	女	もっときれいな街造りをしてほしい。公園をもっと小さい子が遊べる環境にしてほしい。
30代	男	商店は夜遅くまで営業してほしい。
30代	男	バイパスができて寂れたので、便利で行きやすい環境を作る。駐車場などを整備して楽に行けるようにした方が良い。
30代	男	大型店を作る必要性があると感じます。
30代	男	子供の目線で考えてほしい。店に入る前に喫煙所があるのはおかしい。もっと喫煙場所を工夫するべきだ。
30代	男	どこに行くにも車が必要なので駐車場は必須。子供がいるので子供用トイレがあるなど、子供用設備が整ったお店が増えれば良いです。土佐市には直売所が数カ所あるが、1つにまとめた方が品ぞろえがよく便利だと思います。
30代	男	男性物の衣料品が少ない。
30代	男	大型店ができれば地元で買物する。
30代	男	地産地消。地元での消費を心がけたい。
30代	男	大型店の多数出現で商店街がシャッター街になるのは寂しいが、仕方ないと思う。競争しても勝ち目が無いのは明白。習い事や趣味の場、パーソナルスペースとしては存在していけるのでは。
30代	女	子供がいるので屋根がある駐車場が欲しい。
30代	女	土佐市にある商店街は行く店が決まっているので、あまり他店に行く機会はない。閉まっている店が多いし、高知に来て5年あまり店を知らない。今はスーパー付近での買物が多いのではないのでしょうか。
30代	女	節約生活に疲れている。色々買物したくても安い店にしか行けない。
30代	女	①近所にもっとドラッグストアを増やしてほしい。 ②営業時間の見直し、商店街も駐車場のスペースの改善。

■土佐市（続き）

30代	女	子どもが小さいとチャイルドシートに乗せるのが大変なため、なるべく買物が1回で済むように、複合店があると便利だと思います。
40代	男	今の土佐市の商店街の状況では大型店に行ってしまうでしょう。
40代	女	商品の品揃えを増やしてほしい。
40代	女	地元の商店街は日曜祭日の定休日が多く、開店が遅く閉店が早い。利用したくても活気がない。買物はスーパーで全部揃う。
40代	女	マーケティングの工夫。2店3店まとまって広告を発行する。商店街が力を合わせれば、大型店に負けないサービスができるはず。頑張ってください。
50代	男	どの地域にも大型ショッピングセンターが進出し、従来からの商店街はシャッターがおりている店舗が多く見られます。大型店と地元商店が共存共栄するには、大型店の近くに商店街の店を移転するしかありません。もちろんこれは県や市の補助なしではできないと思うし、ショッピングモールなどに客足があれば近くの商店にも自然と足が向くようになります。但し魅力的な店にするには努力が必要です。今のままでは確かに地元商店街はなくなります。安さだけでは解消しないと思います。人が多く集まるところに出店するのが一番だと思う。
50代	男	ネットでも商品が買える、インターネットの商店街。
50代	男	日曜市など、イベントをもう少ししてほしい。
50代	男	高知は高齢化が進み、地域の過疎化が進んでいます。高齢者は歩行が困難なので、宅配や移動販売などを取り入れていけばいいのでは。また、24時間営業のコンビニ等もニーズに合っています。九州のように1ヵ所集中の飲食街があったり、アウトレットモールがあったり。新たに施設を作らなければなりません、一考の価値はあると思います。
50代	女	久礼大正市場のような個性的な所があればよい。
50代	女	高知県は農家が潤う政策が必要。地元の産業、第一次産業が発展しないと消費が伸びない。
50代	女	宇佐の商店街が発展していくことが、高齢者の生活のためにも必要なので、若い力を発揮して街の灯りを消さないでもらいたいです。特に高齢者に便利な町であってもらいたいです。
50代	女	私は日々農業で忙しく、買物時間も短いので状況が十分にわかっていますが、大型スーパー等ができて以来、身近な商店街が無くなっているのは残念だと思います。
50代	女	高知市内の駐車場が無料なら人が集まると思う。
50代	女	地産地消の徹底。学校や保育園で土佐市産のものを使えばよい。

■土佐市（続き）

50代	女	商店街の活性化のためには駐車場が必要。
50代	女	土佐市の商店街に元気を取りもどしてほしい。
50代	未回答	商店街の置かれた環境は大変厳しいとは思いますが、今のままでは残念ながら利用されません。消費者との接点を多くし情報発信を積極的に行ってください。人間関係作りに力を入れてください。
60代	男	馬路村の果物やユズ加工食品などが健闘している。見習うべき。
60代	男	駐車場の整備と品揃えの充実。
60代	男	魅力があり、値段も大型店に対抗できる名産品があれば外からも人が来る。仁淀川の堤防を桜並木などにして魅力ある場所に。
60代	男	安心、安全、安価で便利であればおのずと客は集まり、生産者も販売者も消費者も、少しでも幸せな気持ちで暮らせるのではないのでしょうか。
60代	男	郊外にあるショッピングセンターでほとんどの買物が間に合う。駐車場も大きくゆっくり買物ができる。高岡商店街に行くのは銀行や市役所などに用事があるときだけ。町内の方々が買物をする場所という感じがする。無料駐車場、環境整備なども必要。
60代	男	大きな駐車場が必要。
60代	男	人が行きやすいように駐車場が必要。
60代	女	道幅が狭いためか、商店街は活気がなく寂れている。商品も充実させてほしい。
60代	女	直販所を充実させてほしい。
60代	女	商店が寂しい。もっと活気のある商店街にしてもらいたい。
60代	女	他の市町村は産業振興の努力がある。せつかく高速道路の出口があるのだから有効に活用すべきだ。
60代	女	良い品は県外に出てしまう。地元で良いものが売れるようにすべき。
60代	女	夜の8時を過ぎるとネズミもいない商店街を寂しく思います。現在では若者が少ないので、活性化はなかなか難しいでしょう。やはり雇用の拡大が大事。 大きいお腹を抱えた女性の姿も見かけなくなりました。
60代	女	①高齢者関係のサービスを良くしてほしい。 ②子供用品、ベビー用品の店が少ない。
60代	女	駐車場が有料なので、商店街には行かず大型店へ行く。商店街にも無料駐車場を整備すれば良い。
60代	女	高知ブランドの鰹。常に新鮮なものを提供するようにすればよい。
60代	女	高知県産品（文旦等）の販売に力を入れる。

■土佐市（続き）

60代	女	少しでも地元の店を応援しようと思い、なるべく近くのスーパーで買物をしていますが、チラシの広告品もワンパターン、品揃えもいつも同じで工夫がみられません。季節感を出し、新商品にはポップをつけるなどして、売る側のアピールが欲しい。
70代	男	大型店が多くなって商店街の活性化は難しい。商店街の近くに駐車場を設けて買物に行きやすくすればいいのではないかな。
70代	男	外食が多いので、飲食店の充実。
70代	男	食品の製造日や賞味期限を偽装しないでほしい。
70代	女	全国的に活性化の努力が足りない。商工会がもっと動かなければいけない。
70代	女	地産地消を希望します。現在は野菜果物を作っても売ることが大変難しい。 車に乗ることができなくなったときの事を思うと不安です。まず食材の購入に困ります。生協が週1回来ますが、見て買うのとは違うし、2人だと少量で間に合います。 地元の商店街が寂しくなるのは仕方がないと思いますが、スーパーで売ってないものを買うために高知市までは行けません。電気器具、肥料、種などは近くに売っていません。
70代	女	商工会を中心にした旧商店街（土佐市）の充実を望む。例えば事業主たちの合同店の設立。
70代	女	県産物は県内で消費するように努力すべきだ。県民もその意識改革をすべきと思う。
80代以上	男	朝市を開いてほしい。
80代以上	女	街が活気を取り戻せばよいが、後継者がいない。

■旧伊野町（58件）

20代	男	ここ数年、県外からの店舗が多く入ってきており、県内の商業が衰退気味と考えられる。県内の企業と県外の企業が上手くマッチできないものかと思う。
20代	女	キャラクター付きの買物カートを増やして欲しい。
20代	女	ファーストフード店が欲しい。
20代	女	龍馬ブームに乗って、もっと高知が全国に知れ渡るようになってほしいと思う。自然の豊かさ、文旦のおいしさなどをアピールしてほしい。

■旧伊野町（続き）

20代	女	地元には大きな複合店ができたのは便利で嬉しいですが、少し店舗の種類が偏っている気がします。大きな家電店が高知駅周辺まで行かないとならないのが少し不便に感じます。
30代	男	世間では「時給の最低賃金を1,000円に」などと言っているが、そんな事になったらパートやアルバイトの労働時間が削られて消費が更に冷え込む事は日を見るより明らか。時給1,000円で、1日1時間、週2日勤務よりも時給800円で1日8時間週5日勤務の方がよっぽど人間らしい生活が送れるのだという厳然たる事実気付くべき。 商業に関しては坂本龍馬に頼りすぎ。豊かな国造りのために東奔西走した偉人のすねをいつまでもかじり続けるのか。何にでも安易に「龍馬」のブランド名を冠するのもどうかと思う。いっその事、県が税金もしくは使用料を徴収してはどうか。
30代	男	①両親が高知市の直販店や市に出店しており、5～10年ほど前から県内外のお客さんが減ってきていると話している。交通の利便性はよくなったのに人の動きが少なくなっていることは、人との関わり合いがなくなってきたことの現れであり、寂しく思う。 ②3人の子供がいるが、将来県内に働き口がなく県外へ出ていくことを思うと心配。雇用と収入の減少により地産地消と魅力ある高知県産のアピールも必要で、高知県でも様々な取組をしているが、それだけでは人口の流失を止めることはできないと思う。
30代	男	人口の多い場所にはスーパー、コンビニなど何店もあるが、田舎には1店もない。あるとしても品揃えの少ない店しかない。人口の少ない所には店をかまえても採算が合わないからだろうが、コンビニ、スーパーが普通にあればかなり生活しやすいと思う。どの場所で生活しても同じようにサービスが受けられるのが本物のサービスだと思う。コンビニは田舎にこそもっと建てて、サービスをしなければいけない。24時間営業しなくていい、せめて夜9時ごろまで営業してくれる店が欲しい。それと、いの町に弁当を販売するコンビニがほしい。
30代	女	①いの商工会は頑張っていると思います。私もできるだけ地元で買物ができるようにしたいと思います。 ②スーパーの中に産直の売り場やまちかど市場があるのはとても便利です。
40代	男	努力している店は流行っている。
40代	男	商店を営まれる人も高齢化が進み、気力や体力も減退しています。若い人が商売できる仕組みを作っていないと、商店街の活性化につながらないと思います。

■旧伊野町（続き）

40代	男	大型ショッピングセンターがあればいい。
40代	女	旧吾北村は人口減少や経営者の高齢化により閉店した店が多く不便。また銀行もキャッシュコーナーしかなく寂れている。自分が高齢者になった場合ここに住んでいられるか不安。
40代	女	高知にしかない物や地域にしかない物をPRすべき。
40代	女	車を持っていない人のためにバス送迎が必要。
40代	女	いの町特産の紙製品に関して、消耗品からインテリアまでいろいろな種類をそろえた、入りやすくゆっくりできる雰囲気のお店があればいいと思います。
40代	女	商店街をもっとカラフルにして活気づけてほしい。
40代	女	インターネットショッピングではできないサービスがポイント。
50代	男	いの町の商店街は地理的にあまり期待できないが、スーパー周辺に人が集まるような商店を増やすといいと思う。 県全体としては、帯屋町アーケードが郊外大型ショッピングモールと電車でリンクされるのを期待していたが、その計画がなくなったので残念。追手前小学校の跡地に駐車場、映画館を含めた複合施設を建設し、人を収容できる場所にしたらいいと思う。 鳥取県の水木しげるロードや、各県のB1グランプリなど、成功した地域に見学に行くことも重要と思う。
50代	男	宣伝が下手なのでもっと上手にしてほしい。
50代	男	もっと安くて良いものを、エコも大切。
50代	男	地産地消をもっと前面に打ち出してほしい。
50代	男	①高知県は人材のヘッドハンティングを。 ②海外に目をむける。（外需） ③所得の向上、人口増加がすべてを解決する。
50代	男	大型店は地元の商品を売ってほしい。
50代	女	商業を活性化して、雇用も増やしてほしい。
50代	女	高齢になると宅配が必要になる。
50代	女	大型スーパーができてから、周辺道路が今迄以上に混雑するようになったので、急病人搬送のさまたげになっている。元はと言えば、いの町議が反対したため、西バイパスの開通が大幅に遅れたためである。地元の大型スーパーは値段が高いので他へ行っている。
50代	女	地産地消の商品にも最近農薬を使っているのでもっと安全性をしっかりと確保してほしい。
50代	女	高齢者にとって買物しにくい状況なので何とかしてほしい。

■旧伊野町（続き）

50代	女	地元商店街は店主が高齢化し、ほとんどシャッター街になりつつある。商工会もあまり意味をなしていないし、再生は無理だと思う。
50代	女	あまり考えたことはありませんが、現在家の周辺で利用しているのは、駅の近くのコンビニとスーパーくらいです。ガソリンは駅の周辺では購入しません。地元の大型スーパーは色々な店舗があり便利ですが、自転車や徒歩の人にとっては道が危険です。子供にも行かせたくないです。
60代	男	町内の商店街は自宅から離れた所にあるため利用していません。
60代	男	いいものは色々あるが、売り込みが下手。
60代	男	個店の努力、駐車場の整備、品揃えの充実が必要。高知県産の品物が少ないので地産地消を徹底してほしい。 農産品のコストを安くしてほしい。
60代	男	公共の駐車場、ぐるりんバスを改善した方がいい。
60代	男	野菜は無農薬や有機栽培が安心できる。外国産より国産がよい。
60代	男	マイクロバスでの送迎や移動販売があれば高齢者に便利。
60代	男	商店街が昔から変わっていない。生活パターンが変わって買物は大型店を利用するようになった。昭和初期の意識のまま客を待っていても来ない。意識を変えなければいけない。外に向かって働きかけが必要。少子化対策も大事。
60代	男	新鮮な物を安く提供して欲しい。
60代	女	少々高くても地元産品を買いたいです。農家の方々頑張って下さい。
60代	女	競争力を高めて、高知県産品を多くしてほしい。
60代	女	地元の安全な食材を提供して欲しい。地元の魚などが県外に流れているような気がする。
60代	女	女性にとって買物は見て選ぶ楽しみが大きいと思います。独居高齢者の方たちを送迎してくれるスーパー、大型ショッピングセンター等が増えたらいいと思います。
60代	女	一番関心があるのは、食の場合は無農薬有機栽培のもので、無添加のもの、つまり安全性の高いものです。しかも地産地消であればより良いと思います。その他の物も、エコロジカルな物、省エネルギーな物を購入したいと思います。ですから地元の商店街でそれらのものが買えれば一番良いと思っていますが、なかなか難しいでしょう。 直販所でももっと安全基準を明確にいただき、無農薬、無添加を徹底していただきたいと思っています。
60代	女	青果には極力農薬などを使用してほしい。
60代	女	スーパーが近くにあるので、特に地元の商店を必要としない。

■旧伊野町（続き）

60代	女	できれば地元の商店を利用したいが品揃えが不足している。客が少ないからだと思う。車で国道を通るので大型店に行くことが多い。
60代	女	高齢になり車に乗れなくなったとき、移動販売車が週2日程度でも来てくれれば助かります。
70代	男	周辺に大型店ばかりあるので、ちょっとした買物ができる小さな店がほしい。
70代	男	物産店（直売所）があれば利用する。安いし新鮮。
70代	男	日曜日に店が休みだと、地元の人が買物できない。
70代	男	量販店の競争による品質、価格、接客の向上を望みたい。個人商店ももっと個性を持ち、住民の必要性に応えるような接客態度を示してもらいたい。
70代	男	全国的に地域の活性化に向けて努力はしているだろうが、効果がすぐには出ないし長続きしない。地域の人にも熱心さがないと難しい。
70代	女	店主が高齢化のため活性化できない店もある。
70代	女	いの町に住んで35年、商店街に魅力を感じたことは一度もありません。もう少し活気のある街にならないかいつも思っています。
70代	女	経営者が高齢化しているので、後継者を育てなければいけない。
80代	女	ここにしかないというものを考えて欲しい。
80代	女	高知県の人には熱心さが足りない。売れる物を作らなければいけない。

■旧吾北村（3件）

50代	男	地元の人たちが元気にあふれ、明るく笑顔のある商店街作り。皆がアイデアを出しあって、楽しく生活できる街並み作りが必要。その地域に記憶に残るような個性のある人達がいればよいと思う。また、来てくれた人に絵や文字などを残してもらい、思い出の残る町にしていけばリピーターも増えると思う。
70代	男	地元の店舗が減ったため、酒やタバコ等はバスで隣の町まで買いに行っているが、バスの便が朝と夕方に1便ずつしかなく、行きはバス、帰りはタクシーを利用することが多い。せめてバスが昼間にもう1本あれば便利になると思う。
70代	女	これから先は独りになると思います。現在近くにお店が3軒あり、毎週1回か2回行っていますが、今後は移動販売に頼ることになると思います。夫はよく移動販売を利用しています。家の前を通りますので、手をあげたら停まってくれます。

■旧本川村（4件）

30代	男	数年前より始まったデマンド運行のバスは、買物はもちろん通院にも全く使えません。長沢と高知市内を往復する県北部交通バスの便に接続する運行でないと全く意味がないと思います。30分で行ける愛媛県西条市へのアクセスを、県として愛媛県と協力する考えはないのでしょうか。西条市に接続するバス等、何らかの交通手段が必要と思います。予約制のデマンド運行で充分なのですが、住民の要望を聞き、ルート、時間を大きく見直さないと住民の足として活用されなくなり、廃止にもつながりかねないと危機感を抱いています。
60代	男	今は車に乗れるが今後は分からない。高知市内まで2時間近くかかるが、西条まで30分。近くの店に必要なものが置いていないので仕方なく西条に行っている。
60代	男	少子高齢化進行中。10数年前までは数店舗あった商店もJA1店のみになった。 旧伊野町に行っても、旧道沿いの昔ながら商店は閉店し、シャッター通が多くなっている。大型商店はあるが、昔のような人と人のつながりは段々と失われていると思う。
80代以上	女	車もなく歩くのが精いっぱいなので宅配サービスが必要です。山を降りて店まで行くのに1時間半以上かかり、帰りはリュックを背負い2時間かかります。1週間に1回でも配達してもらえれば助かります。

【仁淀川流域の地区別自由意見】

■日高村（12件）

30代	女	日高村にはスーパーが1店舗しかない。できれば地元で買物をしたいと思うが、品揃えの豊富な佐川町で買物をする。日高にもう1店舗スーパーがあればありがたい。
40代	女	交通量を減らすためにも、高齢者世帯にとっても、JRの駅やバス停周辺に充実した商業施設が必要だと思う。
40代	女	地元商店街には子供や若者が利用できるような店が無いです。そのため、学校が休みの日などは子供達だけで遠出したり、親に連れて行ってもらったりしています。子供の集まる商店街には大人も集まるようになり、活気あるものになると思います。
50代	男	今は車で買物に行けるが、年をとると不便になると思う。近くの個人商店が閉店したこともあり、歩いて行ける距離に店がない。
50代	女	村全体が一丸となって地産地消を実践していくべきだと思う。それぞれの村や町で地産地消を実践すると全体が潤ってくると思う。安くて安心できる商品を消費者に提供できるようにすればいいと思う。
60代	男	小売店はスーパーなどにおかれて、どうしてもお客さんが減少するので大変だと思う。努力してほしい。
60代	女	商店は数店あるが、商店街というほどの数ではない。病院に関しては眼科もなければ耳鼻科も無い。若い時はいいが高齢になると生活しづらいと思う。
60代	女	大型店ができれば便利になる。
60代	女	日高村のはずれに生活しているので買物に不便。今は車に乗って村の中心部、佐川町やいの町へ買物に出かけているが、年をとって自分も主人も車に乗れなくなったらこの地で生活できるだろうかと不安になるときがある。生協や通販も利用しているが、もっと近くにスーパーなど便利な買物場所があればいいのにとつくづく感じる。
60代	女	現在は自家用車で移動できるのでいいが、高齢になって車を運転できなくなった時には、日高村内でもスーパーは遠いので、食料品等の買物は不便になると思う。
80代以上	男	月に2~3回移動販売に来てもらいたい。
80代以上	女	駐車、駐輪場があるのが第一条件。 田舎の商店では、店内に客がいるのに店員や店主が見える場所にいない。声をかけてから顔を出すようでは買う気持ちが損なわれる。

■越知町（17件）

20代	男	田舎は田舎の良さを活かせば良いと思う。
40代	男	少子化問題、企業誘致、若者の娯楽場所をつくる等、人を増やす工夫が必要。また特産品の開発などを農協に期待する。人の往来のある街づくりが必要。
40代	女	越知町には買物ができるスーパーが1軒しかないので、同業者との競争がなく価格が下がらない。ライバル店があればいいと思う。
40代	女	高齢者も若者も安全で楽しく買物ができる商店が増えれば遠くまで買物に行かなくてもすむと思う。
40代	女	消費をするにあたって収入がないというのが問題です。どうか雇用先を増やして下さい。
40代	女	私の住む地域では商店街といえる街はありませんが、他の町村では色々な取組で頑張っているようです。そこに行くと買物する楽しさがあり、活性化は必要なことだと感じます。今は時間や効率にとらわれがちですが、利便性だけでなくお買物する楽しさがあれば経済効果にもつながるのではないのでしょうか。
50代	男	地元よりも他の町のほうが大きければ、店舗数や品揃えに差があるので、他の町の店を利用してしまおう。
50代	男	全国に流通しているような商品が地産でき、全国並みの価格で地消できればいいと思う。
50代	女	地元の商店で買物をするべきだとは思いますが、職場が町外にあるため他所や生協等で買物をする人が多い。商店は夕方早く閉まり、土日は休みであることが多く利用できる機会がない。もう少し地元の商店街に活気が出てくることを望む。
50代	女	人口減少の街では商店を営んでいる方々も多大な苦勞をしているだろうと想像する毎日である。 ①高齢化のすすむ町なので、食料品は必要不可欠。また、町で生活したいと望んでいる若者もいるが、採算を考えれば厳しいだろう。若者も利用できるような店が日高村、佐川町、越知町の範囲にあればいいと思う。 ②生き残りをかけて小さな商店の方々も頑張っているが、この時世1円でも安く、新鮮で品揃えのある店のほうがいいと誰もが思う。 個人商店の方々は、“5円高くても品揃えが豊富”とか“どこよりも新鮮”といった工夫や商品の開発などを今後の課題に、活性化に向けて努力してほしい。そうすれば買物が町内だけですむようになり、昔のように活気のある商店街を蘇らせることもできると思う。

■越知町（続き）

50代	女	魅力ある外食施設ができればいいと思う。地産地消で入りやすい雰囲気、ひとりでも気楽に行けて食事がたのしめる環境など。
50代	女	たいていの人が車で便利な隣町に買物に行くため、町の商店街が寂れてしまい残念に思います。 とにかく地元に行きたい店が少ない事が問題だと思います。価格が高く、喫茶店が少なく、品揃えの少ない商店よりも、価格が安く品揃えの多い大型スーパーがたくさんある隣の町に魅力を感じるのには仕方がないと思います。もっと商店街の改革に力を入れて活気を取りもどしてほしいです。
60代	男	買物を楽しめる雰囲気が必要。
60代	男	食料品にしても衣料品にしても物価が高い。衣食雑貨等のショッピングセンターができればいいと思う。楽しめる店がない。
60代	男	身体が不自由な人にとって、国道、陸橋などを渡ってのショッピングは不安を感じ、足が向かない。都会でも買物に不自由さを感じる人が多くいる。
60代	女	商店街活性化のためには、行政がもう少し力を入れる必要がある。
70代	女	地元商店街が寂れていくのは残念です。何とか個人商店の方達が生き残るためにも、大型スーパーはこれ以上必要ない。

■佐川町（30件）

20代	女	高知市内に行かないと手に入らないものがあるので、品揃えを増やしてほしい。
30代	男	便利というよりは、地元での買物は一種のコミュニケーションの場所であると思います。買物に行くことで近所の方と会い、店の人を交えてコミュニケーションが取れる。そんな中で地域交流やご近所さんとの交流ができるのでは。そういう地元での買物が日々の買物だと思います。新しい設備投資や大規模な開発をしなくても、今あるもので何とかなると思います。 行政や国に頼るのではなく、まずは地元の人が自分の村や町のことを考え行動するべきではないでしょうか。 150年前の龍馬に頼るのも、もう卒業するべきだと思います。
30代	男	金融機関が広範囲に展開して、ATMを増やしてほしい。 広い駐車場も必要。

■佐川町（続き）

30代	女	どこの市町村でも空店舗の増加や若者の減少など、様々な問題があると思います。地元の商店街の活気がなくなるのは寂しい気がします。高知市で勤務している人は、仕事帰りにスーパーに寄るくらいで商店街を利用する機会がほとんどないのではないかと思います。しかし年配の方にとって、商店街は日常の買物をするのになくてはならないものだと思います。20～30代が便利と思うものと60代以上が便利と思うものは違うと思います。
30代	女	あるスーパーでは荷物を積極的に運んでくれ、消費者の立場になって対応してくれているので、いいことだと思います。
40代	男	旧伊野町の大型スーパーのように、買物用送迎バスがあればいいと思います。佐川町やその周辺の町村でも同システムがあれば、足の不自由な方や高齢者に喜ばれ、コミュニケーションも拡がり、いいと思います。特に街の中心部から離れた所に住んでいる方に便利だと思います。コストも大変だと思いますが、少額なら利用者も出すでしょう。
40代	男	魅力ある個店があれば、遠くでもお客さんは来てくれると思います。特に国道33号線を利用すれば、松山から2時間くらいで来ることができます。ドライブにはちょうど距離だと思います。街全体で特色ある環境を作れば良いのではないのでしょうか。 土、日曜日休みの店が多く、このままでは地元は大型店に飲み込まれます。他県と生活レベルが違いすぎます。若者が地元に残りたいと思うような県にしないと、何年か先には大変なことになると思います。
40代	男	みんなで金をつかって、金の回りを良くすれば景気も良くなる。マスコミが景気不安をあおっている。
40代	女	地元の商品は安心して買うことができます。体に良い安心して食べることのできる野菜などが増えることを希望します。洋服の品揃えは県外の方が充実しています。
50代	男	靴、かばん、家具、衣料品等の店はあっても品揃えが少ない店ばかりなので、もう少し品数を増やしてほしいと思います。
50代	男	駐車場が広く、客とのコミュニケーションが取れる店が必要。
50代	女	商品の安さ、品揃えの充実、サービスが重要。特に夜間の割引を多くする。
50代	女	家族でくつろいでランチができる美味しい店、商店街に清潔で明るい雰囲気のカラオケ店などができたら嬉しいです。
50代	女	地元商店街に活気がありません。他の町村の様に話題になる店や、「安い」「おいしい」等で有名になる店ができればいいと思います。

■佐川町（続き）

50代	女	①自分自身がスーパーに勤めているので、毎日、たくさんの商品を目にします。いかに良い品を安く売るか、飽きがこず、ほしいと思う商品を揃えていけるかが大事。安心、安全な商品を揃えることも大事。 ②季節の野菜がいち早く出まわり、めずらしい野菜、果実、アイデア商品が揃う直販所は、これからもずっと増えつづけると思います。
60代	男	年々人口が少なくなっているのに、何かするにしても、難しいのではないのでしょうか。色々便利にしてもらえればありがたいですが。
60代	女	近くにスーパーが多くあるので、この店は何が新しく、この店は何が安いのか、など見定めて買物ができ便利です。
60代	女	佐川町だけでも大型店が8店舗もあります。そのうえ車を運転する人は市内へ行きますので、個人店は営業しにくくなっています。この不景気で大変だと思います。
60代	女	安全な商品が販売されるように願う。
60代	女	過疎が進んで私たちの地域も高齢者ばかりです。今は車で20～30分かけて買物に行っていますが、より高齢になると移動販売を利用することになるでしょう。お店の方が注文を取って配達するなどのサービスがあれば助かると思います。
60代	女	①できるだけ無農薬の商品を扱ってほしい。 ②佐川町には、クツ屋、本屋、バック、衣料品、作業着等の店が少ないため、町内に大型店を作ってほしい。 ③できるだけ町内の店を利用したい。
60代	女	地産地消で安全な作物の提供を充実させて欲しい。
60代	女	主人が病気のため私一人で買物をしています。自転車で買物に行くので雨の日などは大変です。店は家から一番近い店を利用しています。
70代	女	比較的便利な地域に居住しており、身体も元気なので日常生活の買物には不自由を感じない。特に食生活では地産地消に気をつけて安心安全を心がけている。日常的には生協の利用が中心になっている。
70代	女	車を利用せずに買物できればうれしい。
70代	女	町内の商店は日曜ともなればほとんどシャッターが下り、寂しい感じがします。結局はスーパーへ行ったり町外へ出るようになります。商店同士の話し合いで、せめて半数ぐらいでも開店できれば消費者にとっては有難いです。
80代以上	男	高齢者のための、調理不要な一人用食品(少量で種類が多い)があればいいと思う。安全にも繋がる。 県内の良い商品を県外メーカーに紹介する。昔高知の民芸品が東京や大阪の百貨店に紹介され発展した前例がある。

■佐川町（続き）

80代以上	男	町内には大型スーパー、ホームセンター等、大型店舗が多数あり、買物に困ることはない。個人が商売を始める余地など全くない。昔からの商店は店じまいするばかりの状況で、新たな商店の誘致、活性化等に投資するのは考えものと思われる。
80代以上	男	今のような“物”中心の生活ではなかった30年程前、私は佐川町民になりました。人と人との触れ合いの中から“商い”が成り立ち、親しみのある商店が軒を連ねていました。時代の変化につれ、大型店が家の近くに次々と進出してきてとても便利になりました。でもそれ故に商店街には足を運ばなくなり、久々に通るとあの店もこの店もシャッターを下ろしてしまい、何とも寂しい限りです。魅力ある店づくりは個店の努力そのものだと思います。
80代以上	女	斗賀野の下美岐の方面の人々は移動販売を必要としている。自分で買いに行くことができれば自分が欲しい物が買えるので、公民館まで販売に来てほしい。 佐川町は生姜の産地であり酒どころでもある。甘酒生姜は体を温め健康にもいいので、もっと大勢の人に飲んでもらいたい。自家製の味噌やコショウ餅など色々あるので、地産地消の一環として販売できる場所を設置したらいいと思う。

■旧吾川村（6件）

40代	女	地元の商店を若い人達に利用してもらいたい。特に役場の人たち。
40代	女	高齢化が進み、自家用車があっても乗れず、足も悪く行動範囲が制限されていく自分を想像するのが恐ろしい。しかし山間部では、このような人ばかりである。
60代	男	商店街のやる気が失われている。個店や商店街がもっと努力をして、消費者を町内に繋ぎ止めることが必要である。
60代	女	地元には衣類を扱う商店が無いため、町外に行くしかない。季節の変わり目には実家の母を連れて車で佐川町へ行くことが多い。普段着、下着類などの場合は車ですぐに行けるが、スーツやブレザー類は高知市や松山市まで出掛けざるを得ない。食料品はできる限り地元で、その他は佐川町で、こだわりのある品は高知市へ買いに行くという生活をしているので、車に乗ることができなくなると大変不便。 商店だけでなく、近所の家が空き家になっていくのを見るのは辛い。

■旧吾川村（続き）

60代	女	利用しやすい駐車場を備え品揃えの充実した、ゆっくり商品を選べる小売店が必要。
80代以上	男	高齢化に伴う購買力の低下、人口減、さらに大型店に集客され、田舎の個人経営者は軒並み閉店している。

■旧池川町（2件）

60代	女	人口の減少を考えると、商店に何かを望んでも無理だと思う。高齢社会に歯止めがきかず、若者に仕事もない現状を、受け入れるより他はないと思っています。
70代	女	買物は月3～4回、土佐市に住んでいる娘に越知や佐川のスーパーへ車で連れて行ってもらう。季節野菜は自家生産している。

■旧仁淀村（1件）

60代	男	一日でも早くインターネット（光ネット、ぴから等）の整備をしてもらいたい。過疎、高齢化が進み、地元の商店街の活性化も非常に難しい。今当地域で一番必要なのはインターネットの整備だと思う。
-----	---	---

【高岡地域の地区別自由意見】

■須崎市（70件）

20代	男	高知市内の方に買物に行っても有料駐車場ばかりなので、長時間の買物をしたい時などは駐車料金を気にしてしまい、ゆっくり買物ができない。無料駐車場を作ったらもっと買物がしやすいと思います。高知市内には無料駐車場が少ないと感じます。
20代	男	時代の流れなどもあり、「商店街」そのものが必要ない。商店街の土地を他の事に活用してほしい。
20代	女	①商店街はとにかく寂れて魅力がない。 ②売ってあげていますという意識の改善。店の人の態度が偉そう。 ③サービス精神が少ない。
20代	女	アレルギーを持っている人のための商品を取扱っているお店が須崎市には少ない。高知市まで行くかインターネットで購入するしかないなので、もっと身近で取扱ってほしいです。
30代	男	品揃えが悪く、欲しい商品がすぐに手に入らないことが多いため、一度で何でも揃う大型店や専門店があれば便利だと思う。インターネットを多く利用するため、個人商店の詳しいHPやネットチラシ、商品のPRなどがあれば嬉しい。 イベントを増やし、イベントを事前に知ることができれば買物の意識も強まると思う。（地元のイベントでも後日に知ることが多い）
30代	男	①若年層が集まる場所を作って活気作りを。 ②ブランド、メーカー等の専門店もあればいい。 ③社会全体の景気が回復すれば、街にも影響してくると思う。
30代	女	帯屋町でゆっくり買物をしたいが、駐車場代が気になる。美味しいお店も沢山あるのに残念。駐車場代が無料なら一日中いられる。
30代	女	近くて安くて店舗数の多い場所が行きやすい。
30代	女	交通の便の改善をしたほうがいい。浦ノ内、須ノ浦付近はバス等の交通が全くない。自分は自家用車で買物に行けるが、車を持ってない人、高齢で運転できない人は困っているので、時々自分の車に乗せてあげている。改善して欲しい。
40代	男	食、服、靴、アクセサリ、家電、医薬、化粧、日用雑貨など、買物が1つの場所で済む大型店があれば便利だと思います。小さな子供がいるので県外的大型店みたいに子供を安心して預けられる所もあればいいと思います。 地元の物をより多く、より安く取り入れてくれたら、地元での買物も増えると思います。

■須崎市（続き）

40代	男	好きな店員さんがいれば小さな商店でもよく通います。大型店は確かに魅力的でよく利用しますが、実家が商売をしているので小さい店舗にも頑張ってもらいたいです。創意工夫して大型店に負けないように頑張って！田舎のお店の雰囲気大好きです。大型店には無いようなサービスを期待しています。
40代	男	街全体が大型複合店のようになり、店舗が充実すれば楽しいと思う。駐車場などが少ないので、利便性をよくしてほしい。
40代	女	スーパーに出店してもらいたい。他の地域に比べて須崎市にはスーパーが少ないように思う。
40代	女	地元で何かをしたいと思っていても、どこに提案すればいいのか。窓口を広げ、情報を仕入れ援助することはできているのでしょうか。自分の足で、耳で、もっと沢山の仕事をして下さい。
40代	女	夜9時まで残業し、その後店が閉まっていて買物できないことが不便。
40代	女	高知市の商店街は駐車場代がかかるので、駐車場代のいらぬ大型店に行くことが多いです。駐車場の無料化が必要だと思います。
40代	女	個人商店での買物が好きです。品揃えは良くないですが、値段が高くてセンスの良いものがあればそちらで買いたいと思っています。
40代	女	車がないと不便。主な買物は10分ほどかけて土佐市へ行き、足りないものを保育園の迎えの時に近くの店で買うくらいです。 車で5分ほど離れた場所にある実家の高齢者は移動スーパーをよく利用しています。私達は車に乗れるのでいいけど、車に乗れない人や高齢の方は、買物に非常に不便だと思います。
40代	女	①現在は田舎暮らしをしています。車を利用するので大概の買物は不便なくできています。しかし将来は再び高知の市街地で暮らす予定であり、年をとってからの買物や生活には不安も感じます。 ②公共交通機関が無くタクシーも高い。自家用車が使えなくなると、高知県での暮らしは成り立ちません。無料駐車場が増えると、高知市も須崎市も商店街に客が増えると思います。大型店に人が集まるのは、駐車時間にストレスを感じる必要がないのが大きいと思います。
40代	女	須崎市内から高知市内へ仕事で通勤しているが、仕事帰りに須崎市内のスーパーに寄っても品揃えが少なくなっており、あまり利用しない。ライバル業者がないせいか、鮮度や品揃え、接客態度が悪いように感じる。市内の大型スーパーへ行くのにも、高速道路が無料化になり便利になったが、反面地元が寂しくなっているように感じる。不景気の要因も強いが、県全体で地元を大切に、楽しく買物できる町になるよう期待している。

■ 須崎市（続き）

50代	男	レジャー施設など、子供たちが高知市内まで出ていなくても地元で休日をごさる場所を須崎にも作ってほしい。
50代	男	①大通り（須崎地区）に商店を増やしてほしい。 ②汽車の本数を増やしてほしい。そうすれば高知市内に行きやすいし地元にも人が来やすい。
50代	男	自分は米屋だが、ショッピングセンターや大型店のように大量仕入れをしていない。そうすると、県米とショッピングセンターの売価がかなり違ってくる。大型店の売価がほぼ個人商店の原価だ。しかし利益率は下げられない。下げれば生活ができない。薄利多売は個人商店では難しい。小売が自由化してしまったから個人商店も少なくなった。デジタル化でカメラ屋もなくなっていった。商店街が必然的に寂れていくのは、色々な事柄が重なった結果だろうと思う。しかしながら、自分も同じだが商店に望むものは個店の努力だろうと思う。
50代	男	1カ所で買物を済ますことができる大型ショッピングセンターの進出を望んでいる。当市はそれが無い。店舗はバラバラである。交通が便利になった事もあり、他の市に買物に行く機会が多くなる。
50代	男	①消費税を上げてほしくない。（コストが上がっていくから） ②高速道路もできたが、特に買物先は変わらない。
50代	男	色々な専門店があればいいと思います。
50代	女	現在はスーパーやショッピングセンターなどでほとんどのお買物が済んでいますが、昔商店街の近くに住んでいた頃は商店街で買物するのが大好きでした。徒歩や自転車で行けて、商店街の色々なお店を見ながらお買物を楽しんでいたことを思い出します。魚屋さん、果物屋さん、八百屋さん、電器屋さん、個店が揃っていて考えただけでも嬉しいです。今でも自宅の近くにあれば利用したいのです。
50代	女	大型店舗での買物が多い。今度新たにスーパーもできる。商店街にはここ数年全く行ってない。
50代	女	①商工業者の一人としては補助の使い勝手が良くない。国に対して新たな補助を求む。 ②地元を活性化しても、商店は取り残されている。 ③町おこしの寄付をつのれば集まるが、加盟店が減ってきている。
50代	女	今は車に乗れるので15分ほどで買物に行けるけど、高齢になったときが心配。身近に公共の移動手段がないので、移動販売や乗り合いタクシーを利用しての買物など、将来利用したいと思う。 高齢者も買物に行けるようになれば、家に引きこもらず社会との接点を持てるのではないかと思います。

■須崎市（続き）

50代	女	<p>①須崎市は小さいながらも、昔は活気があったように思います。昔のように生き生きとした街づくりを市民でやって行かないといけないと思います。多額の予算が必要になるとと思いますが、須崎市を元気な街にするには是非予算を組んで頂きたいです。一部の者にしか利益が出ないような予算の編成はやめてほしいです。</p> <p>②高知県全体がそうですが、須崎市には若者が働けるところがありません。高知に帰ってきたくても仕事が無いので県外の企業で勤めています。若者は一度都会に出てみたいものですが、「やっぱり高知がえい。」という言葉聞きます。力をもった若者が県外に取られっぱなしです。もう少し働ける場所ができるよう考えて欲しいです。</p> <p>③須崎市の原町、新町などに全く活気がありません。多ノ郷にはパチンコ店ばかり立ち並んでいます。市民が利用できるものができれば、窪川方面、梶原、津野町の方も須崎市で買物してくれるのではないのでしょうか。現在新たにスーパーができるという計画がありますので楽しみにしています。</p> <p>④須崎市内のスーパーで青果類が腐っているときがある。品質管理を徹底してほしいです。買い手は購入するまで中身を確認できません。土佐市のスーパーに入ると、まず清潔感を感じ、「見てみたい」と思います。商品一つひとつが大切にされて並べられています。須崎市はその心遣いに欠けています。あるスーパーの店員さんはきちんと指導されていますが、他の店はもう少しお客さんに対する対応を考えてほしいです。アルバイトもきちんと指導してあげてください。</p> <p>⑤娯楽の場所づくりも大事かと思います。</p>
50代	女	<p>物価が上がると町が寂れてくる。 なるべく自給自足の生活をするようにしている。</p>
50代	女	<p>地元商店街の必要性は感じない。須崎市内に大型店舗があれば良い。須崎地域に、一度で買物が済むような大型ショッピングモールがあれば、近隣の市町村で不便を感じている方も便利になるのではないかと。</p>
50代	女	<p>地産地消の促進。地元の物を利用した商品、アイデアを出し活性化を。</p>
50代	女	<p>地産地消は良いことなので、スーパー等で買えることを望んでいる。</p>
50代	女	<p>個々の努力、市町村の努力で活性化を。須崎全体で努力を。</p>
50代	女	<p>私の住んでいる地区は、鮮魚店とコンビニと直販所がありますが、高齢者が多い地域なので、車やバイクに乗れなくなった方は買物に不便を感じています。移動販売等が来てくれるようになれば便利になると思います。</p>
50代	女	<p>須崎の商店街は衰退していくばかり。なんとか街ぐるみの活性化を。</p>

■ 須崎市（続き）

50代	女	高速道路で須崎市外へ短時間で行けるので、買物が便利になった。
60代	男	地元商店活性化という言葉をよく聞くが、具体的な策を聞いたことがない。
60代	男	子供を産み育てやすい環境づくりを。
60代	男	地元の特産品の品揃え充実。地元の商店で実行して欲しい。
60代	男	商店街は店も少なくなり行かなくなったが、やはり無ければ寂しい。買物についてもスーパーがほとんどだが、商店街が完全に無くなれば後々自分も困ることがあるかもしれない。
60代	男	森林整備をしていけば良い。商業以外の間接的な面からの改善を求む。
60代	男	①若者向けの店をもっと増やしたら良いと思う。 ②いいものは高知市内に流通するので、須崎ではあまり買わない。 ③もっと家庭的で安い店が欲しい。
60代	女	専門店（スポーツ、衣料、おもちゃ等）が無くなったので不便さを感じる。昔は地元複合店の店内にあったが今はない。復活して欲しい。
60代	女	高齢になると将来買物が不安になります。店が益々無くなるので困ります。
60代	女	商工会議所などもっと活発に街づくりをして欲しい。店が増えれば商店街にも行くと思う。
60代	女	商店街の店舗はもうちょっと良さをアピールして、店一軒一軒が前に出て、スーパーに負けない商店街作りをしてほしい。
60代	女	子供、大人用の衣料品店ができてほしい。
60代	女	①須崎の商店街が発展することは無いと思う。大型店や中型店は特徴を出して宣伝しているが、小売店や個人店はやはり厳しいと思う。 ②接客が良く、親しみのもてる店員がいれば良い。 ③須崎全体でも特徴のある、地元で根ざした活性化を望む。
60代	女	須崎の町、商店街を、もっと若者が来やすいようにすればいい。
60代	女	須崎に新たにスーパーが来るのはいい事だと思う。
60代	女	須崎市には海の物、山の物、沢山あります。大変だと思いますが、1ヶ月に一度これらの物産を紹介するイベントを開催し、市外から須崎市に人が集まってくるようにしてもらいたい。
60代	女	①接客態度、品質、鮮度を良くしてほしい。 ②商店街の売上がるよう、長続きする活性化案を出してほしい。
70代	男	大型店へ客足が流れている。個人商店は店を閉め、高齢者の生活に支障をきたしているので改善できれば良いと思う。

■ 須崎市（続き）

70代	男	商店街は基本的には必要。町でゆっくりお店を回って買物をしたいし、町が活気ある雰囲気だと心も安らぐと思う。大型店が何年も前から力をつけてきたので、商店街がなくなっていったのは仕方ないことだと思う。しかし久礼の大正市場など良い例もあるので、参考にして頑張ってもらいたいと思う。
70代	男	商品を良心的に取扱って欲しい。地域に適応した、順応した品揃えを。
70代	男	地元を大切にするという意味でも、地元で買物をするべきということは重々承知しています。しかし営業時間が短いことや駐車場の不便さ、道幅の狭さなどが問題です。 現在は自家用車で移動しているため、所用で高知市へ出た時にデパートなどで買物をするのが多く、地元へ貢献できず申し訳なく思っています。
70代	女	交通が不便なため買物が不便。価格が高いのもどうにかしてほしい。
70代	女	町中に住んでいるが、高齢になったので移動販売があればありがたい。
70代	女	直販所はほぼ毎日行って野菜、園芸用品などを買ったり売ったりしている。 魚に関しては地元の鮮魚店が宅配サービスをしている。 地元商店街はイベントや祭りなどで年数回行くだけ。
70代	女	公共交通がなく不便。以前運行していたバスもなくなった。高齢者がタクシーを使ってスーパーへ買物に行くのを度々見かける。私は自転車に乗りますが、風や雨の日、真夏、真冬など乗る事ができません。今は車で買物に行けますが、自由に店内を見回るといことはなかなかできません。 先日、歩数計と時計で計りながらドラッグストアへ徒歩で出掛けました。途中店に着くまでに腰が痛くなり大変でした。やっと着いたら35分かかっていました。座るところも無く、カートを手助けに店内を回りましたが通路に品物を並べ、段ボール箱を積み上げていて、欲しい品物の棚へはカートで行けません。重い品物を買ってもそれを持って帰ることができないので、買物を減らすことになってしまいます。帰途は荷物を持ち替えながら45分かかりました。徒歩での買物は度々行けないなと思いました。
70代	女	①商店街に日用品を扱う店があれば良い。 ②交通手段がない。タクシーを利用している。 ③移動販売も自宅のある地域より奥には行くが、この周りは素通りしているのでは困っている人もいないのではないか。

■須崎市（続き）

70代	女	雇用を促進し、若い人が残れるような町づくりをしてもらいたい。
80代以上	男	地元にあるスーパーを利用している。大型店がいくつかできたが、長年利用しているスーパーから店を変えるつもりはない。小さいスーパーなので潰れないことを祈っている。
80代以上	男	須崎市街地に行かなくても買物できるよう、地元（浦ノ内）にある程度店があれば便利だと思う。
80代以上	女	①近所の商店やスーパーが無くなると困る。店舗が増えたら良い。 ②下着類の商店が少ない。
80代以上	女	誠意ある応対を希望いたします。
80代以上	女	地元の商店街が寂れてしまっている。何か特徴のある飲食店や衣料品店などあればもっと地元の商店街を利用できると思います。

■梶原町（9件）

20代	女	金融機関が少なく、取扱いの時間帯も短い。結局高知市内に行ったときに金融機関を利用し、ついでに買物を済ませる。地元での買物は少なくなる。
30代	女	夜間の買物に不便。ATMも利用できる時間が短い。
40代	男	①町内でお金が回るようになるといい。 ②地元の本屋さんがほしい。
40代	女	梶原町は比較的小店が充実していると思うが、子供服などの店が少ないので、どうしても町外に出かけることが多い。
50代	女	高齢になったときに買物がしやすい環境にしてほしい。高齢になると買物時の支払いも素早くできなくなると思うので、高齢者に優しい店であってほしい。
60代	女	田舎に住んでいるので付近に専門店がありません。町外に出てまとめ買いすることが多いですが、時々町内でもと心掛けています。
70代	男	高齢者にとって安心して安全な暮らしができるような環境作りを望む。
70代	女	車の運転ができなくなったときのことを思うと不安。バス停まで徒歩で15分ほどかかる。
80代以上	男	国道439号線および県道中平～梶原線の道路の整備が早急に必要。できるだけ地元で買物をするが、梶原町内に行くのと須崎市、四万十町に行くのであまり時間に差がないので、町外に出て行くようになる。

■旧葉山村（9件）

30代	女	①中国産品はできる限り輸入しないでほしい。 ②体に有害な食品添加物は使用を完全に禁止してほしい。
50代	男	子どもがいる場合心配なことがあるので、公衆電話を増やしたほうがいいと思う。
50代	女	個人商店も個々で努力しているとは思いますが、商品が揃わないので近所の店には行きにくい。
50代	女	休日に須崎、土佐市や高知市まで車で買物に行き、色々な店をまわり価格、品質等自分の納得する商品を買う。長年の経験から、同じ品質でより安い商品を手に入れることができる店を知っている。県外の道の駅にも行く。愛媛のみかん等は品種も多く安いので楽しみながら買物をする。食品類は国産にこだわり、とくに高知県産である必要はないが、野菜などは地元産品を買うことが多い。必要ではない物を地元優先で買うことはない。遠くても自分の納得の行く商品を買いたい。
70代	男	商業形態が変わったので、昔のような商店街に戻ることはないと思う。
70代	女	須崎まで車に乗って買物に行けるので、今のところ不便は感じないが、何年か先車に乗れなくなると不便になると思います。
70代	女	歩いていける距離に食料品が買える店があればいいと思う。
70代	女	ショッピングセンターや大型店、衣料品店がほしい。
80代以上	女	家族が買物をしてくるので不便は感じない。週2度行商が来るので、そのとき食料品などを少し買う。

■旧東津野村（8件）

20代	男	安価な買物ができる大型店があれば便利。
30代	男	特に商店街に意見はありません。ただ、東津野地区全体の努力は足りないと思います。
50代	男	地元の商店街が寂しくなりました。自分たちの生活をきびしく節約し、農業に学ぶことが暮らしの中で大切になっています。 買物はいつも生協でまとめ買いです。クリーニング屋さん、薬局もなくなり、少し不便になったと思います。若者や中高年の主婦でも働けて、子どもも高齢者も元気にさせる職場がほしいです。 IターンUターン者のために、人とつながっていけるアパートなどもあればいいと思っています。
50代	男	東津野商店街の再活性化を。
50代	女	雇用の拡大を。地元の人が残れば商業も活性化すると思う。

■旧東津野村（続き）

60代	女	人口減少と交通の便が良くなったことで、商業に従事する方は収入が少なくなったのではないかと思います。山村ゆえの悩みでしょうか。私にとって生協の存在は大変有難いです。今後、高齢者や一人暮らしが増えていくので、こうした人の買物事情を考えた商店ができてほしいです。
70代	男	高知市内の病院へ行くついでに、主な買物をすませる。足りないものを移動販売、東津野で購入。食料品等は主に生協、青果は自家栽培。
80代以上	女	近所の人々が代わりに買物に行っている。以前は移動販売も来ていたが、あまり使わないので今は来なくなった。

■旧中土佐町（9件）

30代	女	地元や小規模な商店も、もっと集客できる工夫が必要。
40代	女	田舎は交通が不便。高齢になり子供が出て行くと買物に大変困る。地元にもスーパーが1軒あるが、価格、品揃え、時間的な問題で、若い人は他のスーパーをよく利用する。本来は自分が高齢になったときのことを考え、地元スーパー存続のためそこで買物するべきだと考えるが、先の3点の理由により他のスーパーに行く。もう少し個々が先のことを考え生活し、地元商店を大切にしていけたらいいと思う。
50代	女	昔から町の台所と呼ばれていた商店街は、最近では観光客相手になってしまい、「地元のお店」という印象がなくなった。買物は地元のスーパーと、新しくできた県外資本のスーパーで済ませている。自宅は町の中心から離れていて、車の運転ができない私は生協の宅配に頼っている。生協も最近は地産地消に力を入れていて、食品だけでなく地元企業の商品等いろいろ取り扱っている。私もできるだけ地元の商品を利用しようと思っている。週に1度、食料品だけでなく日用品も利用しているが、高齢になり体が動かなくなれば買物難民になるのは目に見えているので、これからも生協に頼っていききたいと思う。行政と生協が協力して、買物に不便な地域をサポートしてほしいと思う。
50代	女	職場が須崎なので、地元での買物は時間的に無理がある。買物はほとんど須崎市内。 自分にとって利便性の良いところで買物をしているが、先々車の運転ができなくなったときは移動販売などがあると助かる。 野菜は自作したり近所から分けてもらったりしている。

■旧中土佐町（続き）

50代	女	私達も「地産地消」に携わって、時々食事を提供しています。もっと地元にお客様が来てくれるといいのですが。
60代	女	大型店の進出で商店が少なくなった。
70代	男	現在大型店が進出し、消費者としては便利だと思う。しかし商人としては空店舗を見るのが寂しい。行政の補助が欲しい。
70代	男	①営業時間の延長と定休日の減少 ②魅力ある個店の導入 ③駐車場・駐輪場の整備 ④アーケード街路灯等の商店街の環境整備 地元商業はこの順で注力し、地産地消に力を入れる。
80代以上	女	久礼の人口が減っているなので、雇用の拡大を図り若者が帰ってくるような街づくりを目指す。人々が久礼に留まれば、おのずと商店街も活気付くと思う。店舗を経営しているが、商品を買っても赤字になる。

■旧窪川町（28件）

20代	男	私が小学生の時分からそうでしたが、今となっては最寄りの商店街で営業している店舗はごくわずかとなってしまっています。特に最近、食料品店の1店が閉店してしまい、高齢の方にとって便利な買物以前に、どこにも買物に行けない状態になっています。他地域の商店まで足を伸ばすことはとても困難なので、早急な対策が必要と思います。旧窪川町に限ったことではないのですが、5年後に集落としての形を維持できているかどうか、先行き不透明な地区が相当数あると思われるので、買物環境の整備や再開発などについて、とうてい期待はできません。
20代	男	小さな町なので、欲しい物が地元で売っていないことがある。子供服やベビー用品を探して高知市方面や中村方面に出向くことが多い。急に必要になった時に大変困るので、もう少し子供用品、ベビー用品の品揃えを豊富にしてほしい。色々選んで見比べて買物ができるようになれば嬉しい。価格が安いことも大切。
30代	男	自動車ですら1～2時間のところに大型店がある。休日はそちらで買物を済ませることになる。地元での買物は特にない。
30代	男	①存在感があるお店にして欲しい。 ②接客業としての立場を見直す必要があるのでは。

■旧窪川町（続き）

30代	男	<p>高知市内は店舗数が多くていいのだが、1時間以上はなれた郊外には若者が集りやすい場所（ファミレス、ゲームセンター、ボーリング場など）が少なく、どうしても市内へ出向いてしまう。もう少し地域が活性化できるようにしてほしい。</p> <p>病院（産婦人科や小児科）もない。</p> <p>「そこにしかない店」作りによって集客率を上げていければいいと思う。</p>
30代	女	<p>たまに高知市へ行きますが、大型ショッピングセンターを歩くより商店街の方が楽しいです。</p> <p>帯屋町でさえ大変なときに田舎の商店街は目も当てられません。</p>
30代	女	<p>旧窪川町に産婦人科と小児科ができればすごくよくなると思う。子供が欲しくても不便、育てるのに不安がある。</p> <p>電器店もないのでできてほしい。</p>
40代	男	<p>ショッピングセンターや複合店ができ、商店街や個人経営の店は大変だと思います。商店街の形として存続できなくても、個性的な店が増えて、続けていってもらえれば、町にとっても良いことだと思います。商店街の努力が足りないと言われることが多いでしょうが、インターネットの普及した現代で店を続けていくことだけでも大変な苦勞があることでしょう。頑張ってください。</p>
40代	男	<p>地元の旧商店街に活気がなくなっていくことは、町全体の活気が無くなっていくことでもあり、寂しさを感じる。地元の商店街は地域の顔であり、衰退しないように国、県の支援が必要だと思います。旧体質から抜け出し積極的に行動を起こす地域や商店街には支援し、依存的な商店街は自助努力を促すような施策を検討して欲しいです。</p>
40代	女	<p>高知市に大型ショッピングモールができてから、須崎市のショッピングセンターで買物をするのが少なくなった。その影響なのか、須崎のショッピングセンターも品数が少なく、良質な物が全く無くなった。高知市の大型ショッピングモールのお陰で便利なこともあるけれど、地元の町は寂れる一方だと思う。日用品などは地元で間に合っているが、衣料品その他はまず地元では買わなくなった。四万十の町も寂れてしまった。</p> <p>高速道路ができて便利なこともあるが、その高速道路のせいで私達、国道沿いで商売する者は全て店を閉じる。金のある、力のある者は、高速道路のその先に次の店を構える。小さな力しか無い者は次生きていくためにどうしたらいいのか途方にくれる。</p>

■旧窪川町（続き）

40代	女	地元で採れた新鮮な野菜や肉、魚を安く売る店をもっと増やしてほしい。傷物や形がくずれた規格外の物でもどんどん流通させてほしい。
50代	男	地元商店街について、大規模な再開発をしてもらいたい。
50代	女	①御用聞きではなく、電話一本で買物の注文を受けて配達してくれる所があるといいと思う。（高齢者、身体障害者、育児中、病気時など） ②医者や理容師なども、上記と同じく地元まで出張してくれる形があれば、安心して住みよい町になると思う。
50代	女	エコバッグ持参者へのポイントなどがある商店が増えてほしい。レジ袋の有料化も賛成。
50代	女	他県がやっていないような地元の特産品を作り出してPRすることも必要と思う。
50代	女	街の活性化が必要。若者が働ける場所や環境整備が大切だと思う。
50代	女	①商店街の活性化を望む。 ②各種イベントで振興を図る。
60代	女	大型店で何でも揃う所があればいい。
60代	女	人口2万人足らずのこの町に同業スーパーが多い。ホームセンターやドラッグストアなど、消費者にとっては商品が選べて便利だが、いかなものか。
60代	女	家具や電器製品など、欲しいものが地元では見つけにくい。今60代ですが、いつまでも車には乗れませんので10年後が心配です。食料品以外に欲しいものが旧窪川町にほとんどありません。しかたなく買っています。
70代	男	収入の減少、高齢化により、商店街に対し希求するほどの購買能力なし。
70代	男	消費者、生産者、行政が協力して、商店街の活性化が必要と思う。
70代	女	旧窪川町（四万十町）をもっと住みやすい町にしてもらいたい。
70代	女	窪川地区だけでも大型のスーパーが3店、それに大型の薬局が2店出店、薬局とは名前だけで食品なども売っているので、大型スーパー店と何ら変わりありません。これでは地元の個人商店は太刀打ちできません。町や県が何とかしてやらなくてはかわいそうです。シャッターの下りた店がかなり増えています。
80代以上	男	行政と町民が一体となって協議し、町の振興策を考える。
80代以上	男	買物や病院に行くのが楽になるよう、バスの存続を願う。
80代以上	女	地元の公共交通（バス等）の便数を増やして欲しい。
80代以上	女	県外の大型店出店は控え、地元商業の振興に寄与する事が望ましい。

■旧大正町（8件）

30代	男	全体的に所得に対して物価が高い。また、地元商店街では商品が揃わず不便。商店にしても準都会並みの努力は必要。県全体の産業も、やはり地元のみならず県自体が更に力を入れアピールをしなければ、いくら良い品物があっても有益ではない。その場のみで終らず先々を常に考えて開業しなければ勿体無い。
30代	男	個々の努力なくして成果なし。客は向こうから来る物ではない。殿様商売店は寂れて当然。大型店は敵ではなく企業努力をしている見本。
40代	女	①家電製品を買いたいときは中村か須崎まで1時間かけて車で行かないといけないので不便である。窪川にも家電量販店が欲しい。 ②子供達が地元に残りたい、地元に戻ってきたいと思える街づくりをして欲しいです。
50代	女	現在一番困っていることは電器店が無いことです。須崎か高知に行かなければなりません。電器店が地元があればいいといつも思います。
50代	女	旧大正町は人口減、高齢化、町村合併により余計に元気がなくなったと感じます。私も飲食店をやっていますが、将来に希望は持てません。
60代	男	地元でほとんどの品物が消費できる体制を作ってもらいたい。
70代	男	賞味期限の確立。商品の均一化及び、鮮度の適正化を図って欲しい。
70代	女	品揃えの充実が必要。

■旧十和村（11件）

30代	女	田舎の商店街を充実させて欲しい。
40代	男	近くにコンビニが欲しい。
50代	男	人口が減少し、郊外に専門店が増えている中、地元商店は良くやっていると思います。
50代	女	①安心して安全な品物を望んでいます。 ②地域の活性化、地元が潤うよう望んでいます。
50代	女	高齢者が出入りしやすい店づくり。地元で魅力ある店づくりを望む。
50代	女	農産品の価格の安定を望む。
60代	男	県や地元の商業の発展は、県民、地元民の生活の豊かさや便利な買物に繋がるので、今後いっそう商業の発展に期待する。
60代	男	商店の品揃え。商店の近くに駐車場が必要。
60代	男	品揃えの充実。価格を安くして欲しい。
60代	女	高齢者家庭が多くなっているので、移動販売があればいい。
80代以上	女	価格が安く、一度で買物がすませられる店があればいい。

【幡多地域の地区別自由意見】

■土佐清水市（50件）

20代	男	<p>給料も安いので生活が厳しい。地元の物を買わねばと思っているが、値段が高いし地元には物がないので、安くて品揃えのある遠い所へ買物に行ってしまう。</p> <p>高齢化も進んでおり、今の状態では若者から高齢者までかなり不便な状況であると思う。車がないと買物にも行けないので、地元にも高齢者にも利用しやすい店が増えるといいと思う。街だけではなく田舎のことをもっと深く考えてもらいたい。</p>
20代	女	<p>地元の商店に入った時は、店の人の顔を知っているせいもあり、何か買わないといけないという思いがある。接客態度もマンネリ化していて、ほんとうにお客様として扱われているのか疑問に思うときがある。その点ショッピングセンターは気楽に入れる。</p> <p>直販店と集会所を兼ねた場所を作り、人々がさまざまな形で利用できるようにしたらいいと思います。</p>
20代	女	<p>日常の買物以外は1日かけて中村市まで行っています。休みの日は高知市まで行くこともありますが、それも1つの楽しみです。</p> <p>もう少し商店街が賑やかになってほしいと思います。今はお店がないので行くことがありません。</p>
30代	男	<p>私はスーパーに勤務していますが、この不景気でお客さんは本当に少ないし、会社の存続を考えるなら、社員の賞与をカットし、全員アルバイト化の方がいいのではないかと思います。</p>
30代	男	<p>大型店には価格では勝てない。商店は個々の魅力や大型店にない個性を出せば、逆に他市町村や他県からの来客を期待できると思う。また、観光振興にもつながる。</p>
30代	男	<p>土佐清水市にはこんなに素晴らしい魚がたくさんあるのに、生魚を積極的に売らないスーパーにがっかりしています。魚を一本売りしていかないと、魚の捌き方やアラの活用法など、港町ならではの文化も消えてしまい、いずれは魚すら食べない、売れない町になると思います。</p> <p>本気で取組まないと清水には魚しかありません。</p> <p>全国で魚を食べてきましたが、土佐清水の魚は日本一だと思います。少々値を上げてでも、自信を持って売ってほしいです。</p>
30代	男	<p>直販所について・・・漁業者は地元の魚を出品することができない。魚屋の支店のようで値段も高い。野菜や果物もスーパーと変わらない。腐った物をいつまでも置いている。</p>

■ 土佐清水市（続き）

30代	女	近所に電器製品や服を買うお店がないのが不便ですが、日用品、食料品は徒歩でまかなえるので便利です。
30代	女	地元で買物しようと思っても品揃えが悪く価格が高いため、隣の市に行かなくてはいけない。小さい子供がいるので、時間的にも移動にもとても不便を感じています。地元の商店は日曜日に休んでいるところが多く、休日は特に街全体が静かになってしまう。もっと活気があればいいのと思います。
30代	女	土佐清水市はスーパーや個人の商店も非常に少なく、価格も高いので日常の食料品以外は市外へ買物に行くのが当たり前になっています。また個人商店も非常に対応が悪く、品揃えも悪く、お店の中に入ろうという気すら起こりません。1つの市（街）として成り立っていないように感じ、不便さを常に感じています。 自分の衣服等は県外や、ネットで買うのが現状です。
30代	女	地元で買物をしたいが品揃えが悪い。 アピールできていないので地元で商品を購入する気が全くしない。
40代	男	土佐清水市は高齢者が多いので、それに合った地域づくりが必要。 地元だけでなく他県からみて魅力があり、是非行ってみたいと思うような高知県にしていきたいと思っています。
40代	男	《新規参入者に優しく》 ・起業、店舗立ち上げに対する補助など。 ・古い家屋や空店舗を安価で貸すことができるよう、市や県が積極的に介入し、家主等に協力を求める。 ・Iターンしやすく、暮らしやすく、ゆっくり郷土愛をはぐくめる環境づくりをする。 ・地元民の受け入れ態勢に対する意識改善も必要と思う。
40代	女	地元の店を利用しなければと思いながらも、ついつい品揃えの多い四万十市の大型店へ車で出向いてしまうことが多いです。 地元を大切にしたい気持ちを持って、地域の活性化に協力していきたいです。日曜日に商店街のシャッターがしまっているのが寂しいです。
40代	女	近くに遅くまで営業している店があると便利。
50代	男	魅力ある商店街を作ってほしい。空き店舗の利用を考えてほしい。
50代	男	人口が減少しているうえに若い人が少なく、若い人は他の市へ買物に行くので、ますます土佐清水市は寂しくなっていると思います。
50代	男	①魅力ある商店街にするために、核になるお店を作る。 ②B級グルメで町おこし。市外からも来てもらえるような名物企画を商店街で行う。

■ 土佐清水市（続き）

50代	男	地元の店の品揃えが充実してほしい。
50代	男	営業時間の延長と定休日の減少を商店街全体で取り組んでほしい。
50代	男	ただの商店街ではなく、特色、個性、活気ある商店街になって欲しい。
50代	女	スーパーに勤めていますのでほとんどスーパーで買物をします。商店街にも安いものがあるので行きます。 バイクしか乗れないので遠くへは行けず、買物は地元ばかりですが、土佐清水市はほとんどの店が閉まっていて寂しく感じます。 大型のドラッグストアへ行くのが楽しみです。
50代	女	今年は野菜が高く、直販所の品物は何日も同じ商品を置いてある。
50代	女	1ヵ所で買物が済む場所がない。人口、働く場所がないので若者が減り悪循環。日曜日は休みの店が多いので四万十市に行く。 地元の店に行っても品揃えが少なく、結局は大型ショッピングセンターへ行かなくては行けない。
50代	女	平日に土佐清水へ買物に行っても人がいない。休日などは歩いている人もいない。下ノ加江でも休日は店に品物が少なく、古い商品がならんでいることが多い。どうしても旧中村市へ行くことが多くなる。 商店の人達も人を引きつける工夫をし、ここにしかない物を作ることが必要。仕事をしている人にとっては休日に店が開いていること、商品が揃っていることが重要。 高齢者が多くなっているので移動販売なども必要と思う。
50代	女	道路の整備が大事と思う。
60代	男	漁業町なのに、とれたての魚を上手に食べさせる店がない。
60代	男	地元農業の生産向上。若者の労働場所を増やしてほしい。
60代	女	地域でとれた物の品揃えにムラがある。もっと充実させてほしい。
60代	女	地元商店は品揃えを良くしてほしい。
60代	女	最近直販所が増え、新しい食品が買えるようになったので嬉しい。 ドラッグストアもできて便利になりました。しかしまだ中村や宿毛まで買物に行く必要があります。地元での買物を望みます。
60代	女	地元大型店がないため、遠出して買物をするときがある。
60代	女	何でも揃う小型店が地元があればいい。
60代	女	①地産地消できる環境づくり。 ②都会ほどでなくてもいいので、接客態度を改善してほしい。
60代	女	商店街はほとんどシャッター街となり、開いている店の営業時間も短いので不便を感じる。
60代	女	地元の商品を買いたいと思う。鮮度が良く安全なものを望む。

■ 土佐清水市（続き）

60代	女	土佐清水の商店街は『過疎の村』の店舗のようである。気軽に入店できない、「ウィンドウショッピング不可」という雰囲気を感じる。一見客も次には客となることがある。「買っていただく」「売らせていただく」という精神が必要。
60代	女	商店街もシャッターを下ろした店が増え、活気がなくなっていくのがやはり寂しい。地元の商店街が活気づき、人々でにぎわってこそ買物に出向きたいという気になるのではないかと思う。
70代	男	大型店舗の進出で地元商業が衰退し、地域の経済活動に大きく影響している。地元商店の活性化は経営環境の整備であり、魅力ある商品や地域資源を活用した地産地消の経営。また、大型店に対抗できる接客の改善、駐車場、駐輪場の整備が最も重要である。流通改革の進展は時代の要請であり、その改革に対応できる商業の振興対策を要望するものでもある。
70代	女	地元のスーパーで人に会うのが楽しみ。皆が残れる地域にして欲しい。
70代	女	活発な市になってほしい。
70代	女	①下ノ加江、清水の値打ちを落とさないでほしいです。 ②地元の個人事業主は買物客に対して言葉づかいに気をつけて下さい。
70代	女	自分や家族が車で町へ買物に行けるうちはいいけど、高齢化が進み、交通手段がなくなり、地元の商店の品揃えが少なくなれば、たちまち不便になると思います。移動販売も今より必要になると思います。
70代	女	買物から帰る際バスを利用するが、便数が少ないため、1便乗り遅れると4～5時間待たなければならず不便。
80代以上	男	車に乗れず、地元には病院がないので不安。
80代以上	男	地元で若者が働ける場所が欲しい。
80代以上	男	野菜や青果を自給自足しているが、イノシシや野鳥に食べられてばかり。直販所の商品は、専門家が作ったもの以外は農薬や肥料が目分量なため不安。スーパーで購入した方がまだ安全なのでは。
80代以上	女	地元がもっと活性化して、協力してもらえればいい。物売りをしている方が高齢になり、物売りがなくなっているのが不便。
80代以上	女	近くにお店がないので日用品のお店でもできればいいと思います。
80代以上	女	①高齢者が多いので、近所の方は生協を多く利用している。品揃えの良い移動販売が来れば利用したい。 ②地元（松尾）に魚屋がないので不便。

■旧中村市（84件）

20代	男	旧中村市は食料品に関しては不自由を感じないが、その他の衣類や雑貨等の購入に不自由を感じる。店舗の数も少なければ、店舗に置いてある品数も少ない。どうしても品数の多い都会で買物をしたいと思う若者が多い。
20代	女	ショッピングセンターや娯楽施設など、どの世代の人でも楽しめる施設がほしい。
20代	女	地元の商店街を利用したいとは思いますが、駐車場が近くにないので不便です。必要な場合だけしか行きません。大型店に行く傾向があります。
30代	男	地産地消や地元の商店街などの問題は確かに大切ですが、「これをこうしろ」とか、「商店街だけががんばらなきゃ」では疲れると思います。良い物は良いと自信を持って、まわりと楽しんで盛り上げていけるのが一番いいのではないのでしょうか。
30代	男	高知市のように大型ショッピングモールを作って欲しい。四万十市にはおもちゃ専門店がないので作って欲しい。
30代	男	大型商業施設の中に映画館があればいい。
30代	男	B級グルメフェアのような大きなイベントを開催したら、もっと地元の経済も活性化するのではないのでしょうか。
30代	男	販売員のモチベーションを高めてほしい。教育セミナーなど接客技術の向上をはかり、働いている意識を明確にしてほしい。
30代	男	イベントがあれば行きたいと思います。子供が喜ぶような戦隊物が見たい。B1グランプリは良かったと思います。名物料理が少ないと思います。近くの旅館に泊まったとき、カツオのタタキしかなかった。
30代	女	大型店が多数できている中で、商店街でのお買物が少なくなっている。地元の良さを活かした販売の仕方や、すぐに行ける便利さを導入していけば商店街にも行きやすくなると思います。
30代	女	複合店ができて入っている店舗がいまいちで、徐々に行く回数が減ってしまう。 地元にはファッション関係の店が少なく、買う機会はあまりない。屋内、屋外で子供を遊ばせる場所があると嬉しい。
30代	女	憩いの場所がほしい。
30代	女	高知県西部は自然や公園も多く、子育てをするにはとても良い所だと思います。ただ、雨の日など子どもが遊べる施設が少なく、食料品以外の買物の満足度は低いです。

■旧中村市（続き）

30代	女	高知市でも百貨店は1つしかなく、服や靴、バックなどの買物は品揃えが少なく満足できません。そのため県外へ買物に出たり、インターネットでの買物が増えます。もっといろんな店舗ができれば高知県の商業も活性化するのではないのでしょうか。
30代	女	鳥取県の水木しげるロードみたいに、地元の特産品と商店街がマッチした名所を作れたらいいと思います。地元商店には行きたいと思うような魅力があまりないように思う。 物産センターの野菜も、少し古いと思うことがあるのでチェックしてほしい。一種類目のものがたくさんあるのはいいけれど、品揃えも充実させてほしい。
30代	女	大量生産の店が多い。もっと個性的でおしゃれな商品を扱ってほしい。
30代	女	書籍、衣類の品揃えを良くしてほしい。
30代	女	最近では、私の周りでも購買意欲の低下が顕著です。田舎だと特に買物に行くのが大変です。近くにお店があれば、ちょっとそこまで感覚で行けますが、遠い人は買物のために車で出掛けます。そうすると「安さ、品物の多さ、用事がそこで全部済ませられる所」が重要なポイントです。だからみんな商店街から段々と足が遠のいてしまうのです。何かイベントがあると、そこに人は集まりますが、お店にお金を落としているのでしょうか。少し疑問です。やる事自体に意味はあると思うのですが、四万十市では土曜夜市等のイベントを行っており、商店街にたくさんの人が集まれる良い機会です。ぜひ続けて欲しいと思います。 自分も買う立場の人間ですが、お金が十分にある訳ではないので、寂れた商店街や閉店していくお店を見ると悲しいです。ただ、自分のできる事として地産地消を心がけていきたいと思っています。
40代	男	地元商店街について・・・専門店でありながら流行を把握していないし、商品知識もとぼしい。接客の改善とは単なる客の機嫌取りではなく、店側の取り扱う商品に係る確たる知識。流行を把握した上での信念。客に対する良心的な助言。それらを感じさせてくれるような改善である。
40代	男	①地元で欲しい商品がない。行ってみたい店がない。 ②食品のあじつけが濃すぎる。健康志向に逆行していると思う。 ③田舎(地元)ならではの接客、品揃えがあってもよいと思う。
40代	男	須崎の鍋焼ラーメンのように、中村を代表するような食べ物や商品ができれば、もっと地元の商業が活性化するのではないかと思います。

■旧中村市（続き）

40代	男	パチンコ店以外の娯楽施設を増やしてほしい。
40代	女	商店街の一番の問題点は、やはり駐車場だと思います。近くに無料で駐車しやすい場所があれば「行ってみようか。」という気持ちになると思います。 食物に関しては、魚や野菜、肉など新鮮でおいしい食材が簡単に手に入る環境なので、とてもありがたいことだと思います。
40代	女	大型店に押され、商店街、個人商店は全国的に苦戦していますね。解決策を考えてもこれといって有効な策が思いつきません。地元の大型直販所は結構賑わっているようです。天神橋アーケードの中を再整備して、地産地消も兼ねた道の駅のような大きなスペースを作ってみてはどうかと思います。そのためには広くて止めやすい駐車場の整備が必須です。 県外資本の大型店、パチンコ店だけ活気があるのでは悲しいです。
40代	女	地元の商店街がもう一度脚光を浴びることができるよう、行政等の努力を望みます。
40代	女	スーパーが多くあり、食料品などはとても充実していると思います。衣類や、靴、カバンなどのお店が少ないと思うので増やしてほしいと思います。
40代	女	他県の県庁所在地から去年引っ越してきました。買物に関しては、食品以外すべて不満足です。もう少し大型ショッピングセンターを作り、ブランド物など品揃えを考えていただきたい。何かにつけあまりにも不便です。これでは若者は離れていくばかりです。
40代	女	個々が商店街を利用したいと思う気持ちが大切。イベントは土日がメインなので利用できない。平日のイベントもあって欲しい。
40代	女	高知県の物価は全体的に高いと思います。情報があふれている現代、消費者のニーズは都会に住む人のニーズと変わらないのに、その商品が入ってこない。入ってきても送料などで価格が高い。その割に県民の所得は限りなく低い。車などで気軽に移動でき、安くて良い物のそろそろ県外に行けるため、衣料品は地元で買わない人も多いのではないのでしょうか。 一方で高知は、魚、野菜など手に入るもので豊かに食生活を楽しむ、という独特な風土もあります。地元の野菜を作る農家の人々が持つ食のノウハウが捨てられることなく、より地域に貢献できる流通の確保も大切にしていきたいと思います。東山、イモケンピ、もぐり寿し、さば寿し、イタドリ、チャンバラ貝、ナガレコなど、いいものが沢山あります。

■旧中村市（続き）

40代	女	街中に複合施設を作る更地がないのはわかりますので、せめて車が横付けできちょっと買物ができる場所があればとてもありがたいです。仕事と育児を両立している私たちは時間との勝負なので。しかし近隣の住民の理解も必要でしょう。長くて10分程、路上駐車可能な環境があればいいと思います。人間と人間とのつながりになりますが、自宅前に駐車されていやな人もいますし、難しい問題だと思います。高知市内の大型スーパー跡地に駐車場を建設するのはいい考えだと思います。
50代	男	地元の商業全般が、大型店舗の影響で弱ってきていると思います。現在も行っているとは思いますが、もっと援助を行い、地元産業を活性化させていく必要があると思います。そうすることで地元で活気がでてくることを期待しています。
50代	男	安全でおいしい。または珍しい県産品を県内外で売ってほしいです。
50代	男	アーケードの中を車で通れるようにしてほしい。
50代	男	大型店ほど便利でよいが、商店街が大規模になってもむずかしいと思う。日本全体がデフレ状態では何ともならない。
50代	女	地元には高齢者が多い。商店が1軒あるが、品揃えが少ないため地元での買物はむずかしい。
50代	女	これ以上大型店の出店は必要ないと思う。地元の商店がなくなる
50代	女	商店街に駐車場を整備してほしい。
50代	女	買物をしながら、おいしいコーヒーや食事をゆったり楽しめる所がほしい。
50代	女	地元での買物に協力したいのですが、婦人服や化粧品店等は、知り合いが多く地元にいるため、色々な個人情報ももれて不利になるので、高知市に買いに行くことが多いです。 もう少し接客マナーの向上を目指してもらいたいです。
50代	女	高知県産の物で上手に使われていないものがたくさんあると思う。色々考えて使えるようにすればいいと思います。
50代	女	四万十市の住民ですが、商店街に買物に行くことはまずありません。このお店にしかないもの、ここでないと買えない物を売っているというお店があれば皆商店街に行くと思いますが、それにはまず駐車場の整備が一番だと思います。「商店街に買物に行きたいが、車を止める所がない。」という声が聞かれます。

■ 旧中村市（続き）

50代	女	<p>私は30年前他県から中村に嫁いで来ました。その頃は天神橋商店街が繁盛していて、大変にぎわっていました。しかし高知市内の帯屋町にしても、中村にしてもそうでしたけれど、「欲しいなら、売っちゃるよー」「買うていきや」的な雰囲気には驚きました。好景気の時はその中でも物が飛ぶように売れたかもしれませんが、今の時代では多分難しいと思います。マニュアル通りといっても、やはり気持ち良く買物ができてこそです。</p> <p>今一度、商店街が一致団結して、魅力的な街作りを希望します。県外に進学した子供達がUターンできない高知県、四万十地区。でも他県人がうらやむ程の自然があふれています。欲深く、あれもこれもと中途半端な案をいくつも出すより「安心、安全、低価格」の農業、漁業を県内3つの大学と協力して研究目標にかかげ、1つでも風穴を開けて、負のスパイラルから脱する努力を県が推進すべきでしょう。</p> <p>Iターン、Uターンが県の景気回復の必須条件だと思います。</p>
50代	女	<p>新鮮なもの。特に野菜、果物は地元で採れた物を日々食べたいと思っていますので、できるだけ近くに直販所があると嬉しいです。</p>
50代	女	<p>近くの小規模スーパーが次々に閉店しているので、高齢になったら不便になると思う。そうなれば移動販売や買物代行サービスに頼る必要が出てくると思います。</p>
50代	女	<p>どこに行ってもカードがあってありがたいのですが、カードの数があまりに多くて間違ふことが多い。カードを統一できないでしょうか。</p>
50代	女	<p>仕事をしていますので、どうしても通勤途中にある直販所や大型店で買物をします。地元のスーパーには駐車場が少なく不便です。最近は少し良くなってきましたが、地元の商店の接客の悪さ（特に店主の方）を感じる時があります。店主は利益も大事でしょうが、接客面ももっと勉強してほしいものです。電器製品などは購入後のメンテナンスの良い地元の商店を利用しています。</p>
50代	女	<p>安全、安心、少しでも安い、それぞれの市町村の特産物の商品化に期待したい。また冷蔵庫ができるまでの昔の食べ物にこだわり、県民の健康を重視した食物の普及、それが県の特産品となって欲しいです。</p>
60代	男	<p>①商店街のエゴを捨て、互いの商売力を認め合い共存する意識を街全体として持ち合えるよう努力すること。</p> <p>②具体的な行動を起こすこと。</p> <p>③商店は市民のためのものを第一に！</p>
60代	男	<p>地元産品にもっと自信を持って、地元ならではの目玉商品をつくれれば、地元の消費も拡大すると思います。直販所頑張れ。</p>

■ 旧中村市（続き）

60代	男	個人の努力はもちろんのこと、やはり国内の経済状況が根本である。
60代	男	現在は車も自転車も乗ることができるが、将来のことを考えると、やはり歩いていける店が近くにあればいいと思う。現実を見つめても、近所にあるスーパーが、大型店進出により年内で閉店になるという。だんだんと不便になり将来が不安である。
60代	女	大型店ができたことによって客足がそちらへ流れ、中心街に住んで商売をしている人達はみんな困っています。商店街の人通りもまばらで、中村の街だけでなく全国的な事ですが、この先とても不安です。どうしようもないことでしょうか。
60代	女	収入が減ったため、以前のようにたくさん買物できない。商店街や品揃えの便利さについて考える以前に、外食や品々を新しく購入することができない。 地元の商業は県外企業の進出に圧倒されているが、消費者はより安い物を望むので仕方ないとも思います。美容院などは人間関係上、何十年も同じ所を利用します。地域外での買物は、店にもよるが長く続かない。
60代	女	あまりにも大型スーパーが多すぎる。もっと地元の商店街を大切にしたい。しかし自分達も駐車場等の事情でショッピングセンターを利用する事が多くなります。
60代	女	旧中村市の郊外に大型ショッピングセンター等ができ、旧中村市内は寂れ続けている現状です。
60代	女	少し遠くても大型スーパー等に行く。一度で買物ができること、特売、ポイント等いろいろお得感がある。地元の商店街には買う物がない。
60代	女	母親が用事をしている間、父親と子供達が楽しく遊びながら、学びながら、何かを作りながら待てるような施設があれば、雨の日も人が集まるのではないのでしょうか。昔の物を大切に作る心も大切にしつつ。
60代	女	営業時間をもっと長く、鮮度の良い物を、安価で品揃えを多く。
60代	女	天神橋商店街や周辺の商店で無料の駐車場を確保すればいいと思う。
60代	女	「ごっくん馬路村」のように、四万十の特産品(あおりのりなど)を使い、大ヒット商品を開発して幡多地域を活性化させてほしい。
60代	女	大きなスーパーは高知県産のものが少ないように思います。もっと、新鮮な県内産のものを増やしてほしい。
60代	女	自分は商品を作って直販所に出品しているし、民泊も経営しているので売る側の身になって考えてしまう。地元商店街を元気にしてほしい。立派な市役所はできたが町中に人がいないのは寂しい。市町村や住民が話し合って、より良い市にしていきたい。

■ 旧中村市（続き）

60代	女	地元にお店が1店しかないので、高齢の方には不便だと思う。移動販売が来れば気を遣わず、高齢の方でも買物できるのではないかな。
60代	女	近所にある小型のお店が閉店するので不便。大型店は近くにあるが、高齢者にとって交通の安全が確保できない場所にあるので、買物には不便。直販所は出品するのに規制がないので、農薬の問題が心配。安全性も疑問。（誰でも出せるため、商品の情報が不確か。）
60代	女	以前の商店はアフターサービスが充実しており、安心感がありました。しかし今はその知り合い関係があるために、自分の意に沿わない商品でも買わなければいけないことが多い。気軽に足を運べない時がある。現在はどんな商品をどこで買っても安心感があります。商店はどのような行動を起こせば良いか、考えさせられますね。これからは高齢者向けの商売に切り替えていけばいいと思います。
70代	男	①新鮮な野菜、食料品（お寿司、パン等）、果物など、生産者が作ったものを、週3日間くらい、午前中だけでも商店街の空店舗を利用して販売するのはどうか。行政担当者が声をかけて、ある程度組織ができれば自主的に運営できるのではないかな。近くのふれあい良心市はいつも賑わっています。 ②地元商店街は、商品が外からよく見えない。気楽に買物に立ち寄って見たくなるような工夫が必要である。 ③県全体の商業について。各地域の特色ある商品をガイドブックにし、公共施設（公民館、交通機関、学校、スポーツ施設など）に展示し、職員にも商品の知識を十分に教育し、広報活動を広げていく。もっと県知事さんがテレビ、新聞、ラジオ等に出てPR（宣伝）して下さい。宮崎県知事などに負けるな。
70代	男	宅配などのサービスをふやしてほしい。
70代	男	①大型店舗の出店規制が解かれ、大店舗の出店競争が激化した現在、県全体の商業、地元の商業は生きる道を閉ざされました。大変残念な事です。再生は困難であると思います。 ②便利な買物について。車のおかげで現在不自由を感じませんが、夫婦共々車に乗れなくなった時は大変です。現在利用しているショッピングセンターまでは約6kmの距離があります。 ③交通手段がなくなれば、生協や移動販売に頼るしかありません。自宅から2Km以内には農協の直販所があるのみで商店はありません。
70代	女	食品については新鮮であることが一番重要。安くても品が悪ければ買わないと思う。安く新鮮が一番と思います。

■ 旧中村市（続き）

70代	女	県外資本のショッピングセンター等の出店をやめて欲しい。むかしの ような街にしてほしい。
70代	女	地元の商業を活性化させるための地場産品の商品開発や、イベントな どを積極的にやってほしい。
70代	女	商店街に行きやすいように無料駐車場を整備してほしい。
70代	女	地元には、スーパー、コンビニ、ガソリンスタンドがありすぎ。もっと 田舎にないものを作ってほしい。
70代	女	地元は何でも揃う店が1店でもあればいいと思う。農協で野菜を売っ ているが値段が高い。
70代	女	高齢の2人暮らしです。近くに大型スーパー等が多くあり、買物には 不自由していません。
70代	女	現在まで、県外の大型店に客を奪われた根本原因を深く考え、品揃え、 価格等を考えなおしてもらいたい。 小さな商店街の店舗は、昔からの考えにとらわれず、世の中の流れに 注意を払って事業を考えてほしい。今までは顧客中心の考えではな く、自店の都合で商売をしてきたように思えます。
80代以上	男	消費者としては大型店（スーパー）の進出を歓迎するが、当地方では 郊外に大手企業の進出が甚だしい。消費者とのバランスが必要だと思 います。
80代以上	男	車社会の現在、駐車場の整備が必要である。
80代以上	男	惣菜の種類が充実したお店ができればいいと思います。
80代以上	男	市内では大きいサイズの服を取り扱っている店がないので不便。
80代以上	男	高齢なため、行きやすく便利な所去买物に行く。過疎地になってしま い、若い人がいない。近くに全く店がなく不便。
80代以上	女	買出し用のバスが運行してくれたらいいと思う。
80代以上	女	①良い品物を安く提供してほしい。 ②気持ちの良い接客をしてほしい。
80代以上	女	大型店ばかりでき、小売店が無くなっていくのを疑問に思う。便利 だけでは寂しい。

■ 旧西土佐村（7件）

30代	男	何よりも先に政治を立て直し、その後に商業だと思います。特に農業 の今後について考えるべきでしょう。消費を向上させるには、政治的 な考えの向上が最も大事だと思います。
-----	---	--

■旧西土佐村（続き）

60代	女	愛媛に行くほうが近いし、道も広いのでどうしても愛媛に行く。旧中村市のことは全く知らない。山一つ越えたら愛媛県、宇和島までは40分、中村までは1時間以上かかる。
70代	男	旧中村市までは道が悪く時間もかかるので、どうしても愛媛県に行く。他県にお金が落ちるのはもったいないけど、便利さを考えると仕方ない。
70代	男	地元には人口が少ないので今以上を望まないが、高齢者に便利な交通手段があればいいと思う。
70代	女	中村に買物に行きたくても、道が悪いのでどうしても愛媛に行ってしまう。小さい時から生活圏が愛媛だった。
80代以上	男	不景気の中がんばって営業している店が近くに多いので、今後も続けて欲しい。同市である中村で買物したいが、国道441号線の道が悪いので行きにくい。地元の人みんな愛媛に行っている。
80代以上	女	私は高知生協に加入しています。高知産の物が少ないので、魚や野菜など高知県産のものを多く出してもらえればと思います。

■旧大方町（20件）

20代	男	23時以降もやっている飲屋を増やして下さい。
30代	女	高知市内などは商店街に対する想いが特に強いのは解るが、子供が商店街に用事がなければ親も祖父母も行かないし、結局子供や若年層をターゲットにしないと商店街は寂れる一方だと思う。
30代	女	本屋、ペットショップ等を希望します。
30代	女	店内に赤ちゃんの世話ができる設備があればいいと思う。
30代	女	現在は自分で車の運転もでき、インターネットも利用できるので、日々の買物には困ることはほとんど無いが、近所のひとり暮らしの高齢者を見ていて大変だと思う。時々買物をたのまれることがあるが、それは本当に困った時だけで、日常はだいぶ不便をしているのではと感じる。 今住んでいる所は、町内では比較的便利な場所だが、山間部は交通も不便で大変なのではないかと思う。町内にはいくつか直販がある。地域のつながりを考えると、直販所などから移動販売車が出るといいかもしれない。

■ 旧大方町（続き）

40代	男	ふるさと総合センターを活かした企画をしてほしい。コンサート、ミュージカル、子供たちが夢を持ってワクワクするような催し。土佐西南大規模公園を利用してスポーツクラブを作してほしい。
40代	女	近くに大型店ができてほしい。
40代	女	<p>これまでは、形の整った見た目に美しい野菜が当たり前でしたが、これからは曲がっていても虫くいで、安心安全なものづくりが必要だと思います。食への意識も高まっています。これまでは無農薬野菜などは高価でしたが、それを安価に出せるよう、地域が一体となり取り組める環境づくりが不可欠です。</p> <p>人に環境にやさしい商品づくりを推進し、主食である米、パンを始め、様々な商品開発を進め、全国に発信できる黒潮町を目指して頂きたいと思います。</p> <p>コンビニや大型店など、どこにでもあるものは黒潮町には必要ありません。高齢者や子育て世代など、買物に出かけるのが不自由な方々のために家庭的なお弁当や惣菜などの宅配サービスもあれば良いと思います。</p>
50代	男	<p>①高齢化と人口減少にともない、地方経済は毎年段々厳しくなっています。店の数もずいぶん減りました。お店を選ぶことよりも、お店がいつまでも営業を続けてくれることを願うばかりです。</p> <p>②都会のように、買物代行サービスや夕食のおかずのデリバリーサービスがあれば利用したいです。</p>
50代	女	大型店が必要だとは思わない。地元の若い人が心をこめて作ったオシャレな服や食器、また食品、果物が買える、個々の店が集合した大型店のような所ができればいいと思う。休んだり食事をしたりするスペースを作れば楽しくショッピングできると思う。
50代	女	高知をアピールするもの(ブランド物)を作してほしい。
60代	男	直販所が近くにあり大変便利。しかしスーパーなどは地元の新鮮な物が少なく、県外の果物などが目につく。
60代	女	町内に1つスーパーがあるので日常生活にはあまり不便しませんが、衣料品、子供用品、本類は品が揃わず、すべて町外で購入しています。もう少し品揃えの良い店が地元があればと思います。
60代	女	今後高齢社会になった場合に、買物ができるよう対策を望む。
60代	女	商店街に大型店舗がもう1軒ほしいです。
60代	女	旧大方町内でも商店が減少して、必要なものを全部揃えることができなくなりました。幸い旧中村市に大型店があるので特に不便さは感じませんが、今後高齢になって車に乗れなくなると不便だと思います。

■旧大方町（続き）

70代	男	高齢者向けの包装の工夫や商品についての説明が必要と思う。
70代	男	大店法で大手を優遇し、中小零細業者は倒産したため、再生は不可能。現有の大型店舗をなくし、現在の生活環境の中に取り入れる。
70代	男	若者の働く場所があれば若者が地元に残ることができる。
70代	女	運転が出来ないので旧中村市の病院へ行く時や大型店に行きたい時に不便です。

■旧佐賀町（7件）

40代	女	北部にも直販店があればいい。
50代	男	靴屋、洋服屋が少なく品揃えが良くない。休日に他の町へ買物に行くしかない。高齢者のなかには自宅までおかず等を売りに来てほしいという人がいる。移動販売も、子供から高齢者の方までほしい物が手に入るように、品揃えを充実させれば利用者も多くなると思います。
50代	女	鮮度の良い物を充実させてもらいたい。
50代	女	地元商店の品揃えを良くしてほしい。
70代	男	アフターサービスの充実。
70代	女	食生活における食品は、高知県産品を一番大切に思う。
80代以上	女	衣類(下着類)の店があればと思う。

■宿毛市（67件）

20代	男	近くに安いスーパーが近くに無いため、旧中村市まで車で買物に行くことが多いのですが、ちょっとした買物をしたい時にも車を出さなくてはいけないので結局安くなく不便です。往復にも時間がかかるためひと仕事です。また、小さい子どもがいるため何度も出かけるのは難しいので、近くで、ある程度安く買物できる複合店などがあればいいと切実に思います。
20代	男	宿毛のアーケードは閑散としていて暗い。もっと活気づいてほしい。スーパーへ行くにも車が必要。高齢者には不便。
20代	男	①名産品を広げてほしい。 ②企業誘致をして市内での若者の雇用を増やしてほしい。 ③県や市での子育て支援を強化してほしい。

■宿毛市（続き）

20代	女	地方のスーパーは都会に比べ品質や接客態度が悪い。向上を願う。
30代	男	地元には品揃えの良い店がなく、結局他の市町村かインターネットでの買物になってしまう。県中央部の人口の多い場所に大型店が多いのは仕方ないと思うが、他府県では郊外にアウトレットモールなどができ、中央部以外にも人が流れていると思います。 残念ながら高知県にはアウトレットモールは存在しないですが。
30代	男	期間限定もしくは週末のみ、市町村の運営する地域の特色を生かした定食屋さんがあればいいと思う。スタッフは元気な高齢者の方々。
30代	女	旧中村市や宿毛市の商店街などをよく利用しているが、高知市や宇和島市に比べて品揃えが悪く、魅力的な商品が少ない。服飾、小物、アクセサリ、靴、バッグなど、低価格で魅力的な商品を見つけにくい。
30代	女	宿毛や四万十市にもショッピングモールがほしいです。服や靴など、品揃えの良い店がなく、買物は通販ばかりになってしまいました。
30代	女	入りやすい店が少ない、引っ越してきて5年くらいだが、店がだんだん減っている。減りっぱなしで増えないので行く店がない。
30代	女	地元の商店街は閉店しているお店が多く、本当に寂しい状態です。各所に直売所などが増えてきていますので、色々な直売所が商店街で出店すれば、商店街にも賑わいが戻るのではないかと思います。（高知市のひろめ市場のような商店街）
30代	女	車で行かなくても買物がしたい。文房具や本屋が近くに欲しい。
30代	女	地元の農家や漁師さんの直販店を多く利用するようにしています。スーパーなどは品揃えも多く便利ではありますが、地産地消を考えると直販店を多く利用した方が地元にとっては良い事だと思うので。景気が悪くて値が張る物はちょっと手が出ないですが、安全な食生活を保ちたい主婦としては、少し値段が高くても良質な物を食べさせてあげたいと思います。 高知県全体の生活水準が上がれば地産地消がどんどん進むと思います。県外客も重要ですが、まず地元を見ることが大切なのではないでしょうか。
40代	男	地元で採れた農産物を地元で消費しよう、支えようという意識を県民の多くが持てるようになればいいと思う。
40代	女	安心、安全な食べものを手軽に買えるといいです。でもフルタイムで仕事をしているので時間をかけての買物ができません。どうしてもインターネットでの買物に頼ってしまいがちです。余裕のある生活を送れたらいいのですが、理想と現実は違います。 地元の物をもっと買うようにしたいとは考えています。

■宿毛市（続き）

40代	女	店がたくさんありすぎて買物に迷うときがあります。 大型店の出店により店を止める人も出てくる。大型店がありすぎるのも良くないと思います。
40代	女	①近くで何でも揃う店、コンビニ等があればいい。 ②駐車場内や店舗から車までの安全対策をしっかりしてほしい。
40代	女	地元に商店が無いので高齢になったとき不安。バスも通っていない。
40代	女	宿毛に引っ越してきて3年半ですが、商店街はシャッターが閉り活気というものが全くなく、寂しいところだなと感じました。スーパー、ドラッグストアなどは割と充実しており、暮らしやすさにはあります。整形外科などの専門病院が少なく不便です。
50代	男	地元の商店街は活気が無いので、もう少し工夫して活気づけて欲しい。スーパーの惣菜もマンネリ化しているので、新しいものを作る努力をして欲しい。
50代	男	イベントの際等に、きびなごを少量無料で配布したら味を知ってもらえていいと思う。
50代	男	インターネットなどで買物ができるようになり、地元での消費が減り、人口が減り、収入が減りで厳しい時代になってきています。地域に元気が出るよう、特徴を出せる所は特徴を出し、出せない所は知恵を出し、時代に逆行せず良い方法を考えることが求められていると思います。
50代	女	大型スーパーは人が多くて落ち着かないので、小さな商店で鮮魚、野菜、肉等、日々の買物ができればいいと思います。しかし小さな商店は客が少なく品物の回転が悪いので、品数、鮮度とも悪くなり、結局大型スーパーに行ってしまう。小さな商店も色々工夫を凝らして頑張してほしいと思います。
50代	女	人口2万という小さな町で商業の活性化を図るということは非常に困難な事であると思う。しかし今のままでは地元の商売人は苦しさから抜け出すことができない。地元の間人が力を合わせ、何かを考え、一体化し、宿毛市全体の活性化を考えていかなければならないと思う。
50代	女	地産地消の徹底を願う。
50代	女	だんだん買物する所が無くなっている。以前大阪に住んでいたのによけい不便を感じる。
50代	女	大型店ばかり多くても、自分達高齢者にとっては不便。店がありすぎ。
50代	女	全国から人を呼べる特産品や魅力ある市を作してほしい。

■宿毛市（続き）

50代	女	車で出掛ける人が多くなってきたことで、遠くても駐車場が整備されている大型店で買物する人が増えてきたような気がする。品揃えなど様々な要因により、個個人が買物先の多様化に対応する必要がでてきた。しかし高齢になると出向が難しくなってくる。これらの問題を考えてもらえれば、活路も見出されるのではないのでしょうか。
50代	女	仕事帰りに買物することが多いので、どうしても遅くまで開いているスーパーに寄ることが多いです。何でも揃っている便利な方を選んでしまう傾向があると思います。
60代	男	大型店がありすぎ。簡単に許可するから地元の商店がなくなっていく悪循環。値段が高くて良いもの、地元のものを買っていきたい。使いすての時代は好ましくない。安かろう悪かろうではダメ。
60代	男	安くて新鮮な商品を売ってもらえればいい。
60代	男	大型店に太刀打ちできないので、宿毛で商売をする人はいない。
60代	男	昔の商店街が復活してほしい。
60代	男	今の所買物に支障はない。しかし私の周囲では、これから先高齢になる者が多く、高齢者中心の生活になることが予想されます。車が利用できなくなると買物も困難になるので、移動販売等が必要になってくるでしょう。
60代	男	商店街の復活を願う。店がない。
60代	女	グループホームに勤務しているが、職場でも県内のものを使うようにしている。
60代	女	家の近くに商店があれば、高齢の方にとっても、少し足りないものがあつた場合にも便利。地元には店も飲食店もない。
60代	女	市の人口に対して、商店、大型店、コンビニ等、多くありますので、消費者として非常に助かっています。
60代	女	宿毛市にしかない特産物（加工品）があつたらいい。
60代	女	地元で生まれた中小企業が姿を消し、商店街はシャッター街となってしまった地方。郊外には大型店が林立し、大型店同士も激しい競い合いの日々、日本はどこに行っても同じような店、町づくりが見られる。時代が進むということは、人間らしい町並み、人と人の触れ合いが消失していくことだというのなら、「時代よ進むなかれ」と叫びたい。価格破壊、規制緩和に歯止めがかからない経済体制の中で、小さな商店は生き残っていけない。高齢者がいくら商店は必要と言っても、価格の安さを人々が求める限り、町の商店は消えていくしかない。結局は人の心の在り方、小さな商店も残そうという思いで、時折は足を運ぶ人が増えていくことを願う。

■宿毛市（続き）

60代	女	商店街に行っても店がない。空き店舗がないように努力して欲しい。土曜夜市や日曜日なども企画すればいいと思う。
60代	女	電器製品を販売する店舗が少ないので、できたらいいと思います。
60代	女	今は車に乗れるが、乗れなくなった時に困ると思う。バスの路線もないので、地元に住む高齢者は大変だと思う。 愛媛県では以前、1人数万円ほどタクシーチケットの配布があり、現在では小型バスが出ている。
60代	女	大型店の方が気楽に買物できるので、ついつい行ってしまう。個人商店でも、1つの店で何でも揃い、駐車場があれば行くと思う。
60代	女	特に食料品については、なるべく安全なものを提供してほしいと思っています。
60代	女	地元の人知らない宿毛の偉人をPRして、もっと観光客を呼べるようになるといいと思う。
60代	女	高知県、特に宿毛市の人口増加を望み、地産地消が全域に定着するよう願います。そして価格が安く、新鮮で安全な物が買えるよう、農林漁業が栄えることを切に願います。
60代	女	人が集まる場所は大型店ばかり。地元の商店にも人が集まる何かがあればいい。
60代	女	スーパーにも地元の生産者が作った商品があるのはいい。
70代	男	高速道路の早期完成。バスの便数増加。
70代	男	若者が地元に残れるようにしなければ地方はだめです。 近くのスーパーは古いものが平気で売られている。新鮮なものは都会に卸されてばかりで残念。
70代	女	地方の人口がこれほど少なくなってくると、町も商店も立ち行かなくなります。何とか若者が働ける場を作ってやりたい。 今からの若者に大切なことは食の安全です。地産地消の徹底と消毒薬を体に入れない工夫、若くて元気なうちは何とも思わないけど、蓄積された数年後を考えて気をつけて欲しい。
70代	女	地元の商店は2、3店開いていますが、毎日必要なものを買う店やスーパーなどが無く、高齢になると毎日の食事に困ります。 今は宅配を週に2回、そして時々バスでスーパーまで出掛けています。 近場にお店があれば毎日が楽しいと思います。 バスの路線もない場所は大変だと思います。 だんだんと町が寂れて行くのが目に見え、残念です。

■宿毛市（続き）

70代	女	平成9年から市道にバスが来なくなったので不便。スクールバスしか来ていない。
70代	女	価格がもっと安くなれば生活が楽になる。
70代	女	バスの本数が少ないのであまり出て行かない。免許がないので不便。
70代	女	①田舎は人がいないので、店がなく欲しいものが揃わない。 ②高齢になると、なるべく近くで買物したい。
70代	女	安全、安心な商品の提供、高齢者の移動手段の確保をしなければ、宿毛に商店街はなくなる。
70代	女	車に乗れないので、移動手段がほしい。
70代	女	人口の減少で何をしても無駄。町中に1つ大きな店があったらいい。
70代	未回答	中心市街地以外に店が少ない。書店、100円ショップがあれば便利。今は自分で動けるのでいいが、動けなくなった時には何か考えなくてはいけない。
80代以上	男	商店をしているが、仕入れ値よりも安い値段で同じ商品を買っている大型店には太刀打ちできない。売ったら売っただけ損をする。自分達も大型店で買った方が安い商品がある。商売にならない。
80代以上	男	県産品を分かりやすく表示、展示して欲しい。
80代以上	女	近くにお店がない。移動販売が来たら商品を見て買えるのでいい。
80代以上	女	私は商店街の真中に住んでいますが、商店はほとんどなくなりました。かつて買物は近くですべて整い、気心の知れたお店で、会話を楽しみながら日々の生活が成り立っていました。やがて商店街にスーパーができ、個人商店が少しずつなくなっていきました。次は大型のスーパーが郊外にでき、すべての商品がそこで整うようになりました。近所にあった豆腐屋も八百屋も洋品店も、本屋もなくなり、いやでも郊外まで買物にいかなければなりません。確かに安く便利な面はありますが、会話はなく、沢山の人がざろざろ行きかう姿に親しみはなく、レジの店員さんの言葉はまるで機械のようで心が伝わりません。80歳のひとり暮らしでは自転車に乗るのも危ないので、歩くのもやっとの道のりを買物に行っています。 イベントも郊外にうつり、自動車に乗れないと楽しみにも参加できません。若い人達には便利で楽しい時代になってとてもよいと思いますが、高齢者にはきびしい時代になりました。でもできるだけ自分で見て、欲しい物を買って、健康を維持して暮らしたいと願っております。
80代以上	女	宅配サービスがあるので生活が成り立っている。
80代以上	女	地元産品を盛り上げてがんばって欲しい。

■大月町（10件）

50代	女	自家用車で宿毛まで行けば、良品、安価な品物があるので、現在不便は感じませんが、高齢になり車に乗れなくなったとき不便を感じると思います。
50代	女	地元の商店は品数が少なく必要な物を備えられませんが、私は車で買物に出かけますので特に不自由は感じません。しかし自分が車に乗れなくなったら不自由な生活になるだろうと思います。
50代	女	とにかく問題の原点は人口にあると思います。経営する立場から言えば、都会並の品揃えや価格は薄利多売で成り立つので、地方ではとても無理でしょう。他県や他市町村の新参業社に圧迫されて、商売をやめる店が出ないよう祈るだけです。 働く場所を増やし住む所があれば解決できます。生産性のある町にしないと、この町自体がなくなると思うのですが。
50代	女	近くにスーパーがない。食料品はなるべく地元で買えればと思う。
50代	女	品揃えがあれば地元で買物をすませたいが、やはり町外に出て行くことが多い。
60代	男	地元で買物をしたいと思わない。高齢者が多いから働くところもなく、車のある人は皆30分～1時間かけても安いものがある所へ出かける。移動手段のない人だけが地元で買う。
60代	女	私達の住んでいる地元はお店が1軒ありません。一番近いお店までは車で15分かかります。しかしそこでも全て揃わないので、30分かけてさらに遠くの大型スーパーへ出かけます。本当に不便なところです。高齢者が多く、人も年々減少して地元のお店は成り立たないのだと思います。
60代	女	地元には商店が1軒あるのですが、若い人達は大型スーパーへ買物に行くので、商品の回転が遅く、どうしても商品が古くなります。 地元なのでとても便利なのですが、そういう理由で利用しないです。
70代	女	住みよい町づくりをお願いします。
70代	女	小さな町なので無理かと思いますが、町外へ行かなくても町内で、少しでも多くの商品が買えると便利です。宿毛まで買物に行くことが多くあります。無理なことですが、ちょっと気に止めていただければ幸いです。

■三原村（4件）

50代	女	食料品店が今年閉店し、肉、野菜、調味料など食品の購入がむずかしくなりました。車を運転できる者は近隣の町へ買物に行けますが、運転できない方達は大変困難な状態になっています。移動販売が来ていますが、それも週に2回くらいと少なく、数軒ある商店も品揃えは良くありません。何かいい対策、アイデアがないものかと思案しています。
60代	男	地元にスーパーが無くなったので、コンビニがあれば便利だと思う。
70代	男	製造業は自分で値段を決められるが、百姓は販売者が値段を決めるため、自分が望む金額で売れない。生産者が価格を決められるようお願いしたい。
70代	女	地元に商店があれば一番いい。近くに店がなくなったので少し不便。

【嶺北地域の地区別自由意見】

■本山町（18件）

30代	男	本山町は良心市も多くとてもよいと思います。住みやすいし、大型スーパーよりも安全な野菜を安く購入できます。衣料品店が少ないので、高知市のショッピングモールなどに行きます。
50代	男	山間地域は過疎化で仕方がないが、商店は廃業して少なくなり価格も高い。商店が無くなれば、高齢者は買物できなくなり、ますます過疎化に拍車がかかる状態である。行政はそういう商店にこそ補助金を交付すべきではないか。
50代	男	日常の買物以外は高知市のショッピングモールや帯屋町に出掛けます。ショッピングモール内には映画館もあり便利で、家族連れにはとても楽しい所ですが、中高年の女性にとっては洋服などあまり適当なお店がありません。帯屋町はそのあたりの客層を重点的に引き付ける工夫をしてはどうでしょう。もちろん駐車場など、改善すべきところは改善し、中高年が楽しく買物できる街にすればいいと思います。県産品が色々出回るのはいいいことだと思いますが、重複するものが多いと思います。
50代	男	県内一次産業に力を入れてほしい。
50代	女	すぐ必要な品物は近くの店で購入できています。市内に買物に行くことも度々あります。目移りするほどあって困ったこともありました。買物は気晴らしにもなっています。
60代	男	地産外商をすすめる。嶺北でも冬の産業をなんとかしてほしい。本山町に企業を誘致すれば人が集い商業も活気付くのでは。
60代	男	高知は田舎なので、県内産業発展のためもっと開発してほしい。〈例〉映画館が一極化してしまい、もし現存の大型ショッピングモールが映画事業から手を引けば高知には映画館がなくなる。もし大型店等がなくなれば高知の商業はどうなるかを考えてほしい。
60代	男	地産地消について。地元産をPRしてもらいたい。
60代	女	田舎の商店街をいかに活性化するかを考えてほしい。若者が地元に残ってほしい。
70代	男	国産品が安心できる。
70代	女	農林業や商店街のような小さい商業をもっと支援してほしい。スーパーと同じ仕入値で商店にも商品を入れてほしい。役所の方たちも商店の利用に協力してほしい。
70代	女	地元商店の接客マナーを改善してほしい。

■本山町（続き）

80代以上	男	移動手段が徒歩のみなので、行動範囲が限られている。移動販売、宅配など、高齢者にとって便利なシステム作りをしてもらいたい。
80代以上	男	スーパーの店員は私語が多いため不快だ。
80代以上	男	県内自給率を上げるため、もっと県や国に頑張ってもらいたい。
80代以上	女	人口減少のため寂れて行くのは仕方が無い。個人商店も大変だと思う。 買物は主に生協を利用している。少々高いと思うものもあるが、宅配してもらっているので便利です。地元で買物しなくてはいけないと思っていますが、年齢的にも出かけるのが億劫になりました。
80代以上	女	本山産の商品のPRをもっとがんばってほしい。
80代以上	女	買物時の移動手段であるバスを低床にしてもらい、高齢者にも乗りやすくしてほしい。

■大豊町（15件）

40代	男	雑誌などはどこでも買えるが、実用書や小説などは手にとって選びます。たくさんの本が揃う大型店が便利です。いなかこそ活字が必要。
40代	男	灯油、ガソリンなどは川之江、阿波池田の方が安く、そちらで購入している。 高知市内や南国市内へ行くよりも、土日は高速代が安くなるので川之江に行っている。以前移動販売が来ていたが、地元の商店の売上が落ちるといった苦情が出たため来なくなった。高齢者はその地元商店のみで買物している。
50代	女	人口減少の著しい中で、経営に対するお店の方の苦しさも分かるし、存続していることに感謝しているが、不便さは否めず、つい生協や高知市内へ出掛けたときに買物することが多いです。大豊町には商店街と呼べる所は無いと思います。 大杉地区、穴内地区、大田口地区、豊永地区には品揃えの期待できる商店があります。この4店がなければ高知市内へ出掛けなければならず不便になるでしょう。
50代	女	いつかは必要になるので商店は守ってほしい。嶺北に店がなくなるとやはり困る。
60代	女	食料品は正しい表示をしてほしい。

■ 大豊町（続き）

60代	女	今後ますます高齢化が進み車の運転ができなくなったとき、食料品、その他の日用品の入手が困難になるのではないかと不安を感じている。
70代	男	嶺北地域は企業がないので商店の経営がなりたたない。
70代	男	身体に障害があるので、身体障害者用のトイレをもっと広域につくってほしい。
70代	女	高齢のため、病院が近くにあればいいと思う。
70代	女	品揃えを充実してほしい。
70代	女	バスの便数が少ないため、もう少し便数を増やしてほしい。時間帯も合わない。
70代	女	生産者としては、高知県産品をPRしてほしい。
80代以上	男	人口が少ないので発展しない。小学校の運動服製造の仕事を地元の商店にまわしてほしい。
80代以上	女	過疎で高齢者ばかりなので、地元のスーパーに多くは望めない。
80代以上	男	足が悪く車の運転もしないので、買物に行くことが困難。町内の買物バスもあるが、自宅の前まで来てくれるわけではないので、あまり使っていない。時々訪ねて来る親類に助けられ何とか生活しているが、日常生活、特に買物に関しては大変不自由をしている。家の近くに、小さくてもいいので品揃えのある商店がほしい。移動販売も近所まで来てくれると助かる。

■ 土佐町（17件）

20代	男	近くにコンビニ等が無いのでとても不便です。田舎なので買物にも片道1時間かかり不便。でも人は温かい。
20代	女	①土佐町内の商店街やスーパーに、子供といっしょに行って楽しめる公園を整備してほしい。 ②価格の安い大型店に来てもらいたい。
30代	女	地元での買物で揃わない物や欲しい物は、高知市内の大型ショッピングセンター、ドラッグストア、インターネットショッピングで買います。近くで何でも手に入れば嬉しいです。地元のお店はサービスや接客に不満がある。食品などすぐ必要な物以外あまり利用したくない。ドラッグストアや複合型ショッピングセンターができればいいと思います。

■土佐町（続き）

40代	女	町内での買物には、価格や品揃えの面で限界がある。市内まで1時間で行けるので、つい市内で買物してしまう。大豊インターを下りた辺りに大型店を誘致したら、県内外からも人々が集まると思う。地元の商店では地元の人も買わなくなると思う。
40代	女	嶺北地域にも大型店があればいい。
50代	男	旬の時期においしいものを提供できて品揃えが豊富なこと、揃ってなくても流通ルートが確立していて早く取り寄せが出来ることが重要。そのための地産地消。可能な物をできる限り考えて揃え、無い物は確かなルートで品揃えを図る。
50代	女	お土産には『香り米』『はぶ茶』を選んでいきます。県外には香り米がないのか、喜んでもらえます。はぶ茶もとてもおいしいです。多く買ってもらえるといいですね。
50代	女	現在は自分で自家用車に乗って買物に行けますが、年齢を重ねて体が不自由になると買物に困ってしまいます。その時には宅配サービスを利用したいと思います。田舎ほど不便な事が多いと思います。
50代	女	嶺北地域の物を地産地消できればいい。
60代	男	①公務員に地元の商業を利用してもらいたい。 ②町内に足の不自由な高齢者のことを考えた駐車場を作ってほしい。
60代	女	生産者側の意見として、県はもっと地産地消に力を入れてほしい。地元の商店街を利用してほしい。
70代	男	地元は物価が高く品揃えが充実していないので、高知市まで行って買物してしまう。高知市内での買物は駐車場がある所を選ぶ。帯屋町には駐車場が無いので、最近買物ができない。
70代	男	高知県産の牛肉がもっと高く評価されるようにしてもらいたい。より品質をランクアップするため、県は畜産者を優遇してもらいたい。
70代	男	時々果物から農薬の臭いがする。加工食品を食べたとき農薬の臭いが口の中に広がった。
70代	女	農産物を卸す際、JAに払うマージンを少なくしたら高知県産品が安くなるのでは。
70代	女	地元では必要なものが揃わないので、高知市内で買物してしまう。婦人服（呉服含む）は地元のお店を大切にしていきたい。アフターサービスが良く、寸法のデータも地元の店にあるため。
70代	女	農家独自で作物を売出したいので、県がもっと力添えをしてほしい。

■大川村（2件）

20代	男	<p>①高知にはおいしい食べ物がたくさんあるが、宣伝が上手ではないので他県と比べて有名でないと思う。</p> <p>②高知市内は小売店が密集していて需要と供給のバランスがあっていない感じがする。</p>
60代	女	<p>①消費税が上がってからすべての品物が便乗値上げされた。品物の量が減って値上がった。</p> <p>②街のスーパーへの送迎用バスを官民が一体となって運行してほしい。帰りの荷物を考えると交通手段が充実してほしい。</p>

## 【高知市の地区別自由意見】

### ■旭街（42件）

20代	男	大型スーパー内の店舗がどんどん少なくなっているのので、新しいお店に入ってもらって元気を取り戻してほしいです。
20代	男	高知は就業場所が少なすぎる。この状況では若年者が出て行く一方。
20代	男	①営業時間を長く。 ②大型店ができれば便利。
20代	女	とにかく子供と一緒にでもゆっくり見て回れ(トイレ等がある)、駐車場があり、買物に焦らなくてすむこと。休める場所を作るとなご良い。
30代	男	①高知市郊外の道路を整備し、中心部への交通量を少なくするようにすると中心部への買物客が減少するのは自然なこと。その上に中心部活性化を進めるのは二重の投資になるのではないか。 ②県東部は団体客を呼べる施設、受け入れ体制が良くないため、西部に比べると活気が無い。東部地区への団体客呼び込み方法を考えるべき。観光素材があっても駐車場、売店が少ない。 ③高知市弥右衛門地区の田畑を造成し、現況まで都市化を進めておき、今頃地産地消を言い出すのは場当たりのことである。農業を行うより、農地を売り宅地にした方が利益になる方向へ進んでいく気がします。農業地開発を減少するべき。
30代	男	帯屋町の活性化、地元の有名なものをもっと紹介してもらいたい。
30代	男	小さな子供と一緒にでもゆっくりと見られる商品配列、スペースが必要では。大型店（スーパー等）で地産地消商品の取扱を増して欲しい。中途半端な規模等での活動、施設ではなく、おもいきったことをしないと商店街は衰退していく一方では？
30代	女	帯屋町周辺の寂れがとても悲しい。もっと活気のある中心街にしてほしい。
30代	女	高知県は車社会です。車で移動することが多い人がほとんどだと考え、その整備をすることが商店街への客の戻りにつながるのではと思う。ショッピングモール等に客をとられるのは、パーキングの問題が多いと思う。日曜市等全国的にも有名で、特色ある市に地元の人が行きやすい環境づくりが必要ではないかと思う。県外客への駐車場の斡旋に力をそそいでいるが、地元の人の方こそ大切にすべきではないだろうか。
30代	女	帯屋町にもっと魅力的なお店を増やしてほしい。郊外の大型ショッピングモールは平日でも人が多いですが、商品を買っている人は少ないと思います。

■ 旭街（続き）

30代	女	中心商業地、その他の商店街の駐車場料金のサービスを広げて欲しい。サービスを行っていない店舗があったり、購入代金2,000円以上という条件があるので利用しにくい。
30代	女	地産地消はとても良いこと。高知の食材はよく買っている方だと思います。 商店街にもっと活気があると良いのにはと思います。徒歩や公共交通の時はよく行きますが、駐車場がもっと多いといいと思います。
40代	男	費用対効果はすごく大切であるが、高齢者の多い県で交通機関も未発達のため大型店と商店街、小売業すべてを守ることはできず、大型店へのある程度の規制、商店街、小売業の方もある程度の縮小は大切である。しかし身近に商店も必要。街のバランスを保つため、商店街などに間接的な秩序又は規制緩和も必要でないかと思います。
40代	男	町に活気がない。テーマパークを作ってはどうか。
40代	男	①全国の成功事例を見習う。 ②ショッピングモールとの差別化。
40代	男	品揃え、駐車場等の利便性どれをとっても県外から進出の大手スーパー等にはかなわない状況である。近所の方が買物に来てくれるといった昔ながらの移動手段も車が主流となり、形態が変わってきている。商店街自体も遠くの客が足を運べるような工夫が必要。個人個人の商店ではあるが、ショッピングセンター化するような形にもっていかないと生き残りが困難と思われる。
40代	女	帯屋町筋に活気がなく閉店している店もあり寂しい。県全体の商業についてもどのような状況なのかあまり分からない。
40代	女	商店街に頑張ってほしい。ショッピングモールは駐車場も便利で楽しいけれど、服や靴を買おうとは思いません。やはり、商店街のお店が個性を持って頑張ってほしい。駐車場が無料なら言うことないのに。
50代	男	市の中心商店街は、最近活気がなくなっている。デパートの売出しの際には出掛けるが、それ以外はあまり行く所がない。追手前小学校の跡地に立派な図書館と駐車場を整備して、市内外からも多くの人を呼んで欲しい。市中心部の大型スーパー跡地に再び大型店ができれば、さらに活性化につながると思う。
50代	男	どうしても価格重視になり、大型店や専門店に買物に行ってしまう。
50代	男	夜遅くまで仕事しているので営業時間を長くしてほしい。

■旭街（続き）

50代	女	県内に百貨店が1カ所しかないため、贈り物などの選択肢が少なくブランド商品については県外に行くしかない。地元の商品だけの通販（インターネット含む）があれば購入意欲も出るが、酒、米などの食料品は県外の特産品を購入することになってしまう。
50代	女	普段の洋服は近くで買いますが、スーツ、靴、バッグはデパートか帯屋町で買うので、店が無くなったらと心配しています。
50代	女	福井、横内地区に食料品、家電、ファッション関係の大型店があれば良いと思います。
50代	女	旭駅前には駐車場が無いので、路上駐車がが多くスーパー前は自転車があふれている。土曜日は特にひどいので駐車場があれば良いと思う。
60代	男	中心商店街について（帯屋町）・・・ショッピングモールなどに比べて魅力に乏しく行く楽しみが少ない。ゲームセンター、パチンコ店の前の自転車が邪魔。アーケード内を走行する自転車は子供や高齢者にとって危険。特に学生が多いと思う（一般人も多いが）。時々某中学校が声かけをしているが、そのときのみで効果はない。そのため、感想としては“田舎の商店街”（悪い意味で）という感じで、県都の商店街としては寂しい。売上減のリスクがあるため実現は厳しいかもしれないが、自転車全面禁止も検討してほしい。その後、アイデアを出して舗道を何か楽しめる空間に展開してほしい。安心して歩ける帯屋町、楽しい帯屋町に。せっかく高知城があるのだから、ひろめ市場と共に御城下らしい商店街ができないだろうか。
60代	女	古くからあるお店、新しいお店、両方が存在する魅力ある商店街にして欲しい。
60代	女	中心商業地に活気がなく寂しい。本当に手に入れたい良いものを（特に衣料品）置く店を作って欲しい。
60代	女	時々バス旅行をしますが、お土産を買う人の多さに驚く。高知の団体客が入ればお店が喜ぶとも聞く。自分自身はできるだけ地元でと思って県外での買物は控えている。逆に言えば観光バスが入り、買いたいと思わせる品揃えが大事と思う。
60代	女	中心商店街でイベントをすれば、それだけの目的で人が集まることも多いと思う。店も魅力や個性のある、買いたいと思わせる商品の販売に力を入れてほしい。一見いつも同じ商品しかないように思う。また昔からの店は、プライドの高さを感じる。
60代	女	『地産地消』をもっと推進していき、高知を少しでも元気に活性化していけたらと思っています。

■旭街（続き）

60代	女	高知県産品をもっと多く置く。
60代	女	駐車場の整備が必要。帯屋町商店街も無料駐車場がほしい。
70代	男	民間の人を入れ、商業面の開発。人材面の発掘。 総合店とは、銀行、病院、役所等そこに行けば生活に必要なことが全てできる場所の事です。商店街もそうでなければ、利便性のある所に行くようになります。
70代	男	「地産地消」が言葉だけで終わらないように、地元(業者、消費者)と行政が連携して組織作りに力を入れ発展していくことを願っています。
70代	男	地産地消を推進するには距離のハンデを克服し、県産品を容易に日帰りで購入できるよう、県の東西道路(高速道)の早期整備が必要と思います。
70代	男	・はりまや橋近辺の活性化を希望します。そのためには商業イベント以外の日の賑わいも必要。夕方から夜はアーケード内がこわいほど静かなのが残念。 ・商業地での図書館の合築について。本を借り、生ものを買って一緒に持ち帰ったら、匂い等が本に移ったり汁がついたりするのではないのでしょうか。細かいことから大きいことまで考えても反対です。予算的に考えて安上りというだけで、長期的に見て本当に安いでしょうか。
80代以上	男	県内産品、県内（地元）の商品を多く扱ってほしい。安全な品を扱ってほしい。
80代以上	男	直販所や農協は新鮮な品が安く手に入るのでよく使っている。商店街なども地元産品の販売に力を入れるようにすればお客さんが増えるのでは。
80代以上	女	住んでいる所は不便。食料品関係の店が増えてほしい。
80代以上	女	自転車で買物に行くが、道がよくないので路面の整備をよくしてもらいたいと思う。高知商業高校附近にもスーパーがあればいいのにと前々から思っていました。
80代以上	女	家族が自分のかわりに買物に行ってくれるので不自由はないが、一人暮らしの高齢者にとっては大変不便だと思う。御用聞きや宅配サービスがあれば、利用する人も少なくないと思う。

■上街（14件）

20代	男	<p>①今は龍馬ブームで商店街などが活性化しているが、今後に向けての取り組みや気遣いがなされてない。（鰹のタタキが冷凍のまま出される。ビールジョッキや食器類が生臭くきちんと洗えてないなど）</p> <p>②年輩の観光ボランティアの方々が大変生き生きと働いていてくれるのが気持ち良い。健康のためにもなるので、時間やお金に余裕のある高齢者がもっと参加できるシステムをつくるべき。</p>
30代	女	<p>《転勤で高知に来て思ったこと》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜日に休みの店が多い。</li> <li>・店が設備投資をしていないのか、古いお店が多い。</li> <li>・帯屋町の店が閉まる時間が早い。</li> <li>・おしゃれな飲食店が少ない。</li> <li>・若者向けの衣料品店が少ない。</li> <li>・商店街の街灯が暗い。</li> <li>・品揃えが非常に悪い。</li> </ul> <p>こういった理由で購買意欲が下がった。町全体の品揃えが悪いため、地元（松山）に帰ると購買意欲が上がる。特に値の張る商品は松山で探している。郊外のショッピングモールにも時々行くが、大して買いたいもの、いい物が無い。ただ高知の生鮮食品は、新鮮で美味しい物がスーパーに揃っていて、しかも安い。産直の店や、市（木曜市など）で、安く食材が入手できるのが非常に有難い。けれどそういう店は閉まるのが早いためなかなか足を運ぶことがない。大通り沿いの店は渋滞や道路事情が悪いので入り難い。卸団地のようなおしゃれな商業地域がもっと増えれば良いと思う。</p>
30代	女	<p>中心商店街は、ある程度買物をしないと駐車場代が必要なので、あまり行かなくなりました。ベビーカーでの買物、ウィンドウショッピングは非常に不便なので、どうしても大型店に行ってしまう。</p>
40代	男	<p>もっとPRをうまくすれば町おこしできると思います。</p>
40代	女	<p>県外から高知に帰ってきて10年。公園や道路、町が綺麗になりましたね。10年前、帰った頃は「他県に比べてどうして高知の公園や町は整備されてないのか」と思ったことでした。現在では目的地まで気持ち良く行き帰りしています。美しい町だと「買物に行こう！外出しよう！」という気持ちになるのではないかと思います。物価の問題も当然ありますが、外出すれば嫌でもお金を使うことになります。</p>
40代	女	<p>上町周辺にスーパーがあれば良い。</p>

■上街（続き）

50代	男	地元商店街は防犯などの面からみても存続して欲しい。地元商店街でボランティアなどに協力している人も多いので、その人たちがこれからも活動を続けられるようにしてほしい。
50代	男	地産地消について。 高知産の鰹は、飲食店や高値で売れる他県に流出しているためか、地元のスーパー等であまり見かけないような気がします。
50代	女	帯屋町が昔のように賑やかになるよう努力してほしいと思います。
60代	女	県全体が高齢化に向いているので、大型店よりは地元の商店が活性化できるような政策を望む。病院も同じく大病院ばかりじゃない。大型化、一部の企業、一部の人のための政策ではなく、広く県民のための政策を考えてほしい。
60代	女	若い人が地元の商店で買物をし、地元で商店を経営してほしい。現在商店街を支えているのは高齢者で、今後さらに衰退していくことが心配である。
60代	女	県外から高知空港に帰り着き、バスに乗るのですが、窓から見える高知の町の活気のなさを寂しく思います。どんどん衰退していています。帯屋町に行っても同様です。
80代以上	女	①地元スーパーで医薬品の販売をして欲しい。または近くにドラッグストアがほしい。 ②惣菜類の並べ方を見やすく、買いたくなるように考えて欲しい。販売する惣菜の種類も増やしてほしい。
80代以上	女	店舗の誘致、商店街の開発以前の問題。人口が少なく活気がないので仕方ない。

■小高坂（14件）

20代	女	高齢化率が全国上位にある高知県で、もう少し高齢者にやさしい買物の場や方法があればと強く感じます。きっと不便さを感じている高齢者の方はたくさんいらっしゃると思います。高齢者にやさしい社会（環境）は誰にとっても住みやすい（生きやすい）はずだと思います。
30代	男	家の近くの商店街よりも、車で行けて一回で買物が終わる方が少々離れていても便利で利用しやすい。

■ 小高坂（続き）

30代	女	これだけ不景気なので仕方ないかもしれませんが、シャッターの下りた店舗が多すぎます。特に一番大きな商店街である帯屋町があんな状態だと救いようがないです。大型店等も少なすぎます。欲しいものも手に入らず、結局インターネットや県外へ買物に出かけるしかなくなります。そうすると、また店がつぶれ悪循環です。再開発や誘致等、県や市がもっと力を入れるべきでは。
30代	女	少子化、高齢化の折、地元の商店街に活気があり、本当に地元に着密していけば、地域の活性化と共に子供がすごしやすい町になり、親も近所の人々とのコミュニケーションがとれるし、高齢者の寂しさもなくなるのではと思います。ショッピングモールやデパートもいいけど、やっぱり地元がにぎやかなのが一番です。
30代	女	小さな商店はどんどんと縮小され、将来に希望がほとんど持てない状態に陥っている小売店が多くなったように思います。もっと商店街の人達が力を合わせて発展していけるよう工夫すればいいのですが、高齢になりこのままでは意欲が下降していくように思われます。しかし歳のことはあまり考えず、「どうしたら活気づくか」ということを真剣に皆が考えれば、もっともっと末長く頑張れると思います。商店街に空いている駐車場などがあれば、その空いている場所でイベント等を催し、少しでも人が集まる工夫をしていけば、少しずつ活気が出ていき、新しい案も出てくるはずです。下降している商店街には新しい風を起こしてゆくリーダーが必要です。皆どうにかしたいと思いながら、どうしようもないとあきらめてしまう人が多いからです。リーダーが必要です。龍馬のように。
40代	女	最低限の買物には困らないが、「それ以上」を望める店が存在しない。デパートも品揃えが悪く、デパートではないと感じる。
50代	男	新鮮で安全な食料品を近くで買いたい。
50代	女	個人商店の経営者の高齢化が進み、やめていく所が多く、商店街がだんだん寂れてきている。同時に商店街に人が集まらなくなっているように思う。旧商店街のほとんどがそういった状況にあると思う。中心街(帯屋町、大橋通)などもだんだん寂れているようだ。
70代	男	商品と価格の安定した供給が望ましい。県民の平均所得を考えても、ただ売手が利益を追求しているような今の商法は疑問に思う。資本主義、自由経済の形は、本来の人間福祉から外れている。

■ 小高坂（続き）

70代	女	<p>地産の魚、野菜は大変美味。（ただし魚は他県のものや養殖物・解凍物が多くなりがっかり）その日の生鮮食品を購入するため、自転車で片道10分～20分の距離にある3店舗（スーパー中・小型店）を交互に利用している。高齢になると歩いて買物に行くのが困難になると思う。なじみだったデパートもなくなって勝手が悪くなった。電器類は地元の専門店を利用している。大型店の方が安い、馴染みの方が都合がよい。</p> <p>この20年の間に地元の商店や小規模スーパーの多くが閉店し、竹竿1つ買うのも遠くまで出かけなければいけない。</p> <p>その他で不便になったのは、升形の直販店（新鮮野菜が安価）の閉店と、品揃えが豊富なスーパーの閉店である。</p>
80代以上	男	商店街にはパーキングが必要。
80代以上	男	食料品については、鮮度の落ちたものや傷のついた品がないように注意してほしい。
80代以上	女	地産地消は重要。地元のは新鮮で安価、いい取り組みだと思う。
80代以上	女	高齢者の一人住まいです。身内が近くにいるので、なんとかなっていますが、もう少し高齢者にとって住みやすく暮しやすい街になったら良いなと思います。

■ 江ノ口（29件）

20代	女	映画館や服を買う場所をもっと増やして欲しい。
30代	男	<p>県外にお金落ちる場所での買物は気が引けますが、地元で工夫のある店にはよく行きます。もう少し経営努力も必要ではないでしょうか。特に心配なのは市中心部のデパート跡地のパチンコ店。この上なくがっかりです。B級グルメをやってみるのはどうか。</p> <p>どちらにしても観光に力を入れるべきではないでしょうか。（八十八ヶ所の世界遺産化）</p>
40代	男	休みの日などに家族ですごせる場所をもう少し増やしたらどうだろうか。
40代	女	都会のお店に比べて、接客の点で高知では満足しません。買物の中で、お店の人の感じの良さ悪さは大きな比重を占めます。
40代	女	自家用車に乗らない人のために便利な施設。
40代	女	県全体の商業としてレジャーランドがあればいいと思う。

■江ノ口（続き）

40代	女	学校給食や生協の冷凍食品にまで中国産野菜が使われていたとは知らなかった。中国産が問題となってからCOOPを利用しなくなった。喉元過ぎれば消費者の中国産嫌いも薄れて、安さを追求し、安ければ外国産は当たり前になってきている。再び食の安全性が失われる事態がおきても「またか」で済んでしまいかねない。関税がなくなれば外国産は安くなる分、国産は高くなる恐れもあり、益々地産地消が必須となるであろう。米・卵・牛肉・野菜など農産物の国産品をスーパーなどが減らし外国産の占める割合が高くないように求めたい。
40代	女	地元商店街の再活性化を望む。
50代	男	地元の品を手に入れやすい工夫が是非必要。観光の面から考えても、例えば大型の直販所を中心街に作ってほしい。
50代	男	①商店街の不便さを解消するには、駐車場、駐輪場の整備。行きやすく買いやすい、商品を見やすい雰囲気作り。商店街の雰囲気自体が暗い。街路灯やアーケードの整備が必要。 ②中心商店等では閉店が早すぎる。県外からの観光客が、夜出歩くのに退屈では。 ③観光客が増えたことに伴い、観光名店付近の交通整備等に気をつけてほしい。 ④路面電車の車内などに帯屋町商店街の飲食店等のチラシを置いておく。また来たいという街づくりを目指してほしい。
50代	男	子供が農業高校に通学していた。学校で毎月1回開催する、高農フェスティバル(学校で作った作物や、肉の加工品、花等販売)が人気で、いつも売り切れごめん。たくさんの地域の人に来てくれました。海洋高校の魚の缶詰や干物もそうらしいです。高知のユズも各メーカーがポン酢を出して頑張っています。直売店や良心市、道の駅によく行きますが、午後には品数が少ないです。安くて安心、新鮮なものは皆知っているからです。地元も個店が多いですが、特性のある店が集まって大型店に負けない商店街作りを願う。
50代	女	帯屋町筋、はりまや橋近辺の活性化。
50代	女	小さくてもいいので近くにスーパーができてほしい。銀行もATMはあるが窓口用事がある時はとても不便。高齢者は大変だと思う。
50代	女	大型店が増えている今日、個店が生き残るには努力が必要。閉店する店が多い商店街においても、工夫を凝らして上手に経営している店舗が確かに存在する。行政の商店街に対する保護にも限界があるので、最も重要なのは、個店の努力、アイデアだと思う。

■江ノ口（続き）

50代	女	アウトレットのお店ができれば良いと思う。
50代	女	愛宕商店街がシャッター街になりつつあるのではないかと、地元民としては心配です。しかし、駐車場のない商店は、今後生き残りが難しいと思われまます。自宅近くに大型ショッピングモールがあるので、そこで休日に買物をする事が多く、帰りに秦南のドラッグストアや蕪野のホームセンターで医薬品や園芸品を買っています。商店街は、一度入店すると断りにくいような気がして、気軽には入れません。
60代	男	酒や米、薬などをコンビニや大型店で販売するようになって以来、小売店は経営が厳しくなった。もはや商店街、小売店の存続は困難。
60代	男	愛宕商店街にスーパーがほしい。
60代	男	高知県は果物の名産が多いですが、進物用として売られていることが多い。地元の方がもっと買いやすいように、少量ずつ売るなどしてほしい。高知県には、老舗の菓子店があるが、各名店の品を高知駅とか空港で、名店街を作って販売してはどうかと思う。
60代	女	商店街に活気がなく、駐車場になった土地や空き店舗が多くて寂しいかぎりです。スーパーでもできれば人がもどってくるのでは・・・
60代	女	帯屋町商店街の大型スーパーが無くなって寂しいです。跡地に公共施設を作るよりも、以前のようなスーパーが入ると帯屋町がにぎやかな街になるのではないのでしょうか。これからは年配者も若い人も「帯ぶら」できるような賑わいのある街づくりをすべきだと思います。
60代	女	帯屋町アーケード街周辺の昔のような活性を希望しています。若い人はショッピングモールでいいかもしれませんが、昔人間には買うものがありません。商店街の一番の問題は無料の駐車場がないこと。県や市の駐車場を、休日には無料で開放することはできないのでしょうか。
70代	男	地産地消の取り組みは、大変重要だと思う。大型店等でも高知県産のコーナーを設けて、一目で分かりやすいようになっている。地元産は少々高くても安心できるし、何より新鮮である。
70代	女	愛宕や帯屋町など、昔親しんだ商店街がシャッター街になっていることが寂しいです。何とか活気を取り戻してほしいです。郊外の大型店は駐車場の面など確かに便利ですが、個性ある個々のお店が何とか立ち直って欲しい。
70代	女	①商店街の飲食店をもっと魅力のあるものにしてほしい。若者の街になっているため、高齢者が好む商品がない。 ②県外資本のスーパーやデパートなど、県外の人に収入があるような街にしてほしくない。

■江ノ口（続き）

70代	女	食品の産地表示が曖昧でわかりにくい。もっと見やすく、分かりやすく表示してほしい。「国産」としか表示していないものがあるので、日本のどこ産なのかはっきり表示してほしい。
80代以上	女	商業化について。やたらと自動車を使用しなければいけない。離れた所より近くで買物を考えるべきではないでしょうか。
80代以上	女	県産品に力を入れてもっと普及させて欲しいと願っています。
80代以上	女	車について。車椅子利用者の視点が無いです。路肩の勾配や電信柱の存在が危ないです。シルバーカーを押しながら横断歩道を渡り切れない。車の通る中央は平面だが、路肩や側溝に勾配があり危険。車椅子の通るところは危ない。

■高知街（31件）

20代	男	安価な駐車場を増やしてください。（出来れば無料）
20代	男	とりあえず街に駐車場を作るべき！
20代	女	街の駐車場を無料にすればいい。
20代	女	商店街の何店舗かが共同でポイントカードを作れば、大型スーパーよりもその個店で買う頻度が高まると思う。
30代	男	買物だと郊外のショッピングモール中心に行く事が多い。駐車料金が有料となる場所ではゆっくり買物を楽しむことができない。また商店街以外にも娯楽施設が近くにあればいいと思う。
30代	男	高知市街、特に帯屋町は魅力のある店舗が少ない。個人店は入りにくく駐車場も近くに無いので、行く甲斐が無い。各店舗がもっと魅力のある店にならないと客足は遠のくばかりだと思う。
30代	男	基本的に商店街は、必要不可欠なものであると認識しております。しかしクオリティーやサービスでは、大型店舗、ショッピングモールに到底及ばないと思います。よって、中心市街地にショッピングモールを作り、共存共栄の道以外にないのではないかと思います。今のままでは、松山市、高松市、岡山市等への買物流出が続くと思われます。インターネットの利用も増えるでしょう。雇用を増やすためにも、現状打破するためにも、改善すべき点は多々あると思います。一方で日曜市等観光のツールは多いので、県外にもっとアピールし、資金を落としてもらう必要もあると思います。

■ 高知街（続き）

40代	男	①路面電車を環状線に整備して欲しい。 ②駐車場をたくさん作ってほしい。 ③アーケードに駐輪レーンを整備。 ④アーケードを自転車で猛スピードで走るおばちゃんや学生が怖くて子供と歩きたくない。アーケードの自転車通行を禁止してほしい。
40代	男	若い人、資金の少ない人でも気軽に店を開けるような場、機会がもっと与えられればいいと思う。 休日、夜中まで開いているお店というのは消費者には便利ですが、店で働く方も人間なので、家庭生活、私生活を犠牲にしての長時間営業は、個人的には反対です。
40代	女	色々な商品が近くで買えるといいと思います。
40代	女	帯屋町商店街を見ていると、本気で商売をする気があるのかと疑問に思う。ほこりだらけのバッグ屋やサンゴ屋などたくさんある。観光で来た人に見られるのも嫌です。改装にお金をかける気はないのでしょうか。メインストリートがあればいい。話になりません。愛宕の周辺など、古い体質が目立ちます。
40代	女	商店街にはもっと頑張ってもらいたいです。昔から大好きな場所で、よく映画を見に行っていました。少し元気が無いようで寂しく思います。今でも時々行きます。私には大切な場所です。大変だと思いますが、皆さんには頑張ってもらいたいです。
40代	女	商店街は空き店舗が多く、置いている商品も少なく、最近は県外に買物に行っています。商店街は食料品の買物にも近いので毎日行っていますが、自転車を置く所が少ないです。
40代	女	鮮度や安全性を一番に考え食品選びをしていますので、地産地消を応援しています。作っている人と会話ができたらもっともっと安心できるのでは。 地元の商店街も下町のように活気が欲しいです。そのようになれば遠くまで行かなくても良いのに。駐車スペースが無いので仕事帰りに寄る事が出来ません。あと閉まっている店が多いので、目的の店一軒に行ってもそのあとスーパーにもう一度行かなくてはならず面倒なこともありますね。
50代	男	人口の減少が続いています。商業を高齢者向きにするか、それぞれの店が選択を迫られている時代だと思います。個店どうしが助け合って高齢者と若者の両方を対象に、臨機応変に舵を取り時代を乗り越えていくことが重要だと思っています。

■高知街（続き）

50代	男	高知街について、まずはドーナツ化現象（中心街の人口減少）を解消し、人が街に住むことからはじめないと何をしてもダメ！特に子供、若者の住む街づくりから。小学校をなくして図書館を作っても、商店街の活気、売り上げは上がらないし本末転倒。商店街衰退の序章に過ぎないのでは。街の将来をしっかりと見据えて、活気ある商店街になることを望みます。
50代	女	元自営業勤務でした。行政に空き店舗対策をして欲しい。他県では、商店街の街並みを守るため、空き店舗への「携帯ショップ、ゲームセンター」出店を禁止し、借り手が見つかるまで行政が月に1~2万円の補助を出しているという話を聞いた。中心商店街は通学路でもあるので、パチンコ店は問題。ゲームセンターやコンビニができると街が荒れる。中心部に、食料品など何でも揃う大型ショッピングセンターがほしい。そうでもしないと中心商店街の再生はあり得ないと思う。
50代	女	地元商店街においては、また買物に訪れたいと思えるようなお店の雰囲気作り、接客に努めてもらいたいと思います。 県全体の活性を望みます。
50代	女	スーパー等が、広告に出している商品を個人宅へ配達してくれるサービスがあればいい。移動スーパーがあればいい。
50代	女	魅力的な高知県産の商品が各地にたくさんあると感じているけれど、あまり広報もされないし、高知市内ではなかなか手に入ることも無いのが残念な感じがします。
60代	男	昔の商店街の楽しさを覚えているので今の状態は残念ですが、年をとってあまりにぎやかな通りへ出かけたくなくなりました。ちょっと出かけても心が楽しくなるような街になればいいと思っています。 自転車のアーケード内通行や駐輪が目立つので改善してほしいです。
60代	男	旭駅前を買物中に駐禁で捕まったという記事が新聞に載りましたが、まったくその通りです。最近ほんの短時間の買物でも安心できません。旭にかかわらず、升形、愛宕、さえんば、万々、どこの商店街でも買物にはパーキングが必要です。升形のスーパーが無くなるのもパーキングが無いからではないでしょうか。空家、空地はこれご時世結構あります。行政の支援でそういった場所にパーキングができれば、地元の商店街の方達も頑張る気持ちが出ると思います。 地産地消大賛成！地域を大事に！誰もがそう思っていると思います。

■ 高知街（続き）

60代	男	<p>①アーケード街は、強制力のある指導者が必要。          ・個店は家主に徹し賃貸料をもらう。（収益還元）          ・強力なディベロッパー組織を作る。</p> <p>②全国一律の金太郎あめ的な方策は通用しない。          ・地産地消の対面販売。          ・店員のサービススキルの強化。          ・統合的な教育、システムの確立。          ・駐車場がないというのは言い訳。</p> <p>③価格にもっと敏感に。          ・全国商店街が結束して仕入組合を作り、家電量販店や大型ショッピングモールに負けない、または同程度の仕入価格を実現する。</p> <p>④インターネット販売の強化</p> <p>いずれにせよディベロッパーがいる。県がなればいいのではないか。それが本当の行政サービスでは。行政ができなければ民間、商店主、消費者出資で海援隊を作る。その手伝い、補助を行政がする。産業振興センターの100億円基金も投入。</p>
60代	女	<p>水曜日はだいたいのお店の広告が入りますので、この周辺の方たちはしっかりチェックして、上手に買物をしています。</p> <p>棧橋方面はスーパーや市がたくさんあり、とても助かります。県外のお店も2店ありますが、ポイントがない代わりに価格が少し安いので、つい足がそのお店に向いてしまいます。「地元の方に協力を」と思っていますが、つい安さに負けてしまうのが残念です。「安全な商品を少しでも家計を締めて」ということで頭がいっぱいになります。</p>
70代	男	<p>大型店に行くと何でも揃っているので便利。買物袋を持って、「次は何買っていく」という時代は過ぎました。帯屋町や大橋通りにしても、文旦や新高梨を別々の店で買って帰るのはかなり難しいのではないのでしょうか。</p>
70代	男	<p>高齢社会になっていくので、中心街に大型店を作るだけでなく地元にも店を作ってほしい。</p>
70代	女	<p>地産地消は鮮度の面で大切です。私達はよく大型の直販所へ買物に行きますが、鮮魚など調理してくれないのが残念です。</p>
70代	女	<p>買物するのに少しでも価格の安い方がいい。</p>

■高知街（続き）

80代以上	男	菜園場商店街の個人商店をこれ以上減少させないでほしい。 近所にスーパーが出来て大変便利になり、高齢者は大変助かっていますが、衣料品も少し販売してほしいと思います。 近所のスーパーは高知県産品もあり、安心して買物ができます。
80代以上	女	銀行、郵便局が近くにない。近くに作ってほしい。
80代以上	女	高齢者の一人住まいが多いので、食品、惣菜を少量で販売してほしい。

■北街（3件）

50代	女	中心商店街だけではなく周りの商店のことも考えてほしいと思います。
60代	女	①地産地消を含め、都会と田舎の交流を行える機会を増やす。 ②地域通貨活用で商店街を自分たちのコミュニティととらえる消費者を取り込む。 ③地域の消費者を客としてではなく遠来の客を迎える仲間（スタッフ）と考え、商店街のイベント作りの協力者とする。 ④顔の見える接客販売が商店街にとって大事。（あいさつの少ない店が多い）
70代	男	①食料品の買物は量販店が多くなっているので、もう少し個人店が商売しやすくなると、個人店が成り立っていかない。 ②これからは車が多くなってくるので、駐車場の設備を良くしてほしい。そうすれば中心部の商売も成り立っていくと思う。

■下知（18件）

30代	男	最近開発された地域は、十分な商店がある。しかし、山間部など少し離れるとほとんど商店がない。高知県全体を見ると新しく商店を建てるより、移動式商店の充実が望ましいと思う。若者は車での買物、インターネットでの買物で充実するが、高齢者は移動式に頼らざるを得ない。よって、県全体の商業は「若者の満足度」より「高齢者の満足度」を上げることが第一であると考ええる。
30代	男	深夜営業のスーパーが少ない。

■下知（続き）

30代	男	郊外型と異なり、駐車スペースが限られていたり有料なので、気軽に覗いてみようという気になれないのが商店街の欠点と感じている。また、接客態度にも問題を感じる。店舗が多く（これは商店街とは限らないが）その店でしか買えない特別なもの以外は買う気になれないのが現状である。目玉となる店舗を構えたり、子連れが楽しめる専門店街を望みます。
30代	男	①以前南国市に住んでいて、高知市に来てしばらく経つが、南国市で懇意だった町の電器店に今でもお世話になっている。電気製品などは、アフターケアの面から考えても個人商店が信頼できる。 ②個人的には商店街の雰囲気大好きなので、これからも各商店街店舗の経営者の方々には、頑張ってください。
30代	女	魅力があり品揃えの豊富な専門店がとにかく少ないので、県外での買物や通信販売に頼りがちになってしまいます。
30代	女	子供が遊べる施設を商店街の中にも作ってほしいです。
40代	男	地元産品は「同じ商品で価格が多少高くても高知にお金が落ちる。」国産品は「日本にお金を払っている。」と考え商品を選んでいる。
40代	男	高知の特性＝第一次産業。小・中学校の教育でもっと高知の特性を学ぶ機会を作り、自信を持って高知で暮らし、生活できるようにする。しっかりとした知識（経営）を身につけたうえで、都会に向けて商品を売り出す工夫をする。各商店街やJ A・漁業などがネットを使いこなし、全国に向けて発信する。 また高知県全体としてそれぞれの商品を売り出すことが大切だと考えるので、類似商品が乱立し、県内業者同士で潰し合うような今の構図を解消すべき。そのためには県やJ Aなどがリードしていく事が重要だと考えます。
40代	女	車が置けないので駐車場を整備してほしい。 平日、昼働いているので、夕方、休日、土日祝もやっている店が必要。 働いている人のニーズに合う時間帯での営業。
40代	女	地元のためにできることは何か、と時々考えます。その結果、“地産地消”を心がけ買物をするようにしています。田舎の方に行くと直販所があり羨ましい。この直販所が仮に近くにあっても、勤め人の私には利用する時間はなかなかありません。休日・遠方に出掛けたときにしか利用できないのが残念です。
50代	男	農産物をもっと自由に取得できるようになることを望む。

■下知（続き）

50代	男	<p>最近高知市の中心商店街（帯屋町など）に魅力が無く、高速道路の利用料金が日曜日 1,000 円になったこともあり、高松や松山の大型デパートなどで買物する機会が増えています。特に高松の丸亀町商店街などは、大型再開発事業が進んでおり、魅力的な店も増加しています。こうした先を見越した対応が大切であり、高知に足りないのは対応の速さです。他県を見て動くようではあまりにも遅く、事業計画がやっと実施される頃には時代が変わり計画自体が古くなります。また、高知の町は商店街がないとよく聞きますが、全くそのとおりだと思います。まず商品知識が乏しく、他者に聞かないと分からない店の販売員が多すぎます。東京では考えられません。また、様々なアイデアで商店街を盛り上げようと、イベントも企画されているようですが、どうも一過性でリピーターは増えません。魅力的な大型店を誘致する。再開発すると同時に店員教育やサービスのあり方など、ソフトの部分にも力を入れて頂きたいです。私は子供の時、日曜日にはよく家族で市内のデパートに出掛け、楽しく過ごした思い出が残っています。あの時は高知の町がキラキラ輝いていました。またあの時代の賑やかさを取り戻して欲しいと思います。</p>
50代	女	<p>帯屋町に努力が足りない。          ・おもちゃ屋がなく子供と行っても面白くない。          ・客より高くとまっている。          ・デパートにおもちゃ売り場やレストランがなくなったため、子供と一緒にいけなくなった。          上記の理由のため、中心商業地から大型スーパーやショッピングモールなどの大型ショッピングセンターに客が流れていくのではないかと。</p>
60代	男	<p>少し（小分けにして）でも買えるパック類があるといい。</p>
60代	女	<p>地産地消にはこだわりませんが、地元の品物を経費を使って東京で売る必要があるのかは疑問です。東京のアンテナショップ儲かっていますか？その責任は税金負担ってことないですね！！          高齢になり遠くに行けなくなった時、移動販売は助かると思います。</p>
60代	女	<p>高齢になると、できるだけ近くの商店へゆっくり歩いて行きたい。そして加齢するほど店側の接客態度が購入の大きなポイントとなる。少量パックで多種類の品揃えが嬉しい。          たとえ便利になると分かっている、インターネットを通じた購入、決済、通販などについては今一つ安心できない気持ちがある。何かを始めるについても新しい操作は習得が難しくなる。          街中の店が経営難で減っていくのが残念。</p>

■下知（続き）

60代	女	<p>帯屋町、中種、新京橋などは、商店としての努力が足りない。のんびりだらりと毎日を過ごしているように見えて勿体無いといつも思う。何か不足している。その何かを深く考えて欲しいと思います。商店街の人たちはもっともっと食欲になって、客は何を欲しているのかよく考えてほしい。</p> <p>中種などは寂れてかわいそうに思う。せっかく中心地にあるのだから、夜はアーケード入口をビニールのカーテンで覆い、夜店（ラーメン店、串店）などいろんな屋台を入れてアーケードをフル回転させるとか。私はいろんなアイデアが浮かんできます。</p>
80代以上	女	<p>帯筋にキレイなお店を並べてほしい。飲食店が多すぎる。高齢者が行けるようなお店作りをして欲しい。</p>

■南街（4件）

30代	女	<p>私は今2人の子供を育てていますので、ショッピングモールのように駐車場や子供用トイレ、おむつ替えスペースがないことには安心して買物ができません。商店街を賑やかにしたいというのであれば、ベビーカーでも入りやすいお店の造り、子供達が遊べるような公園などのスペースが必要ではないかと思います。小さな子供を連れての外出は気を遣いますが、どこかで買ったものを外で食べさせて、また買物ができれば商店街でゆっくりできると思います。</p> <p>商店街のアーケード内の自転車での走行は厳しく禁止して頂かないと大変危険だと思います。</p>
50代	女	<p>地元の商店街で買物をしようと心がけています。</p> <p>商店街を通ったとき閉まっているシャッターや、お店の閉店を目にした時いつも悲しくなります。大型スーパーがあった時は、まだ人も沢山いたのに、段々寂れていくのが分かります。</p> <p>自分の買いたい物が無いです。図書館、かるぽーと、バスターミナル・・・反対でした。追手前小学校の一等地に図書館なんてもつてのほか、怒っています。この土地こそ商店街に無い大型店を作って欲しかったです。</p>
60代	女	<p>空き店舗が多く街全体が暗くて寂しい。人通りも少ない。</p> <p>一店舗だけが頑張っても、各店舗が協力しなければ街の活性化には繋がらならないし、人は集まってこない。（各商店の老齢化問題もあると思う）</p>

■南街（続き）

60代	女	菜園場商店街は、食料品はほぼ揃っているが日用雑貨（洗剤、シャンプー、ゴミ袋など）を売っている店が無い。近くの薬局にはあるが、遠くのスーパーやドラッグストアなどを利用している。店主も高齢化しており商店街としての機能に欠けているように思う。
-----	---	--

■潮江（31件）

20代	女	地産地消が好きです。高知県だからこそ得られるもの沢山あります。県外人の私達にとって魅力です。
20代	女	高知ブランドの商品は値段が高いのであまり買うことが無いです。（手間暇かかると思うので、利益など考えると仕方ないとは思いますが。）
30代	女	今の希望は帯屋町が元気になることです。
30代	女	服や靴といった商品を買う際に選択肢がとても少ない。帯屋町は以前に比べてお店も減ったし、水曜日が定休日の店があったり、駐車場が有料であるため、目的に合う良いものがなかった時は損した気がしてなかなか行く気にならない。しかし結局ショッピングモールにしか行かないのもつまらない。
30代	女	高知に大型のショッピングモールは1つしかない。県外には大型店が何店舗もあるので、県外でまとめて買物をすることも多い。
30代	女	高知には百貨店が1つしかなく、スーパーでの買物がどうしても増える。県外の人に贈り物をしたいときなど物足りなさを感じる。
30代	女	20代の頃は何でもパッパと目に付いたもので、いいなと思うものを買っていたのですが、今は必要なものと考えて買うようになりました。だいたい生活に合ったものを買っています。
30代	女	はりまや橋交差点のデパート跡地がファッションビルになる予定だったのにパチンコ店になってしまった。残念です。
30代	女	商店街など、車で行くには駐車場料金が気になり足が向かない。もっと無料の駐車場があれば行くようになるはず。
40代	男	商業のことを考える前に雇用対策について考えることと、各企業が給料を抑えることをやめ、消費できる生活条件を整えなければ未来は無い。しっかり予算を取り、皆が潤わなければいけないと思う。まずは買物が出来る生活環境を！
40代	女	昔のように、中心商店街にもっと活気が出るように考えてもらいたいと思います。

■ 潮江（続き）

40代	女	県中心地の商店街は開店が遅く閉店は早いので、行きたくても行けず困っています。赤字覚悟でも3年くらいは「街は開いている」というイメージで、お客様のニーズに答えるように努力していかないと寂れていく一方だと思います。
40代	女	地産地消という言葉は素晴らしいと思いますが、県内産、国産は値段が高いのでスーパーなどで価格の安い（輸入物）商品を買います。家族がそんなにたくさんいるわけではないので、量の沢山ある物も困ります。一回の食事で食べきれるものが一番いいです。専業主婦の方ならいいでしょうが、仕事を持っていると、帰りにお弁当やテイクアウトを買ったほうが安上がりで楽です。
40代	女	今の住所に引っ越してきて3年近くになりますが、最初の頃は地元のスーパーは古くさい感じがして行くのがあまり好きではなかったです。今はだいぶ慣れてきて道も分かったので、あちこち買物に行きます。雨の降るときは買物に行くのが嫌になります。
40代	女	郊外のショッピングモールに車で行くのは遠すぎるので、帯屋町に何でもそろそろような店がほしい。
40代	女	①今は遠くても車で買物にいけるが、老後のことを考えると心配が多々ある。身近に衣料品、靴、カバン等を売っている店があればいいかなと思う。 ②大型パチンコ店が近々開店するが、パチンコ店が多すぎる。車の通行に大変迷惑なので、パチンコ店はいらなと思う。もっと子供が遊べる所、親子が触れ合って遊べる公園等があれば楽しい街になるのではないかな。
50代	男	宅地の郊外化により中心地から人口の流出がおき、郊外店舗の出店（県外企業）により中心地商店街は蒸発した。だが、近年問題化（大都会でも）している宅地の高低差により高齢者の移動が困難となっている実情があり、旧中心部（マンションなど）への回帰現象も起きている。高齢者問題は今後避けては通れない喫緊の課題でもあることから、高齢者が住みよい街づくりに着手する必要があると考える。帯屋町などの再構築を早急に考え、若年層の生活基盤とは違った見方から取り組む必要があるのではないかな。
50代	女	会社に勤務しており昼休みを利用して日々の買物をしています。買物代行、買物サポーター、安価な買物バス・タクシーの運行等のサービスがあれば便利だと思います。また、高齢化社会になりますので今後上記のサービスは必要となるでしょう。商店街の大規模な再開発は無理かもしれませんが。

■潮江（続き）

50代	女	<p>①地元の商店、スーパーなどが県外資本のショッピングモールや大型店に客を持っていかれている感じがします。地元の企業はもっと努力が必要だと思います。地元の企業を利用すると得するものがあれば（例えば独自のポイントカード）もっと良いと思います。</p> <p>②高知駅の周辺の商業（食事、衣料、スーパー）を活性出来ませんか。当然無料駐車場整備。</p> <p>※余談ですが、食事はNPOのやっているものが気に入っています。スーパーはどこもいまいちです。</p>
50代	女	<p>①他県にもちりめん井があり、ゆずやトマト、生姜の産地もありますが、高知特有の暑さの中で育ったあっさりした味が高知の味かも。宣伝に力を入れてほしい。</p> <p>②商店街は大型複合店と違う何かを！「帯屋町～中種アーケード」の町全体をモール化するなど。</p> <p>③紅白の土佐サンゴを龍馬伝ロケ地の土佐神社でおはらいしてもらい、おしゃれなストラップにして、アクセサリとして売れないか。</p> <p>④地元のドレスリングを買いたいので、試食試飲がほしい。</p> <p>⑤昼間は母親世代が休憩するための喫茶、夜は二次会のための喫茶として10時半くらいまで営業している飲食店がほしい。</p> <p>⑥アーケード内に小中学生などが日替わりで出店するのはどうか。</p>
50代	女	帯屋町商店街が昔の様な活気を取り戻すことを願っています。
60代	男	同じ商品でも店によって価格が異なるのが気になる。
60代	女	大きな道ができたために商店街が無くなり、人通りもなく店が少し遠くバラバラになって不便になった。遠くに大きいショッピングセンターができて若くは車で行けるが年をとると足も弱くなり、車などの足も無くなり、さらに商店が閉店してしまい近くで買物ができなくなる。
60代	女	東京から1年半前にUターンして来ましたが、野菜、魚、果物等安く新鮮な食材がすぐ近くで手に入り、食生活については大満足です。他の品物は、インターネットで購入したりしております。店の数が少ないとか、営業時間が短いとかは人口の問題でもあり、インターネットを利用していますので、私は今の高知の町で満足です。
70代	男	二級品でも安いものがほしい時もある。
70代	男	ちょっとしたものを買う商店が近くにないので不便。 魚屋、肉屋はあるのだが、それだけでは食事にならない。この数年間の間に野菜を売る店がなくなってしまった。個人商店がたくさんできると有難いと思っている。

■潮江（続き）

70代	男	<p>地元の商店街は潮江地区にありますが、もう市場もなくなり商店街という形式ではありません。主に出かけるのは中心商店街、随分と活気が失われているように思われます。多くの県外資本が入ってきて、高知の企業は小さくまとまってしまったように感じます。もっと街の中に若い人が集まるような場所や、高齢者や子供がでかけやすい街になれば良いなと思います。ショッピングモールに出かけても、幼い子供をベビーカーに乗せて両親は並列で歩くような家族もいます。そんな時は、周りの人が道を譲っています。双方が気兼ねせずゆったり歩け、家族で買物を楽しめるのはやはり商店街の醍醐味だと思います。県外資本ばかりでなく、地元の企業が発展できるような街づくりができれば、次の世代を担う若い人も地元で根をおろせるのではないのでしょうか。</p>
70代	女	<p>①帯屋町など、3,000円以上買物しないと駐車場サービスの印を押してもらえないので、まとめて買物することに決めています。ちょっとだけ行くことはできません。駐車場代を安くして時間を伸ばして欲しいです。</p> <p>②市中心部にあるデパートは、月～土まで2,000円以上買物をすれば、朝8時～夕方6時まで無料で車を置けるので、私はほとんどそこで買物をしています。サービスが良く品揃えも充実していますので便利です。今は車の時代ですから、客が町へ行きやすいようにしないとだめですね。</p>
70代	女	<p>いつも近くのスーパーで食料品を買うことにしていますが、だんだん価格が高くなっているような気がします。それに品がそろわない。</p>
80代以上	女	<p>高知県はなんとなく活気のないように思います。地産地消も結構ですが日照時間が長く、おいしい果物も土佐沖のおいしい魚もありますので、何か考えて産業を興し、外部に売りだせるようにならないかと思います。</p> <p>仕事がなく収入がなければ元気にはなれませんので、しっかりした指導者が出ることを望んでいます。</p>
80代以上	女	<p>高知で生まれて80年になりますが、隅から隅まで知りません。街の中心部に高知の産品を売るお店があれば高齢の私でも出かける事ができます。郊外にある色々なお店には行けません。昔は帯屋町通りの商店を一軒一軒覗いて歩くのが楽しみでした。人も大勢歩いて賑やかでした。</p>

■朝倉（50件）

20代	男	帯屋町周辺に無料の駐車場があればいいと思います。
20代	女	①はりまや交差点のデパート跡地にパチンコ店が建つのが残念。 ②帯屋町のお店が閉まりすぎていて寂しい。 ③郊外のショッピングモール以外にも映画館があればいいと思う。
20代	女	コンビニは値段が高いので、今ほど多くいらなと思う。 ドラッグストアや安価なスーパーを増やしてほしいです。
30代	男	中心街に全く元気がないです。あまり行く気にもならない。郊外の大型店に完全に負けています。
30代	男	激安店など、人を集められる店をもっと作ればいいと思う。
30代	男	中心商店街の方々は今までの栄光にたよらず、大型店の体制を見ならい、整備、商品の改善に努めるべきであると思います。
30代	女	コンビニは価格が高いが24時間営業しているのでとても便利です。 高知西バイパス周辺にできれば非常に有難いです。高速道路無料化に伴い通勤時間帯の利用者が増加し、利益も確保できると思います。
30代	女	仕事が休みの日に、地元で採れた野菜を良心市へまとめ買いに行きます。新鮮な野菜や、手作りの味噌やゆず酢、漬物などがありおいしく安全でとても有難いです。生産者の顔が見え、安心して食べることが出来ます。家族が多いので安心・新鮮なものを求めて足を伸ばしています。近くて便利も良いですが、その上にまた安全・新鮮・地元の物が安く購入できれば、少し遠くても買物に行きたいと思えます。
30代	女	子供ができて買物の場所が変わった。帯屋町にも好きな店はあるが、子連れで出かけても子供が楽しめる場所が少ないのであまり行かなくなった。子連れでも行きやすい商店街にして欲しい。
30代	女	買物をしないと駐車場が無料にならないので、気楽に行けない。
40代	男	全体的に鮮魚屋さんの店じまいが早い。
40代	男	以前のように帯屋町アーケード周辺に映画館があればいいと思う。
40代	男	①地産地消といっても、例えば魚等の場合どこの漁港で取れたものか分からない場合が多い。県漁協の直販所に足を運んだりする機会があるが、以布利や窪津といった具体的な地域名称があると、魚の味以上にその地域への関心も膨らむ。 ②アーケード街の衰退は同じ県民として心苦しい。駐車場の設置や照明の工夫等、努力されていることはわかります。しかしせっかく作った駐車場への車の出し入れが容易でない場合も多く、立ち寄ってはみたものの通り過ぎたことが何度となくあります。それぞれの商店主さんの商売に対する思いと、豊かな生活を望む県民の気持ちとが、買物代行や宅配といったサービスによって再び結びつくことを願います。

■朝倉（続き）

40代	女	<p>インターネットなどで購入するよりも、県内産や地元のお店が売っている物を買う方が地元の商業の発展に役立ち、自分たちの生活に即影響を与えるのでいいとは思いますが、やはり自分たちの限りある収入の中から買物をしていかなければならず、価格の安いものを購入しがちになると思います。結果的に高知県内のお金がどんどん県外へ流出してしまい、県内の企業も力がなくなってしまう。そして巡り巡って自分たちの収入も少なくなる。</p> <p>「地産地消」という言葉を聞いてもう何年も経つように思います。地元の物をなるべく購入するように心がけ、また県外へも高知の「高知らしい」物をどんどん売り込んで、県外の人にも高知の物を買ってもらうのがいいと思います。その際大事なのは採算が取れるかどうかということ。</p> <p>なかなか難しい課題だとは思いますが、これからも「地元」を意識しながら買物をしたいと思います。</p>
40代	女	<p>自宅周辺に店が多いので、種類、価格など比較して買物ができ満足している。</p>
40代	女	<p>家の近くには地元の野菜直販所があり便利です。値段も安く、家計にもやさしいです。そんな店がもっと増えるといいと思います。</p>
40代	女	<p>どんな食品でもトレーサビリティが徹底した商品が有難いです。</p>
40代	女	<p>地元の商店街を利用したいと思いつつも利用しないのは、交通の不便さだと思っています。地元の商店街の商品を大型スーパー等でも取り扱ってもらえれば、ぜひ購入したいと思います。地元の商店街ならではの良さをもっとアピールしていくべきだと思います。</p>
40代	女	<p>車の移動でなくても郵便局、銀行、その他いろんな用事が、自転車あるいは徒歩でできるようになると、これから高齢になっても安心して便利だと思う。</p>
40代	女	<p>高知県は自然が多く、魚、野菜、米も豊富にとれているので、県内でとれた物を県全体の取り組みとして販売していけるようになれば、高知も元気になり、食への関心も高まると感じます。スーパーに行っても県外産のものをよく見かけ残念に感じます。大きなショッピングモールやスーパーができていますが、高齢の方には、不便なようです。みんなに優しい店が増えていくといいと思います。</p>
40代	女	<p>駐車場の問題解決。これから高齢者に必要となってくるバスや電車の交通網整備。</p>
40代	女	<p>大型店は近くにあるが、専門の食品を売る個店がほしい。</p>

■朝倉（続き）

50代	男	地域住民にアピールするものと、地域外にアピールして人を集めるものと分けて考えること。地域外へのアピールが足りないと思う。またアピールしていても、実際行ってみると小規模で差別化がほとんどできていないように見える。
50代	男	私の家の近くに2つのスーパーがあるのですが、生もの、特に肉類の品質が悪いです。賞味期限が本日までの商品が安く買えるのは有難いですが、腐った臭いがしたり肉をひっくり返してみると色が変わっていたりすることがありますので気をつけて欲しいです。
50代	男	大型店は、そこで概ね買物ができる。駐車場も広く映画館などの娯楽施設もある。高知県における地域をいくつかの商業地域に分け、地元の商店や行政と連携し、地元商店がテナントとして営業する大型商業施設を作れば県外資本との競争に対抗できるのでは。 何でも他県や他国の真似ばかりでは駄目。最初にやる事が成功（ブランド化）する。
50代	男	無料駐車場のない、帯屋町のような商店街に未来は無い。
50代	男	中心商業地への公共交通（バス）料金の思いきった値下げ。現状の半額や一律200円。
50代	男	ほしい物がない。 子供が少ないのが大きな原因で商品が売れなくなった。
50代	女	店員の接客サービスが悪い。県外のサービス業の人達を見習って欲しい。地元民でも商店街の古い店の接客に腹が立つ事がある。古い店は店内をもう少し綺麗にして欲しい。
50代	女	高知県産の物は品質が良いと思いますが、価格が高いと思います。
50代	女	駐車場がもっとあったらいい。
50代	女	地元の身近なものを新聞等で紹介してほしい。
60代	男	自家用車さえあればとても便利な場所に住んでいる。電車、バス、公共の乗物も近くにあり、住みやすいです。
60代	男	体が不自由になったので、外に買物に行くことができなくなった。買物代行サービスが必要になると思う。
60代	女	高齢化が進んで買物に行けない人たちのために、買物代行、宅配サービスの需要が増えて行くと思う。 現在は1ヵ所で必要なものが揃う大型店に頼らざるを得ない。

■朝倉（続き）

60代	女	<p>①今は元気で車を利用しているので不便は感じていない。良心市や他の店、病院などに徒歩10～15分程度で行けることに感謝しています。</p> <p>②同じチェーン店でも商品の品揃えに大きく差がある。地元の店はマンネリ化しており、つい外出先で買物を済ます事が多い。</p> <p>③地元店は接客態度の差が目につく。いつも会う顔なら笑顔や声掛けがもっと出るはず。現在は閉店しているが、ある店の店長さんは店内を見て周り、いつも大きな声で客に声掛けし、見ていて気持ちよく感じたことでした。</p> <p>④地元の商店が人に優しく魅力ある店として長く続いてほしい。</p>
60代	女	<p>高知は以前より殿様商売だと言われていました。だいぶ改善されてきているように見受けられますが、県外に比べるとまだまだだと思う。特にタクシー運転手の方のマナーが悪いですね。県外人を乗せることが多いと思うので、高知県の顔という一種の自覚を持ってほしいです。私は車の免許を持っていないので、日々の買物以外はバスや電車で市の中心街へ、タクシーで郊外のショッピングモールへ行くのみです。便利な買物とはほど遠い現状ですが、私自身高齢のため強い不満はありません。この地区は高知大学を中心にした所ですが、土佐道路と高知西バイパスに挟まれ年々寂れていく様に感じています。</p>
60代	女	<p>自宅周辺には商店街がないので、自転車でスーパーマーケットへ買物に行っています。しかし、年をとって自転車に乗れなくなったら、移動販売に来てもらいたいです。</p> <p>直販所とは言えないかもしれませんが、スーパー内にある生産者が直接出品しているコーナーをよく利用します。</p>
60代	女	<p>現在は買物に行ける状態ですが、今後、高齢になった時に、安価でしかも品質のよい商品の宅配を利用できることを希望します。</p>
60代	女	<p>地域にスーパーがなくなったら、高齢者のために移動販売が必要になってくると思います。</p>
60代	女	<p>店に駐車場がない場合、駐車場から店までの距離が問題。</p>
60代	女	<p>人がいつでも気楽に集まることができる場所があればいいと思う。</p>
70代	男	<p>耐久性10年以上の商品のメーカーがたくさんある。1つのメーカーでも機種がたくさんある。買い手は知識がない。買い手が機能についての希望を言うので、ニーズに合ったメーカー、機種を推薦できるように研究してもらいたい。販売者の責務である。それと販売者の人柄である。メーカーその他にとらわれずに、真にお客様の要望にこたえてくれる商品を推薦してくれる販売者がいる店が繁盛していくはず。</p>

■朝倉（続き）

70代	男	帯屋町商店街の大型スーパー跡地を商店にしたらいいのではないか。駐車場の問題もある。高知城を中心とした街作りをしてほしい。
70代	男	ベンチや休けいする所が少ない。体が悪くなって特に思う。
70代	女	高齢者が買物しやすいような取組をしてほしい。
70代	女	近くに大型店があるので商店街は必要ないけれど、以前東京に住んでいたとき、八百屋さん、魚屋さん、酒屋さんなど、御用聞きのお店が多くて住みやすかった。高知ではそのようなサービスがない。
80代以上	男	組合などが地域と手を結ばず運営するのが、商売が伸びない原因。
80代以上	女	「ですか」を使ってよく電車を利用しています。その際ポイントが貯まっていると言われるが意味が分からない。年に1回、もしくはサービスが受けられるポイントが貯まった際にはハガキ等で知らせしてほしい。またはカードに料金を加算してくれる様なシステムにして欲しい。チャージも電車内で500円単位でできるようにして欲しい。
80代以上	女	近くのスーパー2カ所とも、生産者が出品しているコーナーができて良くなったと思います。野菜、果物はほとんどそこを利用しています。産地(市町村)や生産者名まで記されていて、温かみを感じます。何才まで出かけられるか不安ですが、産地(全て国内産を選んでおります)を確かめ購入できればと考えています。

■鴨田（44件）

20代	男	大型店の誘致および地元商店街の活性化を望んでいる。また、街に偏らず、広範囲に向けて大型店を誘致してほしい。
20代	男	次世代の人が、地元で活躍できる場を作ってもらいたいです。
20代	女	①商店街を利用した際、イベント等の状況が明確にされていない。 ②駐車場の混雑状況がわかりにくい。特に追手筋など。
20代	女	商店街の空き店舗を再利用して欲しい。
20代	女	スーパーや女性向けの婦人服店などは充実してきていると思います。その反面、男性がいける店が少ないと感じます。
30代	男	商店街は大型店舗に対抗するために購入者側に不利益な活動を行うことが目に付く。（郊外ショッピングモール - 駅前間の路面電車の路線廃止など） 大型店舗と共存していくために商店街の個々の努力と全体的な調和で客足が戻ると思う。個人的には上町5丁目の商店街（旧やみ市）が都市開発を理由に取り壊しになったことが残念。

■ 鴨田 (続き)

30代	男	男性向の服屋を増やしてほしい。
30代	女	私達のように、車に乗れる者は特に不便ではないですが、高齢者や車を持ってない方が便利に買物できることが大切だと思います。
30代	女	商店街がイベント等頑張っているのは分かりますし、地元が盛り上げていけないといけないのも分かります。でも商店街は保護されているのにあぐらをかいているように思います。とにかく値段が高い。駐車場は少なく利用料金が高い。帰り駐車料金を支払うと、「ショッピングモールなら何か食べて帰れたのに。」と後悔してしまいます。郊外のショッピングモールは、各店舗必死で努力しているように見えます。商店街は価格や接客等、もっと努力し勉強すべきだと思います。
40代	男	地産地商を徹底するべき。そのことがエコにもつながります。
40代	男	県外大型店舗に対抗するためには、まず中心商店街が元気になることが重要。無料駐車場や女性でも駐車しやすいスペースの整備。各市町村の元気ある商材を集めて年2~4回程度イベントを行うなどアクションを起こせば、何らかの形で答えは出そうな気がします。
40代	女	個人宅への宅配サービスをする店が増えればいいと思う。利用するしないに関わらず、チラシ広告等をまめに入れて欲しい。いつか利用する時にすぐに役に立つ。宅配ピザや寿し店などの宅配広告はまめにポストに入っており、いつも新しいのと交換しながら保存している。
40代	女	車社会なので、駐車場がある店に行くことが多く、特に帯屋町は足が遠のきます。できれば駐車料を安くすることが望ましい。
40代	女	品質がよく価格が安ければ、少し遠くても行きます。
40代	女	年に4~5回くらい県外(広島や大阪中心)へ、日帰り旅行がてら買物に行きます。旅費を使ってでも購入したい魅力的な商品がたくさんあるというのも1つの理由です。そして高知へ帰る度に現実を目の当たりにしています。アーケード街はシャッターを閉めて「貸店舗」の張り紙続出、古びて整備が必要な路面、他にもあげれば書き切れませんが、これを県外客が見てどう思っているのでしょうか。今は龍馬ブームで、観光面を含め盛り上げようとしているのは分かりますが、あまり頼りすぎても消費者のニーズに応えられ続けるか疑問に思います。何でも龍馬にあやかった名前付け、良いことなのでしょうか。 県外へ情報入手しに行ったときなど、高知全体が変わらなければ本当に寂れてしまいそうで心配になります。少子高齢化に伴いバリアフリー化を充実させ、消費拡大を目指してほしいというのが客観的立場での願いです。アイデアと環境改善、そして何より心をこめた接客があってこそ『高知県の夜明けは近いぜよ』です。

■ 鴨田 (続き)

50代	男	情報発信力をつけ、PR力を発揮してもらいたい。消費者側の声を商店街に届けて活性化に繋げるシステムを考えてもらいたい。
50代	男	安価で新鮮な商品の品揃えを望みます。
50代	男	駐車場の問題もある。大型ショッピングモールで全て用事が済むので帯屋町に行く必要がなくなった。特別な物があれば買いに行く。食べ物でも、家にあるような物は買いに行かない、家で作れない物や、そこに行かないとないものが必要。
50代	女	新しい店、新しい商品を期待します。
50代	女	中心商店街には大型店が必要。
60代	男	車を利用する人が多いので、駐車場の充実が絶対必要。私の周りにも高齢者が増えているので、高齢者のための買物対策も必要ではないかと思う。
60代	男	無料の駐車場や子供の遊び場などが充実していないと人が集まらないと思います。
60代	男	直販所で、時機がきたら値段を高くするような足元を見る商売はやめてほしい。
60代	女	地元の品揃えの充実を希望。洋服は若者の服ばかり
60代	女	駅と中心商店街のつながり、駐車場の必要性。
60代	女	自慢できる商品の加工を。 まず自分が満足できる物をつくる。自信を持って他人にすすめることができるテクニックが必要。
60代	女	スーパーも店によって品揃えなどに差がありすぎる。
60代	女	できるだけ地元の物を買いたい。高知で生きていけるよう、皆でつながって生きていきたい。
60代	女	①地元の品物(旬のもの)が安く買えるようにして下さい。 ②店員さんに何か訪ねると無愛想。知識もあまり持っておらず、分からなかったとき「次までに調べておきます」というような態度もない。
60代	女	商店街には駐車場が少ない。あっても大型スーパーと違い料金がかかるし、商店街までの距離が離れているので、近くの店に買物に行く。
60代	女	まずは駐車場のある便利な店を利用します。だから、帯屋町、京町への買物は年に何回も行かない状況になっています。中心商店街が寂れるのはさみしいですが、駐車料金が無料の大型ショッピングセンターがやはり便利です。中心部にそんな店があればと思います。

■ 鴨田 (続き)

60代	女	地元には鮮魚店と青果店しかなく、ある物はそこで買いますが、ほとんどの食料品は近くのスーパーで買います。まだ車に乗れますので不便さは感じませんが、年齢がすすむにつれどうなるか分かりません。地元の商店はこの10年間でほとんどなくなり、大きなスーパーができ、町全体としては寂しくなりました。
70代	男	地元の商品を購入すると地元にお金がおちるので、考えてほしい。
70代	男	デパートは品物が少なく、最近は全く行かなくなった。日常の買物は主に、大型、中型スーパー、ドラッグストア等を利用する。東京に行く機会が多いので、洋服や靴、バック等は東京で買う。
70代	女	高齢者向けのサービスの充実が必要。
70代	女	帯屋町は駐車場が有料なのが問題。人が郊外の大型ショッピングモールに流れるのは当然だと思う。
70代	女	買物は少し離れた量販店を利用しています。そこで揃わない品は個人商店へ買いに行きますが、点在しているので自転車が使えなくなると大変不自由になります。将来は移動販売に頼ると思いますが、旧高知市内では難しいでしょうか。
70代	女	それぞれの店が個性を打ち出してください。
70代	女	賞味期限のチェックをきちんとしてほしい。
70代	女	街に買物に行っても駐車場の料金が高いのでゆっくり買物ができません。高知市内の中心街に、気安く行けて買物できる大型の複合店が必要。若い人向のお店ばかりではなく、高齢者、男女問わず皆が一緒に楽しく時間を過ごせる場所があれば街が活性化すると思います。
70代	女	①日曜日など、最近品物が高いように思う。 ②宅配のサービスについて。大橋通り等、場所により宅配料が高い。 ③火曜日など。車の駐車取締りが厳しくて買物に行くことが少なくなった。公園や市などはあまり厳しく取り締まらない方がいいと思う。
80代以上	男	スーパーは大型店、飲食はひろめ市場を利用している。専門的な品物(メガネ、時計等)は個人の専門店を利用している。
80代以上	女	①賞味期限を三段階で色分けしてほしい。牛乳でもその期限に使わないとすぐ腐るのか、2~3日はもつのかいつも悩む。 ②病院の薬が余った時、いつまで飲んで大丈夫か表示してほしい。 ③直販所、魚屋さんは小分けにした商品を置いてほしい。あるスーパーで、1本売りのバナナや切ったかぼちゃを販売してほしいと伝えると、早速置いてくれた。お客さんが不満に思っていることも、納得いくように研究し、早い対応をしてくれて感心しました。
80代以上	女	一番心配するのは、農薬を使っているかどうか。

■ 初月 (26件)

20代	女	近くには、音楽・映像ソフトの複合量販店、スーパー、薬局があるけど服屋などがなくて、若者も入れるような服屋があればいい。
20代	女	①もっと価格が安い店を増やして欲しい。 ②子供が無料で遊べる場所を作りたい。高松には子供が無料で遊べる屋内の施設があるけれど、高知は屋外にしかないから、雨の日でも遊べるような屋内の施設がほしい。 ③ファッションの専門店も作ってほしい。若い人が利用できる店が少なすぎる。 ④地産地消をもっとアピールしてほしい。
30代	女	中心商店街で、雨の日に駐車場からお買い物する店までぬれずに行けるようになればいいと思います。あとファミリーで行ける店、服もメンズ、レディース、子供服と揃っている店が増えればもっといく機会が増えると思います。買物の合間に休憩できるスペースや、子供が遊べるスペースを商店街に作ったらいいですね。
30代	女	近くにスーパーがあるが、郊外にあるショッピングモールの方が食品以外の買物もでき、雨の日に車が停めやすく、商品の品揃えも良く、価格も安いのでいつもそこ行ってしまふ。その他はドラッグストアで買う。商店街では良心市場で野菜を買い、100円均一の店を利用するぐらい。万々商店街はクマーマの日など努力しているが、そこでしか買えない物がないとわざわざ行かない。駐車場が少ないことも原因。帯屋町はたまに買物に行くが、駐車場代がかかるのでどうしても買わなければいけないものがある時以外は行かない。
30代	女	大型ショッピングモールが中心地に近い場所があれば、もう少し中心地が活性化するのではと思います。
40代	男	商店街に無料の駐車場があれば行きやすくなる。現存のショッピングモール以外にも、子供連れで行きやすい商業施設があればよい。
40代	女	共働きの家庭が多いので、短時間で色々なものがそろふ大型店に集中するのは。商店街は日曜日閉まっているところが多い。平日買物に行けない人は何を売っているのかということ自体知らないと思います。利用したいが時間帯があわない。難しい問題だと思います。小さい子供連れの人向けの遊び場がある商店街、高齢の方向けの朝早い店、共働き世帯向けの夜遅くまで営業する店等、ニーズにあわせた商店街ブースを作ってははどうでしょう。もちろん駐車場は無料で。

■ 初月（続き）

50代	男	地産地消は大変よい取組みである。龍馬伝終了後も、高知県を県外にアピールするための取組みが必要。
50代	女	高齢県ですので、高齢者のニーズに合った細やかで配慮された商品を望みます。食料品は少量、小さいパックで品数を多くする。衣料品などはおしゃれな洋服をコーディネートできる人員の配置。
50代	女	地元商店街の歩道がせますぎる。 接客態度をもう少し改善する。
50代	女	駐車場が少ないこともあるだろうが、トラック等が店舗前の歩道に停車しており通行しづらく危険を感じる。
50代	女	食料品、日用品等は、地元商店街の量販店で十分満足していますが、地元商店街の個々のお店に足を運ぶことはほとんどありません。量販店で買物をすませしてしまうことが多いです。 帯屋町筋アーケード商店街に関しては、最近ほとんど利用していません。閉店時間が早いこともありますし、年齢的に利用できるお店が少ないとも感じています。デパートについても、何かプレゼントを購入したいと思い、捜しに出向いても、商品が限られているような感じがして、結局インターネットを利用することが多くなります。
50代	女	家の近くにショッピングモールができてからは、何でもそこで揃うので、帯屋町商店街にほとんど行かなくなった。たまに平日用事があるとき行っても、人通りは少なく、あまり買いたいと思う店もない。県内デパートも県外と比べ、あまり高級感がないように感じる。万々商店街も頑張っているが、アーケードもなく沿線が車道で、閉まっている店も多く、ついスーパーで買物を済ませる事が多い。 最近インターネットで買物をする事もあり、インターネットで何でも買えるので増々中心街から足が遠のく。
50代	女	量販店を主に利用していますが、今後市場的な商店街ができれば利用したいです。人々の会話を含めて、活気のある市場（商店街）を望みます。
60代	男	大型店舗の進出で個店の生き残りが困難。アイデアと努力によって頑張りたい。
60代	女	万々地域はバスの便数が少なく、市中心部への買物にたいへん不便。ショッピングモール行路線を再開してほしいです。 今は一人暮らしの方が多くなっています。野菜類は小分けにして売った方がいいと思います。

■初月（続き）

60代	女	安全で新鮮な食品が安く手に入るようになればいいと思う。 商店街の一部の店舗で接客態度が良くない。商品をゆっくり見ることができる雰囲気が必要。買わないと分かった瞬間、接客態度が変わる。
70代	男	現在居住している地区周辺にはスーパーもコンビニもないので、大変不便を感じています。買物は2日に1回ほど自家用車で大型スーパーに行っていますが、高齢のため車を運転できなくなるのも時間の問題です。今後は宅配サービスの利用も考えています。
70代	男	高知は土地も家賃もなぜ高いのか。高い家賃では商売が成り立たないです。
70代	女	帯屋町商店街の活性化を望む。 大型ショッピングモールは人が多く、落ち着いて買物できない。
70代	女	買物に行く人のための無料交通があればありがたい。移動販売もあれば助かる。
70代	女	収入の関係で安い量販店での買物が増えた。もっと収入があれば商店街も大事にしたいと思う。
70代	女	良心市がありとても楽しい。体にいいし週に3回ほど行きます。
70代	女	とにかく駐車場の整備が必要。肉や鮮魚等専門店で買物がしたくても、付近に駐車場がなければ、わざわざ足を伸ばして行こうと思わない。
80代以上	男	県の政策は一部の人間にだけ利益があるもの、もっと地域全体のことを考えた政策を望む。商店街から公共交通の撤退など、まちづくりの概念が間違えている。 高知県は田舎としての良さを基軸に発展すべきで、都会とは根本的に違う。
80代以上	女	足の悪い高齢者が気楽に買物できるお店がほしい。

■秦（15件）

30代	女	自分の好きなブランドだけにとらわれず、他にも色々と綺麗な商品が生まれることを期待しています。
30代	女	ブランドのお店が少ないので、県外に行って買物することがある。アウトレットモールのようなものができたらいいなと思う。
30代	女	私は「ウィンドウショッピング」が好きです。なのでやはり駐車場代が気になり、商店街から足が遠退いてしまいます。

■ 秦（続き）

30代	女	<p>商店街が消えるのはさみしい。駐車場の特典を検討することなども含めながら、何か魅力的な方向に活性化して欲しい。</p> <p>高知にはいい食材、ネタが沢山ある。他県の成功例も参考にしながら高知県ならではの街づくりをすれば、必ず魅力的な県になると思う。ただ良い物を置くだけではだめ。まず店に入ってみたくなるような入口や、商品を手に取り使ってみたくなるように、消費者を引き込む導入部分にセンスがいると思う。高知県の商店街は全体的にディスプレイの仕方が勉強不足だと思う。少数だが凄く勉強して、プロ意識を持ってやっている店もある。その店にはやはり「そこにしかない知識と魅力」があり、行きつけにしている。</p>
40代	男	<p>どこの商店街もシャッター街になっているのでまず店を開けることから始めないといけないと思う。</p>
40代	女	<p>空き店舗を利用して自転車を置ける駐輪場をつくってほしい。道路上に置くと通行の邪魔になるから。</p>
50代	男	<p>交通手段の無い人、移動の困難な地域でも買物ができる移動スーパーなどを、県や市が支援していけばいいと思います。</p>
60代	男	<p>店に対する意見箱を設置している店舗で、時々客から寄せられた意見を読むが、客からの意見で一番多いのが店の人の対応などである。対応に時間がかかりすぎて客を怒らすことがないように努力しないと、不快に思う人もいる。全体的に女性の方の意見が多い。女性の方は買物をする機会が多く、家計を支えている関係もあり、正直なことを言っていると思います。割引やポイント、また子供関係の商品についても細かい気配りが重要。それによって消費者との間に信頼感が生まれ、「また買物に来よう」という気持ちにつながる。</p>
60代	男	<p>万々商店街は無料駐車場を作り、車の乗り入れが楽になったと思う。愛宕商店街はもう少し改善することが必要。帯屋町商店街は、3,000円の買物で3時間の駐車場利用が希望。</p>
60代	男	<p>駐車場がないと不便なので、どんなに品揃えが充実していても、買物に行こうとは思わない。</p>
70代	男	<p>高知市郊外に大型ショッピングモールができて以来、高知全体の商業が良い方に向いてきたと思う。接客態度などは県外資本の大型店に影響を受け改善してきたように思われるが、県外から大型店が移ってきて地元の産業が衰退してきたという事実もある。</p>
70代	男	<p>自宅近くにスーパーや大型店がいくつかあるので、毎日の生活には特に不便を感じていません。だんだん年をとっていくと、買物も大変になるとは思いますが、近くに良い店があつて何よりと感謝しています。</p>

■秦（続き）

70代	男	個人商店の店員は商品に関する知識があり信用できる。個人商店をもっと大事にしていくべき。
70代	男	最近の商店街の活気の無さを寂しく思う。商店街にも頑張ってもらいたい、大型店が増えたのでむしろかきかきではないか。
70代	女	自宅のある場所は地理的にとても便利です。大型ショッピングモールがあり、スーパーがあり。私は蕪野のスーパーによく行きます。以前は愛宕などにも行きましたが、今はなんかだめになっているように思います。毎週日曜市にも行くのも楽しみです。

■一宮・布師田（26件）

20代	女	商店街には大型店にない魅力があり好きなのですが、閉まっている店舗が多く、歩いていて寂しい気分になってくる。特に帯屋町の大型スーパー跡地を早く何とかして欲しい。楽しい雑貨店や素敵なショップがもっともっと増えてほしい。
20代	女	帯屋町でもっとイベント等をすれば、行く機会も増えると思う。帯屋町にも遊びや買物に行きたいが、魅力的な場所がない。
20代	女	高知は車が主要な交通手段なので、無料駐車場をもっと作ったほうが良いと思う。 帯屋町も中心街なのに活気がなくて残念。はりまや交差点のデパート跡地がパチンコ店になるというのも、いかがなものかと思う。
30代	女	食品以外はインターネットで購入する事が多く、地元での買物が減った。
30代	女	食料や日用品は地元でも買いそろえられるが、基本的にはスーパーばかり利用している。 衣服についてはショッピングモールへ行っても自分の求めている物がなく、若い人向けのブランドを取り入れているため、高知でここ数年自分の衣服を買っていない。もっと衣料品店を増やしてもらいたい。
30代	女	商店街が冴えない。それに対して何か改善策をとっている様には思えない。魅力がない。大型店に客をとられて当然。
30代	女	品揃え、品質、価格等他県に比べ劣る。
30代	女	車でいける店が増えて便利になったが、それが反対に不便だと感じる事がある。賃金が安いわりに物が高い。
40代	男	地元のスーパーは値段が高い。県外から来た店の方が安い。

■ 一宮・布師田（続き）

40代	男	県外の商業施設が進出するまでの県民の満足度はどうだったのでしょうか。また不満や望むことは何にだったのでしょうか。高知市を中心に、15年間でずいぶん変化があったと思います。商業施設及びアミューズメント関連企業の進出で、若い人には便利になったと思いますが、高知市以外の商業施設としては個人商店が主と思いますが、道路整備による移動時間短縮に伴い、衰退していると思います。店を継続させるためには個人店主の努力だけでは難しいと思います。行政の支援を実施して頂きたい。
40代	女	愛宕商店街は店舗数が多いが、閉店してしまう店もみられる。寂しく感じる。新しい店を開けるような補助があればいいと思う。
40代	女	トーメン団地は急な坂が多いため、高齢者の方にはつらいのでは。移動販売が来ているのかは知りませんが、後々必要になるのではないのでしょうか。
50代	男	買物をしなくても1時間無料になる駐車場などがあれば行きやすいと思う。
50代	男	地元には商店街と言える所はありません。あるのは県外スーパーだけ。小さくてもいいので歩いて買物できる商店街があればと思います。子供達と歩いて買物できる街づくりをしてもらいたいものです。
50代	男	地産地消と言っていますが、地元の商品でも結構高いと思います。もう少し安くできたらと思います。
50代	女	①アーケード内の自転車走行の禁止。 ②買物金額に応じて駐車料金が割り引かれるのではなく、無料にする。
50代	女	車を駐車できる場所があるかどうかは、買物を楽しみにしている者にとってとても大事な条件です。駐車料金が必要だと買いたい物が見つからない時に困ります。 高知には、食べ物、花々、野菜など、魅力的なものが沢山あると思います。直販所などで地元の魅力ある商品販売をお願いしたいです。安全で、皆が安心して口にできる物をお願いしたいです。
50代	女	高知のスーパーマーケットは県外に比べて充実していると思う。
50代	女	商店街がここ薊野北町には存在しません。10年ほど前にここへ移ってきて以来、あぞのスーパーと秦の大型ショッピングセンターが一番近いのでそこで買物は済んでいます。高知で入手できない物は高速バスで神戸や大阪へ行きます。 神戸で5年ほど住んでいたのだから分かるのですが、高知の食材は素晴らしいです。刺身などの鮮度が全く違います。野菜も安いです。

■一宮・布師田（続き）

50代	女	中心商業地全体で、駐車場付きの大きな商業ビルができれば買物に行きやすいと思います。
60代	女	今は車でどこでも移動できるので、日々の買物に不便はないですが、高齢になったら、移動販売があれば助かると思います。
60代	女	買物に不便しているひとり暮らしの高齢者のために、何か良い方法ないか。買物は自分の目で確かめて買いたいので、私も20年くらい先のことを考えると他人事ではなく、心配になってきます。
70代	女	トーマン団地は小高い山の上です。高齢者は最寄りのスーパーまで行くのもつらいです。寒い時は外出もままなりません。タクシーで行くと往復1,100円かかります。無料小型バスで送迎してくれるような大型店があれば、少々遠くても買物に行きます。 少々高くても品質の良い物がある店がいい。市中心部にあるデパートの地下街は5,000円以上買物をすれば配達が無料なので、1ヶ月か2ヶ月に1度、スーパーにはない商品を買に行きます。
70代	女	大橋通商店街は駐車場を利用する時に不満。1軒の店で3,000円以上購入しないと、駐車場利用のスタンプを押してくれない。商店街全体での購入金額で駐車場を利用できるようにしてほしい。
80代以上	男	店全体のサービス、あいさつ等が買物する者に安心感とうるおいをもたらす、楽しみになる。店の努力が大切である。
80代以上	男	野菜類、穀物類はほぼ自給自足している。買物は身内にほとんど任せているので、ここ数年ほとんど買物に行っていない。肉や魚は近くに店がなく不便に感じる事があるので、そういう店ができれば助かる。

■高須・介良（43件）

20代	男	大型店に負けないように街の本屋さん、薬局、電気屋さん等応援したいですが、収入に限りがありどうしても大型店に行ってしまいます。
20代	女	品揃えのあるお店がもっと増えてほしい。
20代	女	中心商店街に無料の駐車場を設置してほしい。
20代	女	高知にいる間はあまり思いませんが、県外にいると高知産の野菜などがあればそっちを買ってしまいます。
30代	男	地産地消も必要だけど、地産外商がもっと高知には必要だと思う。県外の友人でも高知の特産物といえど2~3品しか知らない。高知の位置さえ知らない人もいる。タタキの食べ方、薬味なども知らない。もっと他県に高知を売っていくべきだ。

■ 高須・介良（続き）

30代	男	県発信の商業があればいい。
30代	男	共働きのため、買物に行っても地元の方の作った野菜は売り切れています。少し悲しいです。
30代	男	高知市の商業の発展は、緩やかではあるが、進んでいるのが日常生活でも理解できている。しかしながら、農業に関しては人がはなれつつある。食品に関しても、地産地消の考えは良いが、食べられる物も規格外として廃棄されている物が多い。これらを安価で、地域で販売することができれば、農家の方にも地域の住民にも有効に利用でき、活性化につながるのではないのでしょうか。
30代	女	<p>&lt;良い点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おしゃれなカフェ、こだわりの器（作家の作ったもの）などを扱っている店が多くてうれしい。</li> <li>・市や直売所、スーパーの産直コーナーなどの数も非常に多く、安心して新鮮な食材を買えるのが良い。</li> </ul> <p>&lt;改善して欲しい点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかく古い商店（よろずや、金物屋など）が残っているのに、お店に入ってみると対応が悪かったり、ゆっくり見ることができない雰囲気なのがとても残念。古いものは若い人にも人気があるので、商店街のマップを作ったりインターネットで紹介したりしながら、お店の人も接客の改善、陳列方法の工夫などをしていけば、良い観光スポットになるのではないかと思います。</li> <li>・生活雑貨を扱う魅力的なお店が少ない。大手雑貨店が出店したらうれしい。</li> <li>・自然化粧品の店も高知に出店して欲しい。</li> <li>・わくわくドキドキする楽しい店は少ない気がします。おびさんマルシェや、イベントなどが多いので楽しめてはいます。</li> </ul>
30代	女	高須地区はスーパーも多く買物には便利ですが、スーパーや大型店ではできないようなサービスや魅力のある商店が出来れば行ってみたいと思います。
30代	女	帯屋町で買物したいけど、車で行くのが不便。立体駐車場に駐車するのがめんどろ。また、駐車料金が高い。そうするとついつい他県の収入につながる県外資本のショッピングモールで買物してしまう。近くに鮮魚店が少ないのももっとできてほしい。赤ちゃんがいるので、ベビーカー機能のあるカートがないスーパーや店には行かない。

■高須・介良（続き）

30代	女	地元の食材を使い、家庭では手間がかかるため作りにくい商品、夕飯のおかずのあと一品になるものを手頃な値段で売っていただければ、利用頻度は増えます。観光客向けに少しだけ食べられるものがあったらいいですね。香り米は好き嫌いがありますが、私は大好きでいつも買っています。もっと広まってほしいと思うのですが、県外(関東地方)では知られてないように思います。
30代	女	家から少し遠くても店内が見やすく、商品の品揃えが充実している価格が安いお店へ買物に行くことが多いので、そういうお店が家の近くにもできたらいいなと思います。
30代	女	共働きをされており、営業時間が長いスーパーが便利でよく利用します。しかしせっかく開いているのに品揃えがとても悪く、欲しい物が買えない時があります。
30代	女	県産品を都会へ売り出すこと。
30代	女	品揃えの充実した店が多くあればいい。
40代	男	もっと地産地消のものをPRしてほしい。
40代	男	「商店街」という言葉は死語になりつつあると思います。人々がゆったり買物したり、コーヒーを飲んだり、子供を遊ばせたりと、「なんとなく足が向く」「心が落ち着く」など付加価値がなければ、大規模店との価格競争には負けてしまうと思います。直販所など色々なものを組み合わせる工夫も必要かもしれません。平日の集客は難しいでしょうから、土日に集客できる何かがあれば根付いていけるのではないのでしょうか。インフラ整備には行政も介入していかないと、民間単独では難しいと思います。平日は年配者、休日は子供連れをターゲットにすれば安定するのではないのでしょうか。重要なのは「構想力」かも。
40代	男	今現在は体も動き、車を利用することも多いが、将来人生の佳境に近づくと車に乗る機会も少なくなると思うので、商店街という形ものは存続して欲しい。（今現在利用していない者が言うのも何ですが）市中心部の帯屋町でさえシャッター商店街に近づいている現状では、駐車料金の補助、コンサート等イベントの企画立案など、何をしても後手に回っている感が否めない。このような状況には車社会の発展や郊外への大型店の進出、高齢化社会、出生率の低下、都市のドーナツ化など複合的な要因があり、問題解決には努力が必要だと思う。さらにズームしてみると、高速道路の整備による他県への買物、アウトレットモールの進出、インターネットを利用した買物の増大など、マクロからミクロ的側面まで対策を講じなければならぬ問題も多い。県の対策部署の方々に頑張ってもらいたいと思います。

■高須・介良（続き）

40代	男	子供連れでも不便なく買物でき、休憩することもできるようになれば、大型ショッピング店に足を向けている方も商店街に足を向けやすくなると思います。
40代	女	コンビニエンスストアが多すぎです。青少年育成の観点からこれほど必要なのか疑問に思っています。
40代	女	商店街が年々寂れ、アーケード内のシャッターが閉まっているのを見るのは寂しい限りです。
40代	女	高知の野菜の料理方法をもっとアピールしたらいいと思う。
40代	女	地産地消を意識していますが。高知産の物は値段が高い。
40代	女	食料はできるだけ安全で新鮮な地元の品を購入したいと思っていますが、価格や品物によっては安い方を選ぶことも多いです。週末に車で行ってまとめ買いすることが多いので、無料の駐車場は必須です。また、勤務帰りに立ち寄ることも多いので、夕方7時以降に開いているお店ありがたいです。衣料品は、県外のアウトレット等で買うこともありますが、品質や価格等気に入れば地元や通販等でも購入しています。もっと県内の商業が活気あるものになればと願っています。
40代	女	県外企業が進出し、地元企業に活気がないので、地元企業向けに何か効果のある施策をうって下さい。
50代	男	帯屋町商店街が閉まるのが早すぎる。仕事帰りに行って店が閉まっていたら益々人が行かなくなるのではないかな。
50代	男	他県でも地産地消の運動があると思う。どれだけ他県から見て評価の高い物を作れるかが問題。
50代	女	高須の商店の営業時間が短い。中心街の空き店舗が多くなった。
50代	女	便利なのは良いが、ここ数年の間にあまりにも店舗(コンビニを含む)が増えた。利用するにあたり車の出入りなどに時間がかかる。(道路事情、時間帯の問題点でもあると思うが)。 大型店ができると、交通面で時間に余裕ができ、買物時間にある程度のゆとりができ、便利になると思う。
60代	男	高須地区の商店街周辺に靴屋がほしい。
60代	男	①量販店ではアフターサービスが問題。 ②訪問販売の悪徳商法が多くなった。
60代	男	高知市は店も近くにあり、何かにつけて便利であるが、田舎に住む人や高齢者などには交通手段がなく、タクシーなどを利用して買物に行っている現状である。これから解決していくべき問題だと思う。
60代	女	個店の努力、アーケードや街路灯等の商店街の環境整備、魅力ある個店の導入が高須地区に足りない。

■高須・介良（続き）

60代	女	梱包にエコを考えてほしい。梱包は紙を使用し簡単にすべき。ビニール梱包のシールが剥がしにくく仕分けしにくい。
60代	女	帯屋町筋などの中心地が、若い人たちにとってもっと行きやすい場所になるよう再生を願う。
60代	女	安い商品を増やして下さい。
60代	女	高知の商店は接客態度が悪い。活気が無い。
70代	男	安くて品揃えがあり便利なお店、一度で買物が済むお店がほしい。
70代	男	県外産物に渋い味わいを感じる。県内産は堅い感じがする。
70代	男	帯屋町筋などの中心商業地に行く際、自家用車の無料駐車場が必要であると思います。大型ショッピングセンターの駐車場は無料で広く、いつでも駐車できるスペースが設置されているので、太刀打ちできないと思います。
70代	男	行政機関の地元商業へのバックアップを要望する。
80代以上	男	現在は便利だと思う。年をとると大型店は必要ではなくなってきた。

■浦戸・御豊瀬・長浜（24件）

20代	女	地元にあるスーパーは、いつも新鮮な商品や地元の食材がならんでるので、あまり不便に感じることはないが、他の場所に引っ越しても普段の買物にこまることはない場があればと思う。
20代	女	郊外にショッピングモールができて以来、中心商店街やその他商店街に空き店舗が増えたと思います。実家近くにも空き店舗が増え、スーパーも無くなり、お客さんもガクッと減ったと思います。昨日お砂糖を買いに商店街に行きましたが、売っているお店が無く、コンビニに買いに行きました。商店街に行けば何でも揃うようになれば買物客も増えると思います。私は小さな頃から母と商店街に行っていたので、今でもお店の方が声をかけてくれます。6歳の娘を商店街に連れて行くと、お店の方がとても気さくに声を掛けてくれるので、すっかり慣れていろいろとお話をしています。近所の人などとの付き合いが少ない時代なので、心が温かくなります。商店主の方たちは経営大変だと思いますが、娘が大人になって娘の子供が行っても、また気さくに声を掛けてくれるくらい、個々のお店、商店街が残っていて欲しいと思います。

■浦戸・御昼瀬・長浜（続き）

30代	男	大型店を無くし、高知市内の帯屋町などに活気を取り戻し、ドーナツ化を防ぐよう、もっと県に力を入れてもらいたい。
30代	男	帯屋町などの商店街に買物に行きたくても、駐車場代がかかるので、結局郊外の大型ショッピングモールなどを利用する事が多くなりました。短時間なら、買物してもしなくても無料で駐車できるようなスペースが中心地にあれば、今よりもっと商店街を覗いてみる機会が増えると思います。
30代	女	県産品を安心して購入できるよう望む。「〇〇農園の野菜は安心・安全」などの情報を提供してほしい。 養殖の肉や魚、野菜など、化学薬品や抗生剤の使用を最低限にするか、もしくは使わないなど、安心ブランドを作って売ってほしいです。
30代	女	大型店へ行くこともあるが、自分に合う商品や値段を考えると、より品揃えが豊富なカタログなどの通信販売で購入することが多い。たくさんの店が並んでいても、すぐにほしい物や自分のほしい商品がないので、結局は諦めるか通販で購入し日数がかかってしまう。 難しいかもしれないけど、高知県で生活する若い人、高齢者両方に対して便利なサービスを増やして欲しいです。特に高齢者の方々にとってインターネットは使用が難しいので、カタログなどによる宅配サービスが増えると助かると思います。
30代	女	都会で流行している店や、アウトレットモールの招致。
40代	女	商店街は店が少なく、休みの日にスーパーへ行くくらいです。 会社帰りに買物をする事が多く、地元で買物をする事は少ないです。 車があるので大型店へ行く機会も多くなります。
40代	女	この不況では、まず安さに目がいくので、産地や安全性などは二の次になる。他商品との差別化を図らないと地元産品でも売れないのでは。 日常の物は周辺のスーパーで買うが、まとまった買物は休日に家族と車で少し離れたところへ行く。帯屋町周辺は交通や駐車場の面をどうにかしなければ、市内に住む人が買物に行くことはますますなくなってしまうのでは。地元スーパーなどでも、無料送迎バスがあると高齢者も買物に行きやすい。
50代	男	買物客が郊外の大型ショッピングモールに偏りすぎている。 大型複合店が長浜方面にあればいい。

■浦戸・御昼瀬・長浜（続き）

50代	男	「地産地消」と表示された豚肉を土佐山田のスーパーで買ったが、高知市内のスーパーには置いてなかった。地産商品を広めてほしい。
50代	女	高齢化に伴い車椅子で買物に出掛けることが増えてきているので、車椅子でも買物しやすいお店になればもっと利用すると思います。 車椅子の目線からでも買物ができる産直の販売所などがあればと思います。 ”野菜で元気店 2010”のパンフレットにも、車椅子で買物しやすい店舗かどうか分かるマークがあるといいと思います。文字も高齢者に見やすいよう大きくしてはどうでしょうか。
50代	女	帯屋町の活性化、無料駐車場整備。ゆっくり帯ブラできる環境希望。
50代	女	無添加、無着色の食品専門店などがほしい。安全な物を食べたいです。
60代	男	いろんなポイントカードがあり大変。ICカード「ですか」を基準に共通利用できるシステム（支払い、ポイントの累積）ができないものでしょうか。
60代	男	自然の破壊を伴わない商品の販売をしてほしい。自然の保存。
60代	女	①もっと地産地消を促進してほしい。 ②街の中心商店街にシャッターが下りているのは寂しい。駐車場代を払っても行きたくなるようなメインの場所であって欲しい。
60代	女	値段表示を大きくしてほしい。外国物のチェックと表示も安全、安心の面で重要。
60代	女	地元商店でも人を見て商売する方がいます。感じが悪いです。地域発展には協力し合って、話し合うことが大事。
70代	男	不景気のためどうしても安価なものを選んでしまうが、壊れやすい。特に電器製品が顕著。品質を管理するシステムや、助言などが手軽に利用できるようなサービスがあればいいと思う。
70代	男	近所にスーパーや和洋菓子の店があればいいです。
70代	女	スーパーマーケットやコンビニ、直販所なども近くにあり、買物も不自由なくできます。 利便施設も揃っており住みよい環境であると思います。
80代以上	男	駐車場の確保が必要。 少子高齢化のため後継者がいないので発展できない。
80代以上	女	個々の店の努力や帯屋町筋の商店街の努力、工夫はニュースでよく知っているが、今の世の中、大型店舗の出現で大資本の方が有利になり、個店の方は大変と思う。少子高齢化が進めば、買い手が減り、商品が余り、やがて大型店舗もつぶれるのではないかと思う。しかし個性的で魅力ある個店は残っていけると思う。

■五台山・三里（23件）

20代	女	高知県の特産品を全国にアピールして活性化を図って欲しい。
20代	女	歩道と車道の区別をして、交通の便を良くしてほしい。 高知市五台山、吸江地域に歩道を設置してほしい。
30代	男	魅力ある個店ができれば行ってみたいと思う。
30代	男	帯屋町付近の衰退が以前よりひどいと感じました。空き店舗が多く、店を参入させる努力がない。活性化させる試案を考えないと行けないと思います。ショッピングモールなど1カ所に店が集中しすぎていて、その他の地域は寂れていっている。 龍馬伝のおかげで観光などは好調のようですが、いつまでも坂本龍馬ブランドに頼りすぎるのはどうかと思います。 はりまや交差点の跡地のパチンコ店参入でもめているので、中心部にも穴が開いたままである。
30代	男	カタログで商品紹介をしてほしい。
30代	女	帯屋町の大型スーパー跡地に早く店を建て、活性化してほしい。
30代	女	地下駐車場平日10時～17時無料化など、定期的にあると嬉しい。
30代	女	子供が3人いますが、遊ぶ場所があまり無いです。平日に屋外であまりお金をかけずに楽しめる場所として、動物園かワンパーク高知の2カ所しか思いつきません。なのでお金がかかっても県外へ足を伸ばすことが多いです。どうか高知県に家族で遊べる場所を作ってください。今の子供達が素敵な思い出を作れる場所。そして、次は孫を連れて遊びにいける場所があったら嬉しいです。
40代	男	県外資本のチェーン店の進出が多い。
40代	女	最近、自分自身も子供たちも大型ショッピングセンターに飽きてきています。（便利ではあるが、何度行っても店が変わらない。）逆に帯筋が楽しくなっているように思います。もう一度店舗内容を見直して、遊びに行ける街に再開発してはいかがでしょうか。【はりまや橋→追手筋→高知城→帯筋→はりまや橋】のルートでショッピングカートの貸出しをしたり、ウォーキングコースを整備したり、大規模な開発でなくてもまだまだ工夫できると思います。私達の年代には帯筋はとても懐かし場所でもあります。
40代	女	歩いて行ける範囲にあった小さな商店はどんどん潰れてしまった。車に乗れる若い人はいいが、高齢者や病人は買物に不便だと思います。衣料品を売っているお店が近くにないため、車でバイパス沿いのお店まで出かけなくてはならないのも不便です。

■五台山・三里（続き）

40代	女	昔、安芸市に住んでいたとき、地元には大きな魚屋さんがあり、いつでも新鮮な魚を買うことができました。県外から嫁いできた私にとっては大変魅力的なことでした。しかし高知市内に引っ越してからは周りに魚屋がなく、スーパーで買っています。せっかく魚が豊富でおいしい高知県にいるのに残念です。 また、衣類を販売する店がとにかく少ない。デパートやショッピングモールも少ない。はっきり言って、洋服、靴、バッグ、子供服など、高知で気に入った物を手に入れることに期待していない。周りの人も皆そう言っています。私も含め今の若者や40代くらいの方は県外に買いに行ったり、インターネットで購入したりしています。やっぱり地方（田舎）だとつくづく思います。
50代	男	店をするのに家賃が高すぎると思う。家主は考えるべきである。
50代	女	交通の便が悪いので遠くに行けない人もいる。品揃えの充実した商店があればうれしい。同じスーパーが増えても品が揃ってなければ意味がない。飲食店の数が少ないので、中心地に行かなければならない。
60代	男	殿様商売を改めること。顧客重視に徹すること。
60代	男	高知県の場合、道路の整備が必要。案内板の表示を多くすること。新道路開通と同時に一方が栄え、もう一方が寂れる。
60代	女	十津地区が寂れて店が少ない。
60代	女	帯屋町商店街にもっと無料駐車場を増やし、遊び場を多く作り、小さい子供を連れて買物しやすい環境にする。
60代	女	地元には病院やストア、コンビニなどが全然ないので不便です。
70代	男	徒歩でお買物ができる商店が近くに欲しい。
80代以上	男	高知市内、南北に大きな道路が沢山できて、かえって自分の行き先が分からなくなる。昔からの商店街は商売が成り立たなくなりシャッターが閉まっている。これ以上大きな道はいらないのでは。
80代以上	女	中高年向けの洋服店がもっとあればいいと思います。
80代以上	女	一人で買物ができないので、娘が代わりに買物をする。 三里ではほとんど買物しない。自宅から三里のスーパーまでは徒歩15分ほどかかるため自宅近くで購入する。動くのが困難になった一人暮らしの高齢者の方は、どうやってお買物しているのだろうと考えてしまう。まだ元気で動けるが、三里で高齢になって暮らすのは難しい。

■大津 (26 件)

20代	女	郊外のショッピングモール以外にも、もっと人が集まる買物場所があればいいと思う。帯屋町ももう少し活気が欲しい。
30代	男	高知県産品、国産品は値段が高い。
40代	女	<高知の商店街、街並みについての意見> ・近くに商店街が欲しい。 ・東京に住んでいたの、高知にも渋谷や銀座のような街をつかってほしい。
40代	女	県外の人に来たときに誇りを持って案内できる、高知ならではの街づくりをしたらいいと思います。「また高知に来たい!」と思ってもらえる街づくりを。
40代	女	私が小さい頃は商店街が沢山あり、スーパーが少なかったの、商店街が大好きです。近くにあれば行きたいです。 多くの商店街がなくなっていまい寂しく思います。高齢になると、大きなスーパーなどでの買物は疲れます。便利なのか不便なのかよく分かりません。 お肉などは高知産のものがほとんどなく、安いものを買っていますが、野菜を買うときは高知県産のものを買うようにしています。高知産と書いてあると安心ですし、嬉しくも思います。「なぜ県外産のものを遠く高知まで運んで売っているのか。」「高知では作ってないのか。」とっていました。地産地消大賛成です。
40代	女	高知全体的に品揃えが少なく、せっかく買物に行っても買いたい物がなく、何も買わずに帰ってくることが多い。特に若者向の服、くつ、バッグなどは少なく、県外に行った時に買うことがあります。
50代	女	食品の安全性と地産地消をもっとアピールしてほしい。
50代	女	以前本町近辺に住んでいたの、たびたび商店街で買物をしていました。今は大津に住んでいて、商店街まで車で出かけても駐車場に不便を感じます。無料駐車場ができれば、商店街で買物して帰ろうと思う人も多いのではないかと思うのですが。
50代	女	中心街が寂れてしまっている。 中心街は駐車場料金がかかるので、大型店に人が集まってしまった。
50代	女	帯屋町までの電車無料券をくれるサービスをしてほしい。
50代	女	①駐車場の整備、無料化。 ②帯屋町に大型店を。 ③もっと中心街に行きやすくしてほしい。

■大津（続き）

60代	男	中心商店街にもっと駐車場がほしい。
60代	男	商店街の閉まる時間が早い。
60代	男	足が不自由で、さらにこれから高齢になっていくので、スーパー等で買った品物を届けてくれるサービスや移動販売がほしい。
60代	男	大津には商店街が無いいため、高齢者に合わせた商店街をつくってほしい。
60代	男	県内産の物は値段が高い。県外産、中国産（国外産）のものは値段が安い。地産地消の問題点。
60代	女	大津にはスーパーが1カ所しかないので、もう1カ所くらいあるといいと思う。 町にも出て行きたいが、電車代が400円と高いので行く回数が少なくなった。直販所が近くにできると有難い。
60代	女	スーパーが近くにないので雨が降ると大変だが、スーパーがバスを回してくれているので高齢者は喜んでいる。もう少し高齢になったらスーパーのバスを利用しようと思う。
60代	女	空き店舗をなくして欲しい。家賃が高いという中心街の意見があるので改善する。そうすればもう少し中心街がにぎやかになるのでは。
60代	女	①地産地消をもっと県民全体が積極的に行なうこと。 ②県外大型量販店の進出に対する許可をする際、県は地元業者や商店との共存共栄を考慮すべきである。
70代	男	①中心街で買物をする際にかかるぼーとの駐車場を利用するので、駐車料金を安くしてほしい。 ②駐車場をもっと安くすれば中心街に人が集まるのではないか。
70代	男	中心商業地の店主はもっと個性を出して努力する必要あり。県外資本に対して地元の特性をもっと出すこと。
70代	女	車を利用して買物に行くので、駐車料金が負担になってしまう。なので中心商店街を素通りしてしまう。
70代	女	中心街は接客が悪くなった。
80代以上	女	高齢で足が不自由なので、買物に行くための交通機関がほしい。
80代以上	女	①高齢で買物ができなくなってきたので、高齢者の立場でも考えて欲しい。 ②3,000円ほどで日常食品をそろえてくれる買物サービスがあればいい。インターネットを利用しないとサービスが受けられない。 ③高齢者のために、朝昼晩の食事宅配サービスがあればいい。 ④地産品は値段が高いしまずい。県外産品等は安くておいしい。

■ 旧鏡村 (2 件)

40代	女	地産地消の取り組みが結果を出し、地元産品が定着しつつある。専業農家としてはありがたい。
50代	女	ドラッグストアが移転して、以前でも30分程かかっていたのがさらに遠くなった。ドラッグストアは薬だけでなく様々な商品を安価で購入できるので便利。コンビニよりも需要があるのでは。

■ 旧土佐山村 (1 件)

70代	女	高齢となり買物が不便になりつつある。移動販売が家の近くまで来てくれる環境が欲しい。
-----	---	---

■ 旧春野町 (33 件)

20代	女	地産地消に今後益々力を入れていただきたい。
30代	女	旧春野町にはスーパーが近くになく不便です。南ニュータウン内か近くに出来てくれれば助かります。
30代	女	南ヶ丘は車が無ければとても不便です。小さい子供が居る間は、ベビーカーを付いて行ける大型店があれば助かります。自転車で行ける居酒屋なんかもあれば楽しいと思います。
40代	男	現在はあまり不便と感じませんが、老後のことは不安です。徒歩で買物できたらと思います。
40代	男	「地産地消」は駄目。高知県は「地産外商」であるべき。
40代	女	街の空洞化をどうにかしてほしい。映画館は特にほしい。
40代	女	コンビニ、スーパー、ドラッグストアを近くに作ってほしい。
50代	男	アーケード内の個々の商店は、壁をのけて店から店へ通って行ける様にした方が良いと思う。
50代	男	地産地消をもっと促進してほしい。
50代	男	大型店舗が身近にほしい。車でいける店をふやしてほしい。
50代	男	近年この町に引っ越してきました。買物に不便な環境なので改善してほしいです。様々な商業が発展するよう願っています。
50代	女	ただただ安いだけじゃない。生産者の方が見える、想像のできる販売方法をしてくれると買う方も楽しいです。
50代	女	旧春野には地元の商店街などなく、車で買物に行っています。今は不便ではないですが、高齢になり運転できなくなった時が不安です。

■旧春野町（続き）

50代	女	家の周りに商店がないので、不便であり、コンビニでも出来ればと思っております。高齢者の多い高知県にとっては、近くに商店がないのはとても不便だと思います。
50代	女	①いろいろな店に高知ならではのおいしい物、商品のチラシ(一覧写真)をおいてほしい。また、個々で宣伝するのではなく、県か市が取りまとめて色々な場所に配布し、目に付きやすくしてほしい。 ②足の弱った両親を休日買物に連れて行っている。購買意欲は結構あるので、例えば作業服やくつ、下着等、何でも自宅に御用聞きに来てもらえれば有難い。
50代	女	若い人は交通手段があるので問題ない。どんな遠くでも自分のほしい物を得ることが可能。問題は、車を運転できない高齢者や障害のある人々。電話やインターネットで買物し、家まで届けてくれるサービスが今後増えると思うが、高齢者は外出することが楽しみである。自分の目で見て選んで買う楽しみを作ってあげたいです。
50代	女	①駐車場が広く車の出し入れの容易な店を選んでいる。 ②勤務の関係で遅くまで営業している所を選ぶ
60代	男	道路の整備を望む。駐車場が必ずいる。
60代	女	帯屋町商店街に無料駐車場があれば良いと思います。
60代	女	①帯屋町が横並びのデパートのように、店と店とが1つの共同体としてやってほしい。 ②駐車場を充実させて欲しい。
60代	女	地産品の価格を安くしてほしい。大型店に客がとられるのが寂しい。
60代	女	近くに店が無いので商店街がほしい。
60代	女	①自分が高齢になれば、安価な移動手段があることと一所で買物が済む事が重要になると思います。年金生活になればバスやタクシーは高価すぎるし、バスの便数も少ないです。それを考えると移動販売や買物サポーターは必要です。 ②高知市中心に無料駐車場があれば頻繁に買物に行くと思います。地元には魅力ある商店がないですが、周辺人口が少ないので仕方ないと思います。専門店が一所に集中し、無料駐車場を設置すれば人は集まると思います。
60代	女	市内どこの商店街も年々活気がなくなっているが、今後住民の高齢化や周辺の利便性を考えると、歩いて30分以内に商店街（小売店）が必要。そのために土地利用等の法的規制の緩和等も考えて頂きたい。
70代	男	地元が発展してほしい。また、公共交通機関を整備してほしい。
70代	男	車に乗れない人のため、団地内に商店街やスーパーを作してほしい。

■旧春野町（続き）

70代	女	近くに大型店を作ってほしい。
70代	女	高齢者が買物できるように移動販売が必要。
70代	女	コンビニや金融機関のATMが近くにほしい。
80代以上	男	地元の農産加工品を作り、付加価値をつけて販売する。高知県としても果物の加工品を開発し、海外に向けて販売する。
80代以上	男	歩いていける距離に大型複合店を作ってほしい。
80代以上	女	近くにスーパーがほしい。
80代以上	女	新鮮な物が品切れしないようにしてほしい。



県民消費動向調査 調査票（高知市用）

高知県

この調査は、地域の生活者の皆様にとって、より快適で楽しく便利なまちづくりを目指し、商業の振興を図るための資料として、皆様のお買い物先や、お買い物に対する意見などをお伺いする無記名のアンケートです。（ご家族全体のことをお考えのうえご記入ください。）

この調査は、統計法第8条第1項の規定に基づいて総務大臣に届出を行っている統計調査です。統計法により、調査関係者は調査票の記入内容を他にもらしたり、統計以外の目的に使用することを禁じられています。

お忙しいところ申し訳ございませんが、ご協力をお願いします。

（受託業者）

名称：株式会社 相愛 担当：福田、常川、三好  
所在地：高知市重倉266-2 TEL：088-846-6703

（高知県担当課）

名称：高知県経営支援課 担当：門田、中村  
所在地：高知市丸ノ内1丁目2番20号 TEL：088-823-9698

（1）回答者属性

あなたのことについておたずねします。

（住所・年齢・性別はそれぞれ当てはまる番号1つだけ○をつけてください。）

① ご住所は？

旧高知市	旧鏡村	旧土佐山村	旧春野町
1	2	3	4

（旧高知市と答えた方は、ご住所について1つだけ○をつけてください。）

1	旭街	7	下知	13	秦
2	上街	8	南街	14	一宮、布師田
3	小高坂	9	潮江	15	高須、介良
4	江ノ口	10	朝倉	16	五台山・三里
5	高知街	11	鴨田	17	浦戸・御畳瀬・長浜
6	北街	12	初月	18	大津

② 年齢は？

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
1	2	3	4	5	6	7

③ 性別は？

男	女
1	2

④ お住まいの世帯人数は？ \_\_\_\_\_ 人

（2）お買い物全般について

⑤ 近くにお店がないなど、日頃の買い物で不便を感じますか。

（1つだけ○をつけてください）

1	不便だ	2	どちらかといえば不便だ
3	どちらかといえば不便でない	4	不便でない

⑥ どんな交通手段を利用して買い物に行くことが多いですか。

（3つまで○をつけてください）

徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	タクシー
1	2	3	4	5	6
電車・汽車		その他			
7		8			

⑦ 買い物の際、どのような点を重視してお店を選びますか。

(3つまで○をつけてください)

1	なじみ・行きつけ	9	店がきれい・雰囲気が良い
2	近い	10	店員の対応の感じが良い
3	車で行きやすい	11	商品のセンス・デザインがよい
4	一度で買い物が済む	12	商品の品質・鮮度が良い
5	遅くまで営業している	13	品揃えが良い
6	価格が安い	14	ポイントカード・スタンプ
7	特売・バーゲン	15	その他 ( )
8	チラシ・ダイレクトメール		

⑧ ここ5年くらいの間にお買い物先は変化しましたか。

(1つだけ○をつけてください)

1	地元での買い物が増加
2	変わらない
3	地元外での買い物が増加 (周辺に大型店ができたため)
4	〃 (周辺に魅力的な専門店ができたため)
5	〃 (地元商店の魅力がなくなったため)
6	〃 (車・バイクの運転を始めたため)
7	〃 (道路の整備が行われたため)
8	〃 (住所・勤務地などが変わったため)
9	〃 (その他 )

(3) 買い物意識について

⑨ ここ5年位の間にお買い物の満足度は高まりましたか。

(1つだけ○をつけてください)

1	高まった
2	変わらない
3	低くなった

⑩ ここ5年位の間にお買い物で特に重視するようになった項目は何ですか。

(3つまで○をつけてください)

1	価格	6	品揃え
2	品質・鮮度	7	店の信用・なじみ
3	健康・安全性	8	店の近さ
4	環境・エコロジー	9	買い物以外の楽しみがあること
5	ブランド・メーカー	10	その他 ( )

⑪ 今後増えそうな買い物先はありますか。

(3つまで○をつけてください)

1	ショッピングセンター・スーパーなどの大型店
2	コンビニエンスストア
3	大型の専門店
4	ディスカウントストア (業務用スーパー、ドラッグストアを含む)
5	地元 (地区) の商店
6	県外に出かけての買い物
7	インターネットによる通信販売
8	カタログやテレビなどの通信販売
9	直販所 (道の駅、良心市、アンテナショップなど)
10	移動販売や宅配
11	その他 ( )
12	特になし

⑫ あれば利用したいお買い物のサービスはありますか。

(3つまで○をつけてください)

1	移動販売 (車などで移動して商品を販売)
2	御用聞き (店の人が注文を聞きに来る)
3	宅配サービス (電話、FAX、インターネットなどで注文して配達)
4	買い物代行サービス (福祉サービスなどともに買い物を代行してくれる)
5	その他 ( )
6	特になし

## (4) インターネットを利用したお買い物などの状況について

⑬ ご家族でのインターネットの利用状況はいかがですか。

(1つだけ○をつけてください)

1	利用している
2	利用していないが将来は利用したい
3	利用したいと思わない・分からない

⑭ インターネットを利用したお買い物の経験がありますか。

1	ある
2	ない(したいと思う)
3	ない(したいと思わない)

⑮ 前問で「ある」「ない(したいと思う)」と回答された方におたずねします。

インターネットを利用してどのようなお買い物をしましたか。(したいと思いませんか。)

(3つまで○をつけてください)

1	パソコン・ソフト・家電	6	飲料・食品
2	本・音楽・映像	7	サービス・金融商品
3	ファッション・小物・雑貨	8	各地の特産品
4	車・スポーツ・アウトドア	9	その他( )
5	チケット・トラベル		

## (5) 移動販売によるお買い物の状況について

⑯ お宅の近くに移動販売が来ていますか。

(1つだけ○をつけてください)

1	来ている
2	来ていない
3	分からない

※ 移動販売とは

- ・ 消費者の家庭を直接訪問して販売
- ・ 消費者の地域を循環しての販売(移動販売、展示会など)

⑰ 移動販売の利用状況はいかがですか。(1つだけ○をつけてください)

1	ほぼ毎日利用している(週4回以上)
2	週2～3回程度利用している
3	週1回程度利用している
4	月に2～3回程度利用している
5	時々利用している(1～2ヶ月に1回程度利用している)
6	ほとんど利用していない(利用したことはある)
7	利用していない

⑱ 移動販売の不満な点はなにですか。(3つまで○をつけてください)

1	価格	4	時間帯
2	品揃え	5	場所・頻度
3	品質	6	その他( )

⑲ 今後利用する見込みはありますか。

1	はい
2	いいえ

⑳ 直販所の利用状況はいかがですか。(1つだけ○をつけてください)

1	ほぼ毎日利用している(週4回以上)
2	週2～3回程度利用している
3	週1回程度利用している
4	月に2～3回程度利用している
5	時々利用している(1～2ヶ月に1回程度利用している)
6	ほとんど利用していない(利用したことはある)
7	利用していない

※ 直販所とは

- ・ 生産者がつくったものを自ら販売している施設や漁協などが水産物を直接販売している施設

(6) 通信販売によるお買い物状況について※インターネット通販除く

㉑通信販売を利用されますか。

年5回以上利用	年3～4回程度利用	年1～2回程度利用	利用しない
1	2	3	4

㉒利用される方におたずねします。おもにどの通信販売を利用されますか。

1. カタログショッピング	2. テレフォンショッピング	3. 新聞・雑誌の広告
4. その他( )		

※ 通信販売とは

- ・ カタログ販売 (千趣会、セシール・ニッセンなど)
- ・ ダイレクトメール (個人宛の商品紹介のチラシなど) による販売
- ・ テレビ・ラジオによるテレフォンショッピング
- ・ 新聞、雑誌などの広告による販売 (電話、FAX、郵便などによる注文)

(7) 買い物志向調査

㉓次のページからあげている商品は、主にどこで買いますか。商品別に1つずつ下の商業地番号を記入してください。あてはまる箇所がない場合には、「その他」の空欄に市町村名・町丁名などを記入してください。

商業地番号			
1	中心商業地 (帯屋町筋・大丸など)	2 1	栈橋通り
2	菜園場	2 2	百石町・竹島町
3	升形	2 3	知寄町・中宝永町 (電車通り周辺)
4	上町 (電車通り周辺)	2 4	一宮
5	越前町	2 5	薊野
6	宝町・幸町	2 6	秦南町 (イオンなど)
7	愛宕	2 7	葛島 (サニーマート高須周辺)
8	新本町・比島	2 8	南国バイパス沿線 (高須～介良)
9	吉田町・一ツ橋町	2 9	大津バイパス周辺
1 0	万々	3 0	介良中野団地
1 1	福井・横内	3 1	横浜ニュータウン
1 2	旭町 (電車通り周辺)	3 2	瀬戸
1 3	旭駅前通り	3 3	長浜
1 4	旭三丁目 (サティール付近)	3 4	仁井田
1 5	曙町・朝倉横町	3 5	南国市
1 6	鴨部 (西高校周辺)	3 6	土佐市
1 7	土佐道路沿線 (朝倉～鴨部)	3 7	旧伊野町
1 8	神田	3 8	※通信販売
1 9	土佐道路沿線 (城山～河の瀬)	3 9	※移動販売
2 0	梅の辻	4 0	※生協
		4 1	※直販所

※ 通信販売とは

- ・ カタログ販売 (千趣会、セシール・ニッセンなど)
- ・ ダイレクトメール (個人宛の商品紹介のチラシなど) による販売
- ・ テレビ・ラジオによるテレフォンショッピング
- ・ 新聞、雑誌などの広告による販売 (電話、FAX、郵便などによる注文)

※ 移動販売とは

- ・ 消費者の家庭を直接訪問して販売
- ・ 消費者の地域を循環しての販売 (移動販売、展示会など)

※ 生協とは

- ・ 知人、隣人と組み、生協のチラシ、カタログなどでの共同購入  
(注意) 生協の小売店を利用する場合は、商業地番号 (1～3 5) で答えてください

※ 直販所とは

- ・ 生産者がつくったものを自ら販売している施設や漁協などが水産物を直接販売している施設

(記入例)

〇〇〇品を南国バイパス沿線で買う場合

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)
28	

△△△品を旧土佐山田町で買う場合

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)
	旧土佐山田町

(記入例) を参考に  欄に商業地番号(7ページ参照)または市町村名をご記入下さい。

1) 肉(生鮮食品)

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

2) 魚(生鮮食品)

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

3) 青果(生鮮食品)

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

4) 一般食料品/調味料・パン等

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

5) 日用雑貨・台所用品等

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

6) 医薬品・化粧品

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

7) 書籍・文具

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

8) 紳士服

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

9) 婦人服

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

10) 子供服・ベビー服

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

11) シャツ・下着類

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

12) 靴・カバン

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

13) アクセサリー・服飾品

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

14) 時計・カメラ・メガネ

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

15) 楽器・CD・スポーツ用品

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

16) 電気製品

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

17) 家具・インテリア

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

18) 花・苗・園芸用品

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

19) レストラン・飲食店・喫茶店などの利用

商業地番号	その他 (商業地番号に該当なしの場合のみ記入)

(8) 地元の商店街でのお買い物について

㉔ 地元の商店街に行く回数はどれぐらいですか。

ほぼ毎日	週2, 3回	週1回	月2, 3回	月1回
1	2	3	4	5
年に数回	全く行かない			
6	7			

㉕ ㉔で1～6に○をした方におたずねします。

どんな交通手段を利用して買い物に行くことが多いですか。

(3つまで○をつけてください)

徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	タクシー
1	2	3	4	5	6
電車・汽車	その他				
7	8				

㉖ 地元の商店街までの所要時間(片道) ・交通手段: \_\_\_\_\_

5分以内	10分以内	15分以内	30分以内	1時間以内	1時間超
1	2	3	4	5	6

㉗ ㉔で1～6に○をした方にお聞きします。商店街に行く目的は何ですか。

(3つまで)

1	食料品の購入	7	理美容、クリーニング等の利用
2	日用品の購入	8	趣味の教室や会合など
3	衣料品、靴など身の回り品の購入	9	病院、金融機関、郵便局、役所等
4	その他の商品の購入	10	祭りやイベント
5	食事・喫茶	11	その他( )
6	娯楽(パチンコ、カラオケなど)		

㉘ ㉙で1～6に○をした方にお聞きします。下記の1～15の項目について、あな

たの考えと一致するものを1～5から1つ選んで番号に○をつけてください。

そう思う	どちらでもない	そう思わない
1	2	3

	項目	商店街に対する評価		
		1	2	3
商業面の魅力	1. 食料品、家庭用品など日々の買い物に便利	1	2	3
	2. 衣料品、靴等の身の回り品、書籍、化粧品・医薬品等の買い物に便利	1	2	3
	3. 小売業以外の業種がそろっている（飲食、クリーニング、理美容、携帯電話、娯楽 等）	1	2	3
まちとしての魅力	4. 病院、金融機関、郵便局、役所など、商業以外の便利施設がそろっている	1	2	3
	5. 人々が集う場所や機会がある	1	2	3
	6. 街並みの雰囲気が良い	1	2	3
商業関連サービスの充実	7. ポイントカードや割引券など日頃のサービスが充実している	1	2	3
	8. 年に何度か大売り出し等があり、その際の福引きや割引のサービスが充実している	1	2	3
	9. 店員の接客態度がよく商品に関する知識も豊富	1	2	3
消費者とのコミュニケーション	10. 親しみもてる店や店員が多い	1	2	3
	11. 売り出し情報や店舗情報など、商店街の情報が消費者に十分届いており、内容も分かりやすい	1	2	3
	12. 消費者ニーズを店づくりや商店街づくりに反映しようと努力している	1	2	3
利用のしやすさ	13. 営業時間が長い（夜でも買い物できる店が多い）	1	2	3
	14. トイレ、ベンチ、買い物カート、ベビーカーなどが用意してある	1	2	3
	15. 店から近くに十分な駐車場、駐輪場があり、自動車、自転車等を置くスペースがある	1	2	3

㉚ 全ての方におたずねします。

(1)	商店街はあなたにとって必要ですか。 (1つ選択)	1. 必要 2. どちらかといえば必要 3. どちらかといえば必要ない 4. 必要ない
(2)	(1)で「3. どちらかといえば必要ない」、「4. 必要ない」を選んだ方があれば不便さを改善・解消できると思いますか。(2つ選択)	1. 買い物代行、買い物サポーター 2. 宅配 3. 移動販売 4. 安価な買い物バス・タクシーの運行 5. 新たな小売店舗の誘致 6. 地元商店街の再活性化 7. その他( )

(9) 地元の商業について

㉛ 地元の市町村の商店街や商業に望むことはありますか。

(3つまで○をつけてください)

1	個店の努力
2	アーケード、街路灯等の商店街の環境整備
3	駐車場・駐輪場の整備
4	商店街の大規模な再開発
5	商店街の移転
6	営業時間の延長と定休日の減少
7	大型店をつくる
8	コンビニエンスストアをつくる
9	魅力ある個店の導入
10	品揃えの充実
11	価格を安く
12	接客の改善
13	入りやすく、ゆっくり店内が見られる雰囲気をつくる
14	その他( )
15	特になし

(10) 地産地消について

㉓ 地域（地元）で作ったものを地域（地元）で使う「地産地消」という言葉をご存知ですか。

1	言葉も内容も知っている
2	聞いた（見た）ことはある
3	知らない

㉔ 高知県産品かどうかをいつも意識してお買い物をされますか。

1	いつも意識している
2	時々意識している
3	全く意識していない

(11) どんな意見でもかまいませんので、あなたの意見をお聞かせください。

（便利なお買い物、県全体の商業、地元の商業のこと等）

以上です。長い時間ご協力ありがとうございました。

Ⓢ

県民消費動向調査 調査票 (安芸広域圏用)

高知県

この調査は、地域の生活者の皆様にとって、より快適で楽しく便利なまちづくりを目指し、商業の振興を図るための資料として、皆様のお買い物先や、お買い物に対する意見などをお伺いする無記名のアンケートです。(ご家族全体のことをお考えのうえご記入ください。)

この調査は、統計法第8条第1項の規定に基づいて総務大臣に届出を行っている統計調査です。統計法により、調査関係者は調査票の記入内容を他にもらしたり、統計以外の目的に使用することを禁じられています。

お忙しいところ申し訳ございませんが、ご協力をお願いします。

(受託業者)

名称: 株式会社 相愛 担当: 福田、常川、三好  
所在地: 高知市重倉266-2 TEL: 088-846-6703

(高知県担当課)

名称: 高知県経営支援課 担当: 門田、中村  
所在地: 高知市丸ノ内1丁目2番20号 TEL: 088-823-9698

欄にご記入下さい。

(1) 回答者属性

あなたのことについておたずねします。

(市町村名を記入し、年齢・性別はそれぞれ1つだけ○をつけてください。)

① ご住所は?

市・町・村

② 年齢は?

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
1	2	3	4	5	6	7

③ 性別は?

男	女
1	2

④ お住まいの世帯人数は? \_\_\_\_\_ 人

(2) お買い物全般について

⑤ 近くにお店がないなど、日頃の買い物で不便を感じますか。

(1つだけ○をつけてください)

1	不便だ	2	どちらかといえば不便だ
3	どちらかといえば不便でない	4	不便でない

⑥ どんな交通手段を利用して買い物に行くことが多いですか。

(3つまで○をつけてください)

徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	タクシー
1	2	3	4	5	6
電車・汽車	その他				
7	8				

⑦ 買い物の際、どのような点を重視してお店を選びますか。

(3つまで○をつけてください)

1	なじみ・行きつけ	9	店がきれい・雰囲気が良い
2	近い	10	店員の対応の感じが良い
3	車で行きやすい	11	商品のセンス・デザインが良い
4	一度で買い物済む	12	商品の品質・鮮度が良い
5	遅くまで営業している	13	品揃えが良い
6	価格が安い	14	ポイントカード・スタンプ
7	特売・バーゲン	15	その他 ( )
8	チラシ・ダイレクトメール		

⑧ここ5年くらいの間にお買い物先は変化しましたか。

(1つだけ○をつけてください)

1	地元での買い物が増加
2	変わらない
3	地元外での買い物が増加(周辺に大型店ができたため)
4	〃 (周辺に魅力的な専門店ができたため)
5	〃 (地元商店の魅力がなくなったため)
6	〃 (車・バイクの運転を始めたため)
7	〃 (道路の整備が行われたため)
8	〃 (住所・勤務地などが変わったため)
9	〃 (その他 )

(3) 買い物意識について

⑨ここ5年位の間にお買い物の満足度は高まりましたか。

(1つだけ○をつけてください)

1	高まった
2	変わらない
3	低くなった

⑩ここ5年位の間にお買い物で特に重視するようになった項目は何ですか。

(3つまで○をつけてください)

1	価格	6	品揃え
2	品質・鮮度	7	店の信用・なじみ
3	健康・安全性	8	店の近さ
4	環境・エコロジー	9	買い物以外の楽しみがあること
5	ブランド・メーカー	10	その他 ( )

⑪今後増えそうな買い物先はありますか。

(3つまで○をつけてください)

1	ショッピングセンター・スーパーなどの大型店
2	コンビニエンスストア
3	大型の専門店
4	ディスカウントストア(業務用スーパー、ドラッグストアを含む)
5	地元(地区)の商店
6	県外に出かけての買い物
7	インターネットによる通信販売
8	カタログやテレビなどの通信販売
9	直販所(道の駅、良心市、アンテナショップなど)
10	移動販売や宅配
11	その他 ( )
12	特になし

⑫あれば利用したいお買い物のサービスはありますか。

(3つまで○をつけてください)

1	移動販売(車などで移動して商品を販売)
2	御用聞き(店の人が注文を聞きに来る)
3	宅配サービス(電話、FAX、インターネットなどで注文して配達)
4	買い物代行サービス(福祉サービスなどともに買い物を代行してくれる)
5	その他 ( )
6	特になし

(4) インターネットを利用したお買い物などの状況について

⑬ご家族でのインターネットの利用状況はいかがですか。

(1つだけ○をつけてください)

1	利用している
2	利用していないが将来は利用したい
3	利用したいと思わない・分からない

⑭インターネットを利用したお買い物の経験がありますか。

1	ある
2	ない（したいと思う）
3	ない（したいと思わない）

⑮前問で「ある」「ない（したいと思う）」と回答された方におたずねします。

インターネットを利用してどのようなお買い物をしましたか。（したいと思いませんか。）

（3つまで○をつけてください）

1	パソコン・ソフト・家電	6	飲料・食品
2	本・音楽・映像	7	サービス・金融商品
3	ファッション・小物・雑貨	8	各地の特産品
4	車・スポーツ・アウトドア	9	その他（ ）
5	チケット・トラベル		

(5) 移動販売によるお買い物の状況について

⑯お宅の近くに移動販売が来ていますか。

（1つだけ○をつけてください）

1	来ている
2	来ていない
3	分からない

※ 移動販売とは

- ・ 消費者の家庭を直接訪問して販売
- ・ 消費者の地域を循環しての販売（移動販売、展示会など）

⑰移動販売の利用状況はいかがですか。（1つだけ○をつけてください）

1	ほぼ毎日利用している（週4回以上）
2	週2～3回程度利用している
3	週1回程度利用している
4	月に2～3回程度利用している
5	時々利用している（1～2ヶ月に1回程度利用している）
6	ほとんど利用していない（利用したことはある）
7	利用していない

⑱移動販売の不満な点はなにですか。（3つまで○をつけてください）

1	価格	4	時間帯
2	品揃え	5	場所・頻度
3	品質	6	その他（ ）

⑲今後利用する見込みはありますか。

1	はい
2	いいえ

⑳直販所の利用状況はいかがですか。（1つだけ○をつけてください）

1	ほぼ毎日利用している（週4回以上）
2	週2～3回程度利用している
3	週1回程度利用している
4	月に2～3回程度利用している
5	時々利用している（1～2ヶ月に1回程度利用している）
6	ほとんど利用していない（利用したことはある）
7	利用していない

※ 直販所とは

- ・ 生産者がつくったものを自ら販売している施設や漁協などが水産物を直接販売している施設

(6) 通信販売によるお買い物状況について※インターネット通販除く

㉑ 通信販売を利用されますか。

年5回以上利用	年3～4回程度利用	年1～2回程度利用	利用しない
1	2	3	4

㉒ 利用される方におたずねします。おもにどの通信販売を利用されますか。

1. カタログショッピング	2. テレフォンショッピング	3. 新聞・雑誌の広告
4. その他( )		

※ 通信販売とは

- ・ カタログ販売 (千趣会、セシール・ニッセンなど)
- ・ ダイレクトメール (個人宛の商品紹介のチラシなど) による販売
- ・ テレビ・ラジオによるテレフォンショッピング
- ・ 新聞、雑誌などの広告による販売 (電話、FAX、郵便などによる注文)

(7) 買利物出向調査

㉓ 次のページからあげている商品は、主にどこで買いますか。記入例にならって、それぞれの商品別に「買利物先」の当てはまる箇所を1つだけ○で囲み、「商店」「スーパー・ショッピングセンターなど大型店」のいずれか1つだけ○をつけてください。

当てはまる市町村名がない場合には、「その他」の空欄に市町村名を記入してください。

(注意) 「買利物先」で「通信販売・移動販売・生協」のいずれかを選んだ場合は、「商店」「スーパー」「ショッピングセンター・・・」「直販所」のいずれにも○をつけないで下さい。

(記入例)

田野町の商店で○○○品を買う場合

○○○品

買利物先 (1つだけ○で囲んでください)

東洋町、室戸市、奈半利町、**田野町**、安田町、北川村、馬路村、安芸市、芸西村、旧野市町、南国市、高知市 (合併前)、徳島市、旧海部町、旧海南町、旧宍喰町、その他 ( )

※通信販売・※移動販売・※生協

1	<b>商店</b>
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店 (複合店)
4	直販所

※ 通信販売とは

- ・ カタログ販売 (千趣会、セシール・ニッセンなど)
- ・ ダイレクトメール (個人宛の商品紹介のチラシなど) による販売
- ・ テレビ・ラジオによるテレフォンショッピング
- ・ 新聞、雑誌などの広告による販売 (電話、FAX、郵便などによる注文)

※ 移動販売とは

- ・ 消費者の家庭を直接訪問して販売
- ・ 消費者の地域を循環しての販売 (移動販売、展示会など)

※ 生協とは

- ・ 知人、隣人と組み、生協のチラシ、カタログなどでの共同購入

(注意) 生協の小売店を利用する場合は、地域の市町村に含めて下さい

## ※ 直販所とは

- ・生産者がつくったものを自ら販売している施設や漁協などが水産物を直接販売している施設

## 1) 肉（生鮮食品）

買い物先（1つだけ○で囲んでください）
---------------------

東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市芸西村、旧野市町、南国市、高知市（合併前）、徳島市、旧海部町、旧海南町、旧穴喰町、その他（ ）
※通信販売・※移動販売・※生協

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店（複合店）
4	直販所

## 2) 魚（生鮮食品）

買い物先（1つだけ○で囲んでください）
---------------------

東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市芸西村、旧野市町、南国市、高知市（合併前）、徳島市、旧海部町、旧海南町、旧穴喰町、その他（ ）
※通信販売・※移動販売・※生協

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店（複合店）
4	直販所

## 3) 青果（生鮮食品）

買い物先（1つだけ○で囲んでください）
---------------------

東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市芸西村、旧野市町、南国市、高知市（合併前）、徳島市、旧海部町、旧海南町、旧穴喰町、その他（ ）
※通信販売・※移動販売・※生協

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店（複合店）
4	直販所

## 4) 一般食料品／調味料・パン等

買い物先（1つだけ○で囲んでください）
---------------------

東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市芸西村、旧野市町、南国市、高知市（合併前）、徳島市、旧海部町、旧海南町、旧穴喰町、その他（ ）
※通信販売・※移動販売・※生協

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店（複合店）
4	直販所

## 5) 日用雑貨・台所用品等

買い物先（1つだけ○で囲んでください）
---------------------

東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市芸西村、旧野市町、南国市、高知市（合併前）、徳島市、旧海部町、旧海南町、旧穴喰町、その他（ ）
※通信販売・※移動販売・※生協

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店（複合店）
4	直販所

## 6) 医薬品・化粧品

買い物先 (1つだけ○で囲んでください)
----------------------

東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市 芸西村、旧野市町、南国市、高知市 (合併前)、徳島市、旧海部町、 旧海南町、旧宍喰町、その他 ( ) ※通信販売・※移動販売・※生協
--

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店 (複合店)
4	直販所

## 7) 書籍・文具

買い物先 (1つだけ○で囲んでください)
----------------------

東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市 芸西村、旧野市町、南国市、高知市 (合併前)、徳島市、旧海部町、 旧海南町、旧宍喰町、その他 ( ) ※通信販売・※移動販売・※生協
--

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店 (複合店)
4	直販所

## 8) 紳士服

買い物先 (1つだけ○で囲んでください)
----------------------

東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市 芸西村、旧野市町、南国市、高知市 (合併前)、徳島市、旧海部町、 旧海南町、旧宍喰町、その他 ( ) ※通信販売・※移動販売・※生協
--

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店 (複合店)
4	直販所

## 9) 婦人服

買い物先 (1つだけ○で囲んでください)
----------------------

東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市 芸西村、旧野市町、南国市、高知市 (合併前)、徳島市、旧海部町、 旧海南町、旧宍喰町、その他 ( ) ※通信販売・※移動販売・※生協
--

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店 (複合店)
4	直販所

## 10) 子供服・ベビー服

買い物先 (1つだけ○で囲んでください)
----------------------

東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市 芸西村、旧野市町、南国市、高知市 (合併前)、徳島市、旧海部町、 旧海南町、旧宍喰町、その他 ( ) ※通信販売・※移動販売・※生協
--

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店 (複合店)
4	直販所

## 11) シャツ・下着類

買い物先 (1つだけ○で囲んでください)
----------------------

東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市 芸西村、旧野市町、南国市、高知市 (合併前)、徳島市、旧海部町、 旧海南町、旧宍喰町、その他 ( ) ※通信販売・※移動販売・※生協
--

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店 (複合店)
4	直販所

12) 靴・カバン

買い物先（1つだけ○で囲んでください）
東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市 芸西村、旧野市町、南国市、高知市（合併前）、徳島市、旧海部町、 旧海南町、旧宍喰町、その他（ ）
※通信販売・※移動販売・※生協

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店（複合店）
4	直販所

13) アクセサリー・服飾品

買い物先（1つだけ○で囲んでください）
東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市 芸西村、旧野市町、南国市、高知市（合併前）、徳島市、旧海部町、 旧海南町、旧宍喰町、その他（ ）
※通信販売・※移動販売・※生協

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店（複合店）
4	直販所

14) 時計・カメラ・メガネ

買い物先（1つだけ○で囲んでください）
東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市 芸西村、旧野市町、南国市、高知市（合併前）、徳島市、旧海部町、 旧海南町、旧宍喰町、その他（ ）
※通信販売・※移動販売・※生協

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店（複合店）
4	直販所

15) 楽器・CD・スポーツ用品

買い物先（1つだけ○で囲んでください）
東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市 芸西村、旧野市町、南国市、高知市（合併前）、徳島市、旧海部町、 旧海南町、旧宍喰町、その他（ ）
※通信販売・※移動販売・※生協

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店（複合店）
4	直販所

16) 電気製品

買い物先（1つだけ○で囲んでください）
東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市 芸西村、旧野市町、南国市、高知市（合併前）、徳島市、旧海部町、 旧海南町、旧宍喰町、その他（ ）
※通信販売・※移動販売・※生協

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店（複合店）
4	直販所

17) 家具・インテリア

買い物先（1つだけ○で囲んでください）
東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市 芸西村、旧野市町、南国市、高知市（合併前）、徳島市、旧海部町、 旧海南町、旧宍喰町、その他（ ）
※通信販売・※移動販売・※生協

1	商 店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店（複合店）
4	直販所

18) 花・苗・園芸用品

買い物先 (1つだけ○で囲んでください)
東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市芸西村、旧野市町、南国市、高知市 (合併前)、徳島市、旧海部町、旧海南町、宍喰町、その他 ( )
※通信販売・※移動販売・※生協

1	商店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店 (複合店)
4	直販所

19) レストラン・飲食店・喫茶店などの利用

買い物先 (1つだけ○で囲んでください)
東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市芸西村、旧野市町、南国市、高知市 (合併前)、徳島市、旧海部町、旧海南町、旧宍喰町、その他 ( )
※通信販売・※移動販売・※生協

1	商店
2	スーパー
3	ショッピングセンターなど大型店 (複合店)
4	直販所

(8) 地元の商店街でのお買い物について

24) 地元の商店街に行く回数はどれぐらいですか。

ほぼ毎日	週2, 3回	週1回	月2, 3回	月1回
1	2	3	4	5
年に数回	全く行かない			
6	7			

25) 24) で1~6に○をした方におたずねします。

どんな交通手段を利用して買い物に行くことが多いですか。

(3つまで○をつけてください)

徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	タクシー
1	2	3	4	5	6
電車・汽車	その他				
7	8				

26) 地元の商店街までの所要時間 (片道) ・交通手段: \_\_\_\_\_

5分以内	10分以内	15分以内	30分以内	1時間以内	1時間超
1	2	3	4	5	6

27) 24) で1~6に○をした方にお聞きします。商店街に行く目的は何ですか。

(3つまで)

1	食料品の購入	7	理美容、クリーニング等の利用
2	日用品の購入	8	趣味の教室や会合など
3	衣料品、靴など身の回り品の購入	9	病院、金融機関、郵便局、役所等
4	その他の商品の購入	10	祭りやイベント
5	食事・喫茶	11	その他 ( )
6	娯楽 (パチンコ、カラオケなど)		

㉘ ㉔で1～6に○をした方にお聞きします。下記の1～15の項目について、あな

たの考えと一致するものを1～5から1つ選んで番号に○をつけてください。

そう思う	どちらでもない	そう思わない
1	2	3

		項目	商店街に対する評価		
商業面の魅力	1.	食料品、家庭用品など日々の買い物に便利	1	2	3
	2.	衣料品、靴等の身の回り品、書籍、化粧品・医薬品等の買い物に便利	1	2	3
	3.	小売業以外の業種がそろっている(飲食、クリーニング、理美容、携帯電話、娯楽 等)	1	2	3
魅力	4.	病院、金融機関、郵便局、役所など、商業以外の便利施設がそろっている	1	2	3
	5.	人々が集う場所や機会がある	1	2	3
	6.	街並みの雰囲気が良い	1	2	3
商業関連サービスの充実	7.	ポイントカードや割引券など日頃のサービスが充実している	1	2	3
	8.	年に何度か大売り出し等があり、その際の福引きや割引のサービスが充実している	1	2	3
	9.	店員の接客態度がよく商品に関する知識も豊富	1	2	3
消費者とのコミュニケーション	10.	親しみもてる店や店員が多い	1	2	3
	11.	売り出し情報や店舗情報など、商店街の情報が消費者に十分届いており、内容も分かりやすい	1	2	3
	12.	消費者ニーズを店づくりや商店街づくりに反映しようと努力している	1	2	3
利用のしやすさ	13.	営業時間が長い(夜でも買い物できる店が多い)	1	2	3
	14.	トイレ、ベンチ、買い物カート、ベビーカーなどが用意してある	1	2	3
	15.	店から近くに十分な駐車場、駐輪場があり、自動車、自転車等を置くスペースがある	1	2	3

㉙ 全ての方におたずねします。

(1)	商店街はあなたにとって必要ですか。 (1つ選択)	1. 必要 2. どちらかといえば必要 3. どちらかといえば必要ない 4. 必要ない
(2)	(1)で「3. どちらかといえば必要ない」、「4. 必要ない」を選んだ方があれば不便さを改善・解消できると思いますか。(2つ選択)	1. 買い物代行、買い物サポーター 2. 宅配 3. 移動販売 4. 安価な買い物バス・タクシーの運行 5. 新たな小売店舗の誘致 6. 地元商店街の再活性化 7. その他( )

(9) 地元の商業について

㉚ 地元の市町村の商店街や商業に望むことはありますか。

(3つまで○をつけてください)

1	個店の努力
2	アーケード、街路灯等の商店街の環境整備
3	駐車場・駐輪場の整備
4	商店街の大規模な再開発
5	商店街の移転
6	営業時間の延長と定休日の減少
7	大型店をつくる
8	コンビニエンスストアをつくる
9	魅力ある個店の導入
10	品揃えの充実
11	価格を安く
12	接客の改善
13	入りやすく、ゆっくり店内が見られる雰囲気づくる
14	その他( )
15	特になし

(10) 地産地消について

㉓ 地域（地元）で作ったものを地域（地元）で使う「地産地消」という言葉をご存知ですか。

1	言葉も内容も知っている
2	聞いた（見た）ことはある
3	知らない

㉔ 高知県産品かどうかをいつも意識してお買い物をされますか。

1	いつも意識している
2	時々意識している
3	全く意識していない

(11) どんな意見でもかまいませんので、あなたの意見をお聞かせください。

(便利なお買い物、県全体の商業、地元の商業のこと等)

以上です。長い時間ご協力ありがとうございました。

平成 22 年度 県民消費動向調査 報告書

平成 23 年 3 月

編集・発行 高知県 商工労働部 経営支援課  
〒780-8570 高知市丸ノ内 1 丁目 2 番 20 号  
TEL:088-823-9698  
FAX:088-823-9138  
H P:<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/150401/>